

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2010-2011

7 vol.1



国際ロータリー第2660地区

2010～11年度ガバナー 松本 新太郎

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

CONTENTS

地区ガバナー就任のご挨拶	1
松本新太郎ガバナー プロフィール	2
大谷透 直前ガバナーへの感謝の言葉	3
レイ・クリンギンスミスRI会長メッセージ	4
レイ・クリンギンスミスRI会長プロフィール	5
2010～2011年度のための地区協議会を終えて	6
第15回ロータリー日本青少年交換研究会報告	7
2010～2011年度 第2660地区 ガバナー補佐の紹介	8・9
国際ロータリー第2660地区 2010～2011年度予算	10～12
RI特別月間／RI第2660地区 年間カレンダー	13
主要報告書／報告書送付先及び送金先	14
主要送金	15
I.M.日程一覧表	16
ガバナー公式訪問日程	17
第2660地区 各RCホームページ・E-mailアドレス	18・19
2010～2011年度 地区大会のご案内	20
国際ロータリー第2660地区 ガバナー・ノミネー指名宣言	21
敬弔／お知らせ／地区幹事担当一覧表	22
国際ロータリー第2660地区 組織図	23・24
国際ロータリー第2660地区 ロータリークラブ一覧表	25・26
文庫通信	



2010～2011年度のレイ・クリンギンスミスR I会長のメインテーマは「BUILDING COMMUNITIES BRIDGING CONTINENTS」すなわち「地域を育み、大陸をつなぐ」です。具体的には、

1. 平和と紛争の予防と解決
2. 疾病予防と治療
3. 水と衛生設備
4. 母子の健康
5. 基本的教育と識字率向上
6. 経済と地域社会の発展
7. ポリオ撲滅
8. ロータリー財団への支援（青少年育成）

の8項目を挙げられました。中でも特に、ポリオ撲滅と青少年にかかわる活動を強調されています。従来、これほどまでに明確なビジョンが提示されたことはあまりなかったようで、このことからクリンギンスミス会長の並々ならぬ意気込みが感じられます。

当地区と致しましてもこれらの方針を基本に活動を展開することになりますが、地区テーマを「ロータリークラブについて もう一度考えてみませんか」とし、よりよい環境づくりを目指して皆さんとともに実行してまいりたいと考えております。

その際のヒントになることを願い、次の7項目を掲げます。

1. 会長と会員のリーダーシップに期待します
2. クラブの活性化と相互交流を推進します
(例会出席こそ最大のクラブ奉仕)
3. 若者を育み世代をつなぎます
4. 新しい仲間を増やします
5. 健康と儉約に留意します
6. 自分にできる奉仕をもう一度考えてみます
7. 寄付について：ポリオ撲滅に3,000円、ロータリー財団へ130ドル、米山記念奨学金に20,000円

もちろんこれ以外にもさまざまなテーマが考えられますが、特に申し上げたいのは出席率100%の実現です。月1回で結構ですから「欠席者ゼロ」の例会を目指しましょう。すでに達成されているクラブもあると思いますが、まだのクラブはこれを機にぜひ実現させてください。出席率100%が月1回からやがては2回、3回となり、こうした状況が定着すればおのずとよりよい環境が約束されるでしょう。いずれは毎回100%を達成するクラブも出てくるかもしれません。ぜひ「われ先に」と、実現を目指してください。

ロータリークラブ設立当初の理念が、異業種交流で得られる深い知識につながり、大きな魅力になってきました。互いに親しく話し合える場所、それがロータリークラブです。一人ひとりの信頼と親睦は、やがて波紋のようにどんどん大きく広がっていくでしょう。

各クラブが独自のアイデアを持つこともまた、重要です。R Iの方針や地区方針とともに、クラブ発展のためさまざまなアイデアを披露していただきたいのです。そしてさらには新会員の勧誘も重要課題です。しかしあくまでも「甘誘」であってはなりません。うまい話ばかりでなく、ロータリーの真のサービス精神とは何かを、わかりやすく説明してください。

何よりも、地区内の会員お一人おひとりが主役です。これからの一年間、そしてその先の未来へと続く時間を、ともに歩んでまいりましょう。

ロータリークラブについて もう一度考えてみませんか

ガバナープロフィール

国際ロータリー第2660地区
2010～2011年度ガバナー

松本 新太郎 (まつもと しんたろう)

生年月日 1938年1月5日

勤務先 松本油脂製薬株式会社

所在地 〒581-0075

八尾市渋川町2-1-3

経歴 1962年 甲南大学経済学部卒業

1962年 東洋敷物株式会社入社

1964年 日商岩井株式会社入社

1966年 松本油脂製薬株式会社入社

1978年 同 専務取締役

2008年 同 取締役相談役 現在に至る

職業分類 界面活性剤製造販売

ロータリー歴 1976年5月 八尾RC入会

1979～1980年度 広報委員会

1983～1984年度 国際奉仕委員長

1984～1985年度 幹事

1991～1992年度 職業奉仕委員長

1992～1993年度 副会長

1995～1996年度 会長エレクト

1996～1997年度 会長

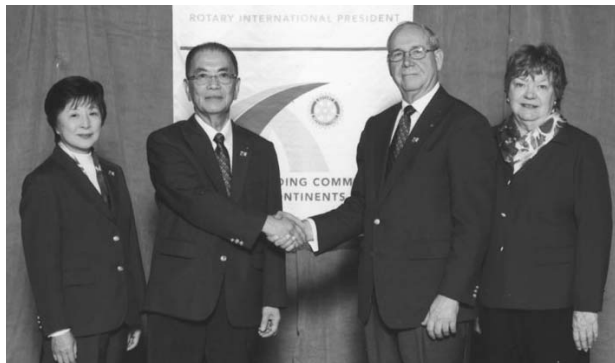
1997～1998年度 親睦活動委員長

1998～1999年度 無任所理事

その他 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

ベネファクター

米山功労者 (マルチプル)





大谷透直前ガバナーは「ロータリーを身につけよう」のテーマのもと、RCに対する深い見識とともに、類まれなる教養と懐の深い寛容精神で第2660地区約4000人の会員を一年間にわたり導いてくださいました。地区ガバナーとしての幾多のご功績は数え上げればきりがありませんが、感謝の気持ちも込めて特筆すべきものをこの際いくつかご紹介します。

当地区初の大学RACを関西大学に創設されたことは、まさに歴史に名を刻む画期的成果であります。また「ロータリーの心と実践」という素晴らしいテキストをまとめていただきました。誰にでも理解しやすい平易な言葉で綴られた内容は秀逸で、RCのことがこれ1冊ですべてわかるバイブルとして、今後長年にわたりロータリアン必携の書となることでしょう。

このほかPETSと地区チーム研修セミナーの同日開催など、慣習にとらわれない柔軟な発想で地区運営においても数々の改革を実行していただきました。後を継ぐ立場としましては、まさに最高の形でバトンを渡していただきますことに感謝の念でいっぱいです。

GNを拝命してからの2年間にわたり、ヨチヨチ歩

きの私に対しても公私共に懇切丁寧なご指導を賜り、私自身がロータリーを身につけることを大いに助けてくださいました。また大谷直前ガバナーの奥深いお人柄ゆえに、お会いするたびに新しい発見がありました。初対面の時の「なんとまあキメの細かい肌をなさっているのか!」という印象を皮切りに、秀でた語学力や堂々たる歌唱力など、驚かされることばかりでした。そして何より、地区ガバナーとして諸課題に対する冷静、的確な判断力は大いに見習うべきところと感じております。

ガバナーの大役を見事に全うされ、この上ない形で引き継がせていただけることへの感謝とともに、新年度も地区ガバナー指名委員会委員長や意義ある業績賞委員会委員長などの要職を快諾いただいたことにも感謝致します。

これからも頼りない後輩の私を助けていただきますと同時に、第2660地区の指導者のお一人としてご活躍くださいますよう、心からお願い申し上げます。

一年間、お疲れ様でございました。そして、ありがとうございました。



ロータリーとは何か。ロータリー・クラブとは何をする団体なのか。ロータリアンは、会員候補者やロータリーに関心を持っている人々からこういった質問をよく受けますが、簡潔に数分で、しかも効果的に答えるのは難しいものです。

ロータリーの第一標語である「超私の奉仕」は私たちの利他的な性質をとらえてはいますが、先の2つの質問に答えてくれるものではありません。そこで私は、「ロータリアン以外の人々にロータリーの目的を説明すること」と「ロータリアンにロータリーの原則の重要性を再確認してもらうこと」、この2つの目標を満たす簡潔なテーマを探す決心をいたしました。

そして適切な言葉を探す上で、四大奉仕部門を再検討していたところ、クラブ奉仕と職業奉仕はどちらも人生を謳歌し、善き市民となるよう私たちを導いてくれるものであると気づいたのです。また、社会奉仕と職業奉仕を合わせるなら、地元の地域社会をより住みやすく、働きやすい場所にする事ができるでしょう。一方、国際奉仕は、国や大陸を異にする海外のクラブと協力し、世界理解、親善、平和を広め、世界をより良い場所にするための機会を、私たちに与えるものです。

ロータリーが、ロータリー・クラブの連合体であると同時に、奉仕の精神から成り立っていることを忘れてはなりません。私たちは、「奉仕」「親睦」「多様性」「高潔性」「リーダーシップ」というロータリーの中核となる価値観を分かち合う必要があるのです。ロータリーの真髄を表す多くの語句を検討した結果、ロータリーの現在の使命を表し、私たちの業績を強調するために、私たちが得意とすること、すなわち、次のテーマを最終的に選びました。

地域を育み、大陸をつなぐ

この簡潔な語句が、ロータリアンとしての私たちの存在と私たちの活動を的確に言い表すものであると賛同していただけることを願っております。ロータリーは世界でも比類のない優れた組織です。私たちは、地元地域社会の精神とリソースを育てています。また、住みやすく働きやすい世界をつくるために、世界中の人々の善意をつないで協力と支援を得ることにかけては、世界でも私たちの右に出る団体はないでしょう。エド・カドマン元会長の言葉どおり、「ロータリーは、画一化ではなく、結束である」のです。ロータリアンである私たちは、誠に恵まれています。

2010-11年度会長賞を検討するにあたって、私はこれと同じ哲学を用いました。私は四大奉仕の各部門が等しく重要であるという考えに基づき、クラブが四大部門のすべてにおける成果を確認することができるよう、質問形式による新しい表彰プログラムを設けました。さらに、この表彰とは別に、年次会長賞を何度も受賞し続けているクラブのチャレンジ精神に応えるために、さらに上のレベルの特別賞も加えることにいたしました。

私たちが親睦と奉仕のレベルアップを図り、1910年に初のロータリー大会を開催した国際ロータリーを奉仕の第二世紀に向けて前進させていく中で、この質問形式を用いた新しい用紙がクラブと地区ガバナーの皆さまに役立つものとなることを願っております。

レイ・クリンギンスミス氏のプロフィール

レイ・クリンギンスミス

(米国ミズーリ州カークスビル)

- 2009 - 10年度 国際ロータリー会長エレクト
- 2005 - 06年度 ロータリー財団副管理委員長
- 2002 - 06年度 ロータリー財団管理委員
- 1985 - 87年度 国際ロータリー理事
- 1975 - 76年度 地区ガバナー



レイ・クリンギンスミス氏は米国ミズーリ州カークスビルの弁護士で、主に、商法、会社法、不動産法、遺産計画法を専門としています。22年間勤務したカークスビルのトルーマン州立大学（旧ノースイースト・ミズーリ大学）では、総合弁護士および経営学の教授としての職を最後に1995年8月に退職しました。大学が一般教養と科学を軸とする教育機関へ移行した5年間に、管理学部長を務めた経験もあります。大学の職務を退職後は、2001年から2004年までの4年間、アデア郡政委員となりました。

1971年からメコン・アトランタ州立銀行の理事、1989年にミズーリ州議会が設立したミズーリ・ファミリー・トラストの初代管理委員を務めました。シャリトン・バレー障害者協会では1982年の設立当初から会長に就任し、1988年にミズーリ州知的障害者のための計画審議会から保護者・介護者賞を授与されました。

ボーイスカウト米国連盟グレートリバー支部の理事を務めた経験もあり、成人ボランティアとしてシルバー・ビーバー賞を受賞しています。カークスビルの統

一メソジスト教会に所属しており、教会でもリーダー的役割を任されてきました。

1961年にロータリアンとなって以来、地区ガバナーを経て、1998年規定審議会（インド、ニューデリーで開催）ならびに2008年ロサンゼルス国際大会委員会の委員長として、RIに奉仕してきました。1985 - 87年度にRI理事となり、1986 - 87年度には理事会執行委員会の委員長を務めました。2002年にはロータリー財団管理委員、2005 - 06年度には副委員長、また2005年から2008年まで未来の夢委員を務めました。また、大口寄付者でもあり、財団の功勞表彰状と特別功勞賞を受賞しています。

配偶者のジュリー夫人は、メコンとカークスビルの小学校で教鞭をとっていました。また、カークスビル地域の職業センターで子供の発育を支援するプログラムのコンサルタントも務めていました。クリンギンスミス夫妻にはレイさんとカートさんの2人の子供と、モルガンさん、グラントさん、シドニーさんの3人の孫がいます。

2010～11年度のための 地区協議会を終えて

地区協議会実行委員長

正野 憲 (八尾RC)

2010年4月24日。込みあがる万感の思いを胸に、開会の点鐘を聞きました。

ご多忙の中、多くの皆様に最後までご参加いただきましたこと、ご講演をいただきました戸田PG地区研修リーダー、そしてご協力いただきました部門別リーダー、サブリーダーの皆様、地区各委員会の皆様、ガバナー事務所の皆様には感謝の念にたえません。この紙面を借りて厚くお礼申し上げます。

八尾RCに松本GNが誕生してから、クラブメンバー協力のもと実行準備会を含む10回あまりの実行委員会を経て、無事地区協議会を終えることができました。

今年度の協議会はコスト削減とメンバーによる協働を主軸として人員配置に留意し、スムーズな誘導を目指しました。基本は前回、大阪西南RCが採用された午後からのプログラムを踏襲しました。多くの変更点が見事に消化されており、大変参考になりました。

第1部の本会議では松本新太郎GEにRIと地区の方針を発表していただき、戸田孝PGに「無償の行為がロータリーの素晴らしさ」と題して講演をしていただきました。続く第2部の部門別協議会では、9つの部門でそれぞれ活発な意見や情報の交換が行われました。

何とかいい協議会となるようにと私たちなりに精一杯努力をいたしました。至らぬ点も多くございました事、寛容な心でご容赦いただきますようお願いいたします。

この地区協議会が新年度の当地区各クラブに数多くの実りをもたらす一助になること、そして次年度ご担当されます大阪城南RCのご盛会を心より願ってやみません。



第15回ロータリー 日本青少年交換研究会報告

青少年交換委員会委員長

岡田 俊作 (大阪本町RC)

5月15日(土)・16日(日)の2日間に亘り、当第2660地区がホストとなり、掲題研究会・大阪会議が西区土佐堀の大阪YMCA国際文化センターに於いて開催されました。ガバナー会青少年交換委員会委員長関場慶博様の点鐘に始まり、ガバナー会議長久邇邦昭様・大谷透Gのご挨拶に続き、RI理事黒田正宏様の基調講演で幕を開けました。

本年4月のRI規定審議会で、「新世代奉仕」(New Generation Service)が、四大奉仕に加え第五の奉仕になることが採択されました。今後益々青少年プログラム(インターアクト・ローターアクト・ライラ・青少年交換)の活動が重視され、この四部門が互いの立場を尊重しつつも有機的に相互協力することが求められます。

今回の研究会では、従来の青少年交換プログラムの枠を超えて全国34地区から240名の新世代奉仕部

門関係のロータリアンが参加し、各部門にかんするパネルディスカッションや質疑応答を通じて部門間の理解を深め、今後の方向性を示す大変有意義な研究会になりました。

また、部門を超えた研究会ということもあり、ジョン・ケニーRI会長からもメッセージを戴き、RI本部から特別に4部門の統括マネージャーであるMr. Adam Doty (アダム・ドーティー)並びに青少年交換部門責任者であるMs. Kate Hoepfel (ケイト・ホッペル)のお二人が来日し2日間の研究会全てに参加され日本での活動内容をご理解願えたと思います。

初日の夕方に開催した懇親会では、来日したRI本部スタッフを交え、ガバナー会各委員長やRI青少年奉仕支援グループのコーディネーターの皆様と参加ロータリアンの皆様との交流と親睦が図れ、今後進むべき方向へ歩み出したと思います。



2010～2011年度 第2660地区ガバナー補佐の紹介

IM 第1組

氏名	宮内 敏光 (みやうち としみつ) (豊中南RC)
生年月日	1939年3月5日
職業	株式会社 宮内善進堂 代表取締役
ロータリー歴	1988年6月 豊中南RC入会
	2001～2002年度 副会長
	2003～2004年度 会長
	マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
	米山功労者 (マルチプル)



IM 第2組

氏名	北田 他実夫 (きただ たみお) (高槻東RC)
生年月日	1938年1月2日
職業	田倉産業株式会社 代表取締役
ロータリー歴	1983年12月 高槻東RC入会
	1995～1996年度 会長
	マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
	米山功労者 (マルチプル)



IM 第3組

氏名	西原 房三 (にしはら ふさぞう) (守口RC)
生年月日	1937年10月4日
職業	株式会社 柿右衛門 取締役会長
ロータリー歴	1961年1月 守口RC入会
	1994～1995年度 会長
	1995～1996年度 地区会員増強委員長
	マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
	ベネファクター
	米山功労者 (マルチプル)



IM 第4組

氏名	山片 重房 (やまがた しげふさ) (東大阪みどりRC)
生年月日	1938年12月23日
職業	医療法人 藤井会リハビリテーション病院 院長
ロータリー歴	1998年9月 東大阪みどりRC入会
	2003～2004年度 会長
	ポール・ハリス・フェロー
	ベネファクター
	米山功労者



IM 第5組

氏名	山田 崇雄 (やまだ たかお) (大阪北梅田RC)
生年月日	1938年10月3日
職業	株式会社 TCD代表取締役会長 主席デザイナー
ロータリー歴	1981年 大阪大淀RC入会
	1992年 大阪北梅田RCチャーターメンバー
	1998年 IM実行委員長
	1999～2000年度 会長
	2002～2004年度 RI 2004国際大会PR報道部会 副部長
	2008～2009年度 地区情報広報委員会委員
	マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
	ベネファクター
	米山功労者 (マルチプル)



IM 第6組

氏名	高島 凱夫 (たかしま よしお) (大阪中之島RC)
生年月日	1944年9月20日
職業	京橋耳鼻咽喉科 院長
ロータリー歴	1992年10月 大阪中之島RCチャーターメンバー
	1998～1999年度 副会長
	2000～2001年度 会長
	2006～2007年度 会長
	マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
	米山功労者 (マルチプル)



IM 第7組

氏名	田中 壽秋 (たなか としあき) (大阪なにわRC)
生年月日	1936年9月12日
職業	田中壽秋法律事務所 弁護士
ロータリー歴	1984年2月 大阪なにわRCチャーターメンバー
	1992～1997年 地区規定情報委員会委員
	1999～2000年度 幹事
	2002～2003年度 会長
	マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
	ベネファクター
	米山功労者(マルチプル)



IM 第8組

氏名	泉 博朗 (いずみ ひろあき) (大阪住吉RC)
生年月日	1948年6月17日
職業	株式会社 テクノグループ 代表取締役
ロータリー歴	1990年2月 大阪住吉RC入会
	1998年 クラブ幹事
	2005～2006年度 地区青少年活動委員長
	2008年 クラブ会長
	マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
	米山功労者



国際ロータリー第2660地区 2010～11年度予算

■ 地区運営資金

【収入の部】	科 目	09/10 予 算	10/11 予 算	増 減	(単位:円)
	1. 地区資金	37,050,000	35,625,000	-1,425,000	
	2. RI助成金	2,000,000	2,000,000	0	
	3. 雑収入	500,000	0	-500,000	
	収 入 合 計	39,550,000	37,625,000	-1,925,000	

【支出の部】	科 目	09/10 予 算	10/11 予 算	増 減	(単位:円)
A. 負担金					
	1. ガバナー会	800,000	800,000	0	
	2. ロータリ文庫	1,200,000	1,200,000	0	
	3. 平和奨学生支援協力金	60,000	60,000	0	
	小 計	2,060,000	2,060,000	0	
B. 会議費					
	1. 地区チームLTS	0	0	0	
	2. 会長エレクトTS	0	0	0	
	3. PETS・地区チーム合同セミナー	900,000	900,000	0	
	4. 地区合同委員会	1,000,000	900,000	-100,000	
	5. 財団セミナー	500,000	400,000	-100,000	
	6. DGPGE会議	500,000	300,000	-200,000	
	7. G補佐・地区幹事会	50,000	50,000	0	
	8. GE国際協議会	730,000	730,000	0	
	9. 予備費	100,000	100,000	0	
	小 計	3,780,000	3,380,000	-400,000	
C. ガバナー関係費					
	1. ガバナー事務所経費	29,850,000	29,850,000	0	
	2. ガバナー月信費	5,500,000	5,500,000	0	
	3. ガバナー補佐経費	300,000	100,000	-200,000	
	4. 直前DG記念品	100,000	100,000	0	
	小 計	35,750,000	35,550,000	-200,000	
D. 総予備費		160,000	160,000	0	
	支 出 合 計	41,750,000	41,150,000	-600,000	
	収 支 差 額	-2,200,000	-3,525,000	-1,325,000	
	前年度繰越金	9,397,588	7,197,588	-2,200,000	
	次年度繰越金	7,197,588	3,672,588	-3,525,000	

■ ガバナー事務所経費

	科 目	09/10 予 算	10/11 予 算	増 減	(単位:円)
	1. 家賃・光熱費	4,500,000	4,500,000	0	
	2. 給料・手当	16,250,000	16,250,000	0	
	3. 厚生費	2,300,000	2,300,000	0	
	4. コンピューター関係費用	1,300,000	1,300,000	0	
	5. DGPGE交通会合費	900,000	900,000	0	
	6. 印刷費	1,400,000	1,400,000	0	
	7. 交通通信費	1,500,000	1,500,000	0	
	8. 文献費	100,000	100,000	0	
	9. 事務用品費	600,000	600,000	0	
	10. 什器備品費	200,000	200,000	0	
	11. 雑費	500,000	500,000	0	
	12. 予備費	300,000	300,000	0	
	合 計	29,850,000	29,850,000	0	

■ 地区活動資金

【収入の部】	科 目	09/10 予 算	10/11 予 算	増 減	(単位:円)
	1. 地区資金	29,250,000	28,125,000	-1,125,000	
	2. 地区広報基金振り戻し				
	収入合計	29,250,000	28,125,000	-1,125,000	

【支出の部】	科 目	09/10 予 算	10/11 予 算	増 減	(単位:円)
A.	地区委員会活動費				
	1. DG指名(委)	50,000	40,000	-10,000	
	2. 意義ある業績賞(委)	30,000	24,000	-6,000	
	3. クラブ奉仕部門				
	①クラブ奉仕・拡大増強(委)	600,000	480,000	-120,000	
	②広報(委)	700,000	500,000	-200,000	
	4. 職業奉仕部門				
	職業奉仕(委)	360,000	250,000	-110,000	
	5. 社会奉仕部門				
	社会奉仕(委)	500,000	500,000	0	
	6. 青少年奉仕部門				
	①新世代合同	40,000	32,000	-8,000	
	②青少年活動(委)	6,300,000	5,500,000	-800,000	
	③ローターアクト(委)	5,400,000	4,320,000	-1,080,000	
	④青少年交換(委)	6,300,000	5,500,000	-800,000	
	⑤インターアクト(委)	2,200,000	1,900,000	-300,000	
	7. 国際奉仕部門				
	国際奉仕・WCS(委)	400,000	320,000	-80,000	
	8. ローター財団部門				
	①ロータリー財団(委)	300,000	240,000	-60,000	
	②財団情報・増進(委)	50,000	30,000	-20,000	
	③財団奨学金・学友(委)	800,000	700,000	-100,000	
	④研究グループ交換(委)	2,700,000	1,690,000	-1,010,000	
	⑤財団人道的補助金(委)	50,000	30,000	-20,000	
	9. 米山奨学部門				
	米山奨学(委)	400,000	330,000	-70,000	
	10. RI規定審議会派遣積立金	400,000	400,000	0	
	11. RIJYEC維持協力金	400,000	400,000	0	
	12. 危機管理(委)		500,000	500,000	
	13. 予備費	1,200,000	2,339,000	1,139,000	
	小 計	29,180,000	26,025,000	-3,155,000	
	B. RI会長DG協調事業費	0	0	0	
	C. IM広報活動補助金	2,400,000	2,400,000	0	
	D. 研修委員会	200,000	200,000	0	
	E. ローター研究会準備基金	1,000,000	0	-1,000,000	
	支出合計	32,780,000	28,625,000	-4,155,000	
	収支差額	-3,530,000	-500,000	3,030,000	
	前年度繰越金	17,333,410	13,803,410	-3,530,000	
	次年度繰越金	13,803,410	13,303,410	-500,000	

■ 特別会計

1. 地区大会資金

科 目	09/10 予 算	10/11 予 算	増 減	(単位:円)
前年度繰越金	6,284,673	6,284,673	0	
地区資金	19,500,000	18,750,000	-750,000	
地区大会会計へ	19,500,000	18,750,000	-750,000	
地区大会会計から戻入				
次年度繰越金	6,284,673	6,284,673	0	

2. 米山奨学生活動費

【収入の部】

科 目	09/10 予 算	10/11 予 算	増 減	(単位:円)
(財)米山記念奨学会より	2,700,000	2,700,000	0	
選考試験補助金			0	
カウンセラー研修会補助金			0	
レクリエーション登録料			0	
米山奨学歓送会登録料			0	
受取利息			0	
収 入 合 計	2,700,000	2,700,000	0	

【支出の部】

科 目	09/10 予 算	10/11 予 算	増 減	(単位:円)
米山活動費	2,700,000	2,700,000	0	
カウンセラー研修会			0	
情報交換会			0	
レクリエーション			0	
選考会			0	
歓送会			0	
オリエンテーション			0	
米山奨学会学友会支援			0	
印刷、郵送			0	
(財)米山記念奨学会へ返金			0	
支 出 合 計	2,700,000	2,700,000	0	
収 支 差 額	0	0	0	
前年度繰越金	0	0	0	
次年度繰越金	0	0	0	

3. 世界社会奉仕基金

【収入の部】

科 目	09/10 予 算	10/11 予 算	増 減	(単位:円)
クラブ拠出金			0	
受取利息			0	
収 入 合 計			0	

【支出の部】

科 目	09/10 予 算	10/11 予 算	増 減	(単位:円)
プロジェクト資金			0	
送金手数料				
支 出 合 計			0	
収 支 差 額				
前年度繰越金	1,604,219	1,604,219	0	
次年度繰越金	1,604,219	1,604,219	0	

4. R I 規定審議会派遣積立金

科 目	09/10 予 算	10/11 予 算	増 減	(単位:円)
前年度繰越金	1,201,400	1,601,400	400,000	
地区活動資金繰り入れ	400,000	400,000	0	
実際派遣事業			0	
次年度繰越金	1,601,400	2,001,400	400,000	

5. ロータリー研究会準備基金

科 目	09/10 予 算	10/11 予 算	増 減	(単位:円)
前年度繰越金		1,000,000	1,000,000	
地区活動資金繰り入れ	1,000,000	0	-1,000,000	
地区基金繰り入れ		5,000,000	5,000,000	
次年度繰越金	1,000,000	6,000,000	5,000,000	

■ 地区基金

科 目	09/10 予 算	10/11 予 算	増 減	(単位:円)
前年度繰越金	20,000,000	20,000,000	0	
受取利息			0	
特別会計へ取崩し		5,000,000	5,000,000	
利息を本会計へ繰り入れ			0	
次年度繰越金	20,000,000	15,000,000	-5,000,000	

2010～11年度

国際ロータリー 特別月間

月 日	行 事 名	
2010年 8月	会員増強・拡大月間	(Membership and Extension Month)
9月	新世代のための月間	(New Generations Month)
10月	職業奉仕月間	(Vocational Service Month)
10月	米山月間	(Yoneyama Month)
11月	ロータリー財団月間	(Rotary Foundation Month)
11月5日を含む週	世界インターアクト週間	(World Interact Week)
12月	家族月間	(Family Month)
2011年 1月	ロータリー理解推進月間	(Rotary Awareness Month)
1月27日を含む週	追悼記念週間	(Remembrance Week)
2月	世界理解月間	(World Understanding Month)
2月23日	ロータリー創立記念日/ 世界理解と平和の日	(Rotary Anniversary/ World Understanding & Peace Day)
3月	識字率向上月間	(Literacy Month)
3月13日を含む週	世界ローターアクト週間	(World Rotaract Week)
	雑誌月間	(Magazine Month)
4月	ロータリー 親睦活動月間	(Rotary Fellowships Month)
6月		

2010～11年度

RI第2660地区 年間カレンダー

開 催 日	行 事 名	会 場
2010年 5月29日(土)	地区会員増強セミナー	大阪YMCA
6月20日(日)～23日(水)	国際大会	モントリオール(カナダ)
7月17日(土)	合同地区委員会	大阪YMCA
8月 6日(金)～ 8日(日)	少年少女ニコニコキャンプ (ホスト:枚方)	枚方市野外活動センター
8月28日(土)	地区財団セミナー	大阪YMCA
10月 9日(土)～11日(月)	秋のライラ (ホスト:大阪難波)	関西大学
10月29日(金)～30日(土)	地区大会	リーガロイヤルホテル・大阪国際会議場
11月24日(水)～27日(土)	ロータリー研究会、財団地域セミナー	大阪国際会議場
2011年 4月23日(土)	地区協議会 (ホスト:大阪城南)	大阪国際会議場
4月29日(金)～5月1日(日)	春のライラ (ホスト:大阪大淀)	大阪府立青少年海洋センター
5月21日(土)～25日(水)	国際大会	ニューオーリンズ(アメリカ)

主 要 報 告 書

報 告 事 項	期 日	報 告 先
1. 半期報告	7月1日 1月1日	①国際ロータリー日本事務局 ②(写)ガバナー ③(写)クラブに保管
2. クラブ出席率報告	翌月14日午前中までに必着	ガバナー事務所
3. 会員数及び出席報告	毎月5日までに必着	ガバナー事務所
4. クラブ会員数および女性 会員数報告のお願い	前期7月 7日までに必着 後期1月10日までに必着	ガバナー事務所 前期:6月30日付、7月1日付 後期:12月31日付、1月1日付
5. 物故者報告用紙	その都度	ガバナー事務所
6. クラブ細則の変更	その都度	ガバナー事務所
7. 充填未充填職業分類表	8月31日	ガバナー事務所
8. 効果的なロータリー・クラブと なるための活動計画の指標	2010年7月1日	所定の用紙3部に記入して、ガバナー・エレクト事務所に1部 ガバナー補佐に1部、1部はクラブに保管
9. 地区大会提出・信任状証明書	2010年9月15日	直前の半期人頭分担金支払時会員数25名毎に1名または その端数13名以上の場合はさらに1名を選ぶ。 (RI細則15.050.1)
10. 新入会員、退会者、会員の 住所または種類の変更	その都度	①RI世界本部(英文・所定の用紙) ②ガバナー事務所
11. クラブ会長、幹事、例会場、 日時、事務所等の変更届	その都度	①国際ロータリー日本事務局 ②ガバナー事務所 ③ロータリーの友事務所
12. RI文献購入申込 各RC常備の注文用紙にて	その都度	RI世界本部(英文の文献) 国際ロータリー日本事務局(和文の文献)
13. 次年度クラブ会長、幹事報告 (公式名簿・記載資料)	クラブ役員選挙後 2週間以内に	①国際ロータリー日本事務局 ②(写)ガバナー ③(写)ガバナー・エレクト
14. 国際大会提出・信任状証明書 (会長・幹事のサインが必要)	4月	国際大会出席者の代議員またはその代理者(ガバナーエレクトなど) 用紙はRIより直接各クラブに送付される。
15. 寄付増進クラブ目標報告書式	2010年5月1日	ガバナー・エレクト事務所

報告書送付先及び送金先

国際ロータリー世界本部	Rotary International One Rotary Center, 1560 Sherman Avenue, Evanston, IL 60201-3698, U.S.A. TEL 1-847-866-3000 FAX 1-847-328-8554 または 1-847-328-8281
国際ロータリー日本事務局	〒115-0045 東京都北区赤羽2-51-3 NS3ビル 1階 奉 仕 室 TEL (03) 3903-3161 地区・クラブ関係のお問い合わせ 財 団 室 TEL (03) 3903-3192 ロータリー財団関係のお問い合わせ 経 理 室 TEL (03) 3903-3183 出納関係のお問い合わせ 資 料 室 TEL (03) 3903-3194 文献・資料の注文、お問い合わせ 各室共通 FAX (03) 3903-3781
財団法人 ロータリー米山記念奨学会	〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル3F TEL (03) 3434-8681 FAX (03) 3578-8281 (三井住友銀行 京橋支店 普通 0920373)
ロータリーの友事務所	〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル4F TEL (03) 3436-6651 FAX (03) 3436-5956 (三井住友銀行 浜松町支店 普通 6326314)
国際ロータリー第2660地区 会計 松村康司	〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6階 TEL (06) 6264-2660 FAX (06) 6264-2661 (りそな銀行 大阪営業部 普通 0750854)
ロータリー文庫	〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル3F TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506

I.M.日程一覧表

2010～11年度

組	開催年月日	ホストクラブ	所属クラブ	クラブ数	ガバナー補佐
1	2011年 4月16日(土)	豊中- 大阪国際空港	池田、池田くれは、箕面、 箕面中央、豊中、豊中南、 豊中-大阪国際空港、豊中千里	8	宮内 敏光 (豊中南)
2	2011年 2月5日(土)	千 里	茨木、茨木東、茨木西、千里、 千里メイプル、摂津、吹田、 吹田江坂、吹田西、高槻、 高槻東、高槻西	12	北田他実夫 (高槻東)
3	2011年 1月22日(土)	寝 屋 川	大東、大東中央、枚方、 くずは、門真、交野、香里園、 守口、守口イブニング、 寝屋川、四条畷	11	西原 房三 (守口)
4	2011年 2月12日(土)	東大阪東	東大阪、東大阪中央、東大阪東、 東大阪みどり、東大阪西、 大阪柏原、八尾、八尾中央、 八尾東、大阪ネクスト	10	山片 重房 (東大阪みどり)
5	2011年 2月26日(土)	大阪そねざき	大阪中央、大阪堂島、大阪北、 大阪北梅田、大阪リバーサイド、 大阪西、大阪大淀、大阪西北、 大阪そねざき、大阪梅田、 大阪梅田東、 大阪ユニバーサルシティ	12	山田 崇雄 (大阪北梅田)
6	2011年 3月5日(土)	大阪鶴見	大阪、大阪東、大阪東淀ちややまち、 大阪城東、大阪中之島、 大阪大手前、大阪城北、 大阪天満橋、大阪鶴見、 大阪淀川、新大阪	11	高島 凱夫 (大阪中之島)
7	2011年 4月2日(土)	大阪西南	大阪フレンド、大阪本町、 大阪御堂筋、大阪南、大阪難波、 大阪なにわ、大阪南西、 大阪西南、大阪船場、 大阪心斎橋、大阪うつぼ	11	田中 壽秋 (大阪なにわ)
8	2011年 5月14日(土)	大阪咲洲	大阪阿倍野、大阪阪南、 大阪平野、大阪イブニング、 大阪城南、大阪咲洲、 大阪住之江、大阪住吉、 大阪天王寺、大阪東南	10	泉 博 朗 (大阪住吉)

ガバナー公式訪問日程

2010～11年度

●18:00～開始 ★18:30～開始 ■19:30～開始

日	2010年 8月	9月	日	10月	11月	12月	日	2011年 1月	2月	3月	4月	5月	日
1	日	水	茨木	1 金	高槻東	月	水	大阪西南	1 土	火	火	金	日
2	月	木	大阪御堂筋	2 土		火	木	大阪中央	2 日	水	水	土	IM7組
3	火	金	摂津	3 日		水	金	大阪梅田東	3 月	木	★守口イブニング	木	日
4	水	土	八尾	4 月	東大阪中央 ★池田くれは	木	土	豊中 ★千里メイプル	4 火	金	豊中-大阪国際空港	金	月
5	木	日	大阪リバーサイド	5 火	大阪東南	金	日		5 水	土	IM2組	土	IM6組
6	金	月	少年少女 ニコニコ キャンプ	6 水	大阪船場	土	月		6 木	日	日	水	金
7	土	火		7 木	大阪平野	日	火	枚方	7 金	月	月	木	土
8	日	水	豊中千里	8 金	大阪城南	月	水	大阪北梅田	8 土	火	火	金	日
9	月	木	大阪中之島 ★大阪イブニング	9 土	秋のライラ	火	木	千里	9 日	水	水	土	月
10	火	金	大阪本町	10 日	大阪心齋橋	水	金	大阪そねざき ●大東中央	10 月	木	大阪東	木	日
11	水	土	香里園	11 月	大阪ネクスト	木	土	交野 ●大阪難波・大阪南西 大阪なにわ	11 火	金	金	月	水
12	木	日		12 火	大阪西北	金	日	大阪大手前	12 水	土	IM4組	土	火
13	金	月		13 水	大阪フレンド ●四條畷	土	月		13 木	日	日	水	金
14	土	火	大阪阪南	14 木	吹田	日	火	大阪鶴見	14 金	月	月	木	土
15	日	水	大阪咲洲	15 金	大阪天王寺	月	水	大阪西	15 土	火	火	金	日
16	月	木	門真 ★高槻西	16 土		火	木	大阪梅田	16 日	水	水	土	IM1組
17	火	金	八尾東	17 日		水	金	大阪北	17 月	木	木	日	火
18	水	土	大阪城北	18 月	大阪堂島 ●吹田西	木	土	大阪大淀	18 火	金	金	月	水
19	木	日	★箕面	19 火	吹田江坂	金	日	大阪淀川	19 水	土	PETS/ 地区チーム 研修セミナー	土	火
20	金	月	大阪城東	20 水	守口	土	月		20 木	日	日	水	金
21	土	火	大東	21 木	茨木東	日	火		21 金	月	月	木	土
22	日	水	高槻 ★茨木西	22 金	寝屋川	月	水		22 土	IM3組	火	火	金
23	月	木	大阪東淀やま	23 土		火	木		23 日	水	水	土	地区協議会
24	火	金	大阪南	24 日	箕面中央	水	金	財団地域セミナー	24 月	木	木	日	火
25	水	土	大阪阿倍野 大阪住之江 大阪住吉	25 月		木	土	RI会長歓迎委員会	25 火	金	金	月	水
26	木	日	大阪天満橋	26 火		金	日	ロータリー研究会	26 水	土	IM5組	土	火
27	金	月	大阪	27 水	東大阪西	土	月	ロータリー研究会	27 木	日	日	水	金
28	土	火	地区財団 セミナー	28 木	大阪柏原 ●大阪うつほ	日	火		28 金	大阪 ユニバーシティ	月	月	木
29	日	水	池田	29 金	地区大会	月	水		29 土		火	金	春のライラ
30	月	木	東大阪東 ★東大阪みどり	30 土	地区大会	火	木		30 日		水	土	月
31	火	日	豊中 ★八尾中央	31 日		金	月		31 月		木		火

第2660地区 各ロータリークラブ ホームページ・E-mailアドレス

No.	クラブ名	ホームページ	E-mail
1	大 東	www.daito-rc.org/	office@daito-rc.org
2	大東中央	www9.ocn.ne.jp/~dc-rc/	dc-rc@eagle.ocn.ne.jp
3	東 大 阪	www16.ocn.ne.jp/~horotary/	rcmail@lime.ocn.ne.jp
4	東大阪中央	—	hcrc@at.wakwak.com
5	東大阪東	www.higashiosaka-eastrc.jp/	higashiohrc@air.ocn.ne.jp
6	東大阪みどり	www.george24.com/~midori-rc	midori-rc@george24.com
7	東大阪西	www9.ocn.ne.jp/~hon-rc/	hon-rc@soleil.ocn.ne.jp
8	枚 方	www.hirakata-rc.jp	office@hirakata-rc.jp
9	茨 木	www.ibaraki-rc.com	jimukyoku@ibaraki-rc.com
10	茨 木 東	www10.ocn.ne.jp/~ierotary/	ierotary@beach.ocn.ne.jp
11	茨 木 西	www5.ocn.ne.jp/~ibanisi/	ibanisi@theia.ocn.ne.jp
12	池 田	www12.plala.or.jp/ikedarc	ikedarc@amber.plala.or.jp
13	池田くれは	www.ikedakureha.jp	jimukyoku@ikedakureha.ne.jp
14	門 真	—	office-kadoma@silk.plala.or.jp
15	交 野	www9.ocn.ne.jp/~katanorc/	katanorc@oak.ocn.ne.jp
16	香 里 園	—	korien-rc@aria.ocn.ne.jp
17	く ず は	www.kcat.zaq.ne.jp/kuzuha-rc/	kuzuha-rc@kcat.zaq.ne.jp
18	箕 面	www.mino-orc.com	mino-orc@abeam.ocn.ne.jp
19	箕面中央	www5.ocn.ne.jp/~minoh-c/	mc-rc@citrus.ocn.ne.jp
20	守 口	www.moriguchi-rc.jp	info@moriguchi-rc.jp
21	守口イブニング	http://www7b.biglobe.ne.jp/~m-eveningrc/	m-evening@msj.biglobe.ne.jp
22	寝 屋 川	www.neyagawa-rc.gr.jp	jimukyoku@neyagawa-rc.gr.jp
23	大 阪	www.osaka-rc.org	secretariat@osaka-rc.org
24	大阪阿倍野	http://homepage3.nifty.com/osaka-abeno/	oasaka-abeno@nifty.com
25	大阪中央	www.osaka-central-rc.org/	osaka-central-rc@nifty.com
26	大阪堂島	www10.ocn.ne.jp/~dojimarc/index.html	dojimarc@violin.ocn.ne.jp
27	大阪フレンド	ofrc.info	osakafriend-rc@soleil.ocn.ne.jp
28	大阪阪南	http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~hannanrc/	osaka_hn_rc_1969@msj.biglobe.ne.jp
29	大 阪 東	www.osaka-east-rc.org	osaestrc@silver.ocn.ne.jp
30	大阪東淀ちやま	www1.ocn.ne.jp/~hycm-rc/	h-yodo-chaya-m.rc@shore.ocn.ne.jp
31	大阪平野	www.geocities.jp/hiranorc06/	hiranorc@lily.ocn.ne.jp
32	大阪本町	www.hommachi-rc.com	hommachi-rc@tuba.ocn.ne.jp
33	大阪イブニング	www5.ocn.ne.jp/~evening/	evening@theia.ocn.ne.jp
34	大阪城南	www.osaka-johnan-rc.org/	johnan25@crocus.ocn.ne.jp
35	大阪城東	www.osaka-jrc.org	jrc@almond.ocn.ne.jp
36	大阪柏原	www4.ocn.ne.jp/~okrotary/	okrc@pearl.ocn.ne.jp
37	大 阪 北	www.osaka-north-rc.org/	info@osaka-north-rc.org
38	大阪北梅田	www.kita-umeda2660rc.org/	info@kita-umeda2660rc.org
39	大阪御堂筋	www.midosuji-rc.com	midosuji@guitar.ocn.ne.jp
40	大 阪 南	www15.ocn.ne.jp/~o-south	osaka-south@alpha.ocn.ne.jp
41	大阪中之島	www5.ocn.ne.jp/~onrc/	nakanoshima@ace.odn.ne.jp
42	大阪難波	http://osaka-namba-rc.org	osaka-namba@poem.ocn.ne.jp
43	大阪なにわ	www11.ocn.ne.jp/~naniwarc/	naniwarc@theia.ocn.ne.jp
44	大阪南西	http://nanseirc.com/	nanseirc@poppy.ocn.ne.jp
45	大阪ネクスト	http://osaka-next.com/	osaka.next@gmail.com

No.	クラブ名	ホームページ	E-mail
46	大阪西	www.osaka-westrc.org	osaka-w@cronos.ocn.ne.jp
47	大阪大手前	www.otemae-rotary.com	info@otemae-rotary.com
48	大阪大淀	osaka-oyodo-rc.com/	oyodo-rc@h7.dion.ne.jp
49	大阪リバーサイド	www3.ocn.ne.jp/~osriver/	osrvsdr@lily.ocn.ne.jp
50	大阪咲洲	www18.ocn.ne.jp/~sakishim/	sakishima-rc@extra.ocn.ne.jp
51	大阪西北	www3.ocn.ne.jp/~osknwrc/index.html	osk1nwrc@pearl.ocn.ne.jp
52	大阪西南	http://osaka-southwest-rc.org/	seinanrc@pearl.ocn.ne.jp
53	大阪船場	www4.ocn.ne.jp/~sembarc1008	semba@cocoa.ocn.ne.jp
54	大阪心斎橋	www.shinsaibashirc.jp/	s-rotary@galaxy.ocn.ne.jp
55	大阪城北	www.osaka-shirokita-rc.jp/	shirokita@s5.dion.ne.jp
56	大阪そねざき	www.osakasonezaki-rc.jp	sonezaki@alpha.ocn.ne.jp
57	大阪住之江	www.suminoerotary.org	osaka@suminoerotary.org
58	大阪住吉	www.osaka-sumiyoshi-rc.com	info@osaka-sumiyoshi-rc.com
59	大阪天満橋	www10.plala.or.jp/temma-rc/	temma-rc@lapis.plala.or.jp
60	大阪天王寺	www.tennoji-rc.gr.jp	trcosaka@sage.ocn.ne.jp
61	大阪東南	—	tounanrc@chive.ocn.ne.jp
62	大阪鶴見	www31.ocn.ne.jp/~osaka_tsurumi_rc/	rcosatrm@cf.mbn.or.jp
63	大阪梅田	www4.ocn.ne.jp/~umeda-rc/	umeda-rc@ace.ocn.ne.jp
64	大阪梅田東	www.umeda-e.jp	mail@umeda-e.jp
65	大阪うつぼ	www.osa-utsuborc.com/	office@osa-utsuborc.com
66	大阪淀川	www.osaka-yodogawa-rc.jp	office@osaka-yodogawa-rc.jp
67	大阪ユニバーサルシティ	http://www.osaka-ucrc.org	ucrc@osaka-ucrc.org
68	千里	www15.ocn.ne.jp/~senri-rc/index.html	senri-rc@giga.ocn.ne.jp
69	千里メイプル	www2.ocn.ne.jp/~maplerc/	maplerc@lime.ocn.ne.jp
70	摂津	www.settsu-rc.gr.jp	info@settsu-rc.gr.jp
71	四条畷	www4.ocn.ne.jp/~nawaterc/	shijyonawaterc@gamma.ocn.ne.jp
72	新大阪	www.shin-osakarc.jp	shin-osaka.rc@m6.dion.ne.jp
73	吹田	www.suitarotary.marche.ne.jp	suitarotary@sutv.zaq.ne.jp
74	吹田江坂	www.suitaesaka-rc.net/index.html	esaka-rc@lake.ocn.ne.jp
75	吹田西	www.suita-west-rc.com	src@jasmine.ocn.ne.jp
76	高槻	www.takatsuki-rc.org/	takatsuki.rc@bird.ocn.ne.jp
77	高槻東	takatsukieast.jp	jimu@takatsukieast.jp
78	高槻西	rc-takatuki-west.main.jp/	aef02524@nifty.com
79	豊中	www.rctoyonaka.org	jtrc2660@sun-inet.or.jp
80	豊中南	www.kaigisho.com/tsrc/	tsrc@mail.infomart.or.jp
81	豊中-大阪国際空港	www.ae-osaka.co.jp/kuhkohrc/index.html	t-airport@dance.ocn.ne.jp
82	豊中千里	www.orthosystems.co.jp/toyonakaseni-rc/	toyonaka_senri@ybb.ne.jp
83	八尾	www.yaorc.com/	info@yaorc.com
84	八尾中央	http://eonet.jp/~yaocentrc	yaocentrc@iris.eonet.ne.jp
85	八尾東	http://www.yaohigashi.org/	yaohigashi@japan.email.ne.jp

R I 世界本部ホームページ	www.rotary.org/
ロータリー・ジャパン・ウェブホームページ (日本語によるロータリーの公式ウェブサイト)	
	www.rotary.or.jp/

2010～2011年度 地区大会のご案内

地区大会委員長

今川 憲治 (八尾RC)

地区大会開催にあたって、R Iは目的あるいは役割・責務を定めておりますが、地区のニーズや伝統、習慣に合うよう応用すべきであるとも記されています。

2010～2011年度レイ・クリンギンスミスR I会長は、「地域を育み、大陸をつなぐ」をテーマに選ばれました。

今年の地区大会は例年より少し早く10月29、30日の2日間にわたり大阪国際会議場、リーガロイヤルホテルにて開催いたします。

10月29日の分科会では、会長・幹事部門においては評論家の青山繁晴氏をお迎えし「国際社会における日本の立場」と題して鋭い切り口から解説と考察をお願いしております。

また五大奉仕部門におきましてはアグネスチャンさんを迎え「皆、地球に生きる人」をテーマに講演頂きます。ロータリー財団・米山記念奨学会部門に関しましても倉内菜穂子様、カストロホアン・ホセ氏の両名にロータリアンの育成セミナーに相応しい内容と致しました。

「家族のつどい」では商都大阪の情報文化の発祥地と言われている中之島の地にある国立国際美術館にお

いて、写真芸術の巨匠「マン・レイ」の展示会を学芸員に解説を頂き、芸術の秋をご家族の方々に触れていただこうと思っております。

「R I会長代理歓迎晩餐会」におきましては、ジャズのスイングで少しカジュアルなおもてなしで和やかな雰囲気での会場作りを心掛け、ロータリアンは一つの家族という想いで企画致しております。

10月30日の本会議は地区大会の本質を見失うことなく、粛々と進行するよう心掛け、映像にも思いを込めて作成致しました。多数のご参加をお待ちしております。

本会議後は「東儀秀樹と古澤巖」による東西の楽器に乗せ、素晴らしいエンターテインメントの時間をご用意致しております。最後までご一緒に過ごせますことを楽しみにしております。

古今東西、どの地区大会におきましても楽しい大会にする最大の力は会員皆様の参加意識と存在感であります。

「学びながら楽しむ」を合言葉に委員会一同頑張つて企画、立案してまいりました。どうぞご家族共々お越し下さいますようお願いしております。

2010～2011年度 地区大会 2010年10月29日(金)・30日(土)

大阪国際会議場・リーガロイヤルホテル大阪



会長幹事会 青山繁晴氏

1日目
分科会



分科会 I アグネスチャン氏



2日目
本会議
記念イベント

全員登録 5千円
ご家族・ご友人・各クラブ事務局様 無料

R I会長代理晩餐会 お一人 1万5千円

東儀秀樹・古澤 巖
雅楽とヴァイオリンの至極のハーモニー



多数のご参加お待ちしております

国際ロータリー第2660地区 ガバナー・ノミニー指名宣言

第2660地区 ガバナー・ノミニー候補者の指名

地区ガバナー指名委員会の規約に基づき、当指名委員会において慎重審議の結果、大阪中之島ロータリークラブ会員、高島凱夫氏を2012～2013年度国際ロータリー第2660地区ガバナー候補者として指名することに決定致しました。

ガバナー月信9月号において、地区内各クラブに対し、国際ロータリー細則第13条及び当地区ガバナー指名委員会規約により候補者の推薦をお願いしましたが、期日までに規約に該当するお申し出がありませんでしたので、国際ロータリー細則第13条に基づき、当指名委員会により選出された同氏を上記年度のガバナー候補者として指名致します。

2010年6月8日

2009～2010年度
地区ガバナー指名委員会

第2660地区 ガバナー・ノミニー指名宣言

国際ロータリー細則第13条の規定に基づき、大阪中之島ロータリークラブ会員、高島凱夫氏を2012～2013年度国際ロータリー第2660地区ガバナー候補者として宣言します。

2010年6月15日

国際ロータリー第2660地区
2009～2010年度
ガバナー 大谷 透

高島 凱夫 (たかしま よしお) 氏の略歴



- 生年月日 1944年9月20日
- 勤務先 京橋耳鼻咽喉科
- 所在地 〒534-0023
大阪市都島区都島南通2丁目4番17号

●経歴

- 1969年 関西医科大学卒業
- 1973年 関西医科大学大学院医学研究科外科系(耳鼻咽喉科)修了
医学博士
- 1973年 関西医科大学附属香里病院 耳鼻咽喉科部長代理
- 1977年 関西医科大学耳鼻咽喉科学講座 講師
- 1978年 旧西ドイツ ハンブルク市立ハイデルベルク病院 助手併任
- 1981年 旧郵政省 大阪北通信病院 耳鼻咽喉科部長
- 1989年 京橋耳鼻咽喉科開設 現在に至る

●職業分類 耳鼻咽喉科医

●ロータリー歴

- 1992年10月29日 大阪中之島RC入会(チャーターメンバー)
会員選考委員長
- 1994～1995年度 会員選考委員長
- 1995～1996年度 SAA
- 1998～1999年度 副会長、クラブ奉仕委員長
- 2000～2001年度 会長
- 2003～2004年度 R規定・情報委員長
- 2004～2005年度 国際奉仕委員長
- 2005～2006年度 国際奉仕委員長
- 2006～2007年度 会長
- 2008～2009年度 社会奉仕委員長
- 2009～2010年度 IM実行委員長、R規定・情報委員長

●RI第2660地区

- 1995～1996年度 地区親睦委員会委員
- 1996～1998年度 地区広報委員会委員
- 1998～1999年度 地区広報委員会副委員長
- 1999～2000年度 地区広報委員会委員
- 2009～2010年度 ガバナー補佐エレクト
- 2010～2011年度 ガバナー補佐

●その他

- マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
- 米山功労者(マルチプル)

敬 弔 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

山田 昭夫 会員 (大阪堂島R C)
2010年5月1日逝去 (享年78歳)

川本 晴男 会員 (大阪城北R C)
2010年5月9日逝去 (享年76歳)
会長、副会長、理事
プログラム委員長、国際理事、米山委員長
米山功労者 (マルチプル)
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

西野 公庸 会員 (大阪堂島R C)
2010年6月6日逝去 (享年86歳)
会長、米山奨学会委員長
米山功労者 (メジャードナー)
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
大口寄付者

〈お知らせ〉

● 3クラブ合同例会開催のお知らせ

合同クラブ：大阪阿倍野R C
大阪住之江R C
大阪住吉R C

例会曜日：水曜日
合同例会初日：2010年7月7日(水)
(以後すべて合同例会)

例会場：天王寺都ホテル5階 信貴の間
〒545-0053
大阪市阿倍野区松崎町1-2-8
時 間：通常例会は 12:30～13:30
7月7日のみ19:00～21:00

※なお2010年7月以降は大阪住之江(月曜日)、大阪住吉(金曜日)の例会はございません。

●大阪東淀ちややまちR C Eメールアドレス・HPアドレス変更(7月1日より)

E-mail : h-yodo-chaya-m.rc@shore.ocn.ne.jp
H P : <http://www1.ocn.ne.jp/~hycm-rc/> (電話・FAXは変更ありません)

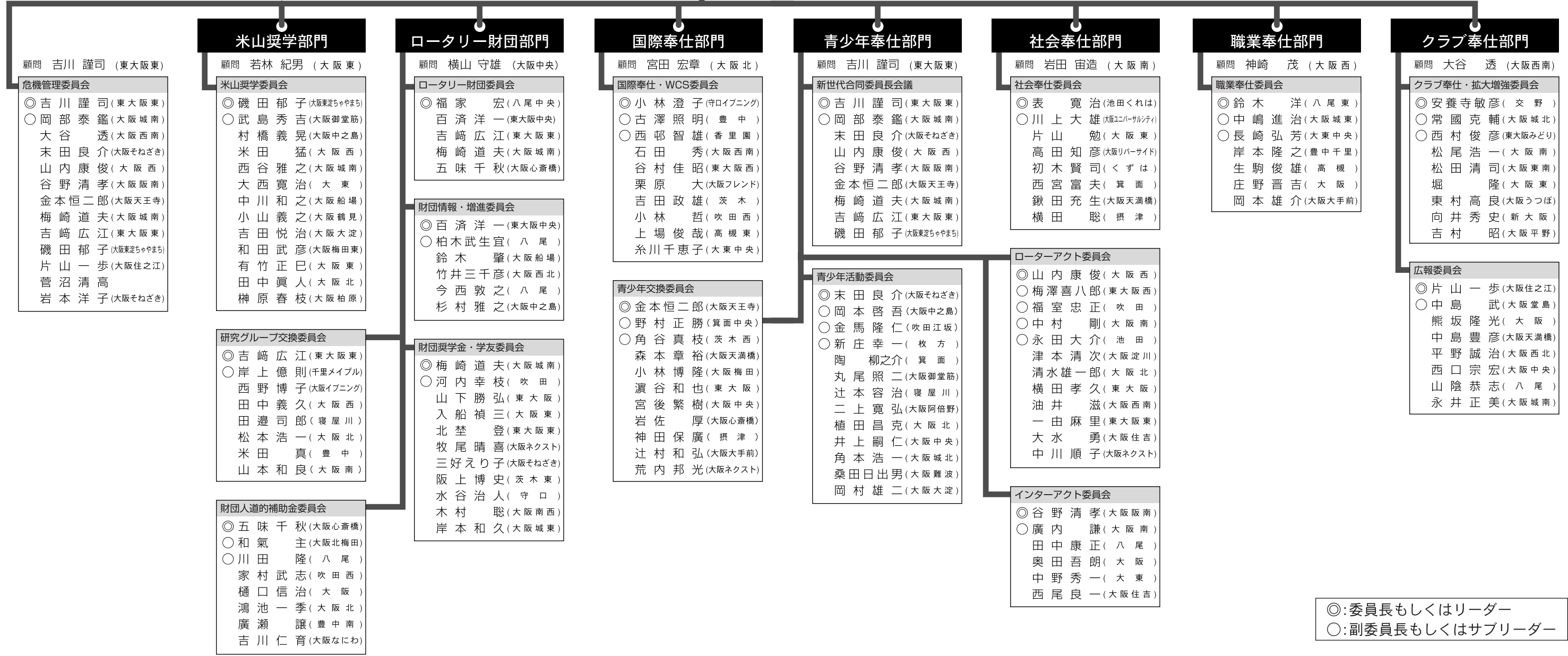
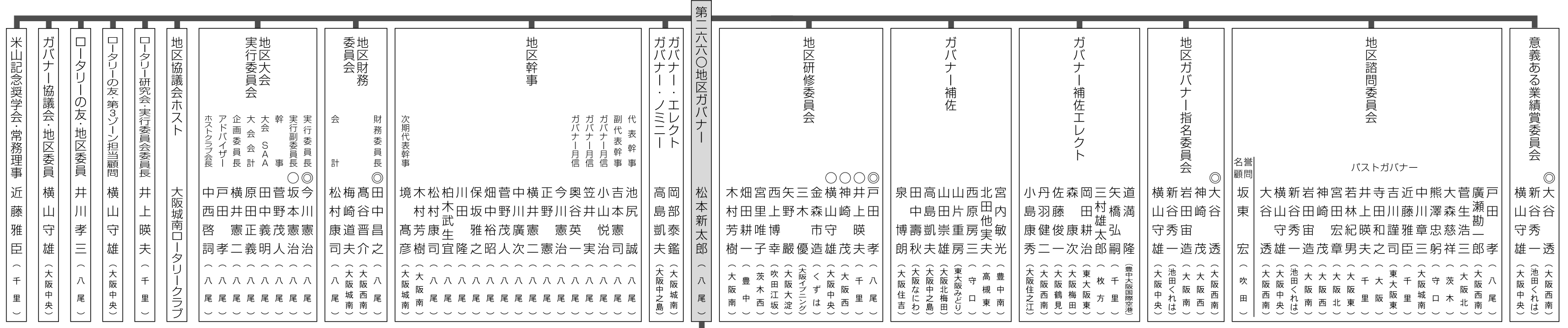
●吹田江坂R C HPアドレス変更

H P : <http://www.suitaesaka-rc.net/index.html>

2010～2011年度 地区幹事担当一覧表

会 員 名	役職・担当
池尻 誠 (八尾)	代表幹事
吉本 憲司 (八尾)	副代表幹事
小山 悦治 (八尾)	ガバナー月信
笠井 実 (八尾)	ガバナー月信
奥谷 英一 (八尾)	ガバナー月信
今川 憲治 (八尾)	
正野 憲 (八尾)	
横井 憲二 (八尾)	
中川 廣次 (八尾)	
菅野 茂人 (八尾)	
畑中 裕昭 (八尾)	
保坂 雅之 (八尾)	
川田 隆 (八尾)	
柏木 武生宜 (八尾)	
松村 康司 (八尾)	
木村 芳樹 (大阪南)	
境 高彦 (大阪城南)	次期代表幹事

国際ロータリー 会長理事 Ray Klingensmith
 長理事 黒田正宏
 事務 近藤雅臣



◎:委員長もしくはリーダー
 ○:副委員長もしくはサブリーダー

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50 周年記念事業の一つとして 1970 年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2 万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の

出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページで PDF もご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

新世代のためのプログラム

「最近の若者の心の叫び」 杉田 峰康 2010 7 P

(第 38 回ロータリー研究会報告書)

「青少年交換・ローテックスおよび IAC の現状と問題点」 関場 慶博 2010 4 P

(第 38 回ロータリー研究会報告書)

「日本の RAC と RYLA を含めての青少年奉仕活動」 海沼 美智子 2010 6 P

(第 38 回ロータリー研究会報告書)

「青少年の健全な育成と指導に何が必要か」 梨田 昌孝 2009 4 P

(D.2660 地区大会記録)

「ライラに参加して」 D.2840 [2009] 3 P

(第 8 回ライラ研修報告書)

「RYLA の皆さんに期待するロータリアンの気持ち」 深川 純一 D.2670・D.2680 [2009] 5 P

(第 31 回青少年指導者育成セミナー報告書)

「人生—いかによりよく生きるか」 阿部 志郎 D.2670・D.2680 [2009] 12 P

(第 31 回青少年指導者育成セミナー報告書)

「『少年少女ニコニコキャンプ』開催要領」 D.2660 [2009] 2 P

(2008 少年少女ニコニコキャンプ報告書)

[上記申込先：ロータリー文庫 (コピー/PDF)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館 = 午前10時～午後5時 休館 = 土・日・祝祭日

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-Mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務局必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。
- 今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布いたします。また、ご希望の会員には有料(年間2,200円・1冊200円)配布とさせていただきますので、出来るだけ多くの方のお申し込みをお待ちしています。

月信編集委員会

- ・ガバナー 松本新太郎
- ・地区代表幹事 池尻 誠
- ・地区副代表幹事 吉本 憲司
- ・担当地区幹事 小山 悦治
- ・担当地区幹事 笠井 実
- ・担当地区幹事 奥谷 英一
- ・事務局長 今井 貢二

2010～2011年度 国際ロータリー第2660地区 【ガバナー事務所ご案内】

●事務局スタッフ

ガバナー	松本新太郎
地区代表幹事	池尻 誠
地区副代表幹事	吉本 憲司
事務局長	今井 貢二
事務局員	栗正 久美
	春名 志保
	大西 麻容

●休日

土曜、日曜、祝日
夏期
2010年8月10日(火)～
2010年8月15日(日)
年末年始
2010年12月29日(水)～
2011年1月4日(火)

●所在地・電話・ファックス

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館 6階
TEL: 06-6264-2660
FAX: 06-6264-2661

ガバナー事務所に会議室を併設いたしております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせ下さい。

●ホームページアドレス

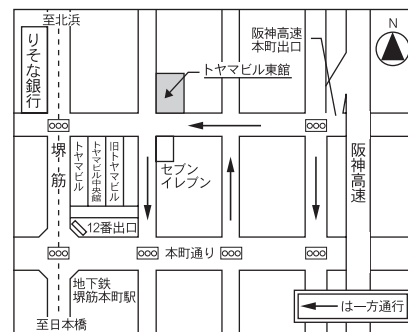
<http://www.ri2660.gr.jp/>

●メールアドレス

gov@ri2660.gr.jp

●勤務時間

9:30～17:00



※地下鉄堺筋線 堺筋本町駅 12番出口すぐ

国際ロータリー第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6F
電話 06-6264-2660 Fax 06-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

6F Toyama Bldg, East 1-5-11 Azuchi-machi Chuo-ku OSAKA 541-0052 JAPAN
Phone. +81-6-6264-2660 Fax. +81-6-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2010-2011

8 vol.2



地域を育み、大陸をつなぐ

国際ロータリー第2660地区

2010～11年度ガバナー 松本 新太郎



7月からロータリーの新年度が始まり、翌8月は「会員増強・拡大月間」にあたっています。私観を申し上げますれば「会員増強」はロータリークラブにとって、年間を通じての最重要事項であって、通年の活動を続けていくべきと思っております。ただ8月は新年度のスタートダッシュの意味合いからも、どうぞ特にご尽力をいただきますよう、お願い申し上げます。

さて、今年2月に開催された当地区2009～2010年度地区大会の中で、RI会長代理のピチャイ・ラタクル氏は、日本での会員数減少に多大の懸念を表明されました。ここ数年間で5000人の会員が減少し、これは実にタイ一国の会員総数に匹敵するそうです。その原因については様々な意見がありますが、現実には会員数減少は深刻さを増すばかりです。

そこで今年度、皆様にご提案申し上げたいのですが、高齢化による自然減などをカバーした上で、各クラブ1

名以上の新会員を受け入れていただきたいのです。第2660地区の85クラブがこの目標を達成し、さらに日本全国、世界各国でも同様の実績を挙げることができれば、まさに「地域を育み、大陸をつなぐ」高邁な精神にもつながることでしょう。

新会員勧誘のためには、ロータリークラブがいかに楽しい場所であり、かつ社会的にも有意義な組織で取り組みがいのある活動を行っているかを、皆様お一人おひとりが今一度見つめ直していただいた上で、十分に説明を尽くして理解してもらうことが求められます。

その一助になればと、5月には地区のクラブ奉仕・拡大増強委員会が中心となって「クラブ奉仕・会員増強セミナー」を開催していただきました。ぜひお役立ていただき、各クラブに新しい仲間を迎えていただくことを願ってやみません。

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

CONTENTS

ガバナー メッセージ 会員増強・拡大月間にあたって ガバナー 松本 新太郎	1	新しい表彰プログラム 「クラブ・ビルダー賞」 ガバナー 松本 新太郎	8
ロータリーにルネッサンスを… 真の会員増強を目指して… クラブ奉仕・拡大増強委員会 委員長 安養寺 敏彦	2	各クラブ創立日・認証日一覧表	9-10
モントリオール国際ロータリー年次大会 鈴木 洋	3-4	文庫通信	11
2010～2011年度 第2660地区 ガバナー補佐便り	5-6	敬弔／お知らせ	12
青少年交換プログラム 2011～2012年度 派遣学生募集要項 地区青少年交換委員会 委員長 金本 恒二郎	7	ガバナー事務所案内	

ロータリーにルネッサンスを… 真の会員増強を目指して…

クラブ奉仕・拡大増強委員会

委員長 安養寺 敏彦
(交野RC)



第2660地区、松本新太郎ガバナーの設定された目標は85名以上の純増であります。地区のクラブ数は85クラブ、各クラブ1名の純増で達成できます。

ロータリーの会員数は14年間連続で減少しており危機的状況にあることを再認識していただき、各クラブの会長、拡大委員長が熱意を込めて熱く語り続けていただければ達成できると信じます。

魅力あるロータリー・入会したいロータリーに再生すべく8月の会員増強月間は勿論、事あるごとに熱く語り続けていただけるように活動をお願いいたします。

各クラブの会員増強に対する意識改革を促すために、次年度に入る前の2010年5月29日(土)にYMCA会館において、2010-11年度のための会員増強セミナーを「ロータリーにルネッサンスを・・・真の会員増強を目指して・・・」のテーマで第2710地区パストガバナーの西村栄時氏をお招きして講演いただき勉強しました。

1. 目標を立てる。
2. 会長を筆頭に増強チームを立ち上げる。
3. 新会員候補者の情報を集める。
4. 新会員候補者を例会や懇親会に招待する。
5. その後、熱意を込めて入会のフォローをする。

会員数を整えるための入会促進でなく、男女を問わずロータリーに相応しい人、大成した人だけでなく、将来成長が期待される人に、その人にとって、ロータリーにとって必要であると思われる人にアプローチを……。

入会式の一例

- 入会式はスタンディングオベーションで熱意を込めて歓迎の拍手をする。
- 「入会にあたって」(参考)を読み上げ新入会員に感動をあたえるセレモニーをする。

会長の熱い思いと熱意で第2660地区の拡大目標85名以上は必ず達成できます。

会員拡大をされたスポンサーの方には松本新太郎ガバナーより敬意を表し表彰バッジを授与させていただきます。

八尾東RCからの参加者：

池本繁喜(PP) 森下慶治(PP) 桑田タア子(P)
石川義一(幹事エレクト) 鈴木洋(AG)

2010年6月20日～23日に「国際色あふれる体験」と銘打って開催された、カナダ・モンリオール(仏語圏)におけるRI年次大会に参加しました。私たちは八尾東RCの女性1名、男性4名の小グループでしたが、世界のロータリアンと共に「joie de vivre(生きる喜び)」を体感しました。来年は米国ニューオーリンズで開催されますが、第2660地区は近藤RI理事輩出地区として多数の参加を期待されています。大会参加経験者は、進化するロータリーを、初めての方はロータリーの素晴らしさを是非体験して下さい。

1. 国際大会

①日本人朝食会(6月20日(日)6時30分～8時)

日本のロータリアン約700名が早朝にもかかわらず集う、まるで小さな地区大会のような催しでした。青森県(八戸RC)出身の黒田RI理事の司会により、ジョン・ケニー会長、サブーRIPP、K・R・ラビンドランRI理事(スリランカ)、李東建RIPP、エド・フタ事務総長(ハワイ)、近藤RI理事エレクト(第2660地区)等々、そうそうたる方々のお話があり、あつという間の90分でしたが、内容は豊かで学ぶべきことの多い朝食会でした。当地区の大谷G、松本GE、横山PGをはじめ多くのPG、G、GEの皆様が参加されていました。

②本会議(6月20日(日)18時30分～21時)

私たちは第二セッション(夜の部)に参加しましたが、第一セッションと合わせて約18,000人が参加し、米国、カナダに次いで参加者第三番の日本からは約3,000人が集まりました。大阪大会の四万人参加がいかに偉大だったかを改めて感じました。会場は市内中心部にある「ベルセンター」で、私たちの宿泊ホテルから徒歩10分の便利な場所でした。ロバートS・スコット大会委員長の歓迎挨拶に始まり、国旗入場そしてジョン・ケニーRI会長の基調講演のあと、5人組の歌手グループ「ケルティックサンダー」による余興を楽しみました。多くの分

科会でいろんな議論をする関係上、本会議はエンターテイメント要素が強くなるのはやむを得ないのかな?と感じました。

③友愛の家

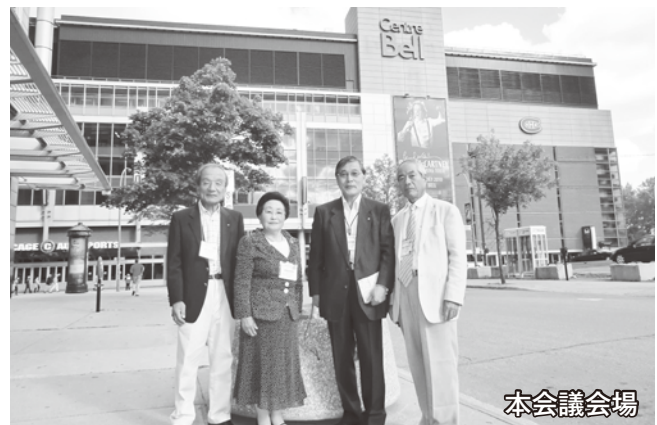
社交の場としての「友愛の家」では約170のブースがあり、日本からはお隣の第2650地区(京都、滋賀等)と東北地方の地区との2地区のブースがありました。新しい「Eクラブ」が出展していたことはロータリーの進化を感じさせられました。

2. モンリオール紹介

東西約25km、南北30kmの島で、1642年にセントローレンス川をさかのぼってきたフランス人が「ビルマリー」という町を造りました。以後港湾都市として発展し、フランス語を母語とするフレンチカナディアンが8割をしめる人口300万人の都市です。

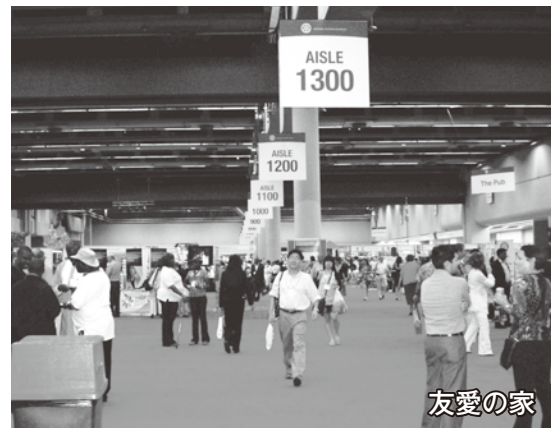
3. 大会プラス

モンリオールでは市内観光とセントローレンス川90分クルーズを楽しみ、ナイアガラでは丸一日カナダ、アメリカそして船上の三方から滝を堪能しました。池本会員の娘さん家族が住むバンフでは、カナディアンロッキーの「森と湖と氷河」を満喫しました。ロータリーの世界大会は参加して学び、世界の仲間と友情を深め、そして旅行を楽しむことだと思います。お隣第2640地区の「堺フェニックスRC」のメンバーからは次年度、日本で2人目の女性がバナーが自クラブから出ることを聞かされ驚きました。





日本人朝食会



友愛の家



本会議



パンフの山々

2010~2011年度 第2660地区 ガバナー補佐便り



IM第1組ガバナー補佐 宮内 敏光 (豊中南RC)

松本新太郎ガバナーを補佐し、ガバナーの方針であります「もう一度ロータリーを考えて見ませんか」の精神にもとづいて、ロータリーの原点に思いを寄せ、微力ながら一年努力してまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



IM第2組ガバナー補佐 北田 他実夫 (高槻東RC)

昨年度、大森ガバナー補佐と共にエレクトとして各クラブを訪問しました。各クラブにはそれぞれの伝統と歴史があり、各々の実情にあわせ、特色を発揮され実績を積み重ねております。

ロータリーの主体は各クラブにあります。更に良き活動をする為に松本ガバナーのテーマである「ロータリークラブをもう一度考えてみませんか」と提唱する7つの事項の実現に向け、ガバナーと地区とクラブとの架け橋になれるよう、微力ながら努力するつもりでおります。皆様のご指導とご協力をよろしくお願い致します。



IM第3組ガバナー補佐 西原 房三 (守口RC)

前任の西垣ガバナー補佐と共に第3組11クラブの新旧会長、幹事役員の皆様と懇談し、親近感と共に得た友情を活かし、私の責任を果たして参る所存です。

RIのテーマを尊重し、松本ガバナーの「ロータリークラブについてもう一度考えて見ませんか」という時節を得た方針のもと、各クラブの奉仕活動や問題点を話し合い、ガバナーと地区との連携を深め、より良いロータリー活動が出来るよう寄与したいと考えています。皆様のご協力よろしくお願い致します。



IM第4組ガバナー補佐 山片 重房 (東大阪みどりRC)

IMならびに地区の方針については、全クラブを訪問される松本新太郎ガバナーが直接お話しになりますから、補佐の役割は各クラブの運営と活動状況を正確に汲み取り、その取り組みについてガバナーに報告するという基本活動に尽きます。

松本ガバナーは、ロータリーの原点を見直すとの姿勢を示しておられますので、クラブ訪問に際しては、クラブの自主自立と地区内での役割を含めたロータリーの原点について、共通の認識を深めることができるよう努めたいと願っています。



IM第5組ガバナー補佐 山田 崇雄 (大阪北梅田RC)

ガバナー補佐の役割は地区組内のクラブに訪問し、例会の把握とクラブの活動計画・現況等をRIのテーマ並びに地区ガバナーの方針に照らし合わせて拝聴し、クラブ運営上の問題点を一緒に考え、ガバナー公式訪問等のガバナーアドバイスのお役に立つことと思っています。

特に今期、松本新太郎ガバナーの方針「ロータリークラブについて、もう一度考えてみませんか」は、マンネリ化が叫ばれるロータリーの現状にあって、現実を直視し考察を深める様、私達に投げかけられた貴重な一石であると思います。ロータリーライフが会員にとってより素晴らしいものである為に、クラブアッセンブリーでの議論のベースにして行きたいと思っています。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



IM第6組ガバナー補佐 高島 凱夫 (大阪中之島RC)

今年度、ガバナー補佐という重責を承ることになりました。ロータリークラブが発足し、時代が経過しようとも、根本精神は不変であると思います。松本ガバナーの方針である「ロータリークラブについて もう一度考えてみませんか」を噛みしめ、様々な状況で振り返ってみることが肝要かと考えます。重里直前ガバナー補佐に懇切なご指導を賜りましたが、元来浅学なうえ、不勉強なため如何なる1年になるか甚だ不安です。皆様方のご指導、お力添えをお願い致します。



IM第7組ガバナー補佐 田中 壽秋 (大阪なにわRC)

2010～2011年度IM第7組のガバナー補佐 (AG) の役目を承りましたが、この1年間AGの役目を果たせるのか心配しているところです。2009～2010年度の青木AGからご指導をいただきながら、一緒に第7組の各クラブ訪問をさせていただき、また地区のさまざまな会合に出席して、AGの役目の大きさに気を引き締めているところです。

2010～2011年度の松本ガバナーは、「ロータリークラブについて、もう一度考えてみませんか」というテーマを掲げ、7項目の提案をしています。この松本ガバナーの7項目の実践に微力ながら尽くして、職務を達成したいと思います。皆様のご指導、ご協力をお願いいたします。



IM第8組ガバナー補佐 泉 博朗 (大阪住吉RC)

松本ガバナーの方針は「ロータリーの原点を見つめ直しましょう」ということですが、それは「ロータリーを楽しむ」ということにつながります。本年度は会員の皆様がロータリーを楽しむことを一緒に考えていきたいと思っています。前任の藤田ガバナー補佐様にはいろいろご指導をいただきましたがまだまだ未熟でございます。

会員減少の折でございます。今こそIM第8組の各クラブが協力し合うことが必要であると感じております。各クラブの地区の橋渡し役としてご利用いただければと思っておりますので、よろしく願いいたします。

青少年交換プログラム

2011～2012年度 派遣学生募集要項

地区青少年交換委員会

委員長 **金本 恒二郎**
(大阪天王寺RC)

青少年交換プログラムは、1920年代にヨーロッパでロータリアンの子供同士を交換し、互いにホームステイさせ合っ
て我が子のように育ててみようという試みに端を発していま
す。子供達が、異なる国で異なる文化や人々と生活するこ
とを通じて国際理解を深め合える良い機会となっていました。
こうした青少年の交換を通じて、国際ロータリーの究
極の目的であるところの世界の平和と繁栄を達成しよう
という理念に基づき、1972年、青少年交換プログラムはRIの
定める正式プログラムとなりました。近年、このプログラム
により、年間約8000名の若き親善大使達が世界中で交換
されています。

このプログラムは、短期間の海外研修や海外生活体験と
いった表面的な交流とは異なり、約1年間を通じて派遣先
の3～4軒の家庭(ホストファミリー)にホームステイしなが
ら、各ホストファミリーの家族の一員として生活するととも
に、現地の高校にも通って数多くの友人や人々との触れ合
いを体験するというものです(なお、夏休み限定の短期プロ
グラムもあります)。

高校生という若い多感な時期に、旺盛な吸収力を似て
異文化に接することは、互いにの立場や国・地域の違いを
認め尊重し合って国際理解と平和を推進するうえで有意義
な体験、絶好の機会になります。また、自分自身についても
多くのことを発見することになります。このプログラムは、参
加する青少年のみならず、受入ホストクラブの(従って派遣
スポンサークラブの)ロータリアンはもちろん、受入先の学
校や地域の人々との交流を通じ、受入先の各関係者に対し
ても国際理解を深めるという大きな恩恵をもたらすことにな
ります。

異なる言語の国や地域に単身で派遣された当初、現地
の人々と十分なコミュニケーションを交わすこともできず、
祖国の家族や友人から遠く離れて生活をする訳ですから、
辛く寂しい思いをすることになるでしょう。しかし、言葉は2
～3ヵ月でかなり理解できるようになり、1年後には、多くの
友人を持つ国際感覚を身につけた頼もしい若人として成長
して日本に戻ってきます。

青少年交換プログラムは、ロータリアンの子弟が参加
できる、唯一のRI正式プログラムです。ロータリアン自身
のお子様、お孫さん、親戚の子供等で派遣時に高校生であ
れば誰でも候補生となれます。また、地域の高校に依頼し
派遣生徒を推薦してもらうこともできます。

各クラブの関係者各位におかれましても、こうした青少
年交換プログラムの趣旨・目的をご理解下さり、ふるって
ご参加されるよう、そして、次代を担う青少年の育成にご協
力下さるようお願い申し上げます。

1. 主な交換相手国

①アメリカ ②カナダ ③フランス ④台湾 ⑤ベル

ギー ⑥スイス ⑦フィンランド ⑧スウェーデン ⑨チェ
コ ⑩ハンガリー ⑪ポーランド

2. 交換期間

- 長期交換 2011年8月出国～2012年6・7月帰国
 - 短期交換 2011年7・8月出国～同年8・9月帰国
- いずれも採用及び派遣先の決定は青少年交換委員にお
いて行います。

3. 交換内容

各々の派遣先のご家庭でホームステイをし、現地の高等
学校に通学します。現地の言葉を学び、人々と交流し、そ
の文化や習慣、歴史を学ぶと共に、日本の文化や伝統、国
情を伝え、青少年大使としての国際理解と親善に務めます。

4. 費用

プログラム参加費(¥100,000)、派遣先までの往復旅
費、保険料、現地での諸雑費は本人(保護者)の負担とし
ます。現地での生活費、教育費(高校)の全額及び少々の
小遣いは、ホストロータリークラブが負担します。

5. 応募資格

- (1)出発時、16～18歳の高校生であること。
- (2)健康で礼儀正しく、水準以上の学力を持ち、外国語の習
得に意欲的な学生であること。学業成績は、学年で1/3
以内の者。(在学高校により差があるので、相談に応じ
ます)
- (3)学校長の推薦と、1年間の派遣先での修学許可が得ら
れる学生であること。(ただし、短期交換は除きます。派
遣中における単位取得の可否、単位数等については、通
学中の学校にご確認下さい)
- (4)ロータリークラブの推薦が得られる学生であること。

6. 応募期限

- 長期交換 2010年9月30日(木)必着
- 短期交換 2011年4月頃まで随時

7. 応募方法

応募者は、スポンサークラブを通じて地区青少年交換委
員会またはガバナー事務所にお申し込みください。

なお、申込書はガバナー事務所までご請求ください。

8. 来日学生の受入

原則として、派遣学生を送り出したロータリークラブは、
交換相手国より来日学生を受け入れなければなりません。

<お問い合わせ>

*国際ロータリー第2660地区 ガバナー事務所

担当: 今井

〒541-0052

大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6F

Tel : 06-6264-2660 Fax : 06-6264-2661

新しい表彰プログラム 「クラブ・ビルダー賞」

国際ロータリー 第2660地区

ガバナー 松本 新太郎

新しい表彰プログラム「クラブ・ビルダー賞」についてお知らせいたします。

このプログラムへの参加に関する具体的な指針については、推薦書式（ウェブサイト <http://www.rotary.org/ja/members/generalinformation/awards/pages/ridefault.aspx>に掲載されています）をご覧ください。

クラブ・ビルダー賞 概要

クラブ・ビルダー賞は、ロータリー・クラブをサポートし、強化するにあたって大きな影響をもたらしたロータリアンを称えるものです。毎年、地区ガバナーが、1地区につき1名の候補者を推薦することができます。

候補者は以下の条件を満たしていなければなりません。

- 会員歴10年以上で、瑕疵なき正会員であること
- クラブ会長を務めた経験があること
- 推薦される直前の過去3年間に、少なくとも会員30名のロータリー・クラブの会員であること

以下のロータリアンは本賞の受賞資格がありません。

- 現クラブ会長
- 現職、次期および元地区ガバナー
- 現職、次期および元RI理事

候補者は以下を達成していなければなりません。

- 少なくとも5名の会員を個人的に勧誘して入会させること。また、本賞の候補者として推薦される時点において、入会させたこれらの会員すべてが正会員としてとどまっていること
- 所属クラブでロータリーの研修に参加したことがあること
- クラブレベルで少なくとも1つの意義ある職業奉仕プロジェクトに参加したことがあること
- 推薦される直前の過去3年間に、少なくとも2回の地区会合に出席していること

資格を有する候補者は、所属クラブ（3年に満たない新しいクラブの会員は、過去に所属していたクラブ）の3名の元クラブ会長から推薦を受けなければなりません。地区ガバナーは、3名の元ガバナーから成る選考委員会を結成し、地区の候補者を選出します。地区ガバナーは1名の候補者を推薦することができ、推薦書式を **11月1日** までに国際ロータリーへ提出しなければなりません。

各クラブ創立日・認証日一覧表

クラブ名	創立年月日	認証日	周年	入会金	年会費	ビザ-フィー	備考
大 東	1967年12月26日	1968年 1月24日		¥150,000	¥240,000	¥3,000	
大東中央	1996年 3月14日	1996年 4月16日	15周年	¥100,000	¥240,000	¥3,000	
東大阪	1957年 6月 4日	1957年 6月17日		¥120,000	¥320,000	¥4,500	
東大阪中央	1972年2月20日	1972年 3月 3日		¥100,000	¥285,000	¥4,500	
東大阪東	1965年 3月 4日	1965年 4月28日		¥100,000	¥300,000	¥3,000	
東大阪みどり	1998年9月24日	1998年10月28日		¥100,000	¥320,000	¥3,000	
東大阪西	1985年 3月18日	1985年 3月29日		¥100,000	¥300,000	¥4,000	
枚 方	1961年 2月28日	1961年 4月 3日	50周年	¥200,000	¥250,000	¥3,000	
茨 木	1959年12月23日	1960年 2月 9日		¥100,000	¥260,000	¥3,000	
茨木東	1974年 2月14日	1974年 3月 8日		¥100,000	¥260,000	¥3,000	
茨木西	1993年12月8日	1993年12月21日		¥150,000	¥290,000	¥4,000	第3週は¥2,000
池 田	1954年 4月24日	1954年 5月 4日		¥150,000	¥300,000	¥3,500	
池田くれは	1984年 4月16日	1984年 4月24日		¥100,000	¥260,000	¥3,500	
門 真	1969年 4月17日	1969年 6月13日		¥100,000	¥300,000	¥3,500	第2・4週は¥2,500
交 野	1984年 6月25日	1984年 6月28日		¥150,000	¥220,000	¥3,000	
香里園	1995年 4月29日	1995年 5月31日		¥100,000	¥250,000	¥3,000	
くずは	1974年 5月30日	1974年6月25日		¥200,000	¥280,000	¥3,000	
箕 面	1969年 4月17日	1969年 5月 9日		¥150,000	¥150,000	¥3,500	
箕面中央	1980年 6月13日	1980年 6月13日		¥100,000	¥336,000	¥3,800	
守 口	1961年 3月20日	1961年 4月24日	50周年	¥100,000	¥280,000	¥3,000	
守口イブニング	2000年11月2日	2000年11月22日	10周年	¥100,000	¥300,000	¥3,000	
寝屋川	1969年 4月18日	1969年 4月25日		¥100,000	¥290,000	¥3,000	
大 阪	1922年11月17日	1923年 2月10日		¥200,000	¥320,000	¥4,700	
大阪阿倍野	1979年 5月 9日	1979年 6月 6日		¥150,000	¥300,000	¥4,500	第2週は¥2,800
大阪中央	1984年 1月26日	1984年 2月 6日		¥250,000	¥300,000	¥4,000	第2・4週は¥3,000
大阪堂島	1987年 6月15日	1987年 6月29日		¥200,000	¥300,000	¥4,000	
大阪フレンド	1999年 6月 3日	1999年 6月23日		¥50,000	¥360,000	¥4,500	月1回軽食¥3,500 隔月1回¥4,800
大阪阪南	1969年 6月10日	1969年 6月21日		¥100,000	¥320,000	¥4,500	
大阪東	1957年 6月 6日	1957年 6月17日		¥100,000	¥280,000	¥4,700	
大阪東淀ちややまち	1970年 6月26日	2009年 5月18日		¥200,000	¥300,000	¥4,000	
大阪平野	1975年 2月20日	1975年 3月29日		¥200,000	¥340,000	¥4,500	最終週は¥2,800
大阪本町	1991年 3月26日	1991年 6月24日	20周年	¥50,000	¥220,000	¥4,800	月1回¥3,800
大阪イブニング	1986年 1月23日	1986年 2月17日		¥150,000	¥364,000	¥4,000	第3週は¥3,000
大阪城南	1969年 5月30日	1969年 6月13日		¥100,000	¥150,000	¥4,500	
大阪城東	1973年 4月27日	1973年 6月 7日		¥150,000	¥340,000	¥4,600	
大阪柏原	1970年 6月 1日	1970年 6月17日		¥100,000	¥280,000	¥3,000	
大阪北	1952年12月16日	1953年 1月16日		¥150,000	¥300,000	¥4,200	
大阪北梅田	1992年 1月20日	1992年 2月17日		¥100,000	¥150,000	¥4,400	最終週は軽食¥3,000
大阪御堂筋	1993年 1月28日	1993年 3月 9日		¥150,000	¥300,000	¥4,800	第1例会日は¥3,800
大阪南	1952年12月16日	1953年 1月16日		¥150,000	¥300,000	¥4,500	
大阪中之島	1992年10月29日	1992年11月20日		¥100,000	¥300,000	¥4,000	
大阪難波	1976年 8月 5日	1976年 8月27日		¥100,000	¥330,000	¥4,500	最終例会日は¥2,700
大阪なにわ	1984年 2月23日	1984年 3月 5日		¥150,000	¥360,000	¥4,800	

クラブ名	創立年月日	認証日	周年	入会金	年会費	ビザ-フィー	備考
大阪南西	1974年 6月10日	1974年 6月17日		¥100,000	¥310,000	¥4,500	最終例会日は¥2,700
大阪ネクスト	2007年10月13日	2007年11月 7日		¥10,000	¥60,000	¥1,000	食食用意なし
大阪西	1957年 6月 4日	1957年 6月17日		¥150,000	¥280,000	¥4,700	
大阪大手前	1983年 3月18日	1983年 4月 6日		¥200,000	¥300,000	¥4,700	
大阪大淀	1973年 2月22日	1973年 3月20日		¥200,000	¥320,000	¥4,800	月1回は¥3,500
大阪リバーサイド	1980年 4月10日	1980年 4月29日		¥200,000	¥300,000	¥3,000	最終週は¥2,000
大阪咲洲	1995年10月11日	1995年10月31日		¥200,000	¥300,000	¥4,000	
大阪西北	1969年 5月27日	1969年 6月13日		¥200,000	¥270,000	¥4,700	月1回は¥3,300
大阪西南	1969年 5月21日	1969年 6月 9日		¥150,000	¥280,000	¥4,700	
大阪船場	1988年 5月23日	1988年 6月 3日		¥150,000	¥320,000	¥4,800	
大阪心斎橋	1970年11月10日	1970年11月19日	40周年	¥150,000	¥300,000	¥4,300	月末は軽食¥3,300
大阪城北	1977年 6月29日	1978年 2月20日		¥200,000	¥300,000	¥4,000	
大阪そねざき	1994年 3月 2日	1994年 3月16日		¥250,000	¥320,000	¥4,700	月1回は¥3,300
大阪住之江	1975年 3月24日	1975年 4月27日		¥100,000	¥340,000	¥4,500	最終例会日は¥2,800
大阪住吉	1961年 2月14日	1961年 4月 7日	50周年	¥150,000	¥320,000	¥4,500	
大阪天満橋	1967年11月 4日	1967年12月21日		¥200,000	¥300,000	¥4,700	
大阪天王寺	1988年 9月10日	1988年 9月26日		¥50,000	¥400,000	¥4,500	第1・3週は¥2,800
大阪東南	1985年11月26日	1985年12月10日	25周年	¥150,000	¥120,000	¥4,600	
大阪鶴見	1984年 7月10日	1984年 8月 6日		¥200,000	¥300,000	¥4,000	
大阪梅田	1977年 6月29日	1977年 7月30日		¥100,000	¥320,000	¥4,800	月1回は¥3,500
大阪梅田東	1988年 5月20日	1988年 6月 1日		¥200,000	¥300,000	¥4,000	
大阪うつぼ	1981年 4月17日	1981年 4月28日	30周年	¥100,000	¥352,000	¥4,500	年会費に会食費含む
大阪淀川	1961年 1月14日	1961年 3月28日	50周年	¥200,000	¥300,000	¥4,000	
大阪ユニバーサルシティ	2001年 3月27日	2001年 5月 2日	10周年	¥200,000	¥240,000	¥4,000	軽食日は¥3,000
千里	1973年 6月12日	1973年 6月28日		¥200,000	¥240,000	¥4,500	
千里メイプル	1998年 6月13日	1998年 6月24日		¥150,000	¥300,000	¥4,000	最終例会日は¥3,000
摂津	1970年 9月26日	1970年10月 9日	40周年	¥100,000	¥270,000	¥3,000	月1回は¥2,000
四条畷	1977年11月30日	1978年 2月 3日		¥50,000	¥200,000	¥2,000	
新大阪	1985年 5月 8日	1985年 5月17日		¥100,000	¥300,000	¥4,000	
吹田	1958年12月18日	1959年 4月15日		¥150,000	¥240,000	¥3,000	
吹田江坂	1990年 2月27日	1990年 3月15日		¥200,000	¥320,000	¥4,000	
吹田西	1980年 6月12日	1980年 6月13日		¥200,000	¥300,000	¥4,000	
高槻	1954年 6月15日	1954年 7月 6日		¥120,000	¥260,000	¥3,000	
高槻東	1973年 3月 1日	1973年 4月19日		¥120,000	¥280,000	¥3,000	
高槻西	1989年 6月15日	1989年 6月27日		¥120,000	¥280,000	¥3,000	
豊中	1959年 6月16日	1959年 6月27日		¥100,000	¥300,000	¥3,500	
豊中南	1969年 6月 5日	1969年 6月13日		¥100,000	¥320,000	¥3,500	
豊中-大阪国際空港	1972年 2月23日	1972年 3月 2日		¥100,000	¥316,000	¥3,000	
豊中千里	1986年 2月 5日	1986年 2月20日		¥100,000	¥320,000	¥4,000	
八尾	1961年 3月28日	1961年 5月 3日	50周年	¥100,000	¥274,000	¥2,500	
八尾中央	1982年12月 7日	1982年12月15日		¥100,000	¥300,000	¥3,000	第3例会日(第2例会場)は ¥4,500
八尾東	1973年 2月23日	1973年 5月23日		¥50,000	¥270,000	¥3,000	

(注) 大阪RCは1949年4月13日に再認証

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50 周年記念事業の一つとして 1970 年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2 万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の

出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページで PDF もご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ガバナー月信より

- 「2010年規定審議会報告」 佐藤 秀雄 2010 3P (D.2510)
野々村政昭 2010 3P (D.2800)
安平 和彦 2010 2P (D.2680)
- 「職業奉仕とは」 久邇 邦昭 2010 2P (D.2750)
- 「国際奉仕をやっているクラブの方が会員減少が少ないのだ!」 2010 2P (D.2720)
- 「重要な変更のお知らせ — 1・2 (ロータリー財団寄付に関して)」 2010 2P (D.2840)
- 「第15回 ロータリー日本青少年交換研究会報告書 — 1・2・3」
峯岸 則幸 2010 3P (D.2840)
- 「国際ロータリー青少年交換の近況」 中村 盟 2010 2P (D.2630)
- 「ロータリー簡単図解その4~7」
(ロータリー・ロータリークラブとは? / ロータリーとは? 綱領 /
決議 23-34から決議 92-286 / 社会奉仕を考える)」
鈴木 章夫 2009、2010 4P (D.2520)
- 「入って学び 出でて奉仕せよ」 村上 有司 2010 7P (D.2640)

[上記申込先：ロータリー文庫(コピー/PDF)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館 = 午前10時~午後5時 休館 = 土・日・祝祭日

口蹄疫被害支援金に対する御礼

宮崎県で発生いたしました口蹄疫の被害に対しまして、支援金をお願いをいたしましたところ、各クラブから多額の募金が集まりました。義援金の総額は2,125,587円となりました。

皆様からの支援金は、国際ロータリー第2730地区のガバナーに送金し、口蹄疫被害救援支援金として活用いたします。

皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。

国際ロータリー第2660地区 パスト・ガバナー 大谷 透

「お詫びと訂正」

月信7月号 8ページ 2010～2011年度 第2660地区ガバナー補佐の紹介で間違いがありました。お詫びして訂正いたします。

IM第3組 西原 房三
ロータリー歴 守口RC入会 (誤) 1961年1月 → (正) 1969年1月

17ページ ガバナー公式訪問日程
大阪ネクストRCの開始時間が間違っていました。お詫びして訂正いたします。

9月11日(土) (誤) 19:30 → (正) 10:00

「お知らせ」

ホームページアドレス変更 吹田西RC 新アドレス www.suita-west-rc.org

幹事変更 門真RC 新幹事 堀 一成

事務局移転 大阪本町RC 移転日 2010年7月15日(木)

新住所 〒542-0086

大阪市中央区西心斎橋1-5-12

アーバンライフ603号室

※電話・FAX・e-mailアドレスにつきましては変更ございません。

敬 弔 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

楠瀬 允教 会員
(八尾東RC)
2010年6月8日逝去
(享年65歳)

田中 和一郎 会員
(吹田RC)
2010年6月16日逝去
(享年103歳)

植木 征一 会員
(大阪北RC)
2010年6月30日逝去
(享年68歳)

副会長
国際奉仕・WCS委員長
世界社会奉仕委員長
青少年奉仕委員長
青少年交換委員長

チャーターメンバー
会長、幹事
I. C. G. F. (現IM) 委員長
ガバナー特別代表、地区代表幹事
30周年実行委員長

理事、クラブ広報委員長
ポール・ハリス・フェロー
米山功労者

米山功労者(マルチプル)
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

米山功労者(マルチプル)
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-Mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿（写真付きの場合は一緒に添えて）を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。
- 今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布いたします。また、ご希望の会員には有料（年間2,200円・1冊200円）配布とさせていただきますので、出来るだけ多くの方のお申し込みをお待ちしています。

月信編集委員会

- ・ガバナー 松本新太郎
- ・地区代表幹事 池尻 誠
- ・地区副代表幹事 吉本 憲司
- ・担当地区幹事 小山 悦治
- ・担当地区幹事 笠井 実
- ・担当地区幹事 奥谷 英一
- ・事務局長 今井 貢二

2010～2011年度 国際ロータリー第2660地区 【ガバナー事務所ご案内】

●事務局スタッフ

ガバナー	松本新太郎
地区代表幹事	池尻 誠
地区副代表幹事	吉本 憲司
事務局長	今井 貢二
事務局員	栗正 久美
	春名 志保
	大西 麻容

●休 日

土曜、日曜、祝日
夏期
2010年8月10日(火)～
2010年8月15日(日)
年末年始
2010年12月29日(水)～
2011年1月4日(火)

●所在地・電話・ファックス

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館 6階
TEL：06-6264-2660
FAX：06-6264-2661

ガバナー事務所に会議室を併設いたしております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせ下さい。

●ホームページアドレス

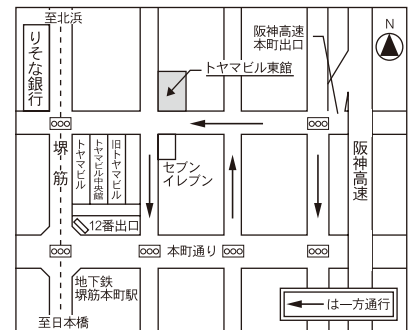
<http://www.ri2660.gr.jp/>

●メールアドレス

gov@ri2660.gr.jp

●勤務時間

9：30～17：00



※地下鉄堺筋線 堺筋本町駅 12番出口すぐ

国際ロータリー第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6F
電話 06-6264-2660 Fax 06-6264-2661 E-mail:gov@ri2660.gr.jp

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

6F Toyama Bldg, East 1-5-11 Azuchi-machi Chuo-ku OSAKA 541-0052 JAPAN
Phone. +81-6-6264-2660 Fax. +81-6-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2010-2011

9 vol.3



地域を育み、大陸をつなぐ

国際ロータリー第2660地区

2010～11年度ガバナー 松本 新太郎

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

CONTENTS

ガバナー メッセージ 新世代のための月間 1 ガバナー 松本 新太郎	2010年7月度 会員数・出席報告 8
新世代のための月間によせて 2 青少年奉仕部門 顧問 バストガバナー 吉川 謹司	国際ロータリー日本事務局 9
意義ある業績賞について 3 意義ある業績賞委員会 委員長 大谷 透	文庫通信 10
2013~2014年度 ガバナー・ノミネー候補者推薦について 4 ガバナー 松本 新太郎 地区ガバナー指名委員会 委員長 大谷 透	ガバナー補佐紹介／敬弔 11
2010~2011年度 合同地区委員会 5 地区代表幹事 池尻 誠	お知らせ 12
ロータリー米山奨学生学友会(関西) 2010年度総会及び新規奨学生歓迎会報告 6 米山奨学委員会 委員 大西 寛治	地区大会について 13
クラブ国際奉仕・WCS委員会 第一回委員長会議 報告 7 国際奉仕・WCS委員会 委員長 小林 澄子	



9月は新世代のための月間です。今年4月に開催された3年に一度のRI規定審議会において、これまでの四大奉仕に加え第5番目の奉仕として「新世代」が追加されたことは、すでに多くの方が承知されていることでしょう。このことはつまり、RIにおいても新世代の重要性が、これまでになく高まっていることの表れであると言えます。

新世代の健全な育成を願ってロータリークラブが展開するプログラムには青少年交換、インターアクト、ローターアクト、RYLA、ニコニコキャンプなどがあります。ロータリアンとしてのみならず、新世代を守り育てることは、人間としての私たちの最大の責務と言っても過言ではないでしょう。自分たちの世代のことばかり考えて、次の世代を育てることを疎かにすれば、人類の未来はいったいどうなってしまうのでしょうか。それはあたかも、育児を放棄した親のようなものです。次世代のことを考えずして、明るい未来はあり得ないはずです。

そしてまた新世代の育成は、我々が担うべき重要な責任であると同時に、私たち自身のためにもなる取り組みであることをこの機会に改めて認識したいと思います。先に紹介したプログラムのどれか一つだけでも参加したことのあるロータリアンには理解できるはずです。事業を経験した若者たちの充実感や達成感に勝るとも劣らない清々しいものを、ロータリアンである我々自身が得ていることを。そうです、新世代のために行うロータリーの活動は、新世代を育てることができる存在になれるよう、私たち自身が成長する場でもあるのです。

さあ、あなたももう一度考えてみませんか。新世代のためにあなたには一体何ができるのかを。そしてまた、新世代のために今、何ができているか、何をしなければならないのかを。未来の世界を担う新世代のために。そして新世代を守り育てる使命を担うあなた自身のために。



早いもので、私がガバナーを拝命して以来12年が経過いたしました。ガバナー拝命時のRI会長はジェームス・L・レイシー氏で、その年のテーマは「ロータリーの夢を追い続けよう」でした。思い出されるのは、国際協議会でのレイシー会長の基調講演です。

舞台中央の大スクリーンに、宇宙から見た地球が映し出され、「限りない暗闇の中に輝いている青い宝石、これが私たちの住む世界です」と語り始められました。

「私たちの世界には、荘厳な山々、畏敬の念を呼び起こす海原、素晴らしい森林、広大な砂漠、堂々たる大河、澄んだ小川が有ります。大きな都市、小さな町、村、遙かな農場、そして私たちの住む家々が有ります。これが1998年の今日の、私たちの世界です。しかし、この世界は急速に変化しているのです。果たして私たちの子供の時代に、世界はどのように変貌しているのか、首をかしげたくになります……」

レイシー会長がこのとき語られたのは、言うまでもなく深刻化する地球環境問題であり、私たちの次の世代が大人になる頃の世界への、危惧であります。しかし一方で、国際ロータリーは次代を担う若者たちの可能性を信

じており、彼らに大きな夢と希望を持っています。そして、次世代の若者たちがより良く成長するのを支援することも、国際ロータリーの役目の一つであります。

2010年4月規定審議会が開催された結果、従来の四大奉仕部門(クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕)に加えて、「新世代奉仕」が第五の奉仕部門として設置されることになりました。

ロータリーの新世代奉仕プログラムは、30歳までの若者たちの育成支援が目的であり、インターアクト、ローターアクト、ロータリー青少年指導者育成プログラム(RYLA)、ロータリー青少年交換などで構成されていますが、各プログラムの実施にあたっては、財団奨学生、学友、米山奨学生に対する配慮も怠らないよう、きめ細かい配慮も必要です。

国際ロータリーの奉仕活動の多くが、新世代に関連していることは、しばしば指摘されるところです。その意味で、私たちは活動の重要性をより一層認識するとともに、新世代の若者たちの知恵と行動力を信じ、その成長を支援するあらゆる機会をとらえて、各クラブが本年も実りある活動を展開されるよう期待いたしております。



ロータリークラブの有意義で卓越したロータリー活動に対して、RIから「意義ある業績賞」が贈呈されます。そのために、各地区のガバナーは受賞クラブを選び、RIに選定を証明する手続きをとることになっています。地区レベルの競争であるため、また、その中から有意義なクラブ・プロジェクトを見極めるため、ガバナーが地区選考委員会を選出し、発表することが奨励されるとあります。本年度の第2660地区における選定の基準及び手続きは次の通りです。(申請手続きについては2007年版「手続要覧」P76を参照)

◇選定の基準

受賞資格を有するのはクラブのプロジェクトのみであること。また推薦できるのは地区につき1クラブのみです。既に「意義ある業績賞」を受賞したことのあるプロジェクトは重ねて業績の認証を受けることはできません。

「RI意義ある業績賞」に推薦するプロジェクトを選定する前に、次の選定基準を満たしているかどうかを確認して下さい。

- ・プロジェクトは地元地域社会の顕著な問題やニーズに取り組むもの。
- ・ほとんどのまたはすべてのクラブ会員が、単に財政面の奉仕ではなく、身をもって奉仕に参加し、クラブの規模とリソースに比例するものであること。
- ・地域社会においてロータリーのイメージを強化するものであること。
- ・他のロータリークラブが模倣できるものであること。
- ・賞が贈られるロータリー年度において、進行中または完了されたものであること。
- ・単一ロータリークラブによって実施されたものであること。

◇選定手続

地区ガバナーは8月1日までに地区選考委員を選任し、この選考委員会が表彰プロジェクトの申請書を受理することを告知する。

地区ガバナーは、その月信で選定基準(前記)と共に申請書を委員会が受理する締切日(12月22日)を公示する。推薦書式は地区ガバナーから入手できる。

地区選考委員会は2月1日までに会議を開き、5プロジェクトまでを限度として受賞候補を選び、これを3月1日までに地区ガバナーに提出する。

選考委員会が選んだ受賞候補プロジェクトの中から、地区ガバナーは地区選考委員と協議のうえ1プロジェクトを選定する。当地区の本年度の「意義ある業績賞」の提出締切日は2010年12月22日(水)とします。

なお、地区ガバナーは選定した通知が2011年3月15日までに届くようRI会長に提出することとします。

RIから正式の認定状が送付されてくると、例年通りガバナーは地区大会でこの認定状を受賞クラブに贈呈して表彰することとします。

2013～2014年度 ガバナー・ノミニー候補者推薦について

国際ロータリー第2660地区
各ロータリークラブ会長様

国際ロータリー第2660地区
ガバナー **松本 新太郎**

地区ガバナー指名委員会
委員長 **大谷 透**

2013-2014年度 ガバナー・ノミニー候補者推薦書提出の要請

RI細則13.010の規定及び地区ガバナー指名委員会の規定により、地区内の各クラブで2013-2014年度ガバナー・ノミニー候補者がおられましたら、10月31日までにガバナー指名委員会委員長（地区ガバナー事務所）宛に必着するよう提案して下さい。

なお、地区ガバナー・ノミニーの資格条件については、国際ロータリー細則第15条15.070、15.070.1～15.070.5の条件を満たす者であることを要します。

また、地区ガバナー指名委員会が地区ガバナー・ノミニー候補者の選出を行うにあたっては、その選出の範囲は地区内クラブによって提案された氏名に限定されるものではない、ということをご了承下さい。

国際ロータリー細則第13条 13.020.5（参照）

新年度最初に行われる地区会合の「合同地区委員会」が、7月17日に大阪YMCA会館で開催されました。

地区委員会の皆さんをはじめとする150名に参加いただき、松本新太郎ガバナーによる就任後の第一声に続いて、地区研修委員会や地区会計などについて説明がありました。

その後、地区の15委員会から活動計画の発表が行われました。たくさんの方々から発表いただく盛りだくさんの内容だったため、お一人あたりの持ち時間は非常に限られたものでしたが、それでも各委員長の今年度にかかる熱い思いが伝わってくる、大変充実した会合となりました。

各クラブから輩出いただいている地区委員会の皆様には、RIのテーマ「地域を育み、大陸をつなぐ」や第2660地区のテーマ「ロータリークラブについてもう一度考えてみませんか」に沿って企画、立案いただいた活動計画を着実に実行していただき、計画通りの、あるいはそれ以上の成果をあげていただくよう、ご活躍を期待しております。

なお、当日配布されました地区委員会の「活動計画書」は、後日各クラブにもお送りさせていただきました。クラブ会長様をはじめ執行部、委員長の皆様方にもぜひご一読いただき、クラブ事業がより効果的に展開できるようご活用いただければ幸いです。



ロータリー米山奨学生学友会(関西) 2010年度総会及び新規奨学生歓迎会報告

米山奨学委員会

委員 大西 寛治
(大東RC)

日時：2010年7月18日(日) 15:30～18:30

会場：リーガロイヤルホテル 菊の間

参加者：元米山奨学生 16名

新規奨学生 30名

カウンセラー 36名

地区関係者 9名

学友会主催のロータリー米山奨学生学友会(関西)2010年度総会及び新規奨学生歓迎会が近藤雅臣RI理事、磯田郁子地区米山奨学委員会委員長はじめ地区委員、世話クラブカウンセラーも参加し盛大に開催されました。

学友会とは、奨学期間を終了した元奨学生と現役奨学生によって組織される会です。

現在、日本に27団体、海外に3団体の計30学友会が組織されています。学友による自主的な運営を尊重し、ロータリアンや米山記念奨学会がこれを支援します。第2660地区では関西学友会が組織されています。

朴日会長の金銭面の支援だけでなく、カウンセラー制度で学業に専念できた事と、米山奨学制度へのお礼から始まり、国際親善及び世界平和への寄与、米山記念奨学の事業の発展に寄与などの挨拶をされ開会いたしました。

来賓を代表して近藤雅臣RI理事が、海外米山学友会や東京に学友会のロータリークラブが誕生した事など

挨拶をされました。

議事に入り、2009～2010年度の事業報告(案)そして会計報告(案)が満場一致で承認されました。これで一部総会が終了し、二部の歓迎会懇親会に入りました。

磯田郁子米山奨学委員会委員長の祝辞、村橋義晃前委員長の乾杯の発声で開宴しました。しばらくして、新規奨学生とカウンセラーの各一分程度の自己紹介がありました。当初、司会者から一分程度と言われておりましたが、皆様熱心で時間をオーバーして親子の様なカウンセラー関係を発表しておられました。最後に元学友会会長から例会だけでなくクラブの行事にも積極的に参加し、多くのロータリアンと接する事でより充実した留学生活を送れますと閉会の挨拶がありました。

参加して米山記念奨学制度の素晴らしさを再認識できた一日でした。全国のロータリアンからの寄付金を財源としています。寄付金・世話クラブ・良きカウンセラーが日本と世界を結ぶ懸け橋です。より一層のご理解をお願いして報告いたします。



クラブ国際奉仕・WCS委員会 第一回委員長会議 報告

国際奉仕・WCS委員会

委員長 小林 澄子
(守ロイブニングRC)

2010年7月24日(土) 9:30～11:30 大阪薬業年金会館 601号室

出席者：104名 地区役員 3名、G補佐 7名、地区委員 10名
IM1組 8クラブ 7名、IM2組 12クラブ 13名、IM3組 11クラブ 11名、
IM4組 10クラブ 12名、IM5組 12クラブ 12名、IM6組 11クラブ 12名、
IM7組 11クラブ 10名、IM8組 10クラブ 8名

司会進行：地区国際奉仕・WCS委員会副委員長 古澤照明

ガバナー挨拶：松本新太郎

開会挨拶：地区国際奉仕・WCS委員会委員長 小林澄子

プレゼンテーション

国際奉仕と世界社会奉仕について：地区研修委員会委員 宮里唯子

人道的補助金プログラムの有効な活用：地区財団法人道的補助金委員会委員長 五味千秋

MG申請書の作成方法と実務：地区国際奉仕・WCS委員会委員長 小林澄子

活動発表

姉妹クラブについて：大阪北RC 1979-1980年度会長 諮問委員 古市 實、大阪西北RC 三村恵造

2009～2010年度第一期カンボジアプロジェクト視察報告：地区国際奉仕・WCS委員会直前委員長 戸田和孝

WCS基金会計報告：地区国際奉仕・WCS委員会委員 吉田政雄

ガバナー・エレクト閉会挨拶：岡部泰鑑

今年度のクラブ委員長会議は、少しずつの時間配分となりましたが、内容的には総合的に国際奉仕活動が理解できるように歴史的背景を、TRFから地区に配分される資金面についての理解を、クラブ委員長が実際にWCS事業をMGを使って実行しようと考えた時に作成しなければならない申請書の実務について時間の限り説明をしました。

活動発表は、長期にわたって姉妹クラブ活動を続けている、2クラブが姉妹クラブ活動の楽しさや注意点をお話し下さいました。

続いて、委員会前日カンボジア視察から帰国した直前

委員長の戸田氏からカンボジアプロジェクト報告がされ、昨年の視察の様子と今年度の贈呈式・診療所開所式の模様が発表され、カンボジアという国の20年にわたる内戦と現在の様子も合わせてお話され、奉仕活動への費用対効果を検証できる発表となりました。

松本Gは「お忙しいところを出席された委員長の皆様には、本日の会議で必要とする情報を何卒お持ち帰りください」と御挨拶くださいましたが、もしそうなっていれば本当に幸せです。ご参加、御協力下さいました皆様方に、心よりお礼申し上げます。有難うございました。



国際ロータリー日本事務局

郵便宛先： 〒115-0045 東京都北区赤羽2-51-3 NS3ビル1階	業務時間 月～金 9:00 – 17:00
事務局長	大島 四郎

奉仕室 電話：03-3903-3161 ファクシミリ：03-3903-3781

室長	大木 光男	Mitsuo.Oki@rotary.org
	東川 大介	Daisuke.Higashikawa@rotary.org
	島村 耕介	Kousuke.Shimamura@rotary.org

- 新クラブの加盟 (ロータリー・クラブ、ローターアクト、インターアクト、ロータリー地域社会共同隊)
- クラブの名称・所在地域の変更の申請
- 会員アクセスに関する問い合わせ
- クラブ創立記念の認証 (例、50周年、75周年)
- ロータリー奉仕50周年を達成したロータリアンの表彰状 (要請により作成)
- 手続きおよび定款規定についての地区ガバナー、クラブおよびロータリアンに対する助言
- 世界本部との連絡にあたり地区ガバナー、クラブおよびロータリアンを支援
- クラブの最近の記録および史料記録を維持

財団室 電話：03-3903-3192 ファクシミリ：03-3903-3781

室長	清水 優季	Yuki.Shimizu@rotary.org
	山本 律子	Ritsuko.Yamamoto@rotary.org
	長瀬 孝久	Takahisa.Nagabuchi@rotary.org

- 寄付の認証
- 各種申請書 (奨学金、マッチング・グラント、個人向け補助金など) の受理
- 税制上の優遇措置の手続
- 地区補助金の申込、最終報告の受理
- 財団プログラムの説明

経理室 電話：03-3903-3183 ファクシミリ：03-3903-3781

室長	斎藤 愛子	Aiko.Saito@rotary.org
	藤野 公三子	Kumiko.Fujino@rotary.org
	春沢 真由美	Mayumi.Harusawa@rotary.org

- 国際ロータリーに対する人頭分担金の徴収とその他の支払い
- クラブおよび地区からの次の事項に関する問い合わせについての回答
半期報告書
クラブ送金および未払い金
加盟終結処分の後で支払いが行われたことによる復帰
- ロータリー財団寄付の領収書の発行

資料室 電話：03-3903-3194 ファクシミリ：03-3903-3781

コーディネーター	森 智洋	Tomohiro.Mori@rotary.org
	縄田 怜	Satoru.Nawata@rotary.org

- 国際ロータリーの文献、ビデオのご注文ならびに問い合わせ

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50 周年記念事業の一つとして 1970 年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2 万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の

出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページで PDF もご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会講演より

「ロータリーの歴史をふまえて」 南園 義一 2010 2P (D.2770)

「UNDP親善大使として、見たこと、感じたこと」 紺野美沙子 2010 2P (D.2770)

「日本人のこころ」 徳川 恒孝 2010 10P (D.2590)

「日本のこれから」 藤原 正彦 2010 4P (D.2590)

「世界の水問題」 金杉 誠 2010 6P (D.2590)

「先人に学ぶロータリーの心 日本人の職業倫理」 島田 燐子 2010 3P (D.2530)

「先人に学ぶロータリーの心 江戸時代の京都商道～石門心学とロータリー」
木戸 邦考 2010 4P (D.2530)

「現代に生かす 戦国武将の知恵」 松平 定知 2009 8P (D.2800)

[上記申込先：ロータリー文庫(コピー /PDF)]

お知らせ

ホームページの利用方法をCDにまとめました。
ガバナー事務所に有りますので、ご利用下さい。

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館 = 午前10時～午後5時 休館 = 土・日・祝祭日

「ガバナー補佐紹介」

IM 第1組

氏名	道満 隆 (どうまん たかし) (豊中-大阪国際空港RC)
生年月日	1933年5月18日
職業	株式会社 エーピー 代表取締役会長
ロータリー歴	1981年5月 豊中北 (現 豊中-大阪国際空港) RC入会
	1986~1987年度 幹事
	1998~1999年度 会長
	2003~2004年度 ガバナー補佐
	2006~2010年 地区財団奨学金学友委員会委員
	ポール・ハリス・フェロー
	米山功労者 (マルチプル)



敬 弔 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

植松 一良 会員
(大阪難波RC)
2010年6月19日逝去 (享年65歳)

副会長、幹事、理事、
国際奉仕担当理事、青少年奉仕担当理事、クラブ奉仕担当理事
米山功労者 (マルチプル)
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

宮内 敏光 会員
(豊中南RC)
2010年7月18日逝去 (享年72歳)

会長、副会長、幹事、
社会奉仕委員長、会員増強委員長、国際奉仕委員長、米山委員長、
ガバナー補佐エレクト
米山功労者 (マルチプル)
ポール・ハリス・フェロー

山本 義朗 会員
(東大阪中央RC)
2010年8月2日逝去 (享年83歳)

会長、会員増強・選考委員長、環境保全委員長、ボランティア委員長
米山記念奨学委員長、雑誌広報委員長、職業分類委員長、
職業奉仕委員長
米山功労者 (マルチプル)
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

小川 肇 会員
(大阪なにわRC)
2010年8月8日逝去 (享年70歳)

チャーターメンバー
会長、クラブ奉仕委員長、米山奨学委員長、雑誌委員長、規定委員長、
ロータリー情報委員長、世界社会奉仕委員長、広報・雑誌委員長
米山功労者 (マルチプル)
ポール・ハリス・フェロー
ベネファクター

「お詫びと訂正」 月信7月号 18ページ ロータリークラブのE-mailアドレスに間違いがありました。お詫びして訂正いたします。

池田くれはRC (誤) jimukyoku@ikedakureha.ne.jp
(正) jimukyoku@ikedakureha.jp

月信8月号 9ページ 各クラブ創立日・認証日一覧表に間違いがありました。お詫びして訂正いたします。

交野RC	入会金	¥50,000
	年会費	¥200,000
	ビジターフィー	¥1,000

香里園RC	ビジターフィー	¥2,000
-------	---------	--------

箕面RC	入会金	¥100,000
	年会費	¥300,000

「お知らせ」

ガバナー補佐エレクト交替 IM第1組 道満隆・ガバナー補佐エレクトがガバナー補佐となられたため、新たに二井清治会員(豊中南RC)が就任されます。

事務局移転 大阪北RC 移転日 2010年8月10日(火)
新住所 〒530-0012
大阪市北区芝田1-1-35 新阪急ホテル3F
(B1より3Fへの移転です)
※電話・FAX・e-mailアドレスにつきましては変更ございません。

ビジターフィー変更 池田RC 7月よりビジターフィーを¥3,000に変更致しました。

ホームページアドレス変更 大阪中之島RC osaka-nakanoshimarc.org

2012-13年度国際ロータリー会長を選ぶ2010-11年度会長指名委員会は、国際ロータリー細則に準拠し招集され、2012-13年度国際ロータリー会長として、全会一致で下記の通り指名しました。

埼玉県 八潮ロータリークラブ 田中 作次 氏

国際ロータリー第2660地区
2010～2011年度 **地区大会**

日 時 2010年10月29日(金)・30日(土)
場 所 大阪国際会議場・リーガロイヤルホテル大阪
ホストクラブ 八尾ロータリークラブ

Enjoy & Learn

奉仕活動を通じて感動を分かち合おう

第1日目

2010年10月29日(金)

大阪国際会議場 メインホール

- 開会式 14:00～
- 分科会 15:00～

- ◇会長幹事会 青山 繁晴 氏
- ◇五大奉仕・新入会員 アグネスチャン 氏
- ◇ロータリー財団 倉内菜穂子 氏
- ◇米山記念奨学会 カストロホアン・ホセ 氏



アグネスチャン氏



青山 繁晴氏

- ◇家族の集い
国立国際美術館
「マン・レイ展」
登録料 無料



- ◇RI会長代理歓迎晩餐会
リーガロイヤルホテル大阪 光琳の間
18:00～20:30

第2日目

2010年10月30日(土)

大阪国際会議場 メインホール

- 本会議 13:00～17:50
- ◇第1部 決議案、表彰、報告
- ◇第2部 東儀秀樹と古澤 巖「コンサート」



雅楽とヴァイオリン、究極のハーモニー
映像と音楽による感動のフィナーレ

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-Mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿（写真付きの場合は一緒に添えて）を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。
- 今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布いたします。また、ご希望の会員には有料（年間2,200円・1冊200円）配布とさせていただきますので、出来るだけ多くの方のお申し込みをお待ちしています。

月信編集委員会

- ・ガバナー 松本新太郎
- ・地区代表幹事 池尻 誠
- ・地区副代表幹事 吉本 憲司
- ・担当地区幹事 小山 悦治
- ・担当地区幹事 笠井 実
- ・担当地区幹事 奥谷 英一
- ・事務局長 今井 貢二

2010～2011年度 国際ロータリー第2660地区 【ガバナー事務所ご案内】

●事務局スタッフ

ガバナー	松本新太郎
地区代表幹事	池尻 誠
地区副代表幹事	吉本 憲司
事務局長	今井 貢二
事務局員	栗正 久美
	春名 志保
	大西 麻容

●休 日

土曜、日曜、祝日
夏期
2010年8月10日(火)～
2010年8月15日(日)
年末年始
2010年12月29日(水)～
2011年1月4日(火)

●所在地・電話・ファックス

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館 6階
TEL：06-6264-2660
FAX：06-6264-2661

ガバナー事務所に会議室を併設いたしております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせ下さい。

●ホームページアドレス

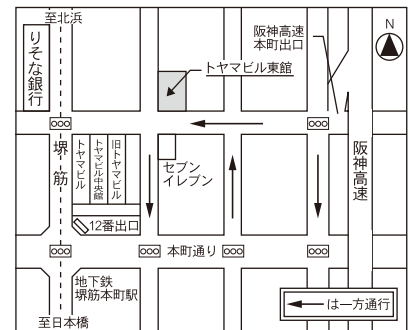
<http://www.ri2660.gr.jp/>

●メールアドレス

gov@ri2660.gr.jp

●勤務時間

9：30～17：00



※地下鉄堺筋線 堺筋本町駅 12番出口すぐ

国際ロータリー第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6F
電話 06-6264-2660 Fax 06-6264-2661 E-mail:gov@ri2660.gr.jp

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

6F Toyama Bldg, East 1-5-11 Azuchi-machi Chuo-ku OSAKA 541-0052 JAPAN
Phone.+81-6-6264-2660 Fax.+81-6-6264-2661 E-mail.gov@ri2660.gr.jp

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2010-2011

10 vol.4



国際ロータリー第2660地区

2010～11年度ガバナー 松本 新太郎

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

CONTENTS

ガバナー メッセージ 職業奉仕月間／米山月間	1
ガバナー 松本 新太郎	

2010年米山奨学委員長会議 およびカウンセラー研修会	8
米山奨学委員会 委員 和田 武彦	

職業奉仕月間に因んで 今こそ職業奉仕	2
職業奉仕委員会 委員長 鈴木 洋	

地区大会について	9
----------	---

米山月間によせて	3
米山奨学委員会 委員長 磯田 郁子	

米山奨学委員会・ロータリー財団	10
-----------------	----

ニコニコキャンプ報告	4
青少年活動委員会 委員長 末田 良介	

2010年8月度 会員数・出席報告	11
-------------------	----

米山奨学委員会 大学／地区意見交換	5
米山奨学委員会 委員 米田 猛	

文庫通信／敬弔	12
---------	----

インターアクト 韓国海外研修	6
インターアクト委員会 委員長 谷野 清孝	

ガバナー・エレクト業務開始のご案内 ガバナー補佐便り お知らせ	13
---------------------------------------	----

開発途上国とのGSE(研究グループ交換)プログラムについて カンボジアを訪れて感じたこと	7
研究グループ交換委員会 委員長 吉崎 広江	



10月は職業奉仕月間および米山月間です。

まず職業奉仕について、ロータリアンの間でよく「職業奉仕とはいったい何なのか、考えれば考えるほど、わからない」という声を耳にします。これに対する私の考えは、いたってシンプルです。「皆様の職業に日々、誠実に取り組んでいただくこと」。その姿勢さえ崩れなければ、あなたも立派に”職業奉仕”を実践されているのだと思います。

とすれば人間は、易きに流れがちです。油断をすれば気付かぬうちに職業倫理を見失い、不祥事や大事故という落とし穴に陥ってしまいかねません。そんな中で、例えば自身の言動を常に「四つのテスト」に照らしながら省みることで、職業人として社会に貢献していただく。それこそが、ロータリアンとしての真の強さなのではないでしょうか。

本年度の地区テーマは「ロータリークラブについてもう一度考えてみませんか」です。100年以上の歴史と伝統を誇るロータリークラブですが、今こそもう一度、原点に立ち返って見つめ直していただきたい。そんな願いを込めています。

そしてこのテーマは、皆様方の職業にもそのまま当てはまるのではないかと考えています。長年その職に浸り続けている中で、どこかしらズレや歪みが生じてきてはいませんか。「あなたの職業についても、もう一度考えてみませんか」。

創業時に抱いた理想や、現在の職に就かれた当初の高い志を思い起こしていただくことで、あなたの職業奉仕の「新たな一歩」が始まるのではないのでしょうか。

次に米山記念奨学事業についてですが、この事業の尊さと意義を、地区内の全ロータリアンによりよくおわかりいただくことが、私の願いです。「また寄付か」という不満が、米山に対する理解不足に起因していることは明らかです。当然のことながら人間は、理解のできないモノやサービスに対しては、お金は払いたくないものです。

そうした意味からもぜひ今月は、例会の卓話などを通じて、会員の皆様の理解を深めていただく機会にしてください。第2660地区でも地区委員会の皆様や各クラブの米山担当者を中心に、この事業に対して多大なるご尽力をいただいております。そうした皆さんの努力を受けて、当地区の全会員が米山に対して理解を示していただき、その事業に参加、協力できる喜びを共有していただける。そしてそんな状況が次の世代にも確実に受け継がれていく。こうした体制が確立することを期待しています。

わが国独自のロータリー活動、そしてまた国内最大規模の奨学金制度として、私たちロータリアンが胸をはって内外に誇ることのできる米山ですが近年、様々な課題を抱えていることも事実です。会員数減少にともなう奨学金の減少や奨学生の選出方法、奨学期間終了後の問題などが指摘されていますが、米山の良き伝統は守りつつ、変えるべきところは変えていく必要があることは確かです。そうした意味からも今月は、米山についてももう一度、考えてみませんか。



ロータリー発足の当初に、アーサーシェルドンが「service」と職業奉仕の理念を提唱してから100年が過ぎました。ロータリーの真髄ともいえる職業奉仕の考え方が薄れていき、慈善運動でその価値観を高めようとしている姿に、多くの日本のロータリアンが失望感を持っていたと思います。しかし私は次の三つの理由からロータリーにとって「今こそ職業奉仕」活動が最も望まれている時だと考えます。

1. ロータリアンによる恥ずかしい事件

北海道の「ミートホープ事件」や京都の「漢字検定事件」のように、ロータリーの指導的立場の者が恥ずかしい事件を起こしています。職業奉仕の根本を今一度学び、お互いに研鑽し、高い倫理観を持って職業に取り組む会員を育成しなければなりません。

2. 少ない経費で効果の大きい奉仕

経済状況の厳しい時だから「少ない経費で効果の大きい奉仕」を企画する必要にせまられています。幸いロータリークラブは、各界各層の専門家の集団ですから、その専門的知見を生かした奉仕(例えば出前授業、よろず相談等)を実施すれば「ローコストでハイエフェクト」な事業が可能になります。

3. 職業奉仕に対するRIの変化

「忘れられた職業奉仕」などと揶揄されていた時期もありましたが、RIは2007～10年の長期計画の新しい7つの項目の一つに、「職業倫理の高揚、職業技能の開発」等、具体的な実践目標を掲げて、取り組みを強化

しました。又10年ぶり(2007～8年度)にRIに職業奉仕委員会が立ち上がりました。更に2009～10年度の国際協議会では職業奉仕に関するスピーチをブラジル人、アメリカ人のRI理事、そして過日RI会長ノミニーに選ばれた日本人の田中作次氏の3名が行う等、職業奉仕の大切さをRIも再認識しています。

〔職業奉仕に係わる人の役割〕

ロータリークラブは職業を絆とする人たちの集まりです。まず何よりも会員各自がその職業に関係する全ての人々の立場に立ち、高い倫理観を持って職業活動を行うことが大切です。そのような会員を育てる道場が、ロータリークラブであり毎週の例会なのです。そのためのプログラムの立案、実行、すなわち「入りて学び、出でて奉仕せよ」のための研修と勉強会の支援が大切な役割です。

〔本年度の地区職業奉仕委員会の強調事項〕

1. クラブ職業奉仕委員長を中心とする卓話とフォーラムの実施

10月の職業奉仕月間に、各クラブで卓話を基調とするフォーラムを実施して頂きます。

2. 会員による職業卓話の推進

会員各位に自らの職業に関して、倫理上素晴らしいと胸をはれる内容、或いはロータリアンとして少し恥ずかしいような内容などを含めた職業卓話をしていただくことを推奨します。

3. 出前授業の推進

10年来行ってきた「出前授業」を更に推進します。



「私は国費留学生に負けない日本で一番幸せな私費留学生です」。米山奨学生終了式で、ある中国の米山奨学生が壇上でそうスピーチをしました。彼女は米山奨学生であったことを誇りにし、これからの人生を歩んでいってくれることと思います。

今月は米山月間です。皆様はすでによくご存知のことと思いますが、米山奨学制度は日本のロータリーが誇るべき独自の制度です。この留学生への支援は、未来に向かって平和の懸け橋をかける尊い奉仕なのです。

その結果はすぐに出るわけではありません。奨学金を受けている期間、一生懸命に勉学に励み、その後日本で就職する学生、帰国して就職する学生と進路は様々ですが、米山奨学生としての1年ないしは2年間の日本での経験やロータリーとの出会い、繋がりは彼らにとって忘れられない宝物になっています。そしてその感謝の気持ちをいつか形にしたいと思っています。

先日上海で行われた「第2回中国学友会総会」の会場には“感恩・交流・奉仕”というテーマが掲げられていました。そして「日本のロータリーへの感謝を伝え、幅広く交流を行い、奉仕活動をスタートする」と学友会活

動方針を会長が表明しました。中国の学友が寄せる深い感謝の気持ちが伝わった今回の総会・懇親会は、学友、ロータリアンそれぞれの胸に大きな感動を刻んだに違いありません。

私たちが米山奨学制度のすばらしさをいくら口で説明したところでなかなかご理解いただけるものではありません。皆様のクラブが世話クラブとなり、カウンセラーとして奨学生と関わることによって、この制度のすばらしさを実感していただけたと思います。そのために是非、次年度以降はまだ世話クラブになったことのないクラブの皆様にも積極的に受け入れをお願いしたいと思います。

彼らが母国に帰ったとき、この日本での留学生活で得たことを国で生かしていく中できっと彼らを感じた日本、出会った日本人のことを国の人々に話してくれると思います。そして日本のよき理解者となってくれると思います。それが日本の平和、もっと言えば世界の平和へつながっていくのだと思います。それは大変地道なことではありますが、この私たちの米山奨学事業の最も大切なところであり、その成果だと思います。引き続き、皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

今年の少年少女ニコニコキャンプは「星降る山で友に出会える思い出の夏!」をテーマに、開講式では松本新太郎Gに御挨拶を頂き、枚方RC、枚方RACのホストのもと、2泊3日のプログラムで実施されました。心配されました天候も暑すぎるぐらいの晴天で、申し分のない3日間を枚方野外活動センターで過ごす事が出来ました。

参加されました小学校4年生から6年生の64名。枚方RACを中心としたRACメンバー 13名が現場リーダーとなって3日間子供たちを見守ってくれました。そして、青少年活動の縁の下をいつも支えてくれているチームライラのメンバーも、裏方さんとして協力してくれました。

1日目のカレー作りに始まり、初めての経験の子供たちも多かった天体観測。竹のコップ作り、ダッジオーブンでの丸鶏料理、BBQにキャンプファイヤーと楽しい事が盛りだくさんだった2日目。最終日も焼き板づくりと岡部泰鑑GEをお招きしての閉講式。修了証とたくさんのおみやげと思い出が出来た3日間でした。

このニコニコキャンプを通して、自然の中で多くの体験をし、団体生活の大切さ、助け合う事から生まれる友情が皆さんの心に芽生え始めた事と思います。この大切な経験や思い出を胸に刻んで、これからの学校生活やご家庭での生活に積極的に取り組んで頂ければ、幸いです。

最後になりましたが、約1年がかりでこのプログラムを企画・実施して頂きました澤村枚方RC会長、枚方RC小野実行委員長はじめ実行委員会メンバー、クラブメンバーの皆さん、枚方RACならびにRACの皆さん、そしてチームライラのみみんなに感謝を伝えたいと思います。ありがとうございました。

そして、最後の最後に、来年も無事にこの少年少女ニコニコキャンプを吹田江坂RCクラブ、関西大学RACのホストのもと、実施できるようになった事に感謝して、御報告とさせていただきます。

皆様、本当にありがとうございました。



日時：2010年7月26日(火) 15:00～17:00

場所：ガバナー事務所

参加者：磯田委員長、武島副委員長、村橋、吉田、和田、西谷、有竹、小山、田中、中川、米田、榊原 各委員

大阪大学、大阪教育大学、大阪市立大学、大阪成蹊大学、関西外国語大学、大阪電気通信大学、大阪工業大学、大阪商業大学、梅花女子大学、大阪経済大学、大阪国際大学、摂南大学、追手門学院大学、近畿大学、関西大学、大阪産業大学

(独)日本学生支援機構 大阪日本語教育センター、コミュニケーションアート、大阪ハイテクノロジー

7月26日、地区米山奨学委員会と大学等との地区懇談会がガバナー事務所会議室で行われました。2011年度の米山奨学生を選考するにあたり、22の指定校(3校は欠席)の担当者にご出席頂きました。

田中委員の司会のもと、磯田委員長から「ロータリー米山記念奨学事業は、ロータリーの理想とする国際理解と相互理解に努め、国際親善と交流を深めるために優秀な留学生を支援し、世界平和の創造と維持に貢献することを目的としています。その使命は“将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって、国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成”することにあります。優秀とは「①学業」に対する熱意や優秀性はもちろんのこと、「②異文化交流」、「③コミュニケーション能力」への意欲や能力に優れている点が含まれます」と説明があり、「奨学生は奨学期間中にロータリーの例会や奉仕活動に参加することによって、日本の文化、習慣などを学び、社会参加と社会貢献の意識を育て、将来、世界平和の創造と維持に貢献する人物となることが期待されます」と挨拶されました。

次に、武島副委員長からDVDによる説明がありました。「奨学生1人ひとりに、地域のロータリークラブから世話クラブが選ばれ、さらにその会員の中からカウンセラーが付いて、奨学生との交流を深め、彼らの日本での生活が心豊かなものになるよう配慮します。この事業

は、その成り立ちから「交流」を目的としたプログラムです。それを実現するための制度が「世話クラブ・カウンセラー制度」で、奨学生はロータリアンとの交流を通じて、奉仕の精神に触れ、自らの精神を磨き、人生観・職業観を深めます。また、ロータリアンにとっても、金銭的な支援だけでは得られない感動と、事業への深い理解が生まれて、さらなる支援への意欲を盛り立て、奨学生、ロータリアン双方にとって、大きな感動を生む事業だからこそ、50年以上も継続し、日本最大の民間奨学事業に成長しています」と。

その後、質疑応答に入り、指定校からは奨学生の選抜基準として「日本奨学資金機構の基準に準じている」「大学内の先生からの推薦で面接している」「学校行事に積極的に参加している学生を選んでいる」が挙げられ、それでいいのかという質問や、ロータリーのカウンセラー制度には大変感謝している等の意見も出されました。磯田委員長は、奨学生には学業優秀だけでなく、異文化理解や地域交流などへの積極的な姿勢が求められ、各クラブのロータリアンに好かれ、奨学金の終了後もロータリーや学友会と連絡を絶やさないようにできる人が好ましいと結ばれました。

大学側にとっても地区米山奨学委員会にとっても大変有意義な懇談会となりました。



2010年8月6日から3泊4日の日程で、担当校大阪浪速中学高等学校、提唱クラブ大阪住吉RCにより、国際交流を深めるため韓国(ソウル)第3650地区、Hanyoung外国語高等学校IACを訪問しました。

結団式では松本G、提唱クラブのメンバー、インターアクター父兄の皆様よりエールを送られ元気に出発しました。訪問団員は大谷PGを名誉団長に当地区、大阪浪速、清風、大阪桐蔭、四天王寺、金光八尾、相愛学園のインターアクター37名、顧問8名、ロータリアン9名の総勢54名です。今回の研修は韓国(ソウル)の文化及び伝統に触れ互いに理解を深めるというものです。特に今回は担当校である大阪浪速高校の雅楽部が日本の伝統文化を披露するために参加をしました。

1日目は、第3650地区全前総裁、南大門RC朴会長が金浦空港に出迎えに来られていました。そして一行は、自由の橋、統一展望台を見学しました。北朝鮮を目の前にして平和の大切さを考えさせられる思いでした。その後、ホテルに戻り交流会に備えて準備及びリハーサルを行いました。

2日目はホスト校であるHanyoung外国語高等学校を訪問してインターアクター17名と交流をもちつつ校内を案内されました。昼食は校内食堂に於いて現地の学

生生活の状況を知るよい機会でした。午後は日韓インターアクター共同奉仕活動としてshinawon養護施設を訪問して、大阪インターアクター3人と韓国インターアクター2人が一組になって清掃作業等々の奉仕に専念しました。インターアクターは、感激に満ちた顔でした。夜の交流会では、第3650地区の南大門RCホストで始まり大阪インターアクターは「雪の華」「今日の日はさよなら」を熱唱しました。続いて大阪浪速高校による雅楽の演奏、四天王寺学園による江戸時代の頃からの縁起物の門付け芸として親しまれている「南京たますだれ」を披露して日韓の交流会に花を添えました。

3日目は韓国民族村を観光してソウル市内(明洞)にて自由行動、午後はJump公演(ユーモアと武術で観客を魅了し世界中から注目)を観劇しました。夜はRI第3650地区とRI第2660地区との韓日インターアクト交流歓迎会をRI第3650地区のホストでAw Convention Centerで来賓として、李前RI会長を向え盛大に催されました。

最後の日は、景福宮、南大門市場を見学して解団式を行ない無事帰路に着きました。

今回の研修旅行は大谷PGを名誉団長として同行して頂き日韓交流の橋渡しになれたと思います。韓国の日常文化、生活を学び、今年度のRIのテーマ「地域を育み、大陸をつなぐ」という大スローガンの実現に向かって国際交流することができ、インターアクターにとっても将来役立つことだと思います。



開発途上国とのGSE (研究グループ交換) プログラムについて カンボジアを訪れて感じたこと

研究グループ交換委員会

委員長 吉崎 広江
(東大阪東RC)

GSEプログラムとは、25歳から40歳までの若い職業人(団員)4~5名と経験の深いロータリアン(団長)のチームを異なる地区間で交換するプログラムです。チームは4~6週間にわたり相手地区に滞在し、職業研修やプレゼンテーション、ホスト家庭との親睦等を行ないます。職業奉仕あり、国際奉仕あり、新世代奉仕ありと、ロータリーならではのユニークな教育プログラムです。今年度と来年度の2年間、当地区はスリランカ(D3220)とのチーム交換を予定しています。

スリランカとのGSEは、松本G・岡部GEの「アジアの開発途上国との交換希望」を実現したもので、第2660地区の長いGSEプログラムの歴史で、初めての試みです。しかしながら、アジアの開発途上国での職業研修となると、どのような成果があるのか大変不安に思っていました。

そんな中、クラブのWCS活動でカンボジアを訪れる機会があり、開発途上国とのGSEプログラムには大きな可能性があることに気づきました。それは、どんな分野の事であっても、日本の技術を伝えることは相手側にとって有益であり、相手の不足を知ることはこちらの学びになるという事です。

たとえば、カンボジアの建物は柱を作ったところにレンガで壁を作り、1階、2階と積み重ねて行きます。出来上がりからはそんなこととはわかりませんが、建築基準は無いと思います。また、夕方スコールが降ると町は洪水になり床上浸水状態です。それは、水の排水設計が出来ていないので低いところに水が集まってくるためです。

浸水してもいつもの事なので人々は平気ですが、衛生面でのリスクは見逃せません。もちろん、高等教育機関はありますが、実際の生活現場には還元されていない様です。16歳以下が人口の40%を占めるカンボジアでは、これからの教育が大切なのでしょう。

もしもこういう国からのGSEチームを受け入れたら、自国の問題点に気づき、解決策を考える機会を若い職業人に与えることができることでしょうか。また、こういう国にGSEチームを派遣したら、現地の状況を知り、どんな協力ができるのかを考えるでしょう。加えて、ロータリーならではの有力な人脈と、企業のグローバル化へのヒントを得ることができるでしょう。

今まで私は、職業的に何か高度な知識を得ることばかりが職業研修の成果かと思っていました。しかし、RIによれば、GSEプログラムの職業研修とは「observe how their vocations are practiced abroad, develop personal and professional relationships, and exchange ideas.」(外国で自分の仕事かどのように行われているのかを見たり、個人的・専門的関係を作ったり、アイデアを交換したりすること)だそうです。これは、どんな国や地域、どんな職種の人にでもあてはまるのです。

第2660地区内クラブのみなさま、来年3月26日いよいよスリランカチームが来日します。松本G、岡部GEから頂いた「アジアの開発途上国との交換」というテーマに、みなさんと一緒に取り組むのを楽しみにしております。

ご協力どうぞよろしくお願いいたします。



2010年米山奨学委員長会議 およびカウンセラー研修会

米山奨学委員会

委員 和田 武彦
(大阪梅田東RC)

2010年米山奨学委員長会議およびカウンセラー研修会は8月7日午前10時から、大阪薬業年金会館に於いて、松本ガバナーをはじめ各クラブ米山奨学委員長及びカウンセラーなど約100名の出席のもと開催されました。司会・進行は西谷地区委員が担当しました。

はじめに、松本ガバナーから「本日の研修会で、米山記念奨学活動の素晴らしさを再発見して戴き、今後の活動の励みになるよう希望します」とのご挨拶がありました。

続いて、地区米山奨学部門顧問若林パストガバナーより「米山奨学会の今後の展望」と題して、

- ・最近世相を反映して寄付金額が減少傾向にある。
- ・ロータリアンも感動するものがないと寄付が集まりにくいので、未だ奨学生を受け入れて無いクラブの方々は、是非奨学生を受け入れて、素晴らしさを実感して戴きたい。
- ・苦学生への援助型から知的貢献型に奨学生の選考基準が変わって来ている。
- ・4年前に始めたベトナムでの現地採用型が3年間で6名の奨学生を受け入れ、そのテスト期間が終った。現在、その評価を検証中である。

などのご挨拶がありました。

次に、磯田委員長から、「カウンセラー研修会で伝えたいこと」をテーマに、スライドを使って、最近の留学生

事情や、異文化交流の難しさを踏まえた奨学生との接し方などの具体的な問題点、更には米山奨学制度独自のカウンセラー制度の素晴らしさなどの説明がありました。「米山奨学生に選ばれたことを誇りに思い、これからの人生の中で、米山奨学生であったことが大きな自信になります」などの奨学生のエピソードも紹介されました。

そのあと、全出席者が8つのグループにわかれ、

★カウンセラーを引き受けてみて疑問に思ったこと、奨学生のお世話で困ったこと、良かったこと

★ロータリアンの米山記念奨学事業の理解を深め寄付金を増やすにはどうすればよいか

の二つのテーマでグループ討議が行われました。

さすが、猛暑のなかご出席されたメンバーだけあって、各グループで活発な意見交換が行われ、その後各グループリーダーから討議内容の発表が行なわれました。

岡部ガバナーエレクトから、講評と熱心な議論に対する賛辞がありました。

最後に磯田委員長より、米山奨学金事業に対する理解を深めるためにも、地区としての受け入れ奨学生を増加させたい。その為には是非米山奨学事業への寄付を増やして戴きたいとお願いをされました。

猛暑の中をご出席戴き、最後まで熱心にご討議戴いたことへのお礼の挨拶で2時間に亘る研修会は閉会しました。



国際ロータリー第2660地区
2010～2011年度 **地区大会**

日時 2010年10月29日(金)・30日(土)
場所 大阪国際会議場・リーガロイヤルホテル大阪
ホストクラブ 八尾ロータリークラブ

Enjoy & Learn

奉仕活動を通じて感動を分かち合おう

第1日目

2010年10月29日(金)
大阪国際会議場 メインホール
●開会式 14:00～
●分科会 15:00～

- ◇会長幹事会 青山 繁晴 氏
- ◇五大奉仕・新入会員 アグネスチャン 氏
- ◇ロータリー財団 倉内菜穂子 氏
- ◇米山記念奨学会 カストロホアン・ホセ 氏



アグネスチャン氏



青山 繁晴氏

- ◇家族の集い
国立国際美術館
「マン・レイ展」
登録料 無料



- ◇RI会長代理歓迎晩餐会
リーガロイヤルホテル大阪 光琳の間
18:00～20:30

第2日目

- 2010年10月30日(土)
大阪国際会議場 メインホール
- 本会議 13:00～17:50
 - ◇第1部 決議案、表彰、報告
 - ◇第2部 東儀秀樹と古澤 巖「コンサート」



雅楽とヴァイオリン、究極のハーモニー
映像と音楽による感動のフィナーレ

地区米山奨学委員会より

2010年7月末	全国寄付金合計額	197,216,823円 (前年度比 5.62%減)
”	第2660地区寄付金合計額	8,932,250円 (前年度比23.62%減)
2010年7月末	全国寄付合計トップ10	
	1. 第2760地区	13,149,500円
	2. 第2770地区	12,125,500円
	3. 第2750地区	10,518,680円
	4. 第2590地区	10,483,000円
	5. 第2650地区	9,172,000円
	6. 第2660地区	8,932,250円
	7. 第2710地区	8,602,000円
	8. 第2690地区	8,117,000円
	9. 第2580地区	7,536,950円
	10. 第2700地区	7,026,250円

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。
(2010年7月)

氏名	回数	クラブ名
水上 雅博	1回目	東大阪東RC
須崎 洋一	7回目	東大阪東RC
堀田 修平	10回目	枚方RC
南井 恒治	1回目	香里園RC
中田 八朗	7回目	大阪東淀ちゃやまちRC
岡部 泰鑑	5回目	大阪城南RC
渡邊 邦雄	10回目	大阪城南RC
延原 久雄	7回目	大阪大淀RC
矢野 巖	4回目	大阪大淀RC
原野 圭司	15回目	大阪住吉RC

米山功労クラブ

次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました。
(2010年7月)

クラブ名	回数
枚方RC	22回目

ロータリー財団

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2010年)

河野 武夫	吹田RC	09/12/11
坂本 まゆみ	大阪中央RC	7/2
岡村 雄二	大阪大淀RC	7/23
末岡 稔啓	大阪大淀RC	7/23

ロータリー財団

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。(2010年)

西尾 寛一	4回目	大阪柏原RC	09/1/30
長谷川眞哲	1回目	大阪大淀RC	7/23
橋本 佳明	2回目	大阪大淀RC	7/23
井原 巖	5回目	大阪大淀RC	7/23
岩本 潤三	4回目	大阪大淀RC	7/23
伊津 政美	1回目	大阪大淀RC	7/23
大石 正守	1回目	大阪大淀RC	7/23
野々原喜久夫	3回目	大阪南西RC	09/2/20

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の

出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会報告書より

- 「運命とロータリーの未来」 ビチャイ・ラタクル 2010 12P (D.2670)
「よきロータリアン 指導者としてのロータリアン」 渡辺 好政 2010 14P (D.2710)
「ロータリー財団」 北 清治 2010 5P (D.2560)
「ロータリーの原点を知る『決議23-34号』」 パネル・ディスカッション
安孫子 貞夫 他 2010 13P (D.2800)
「世界と高知 会員の状況」 杉谷 卓紀 2010 5P (D.2670)
「江戸時代の日本に学ぶもの」 徳川 恒孝 2010 5P (D.2560)
「これからの日本」 小泉 純一郎 2010 9P (D.2630)
「落語でお伊勢参り」 桂 文我 2010 6P (D.2630)

[上記申込先：ロータリー文庫(コピー/PDF)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

敬 弔 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

佐野 元英 会員
(大阪平野RC)
2010年8月27日逝去(享年69歳)

会長、幹事、会計、会場監督
ロータリー財団委員長、親睦活動委員長、世界社会奉仕委員長
プログラム委員長、会員増強委員長、クラブ奉仕委員長
会員選考委員長、青少年委員長、国際奉仕委員長

米山功労者
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

ガバナー・エレクト業務開始のご案内

ガバナー・エレクト 岡部 泰鑑 (大阪城南RC)
次期地区代表幹事 境 高彦 (大阪城南RC)

10月1日よりガバナー・エレクト業務をスタートいたしました。

- 所在地 〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6F
電話：06-6264-2660 FAX：06-6264-2661 E-mail：gov@ri2660.gr.jp
- 執務時間 月曜日～金曜日 9:30～17:00 ※土・日・祝は休ませていただきます。
- 事務局員 栗正 久美

ガバナー補佐便り



IM第1組ガバナー補佐 道満 隆 (豊中一大阪国際空港RC)

期初に病気療養中の宮内敏光ガバナー補佐が急逝されるという事態が生じたので急遽、松本ガバナーの要請を受けまして来年度の予定であった私が、本年度のガバナー補佐として繰り上げて就任する運びとなりました。

7年前にもガバナー補佐を経験しておりましたので、何とか頑張って地区や受け持ちのRCの皆様にご迷惑をおかけしないよう務めたいと思っております。

任務としては、ガバナーを補佐して地区の方針や情報、支援を各クラブに伝えるのが本旨であることはもちろんですが、それとともにクラブの意見や希望をくみ上げて地区やRIに反映してもらうように務めることも、大切な役目であると考えております。

地区とクラブとの双方向のパイプ役。これが就任にあたっての私の抱負です。よろしくお願ひ申し上げます。

「お詫びと訂正」 月信9月号 8ページ 2010年7月度 会員数・出席報告の7月末会員数に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

大阪ユニバーサルシティ (誤) 29 → (正) 27
合計 (誤) 3805 → (正) 3803

「お知らせ」 大阪ネクストRC 年会費変更 60,000円 → 70,000円

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-Mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿（写真付きの場合は一緒に添えて）を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。
- 今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布いたします。また、ご希望の会員には有料（年間2,200円・1冊200円）配布とさせていただきますので、出来るだけ多くの方のお申し込みをお待ちしています。

月信編集委員会

- ・ガバナー 松本新太郎
- ・地区代表幹事 池尻 誠
- ・地区副代表幹事 吉本 憲司
- ・担当地区幹事 小山 悦治
- ・担当地区幹事 笠井 実
- ・担当地区幹事 奥谷 英一
- ・事務局長 今井 貢二

2010～2011年度 国際ロータリー第2660地区 【ガバナー事務所ご案内】

●事務局スタッフ

ガバナー	松本新太郎
地区代表幹事	池尻 誠
地区副代表幹事	吉本 憲司
事務局長	今井 貢二
事務局員	栗正 久美
	春名 志保
	大西 麻容

●休 日

土曜、日曜、祝日
 年末年始
 2010年12月29日(水)～
 2011年1月4日(火)

●所在地・電話・ファックス

〒541-0052
 大阪市中央区安土町1-5-11
 トヤマビル東館 6階
 TEL：06-6264-2660
 FAX：06-6264-2661

ガバナー事務所に会議室を併設いたしております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせ下さい。

●ホームページアドレス

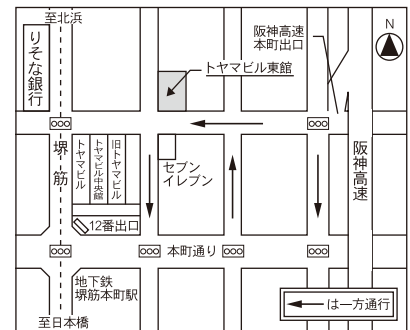
<http://www.ri2660.gr.jp/>

●メールアドレス

gov@ri2660.gr.jp

●勤務時間

9：30～17：00



※地下鉄堺筋線 堺筋本町駅 12番出口すぐ

国際ロータリー第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6F
 電話 06-6264-2660 Fax 06-6264-2661 E-mail:gov@ri2660.gr.jp

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

6F Toyama Bldg, East 1-5-11 Azuchi-machi Chuo-ku OSAKA 541-0052 JAPAN
 Phone.+81-6-6264-2660 Fax.+81-6-6264-2661 E-mail.gov@ri2660.gr.jp

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2010-2011

11 vol.5



地域を育み、大陸をつなぐ

国際ロータリー第2660地区

2010～11年度ガバナー 松本 新太郎

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

CONTENTS

ガバナー メッセージ ロータリー財団月間 世界インターアクト週間 ガバナー 松本 新太郎	1	青少年交換来日学生研修会 青少年交換委員会 委員長 金本 恒二郎	8
ロータリー財団月間によせて ロータリー財団委員会 委員長 福家 宏	2	米山奨学委員会・ロータリー財団	9
世界インターアクト週間によせて インターアクト委員会 委員長 谷野 清孝	3	2010年9月度 会員数・出席報告	10
地区ロータリー財団セミナー報告 ロータリー財団委員会 委員長 福家 宏	4-5	文庫通信	11
クラブ職業奉仕委員会 第一回 委員長会議報告 職業奉仕委員会 委員長 鈴木 洋	6	お知らせ／敬弔	12
クラブ社会奉仕委員会 第一回 委員長会議報告 社会奉仕委員会 委員長 表 寛治	7		



11月はロータリー財団月間です。

こう言いますと「ああ、寄付金集めの月間か」と早合点される方がおられるとすれば、とても残念なことです。また各クラブでも、財団月間が単なる寄付集金月間になってはいないでしょうか。

本年度の地区テーマ「ロータリークラブについてもう一度考えてみませんか」に沿って申し上げるなら、11月はロータリー財団について、もう一度考えていただく機会にさせていただきたいのです。それは何も「じゃあ考えなおして、寄付をやめるか」ということではありません。なぜロータリー財団が誕生したのか、財団がこれまでどういった活動を展開してきたのか、そして今、私たちは財団を活用して何ができるのか、など財団に関する様々なことに改めて思いを巡らせていただきたいのです。

そしてその前提として、ロータリー財団への理解を深めていただくことは申し上げるまでもありません。財団は私たちに対して、国際親善奨学金やGSE(研究グループ交換)など多様なプログラムを提供してくれます。これらを有効に取り入れていくことができれば、各クラブが大いに活性化するでしょう。また財団の各種補助金を効果的に利用していくことで、クラブ事業の幅が広がり、

一層の成果を上げることが可能になるでしょう。

「会員数の減少で、事業の範囲や規模が制限されている」というもっもらしい口実を先に立てるよりも、厳しい時代だからこそ財団を理解し、上手に活用することで奉仕を質量ともに確保していく方が、ロータリアンとしては賢明な選択なのではないでしょうか。

また11月5日を含む1週間をRIは「世界インターアクト週間」と定め、ロータリアンとインターアクターがともに国際的な活動に参加するように呼びかけています。当地区では現在、大阪桐蔭、大阪浪速、金光八尾、四天王寺、清風、相愛学園の6校でインターアクトクラブが活動を続けています。

インターアクトを巡っては先ごろ、RI理事会で年齢制限が14歳から12歳に引き下げられました。また奉仕の第5部門として「新世代奉仕」が設けられたことから、今後ロータリアンにとってインターアクトの重要性は、これまで以上に高まっていくことになるでしょう。

インターアクトクラブを提唱されているクラブはもちろん、されていないクラブもこのタイミングに、インターアクトについてもう一度考えてみられてはいかがでしょうか。



ロータリー財団は1917年米国ジョージア州アトランタで開催された国際大会で第6代RI会長のアーチ・C・クランフ氏が「全世界的な規模で慈善、教育、その他社会奉仕の分野でよりよい事をするために基金を作ろう」と提案したことに始まり、1928年国際大会でロータリー財団と名づけられ、1931年に信託組織となり、1983年に米国イリノイ州法の法令の下に非営利財団法人となりました。

RI理事会と、管理委員会は、毎年11月はこの月間を遵守すること、月間中、クラブは少なくとも1つのクラブ・プログラムを財団のために実施することを決定しました。

月間中は、ロータリー財団補助金受領者その他（例えばロータリー財団国際親善奨学生など）が、クラブ例会や教育機関や地域社会の会合で、ロータリー財団について講演するよう、示唆されています。財団の奨学金事業、および、人道的諸事業についての知識と理解を深め、財団の推進に役立つプログラムを実施してください。

（ロータリアン必携「ロータリー情報マニュアル2007」より）

■毎年11月はロータリー財団月間です

松本新太郎Gのテーマは「ロータリークラブについてもう一度考えて見ませんか」です。私はロータリー財団月間を迎えるにあたり「ロータリー財団についてもう一度考えてみませんか」とご提案致します。

RI元会長のバート・バース氏はこう語っています。

ロータリーの襟ピンを付けている人は、次のようなメッセージを発信しているのです。『あなたは私を信頼することができます。私は頼りになります。私は信用に値します。私は受けるよりも多くを与えます。私はいつでもお手伝いします』

またグレン・エステス前財団管理委員長はこう語っています。

ロータリー財団のおかげで、世界中の人々は、必要とあればロータリーを頼りにできると知っています。助けを求められたとき、ロータリアンがこれに応えられるのも、財団があるからです。財団がなければ「私にできること

はありません」と言って断るほかありません。

私たちが、新入会員としてロータリークラブに入った時のことを思い出して見たいと思います。「奉仕の理想」を歌い、諸先輩の話を聞いたとき「自分はロータリアンの助けを必要としている誰かのために何とか力になろう」という決意をお持ちになられたことと思います。このことは正しくロータリーの原点ではないでしょうか。その時の気持ちを思い出して、もう一度ロータリー財団について考えてみましょう。

ロータリー財団は90余年の歴史の中で、目覚ましい発展を遂げています。その資産は7億ドルに達しており、今日までに115カ国以上の47000人以上の奨学生を援助してきました。民間団体として、世界最大の奨学金です。マッチング・グラントの件数は29000件を超えています。またロータリー財団は1985年のポリオ・プラス・プログラムの発足以来、20億以上の子供たちに経口ポリオ・ワクチンを接種してきました。

このように輝かしいロータリー財団の業績の担い手は誰でしょうか？ロータリアンです。これまでロータリアンの奉仕活動に提供された資金は20億ドルに達しています。資金の提供者は誰でしょうか？ロータリアンです。

私たちが「奉仕の理想」を実践できるのは、ロータリー財団による恩恵です。そのロータリー財団を支えているのはロータリアンです。

ロータリー財団月間を迎えるにあたって、私たちは今一度ロータリアンとしての誇りを自覚したいものです。ロータリアン一人ひとりの寄付は巨大な金額となって、ポリオを初めとする疾患の予防や治療、母子の保健、水と衛生、識字率などの改善を積極的に進めて行く活動に直接結びついていることを誇りとしましょう。それを認識することがロータリー財団月間の最大の目的ではないでしょうか？

このようなしっかりした認識を持つことが出来れば、皆様の130ドル以上の年次寄付は、必ずや生きた寄付金となるに違いありません。

世界インターアクト週間によせて

2010～2011年度 第2660地区インターアクト年次大会

インターアクト委員会

委員長 谷野 清孝
(大阪南RC)

2010～2011年度インターアクト年次大会が9月26日(日)大阪桐蔭中学高等学校にて「世界の子供たちに文房具を贈ろう」というターゲットで開催されました。担当校は大阪桐蔭中学高等学校、ホストクラブは大東RCです。当日は、第2660地区松本新太郎G、吉川謹司PG、岡部泰艦GEを迎え、6校の生徒68名、顧問先生15名、ロータリアン38名、ローターアクター1名、事務局1名他4名の127名の参加で開催されました。

開会式の後、各校インターアクター代表からの活動報告があり、続いて8月6日～9日の韓国ソウルでの海外交流、奉仕活動の研修の成果について浪速中学高等学校より報告がありました。

続いて国境なき奉仕団理事長代理、松本秀作氏に講演に来て頂き「国境なき奉仕」の活動を聞かせて頂きました。松本氏の講演では、国際貢献活動は、資金物資援助（ODA）、人的（技術）援助の2つに絞られ適切な自己判断のもとに、今なすことはなにかを基本に広範囲な奉仕活動に意識をもった人を多くつくり、奉仕に対する自分の既成概念を破ることだと話されました。この講演においては、あらためて「奉仕」という言葉の重みを感じ

ました。

その後、シンフォニックホールにおいて、大阪桐蔭吹奏楽部による演奏で心がいやされた思いでした。

午後からは生徒が、6グループに分かれて、文房具（鉛筆・消しゴム・ノート・その他）、分別梱包、メッセージカードの作成とインターアクターとロータリアンとが汗をかき有意義な奉仕活動を推進できたと思います。

国際奉仕を通じて少しでも貧困から立ち上がる機会をつくることで、子供達の未来に貢献し世界の人々に「日本人の心」を知ってもらいたいと思います。そして、純粋な子供達の喜ぶ姿を考えれば彼らが大人になった時この経験が何かに役立つだろうし、又、世界から見た小さな豆電球のともし火のようなものですが、続けていけば幸せだなという実感がわいてきます。

年次大会の最後は次年度担当の相愛中学高等学校へ引き継ぎを行い無事終了しました。

このような有意義な年次大会を企画運営されました大阪桐蔭中学高等学校の皆様、大東ロータリークラブの皆様、心から感謝申し上げます。今後ともインターアクトクラブへのご支援をよろしくお願い申し上げます。



日時：2010年8月28日(土) 13:30～16:30

場所：大阪YMCA会館 2Fホール

地区ロータリー財団セミナーはG主催の大切なプログラムで、各クラブの会長、幹事、財団委員長を対象としたロータリー財団についての勉強会です。猛暑の最中でしたが、松本新太郎Gはもとより近藤雅臣RI理事、井上暎夫第3ゾーン学友コーディネーター、大谷透PG、岡部泰鑑GE、高島凱夫GN、地区研修委員会から神崎茂サブリーダーと木村芳樹委員、AG、AGE、小林澄子国際奉仕WCS委員長、井川孝三ロータリーの友地区代表委員など多数の指導者のご参加を頂きました。司会は池尻誠地区代表幹事が務められました。出席者数は255名でした。

松本G

「RCについてもう一度考えてみませんか」のテーマのもと、本日は「財団についてもう一度考えてみましょう」と呼びかけられました。このセミナーを通して財団への理解を深め、クラブの活動に十分役立てて欲しい。さらに私たちの立ち位置を再度認識しましょう、と説かれました。また「財団すなわち寄付集め」といった誤った考え方を捨てて、個々のロータリアンの奉仕活動への理解が深められるように努めて頂けるならば、それは自ずと寄付増進に繋がるでしょう。奉仕活動を実施するときは相手のニーズを十分に理解してプロジェクトを進めるようにしましょう、と語られました。

地区財団委員長

私はロータリー財団(TRF)の成り立ち、RIとの関連、目覚ましい発展と奉仕の歴史、財団プログラムの種類と内容、国際ロータリーとロータリー財団とロータリアンとの関係などをお話し、ポリオ撲滅のための「ロータリーの2億ドルチャレンジ」については今年8月現在1億4000万ドル以上の寄付金が寄せられていることや、世界のポリオ発症数の激減についてご説明とご協力をお願いを致しました。

1. 寄付増進プログラム部門

百済洋一財団情報・増進委員会委員長のお話は下記のような内容でした。

①地区の寄付目標

ロータリアンに対して年次寄付1人130ドル以上、ポリ

オ撲滅寄付金1人3000円以上、クラブに対して恒久基金ベネファクター毎年1人以上、ロータリー・カード会員1クラブ3名以上、地区に対して大口寄付者1人以上の目標達成の協力要請。

- ②また個々の寄付金に関する詳細な説明や冠名基金など特別な寄付についても時間を割いて解説。
- ③寄付はロータリーの奉仕活動に間接的にはあるが参加していることにはなるが、直接的参加が望ましく、有意義なプロジェクトを実施して寄付金を有効利用することを提案。
- ④ロータリー・カードの意義と入会の勧誘。
- ⑤カード入会率、当地区や日本、世界のロータリアンの寄付金額の推移など(資料配布)。

2. 人道的プログラム部門

五味千秋財団法人道的補助金委員会委員長は、「人道的補助金の有効活用」と題してスライドを用い、主として下記5点について解説をされました。

- ①ロータリー財団の財源
- ②寄付金の内訳
- ③年次プログラム基金の配分(DDFとWF)
- ④マッチング・グラントの仕組みと実施手順
- ⑤地区補助金の実施手順など。

分かり易いスキームを示され、クラブ財団委員長の皆様は理解を深められたことと思います。

3. 教育的プログラム部門

(1)井上暎夫財団学友コーディネーターは、教育的プログラムは基本的かつ重要なプログラムと認識すべきこと、2007年規定審議会が「財団学友はロータリー・クラブの正会員となる資格を有する者」と定めていることをご紹介され、日本でロータリアンの高齢化が会員減少の一因となっている現在、新世代のロータリアンの育成は極めて重要であり、これについて理解を深めるよう呼びかけられました。また学友(PSCとアルムニ会)をロータリーに迎え入れることへの支援と、当地区が誇りとすべき大阪ネクストRCに対する理解を求められました。

(2)梅崎道夫財団奨学金・学友委員会委員長は、国際親善奨学生制度の歴史、応募から留学までの手続き、資格要件、奨学生募集試験合格から入学までの過程、スポンサー・クラブとホスト・クラブの役割、平和フェロー・プログラム、財団学友(PSC)活動、未来の夢計画に至るまで、配布資料提供の上明快なご説明を

されました。そして国際親善奨学生（語学力については高水準を求められる）や平和フェローの候補者推薦を要請されました。

- (3)このあと折りよく帰国中のPSC西口三千恵さん（2004-05国際親善奨学生）に素晴らしいプレゼンテーションをして頂きました。西口さんは英国で国際開発マネジメント修士課程を修められ、2005年からザンビアやマラウイで活動ののち2008年1月からカンボジアの医療僻地での診療所運営に所長補佐として関わっておられます。現地は熱帯熱マラリアの蔓延地域である上、医療環境は極めて劣悪、無免許の医療行為も行われているという困窮地域です。西口さんはそこに診療所を建設するプロジェクトを立ち上げ、省エネ設計に基づく診療所建設を成功させました。当地区の（国際奉仕）WCS委員会は、現地を何度も訪れて診療所運営に必要な機材の寄贈を実施されました。西口さんはこのこと大変感謝しておられますが、ご自身の留学前から今日に至るまで、ずっとロータリアンの熱い支援を受けて来られたことに繰り返し謝意を述べられました。感動的なプレゼンテーションでした。

4. 研究グループ交換部門

- (1)2009-2010 D2660 GSE派遣チームプレゼンテーション（団長+5名）

派遣先：米国テキサス州（D5870：オースチン地区）

2010/04/23～05/21

団 長：佐藤俊一氏（大阪鶴見RC）

団 員：松永圭司氏（八尾中央RC推薦）、吉田章夫氏（大阪イブニングRC推薦）、大本尚美氏（大阪鶴見RC推薦）、品川明日香氏（大阪北RC推薦）、端山信吾氏（大阪西南RC推薦）

約40分間、現地での活動をムービーで披露しつつチームの佐藤団長初め、5人の団員一人ひとりが広いテキ

サスでの楽しくも珍しい多くの体験談を語って下さいました。チームの皆様は立派に国際親善の役割を果たしつつ、それぞれの職業に関する研修を身につけて帰って来られました。帰国後はアルムニ会に属し、財団学友としてロータリーのためにご尽力頂けるものと思います。将来ロータリアンとして活動して頂けることを期待しています。

- (2)吉崎広江研究グループ交換委員会委員長

GSEとはどんなものか、その目的やしくみについてご説明されました。そして当地区の活発なGSE活動の歴史を紹介されました。1976年プログラム開始時より、当地区は22回にわたってGSEを実施してきました。そして2010-2011、2011-2012年度の2年間にわたる交換をスリランカ（D3220）と実施（今年度は受け入れ）することや、受け入れ時の委員長クラブを紹介されました。

5. セミナーの閉会に当たって

今回質疑応答の時間を10-15分間設定していましたが、ご質問はありませんでした。

セミナーを閉じるにあたり、先ず高島凱夫GNからご挨拶があり、3時間のセミナーは有意義なものであったとのご評価を頂きました。次いでRI理事、近藤雅臣PGよりご講評を頂きました。ご参加の皆様と発表者への労いの言葉と、励ましを頂きました。またPSCの西口さんのプレゼンテーションを高く評価されました。またGSEについてはご自身にとってオースチンが第2の故郷であることや、チームの団員の皆様には是非ロータリアンになって欲しいという思いを語られました。ポリオ撲滅については「ここまで来たら最後まで徹底的にやりましょう」と、全員に決意を促されました。

そして岡部泰鑑GEが閉会のご挨拶としてセミナーの意義を評価され、これからも財団への理解を深める努力を続けるようにと話されました。



クラブ職業奉仕委員会 第一回 委員長会議報告

職業奉仕委員会

委員長 鈴木

洋
(八尾東RC)

出席者：松本G、岡部GE、神崎PG、G補佐7名、地区委員7名と85クラブの内76クラブ、合計93名。

司会：地区職業奉仕委員 岸本 隆之

ガバナー挨拶：松本新太郎G

クラブ職業奉仕委員長の皆様へ：神崎茂PG

職業奉仕月間卓話について：地区職業奉仕委員長 鈴木 洋

本年度の計画報告：進行 — 地区職業奉仕副委員長 長崎弘芳、フォーラム — 千里メイプル、
職場見学 — 四条畷、卓話 — 吹田西・くずは、職場体験 — 大阪西・大阪難波
出前授業 — 八尾、大阪東、その他 — 東大阪東・大阪ネクスト

挨拶：岡部泰鑑GE

本年度第1回のクラブ職業奉仕委員長会議は85クラブ中76クラブの委員長が出席し、熱心な発表と討議が行われました。合同地区委員会をお願いをしていた「10月の職業奉仕月間にはクラブ職業奉仕委員長自らが卓話をし、その後フォーラムへと繋いでいただく」計画を、65クラブが実施すべく準備をして頂いており、心より敬意を表します。このように熱心なロータリアンが大半ですが、出席登録をしておきながら当日何の連絡もなく欠席する方がいることは残念でなりません。

1. クラブ職業奉仕委員長の皆様へ

神崎 茂PG

「職業奉仕の理念と実践」「経済と倫理—アダム・スミスの人間観」をテーマに20分間お話を頂きました。「職業奉仕とはあなたの職業(仕事)を通じて他人を助けること」との明快な言葉に始まり、アーサー・フレデリック・シェルドンの考え方と江戸時代の商人道との共通点等

のお話に参加者は熱心に聞きっていました。

2. 職業奉仕月間卓話について

鈴木 洋・地区職業奉仕委員長

クラブ職業奉仕委員長に卓話をして頂く為の卓話事例「今こそ職業奉仕」を紹介し、「四つのテスト」をはじめ7項目の卓話テーマを紹介しました。

3. クラブ事業計画の報告

10クラブの委員長から事業計画の発表を頂き、その後活発な質疑応答が行われました。85クラブ中フォーラム62、職場見学60、関連卓話65、出前授業42、職場体験学習33、その他44と多くのクラブが積極的に取り組みを進めています。特に出前授業は小学校から始まり大学まで広がり更に新人教師向け研修の講師も務めています。会議の最後を出前授業の産みの親である畑田地区研修委員のコメントで飾って頂きました。



クラブ社会奉仕委員会 第一回 委員長会議報告

社会奉仕委員会

委員長 表

寛治
(池田くれはRC)

日時：2010年9月4日(土) 9:30～11:30

会場：薬業年金会館

出席者：松本G、岡部GE、ガバナー補佐、矢野地区研修委員、地区社会奉仕委員、クラブ社会奉仕委員長、大阪府都市整備部 伊東 様、大阪府赤十字血液センター 小川 様、大阪府健康医療部 中田様、合計 82名

第1回クラブ社会奉仕委員長会議が9月4日薬業年金会館にて82名が出席のもと開催されました。

まず松本Gより意義有る社会奉仕活動に取り組んでもらいたい、地域との密着をより大切にとのお話をいただきました。また、矢野地区研修委員より社会奉仕活動の理想についてお話がありました。地区社会奉仕委員会より現況について、地区補助金(DSG)の申請状況の報告、2009～10年度クラブ社会奉仕活動事例集の作成について各クラブの活動報告をお願いしました。

○大阪府都市整備部 伊東様から

撤去歩道橋のインドネシアでの再利用の取り組みについて

○大阪府赤十字血液センター 小川様から
献血の現状について

「まいどなんば献血ルーム」の開所の案内

○大阪府健康医療部 中田様から

薬物乱用防止について

平成22年度「麻薬、覚せい剤乱用防止運動大阪大会」に際して協力の依頼

岡部GEより今回の会議についての総括をいただき、川上地区社会奉仕委員会副委員長から本日の出席のお礼と第2回クラブ社会奉仕委員長会議を2月19日(土)に同じ会場で開催することを連絡申し上げ閉会としました。



青少年交换来日学生研修会 3地区合同オリエンテーション報告

青少年交換委員会

委員長 **金本 恒二郎**
(大阪天王寺RC)

隣接する3地区(D-2660、D-2640、D-2680)では、各地区間の交流やコスト削減のために、一昨年より3地区合同で来日学生へのオリエンテーションを実施しています。今回は、第2680地区(兵庫県全域)青少年交換委員会のお世話により、9月25日(土)～26日(日)に姫路北部にある書写山圓教寺で実施されました。

圓教寺は千年以上の歴史あるお寺で、天台宗の比叡山延暦寺、大山寺と並ぶ三大修行場の1つで「西の比叡山」とも呼ばれる古刹です。今日では、姫路市内の小中学生達の殆どが林間学舎として利用しているそうです。また、2003年公開のハリウッド映画「ラストサムライ」(トムクルーズ、渡辺謙が共演)の主なロケ地に利用されたことでも有名です。

そのような霊験あらたかな雰囲気にも包まれた地に、3地区の来日学生全員(20名)を含むローテックス、ロータリアン達延べ約65名が集合して、2日間にわたる研修等が始まりました。

初日は、第2680地区ガバナー柴田整宏様、同地区委員長白井務子様のご挨拶の後、記念撮影、常行堂(重要文化財)舞台での居合道と空手道の見学があり、夕食後は、地区別に分かれてのオリエンテーションがありました。来日学生達は、目前で披露される日本伝統武道の迫力と素晴らしさに皆が驚嘆していました。

地区別のオリエンテーションでは、海外派遣経験のあるローテックスメンバーが中心になり、車座になって来日から約1か月経過した時点での悩みや問題等を尋ね、ローテックスやロータリアンからのアドバイスや討論を通じて、日本の習慣や日本人の意識や考え方への理解を深めてもらうとともに、学校や家庭での日常生活に順応し

てもらふこと、溜まったガス抜きをすることを目的としております。また、ホストファミリーとの信頼関係を円滑に形成・維持してもらえよう、第三者であるローテックスやロータリアンからのアドバイスや指導を行いました。来日学生は皆それぞれ、納得、満足したり、意識を新たに今後生活に熱い意欲を示していました。

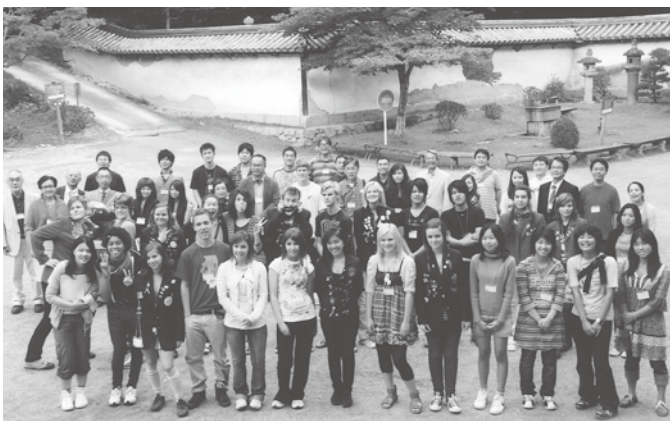
2日目は、6時40分から摩尼殿で朝のお勤めに参加し、朝食後は常行堂での座禅体験とお説法、大講堂(重要文化財)内の見学・説明、食堂(重要文化財)内の見学がありました。

朝のお勤めでは読経の流れる中で荘厳な雰囲気を味わえ、座禅体験では少しでも無の境地に浸ることができたものと思われます。また、食堂内に展示された数々の由緒ある展示品にも皆見入っていました。

昼食後、書写山を下山してからは、姫路歴史博物館を見学し、好古園で日本庭園を散策し、続いて“平成の大改修”中ならではの姫路城(世界遺産、国宝)骨格部分の見学を英訳ボランティアガイド付きで行いました。

このように、いずれも日本文化に縁の深いものばかりを、しかも盛り沢山にこなすという、とても意義深い2日間のオリエンテーションでした。午後4時過ぎ、姫路城を後にし、皆無事に帰路につきました。

最後に、この紙面をお借りして、この度お世話になりました第2680地区の皆様に対し、心より御礼と感謝の気持ちをお述べさせていただきます。本当に有り難うございました。次年度は、我が第2660地区の担当になりますが、2年連続の素晴らしいプログラムに、若干のプレッシャーと強い意欲を感じている次第です。



米山奨学委員会・ロータリー財団

地区米山奨学委員会より

2010年8月末	全国寄付金合計額	295,926,672円 (前年度比 1.94%増)
”	第2660地区寄付金合計額	14,511,250円 (前年度比 9.91%減)
2010年8月末	全国寄付合計トップ10	
1.	第2770地区	19,335,592円
2.	第2760地区	17,696,500円
3.	第2750地区	16,893,030円
4.	第2650地区	15,408,495円
5.	第2590地区	15,316,000円
6.	第2660地区	14,511,250円
7.	第2580地区	13,819,700円
8.	第2710地区	11,839,000円
9.	第2690地区	11,609,400円
10.	第2790地区	11,272,700円

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。
(2010年8月)

氏名	回数	クラブ名
天野 正亮	2回目	東大阪東RC
朝田 正治	2回目	東大阪東RC
井上 家昌	5回目	東大阪東RC
城戸 義雄	4回目	東大阪東RC
溝畑 正信	7回目	東大阪東RC
森 裕一	1回目	東大阪東RC
大橋 秀典	1回目	東大阪東RC
寺田 秀興	5回目	東大阪東RC
山本 峰雄	5回目	東大阪東RC
山下謙二郎	2回目	東大阪東RC
都田 慶一	3回目	茨木西RC
家原 泰雄	2回目	大阪城東RC
山本 秀典	2回目	大阪城東RC
北村 薫	1回目	大阪中之島RC
岡本 啓吾	1回目	大阪中之島RC
阿江 秀典	1回目	大阪西北RC
藤井 進次	9回目	大阪西北RC
小山 登	1回目	大阪西北RC
三村 恵造	4回目	大阪西北RC
瀬田川昭俊	3回目	大阪西北RC
高士 誠司	1回目	大阪西北RC
菅本憲市郎	7回目	新大阪RC

米山功労クラブ

次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました。
(2010年8月)

クラブ名	回数
大阪城東	41回目
大阪中之島	11回目
大阪西北	39回目

ロータリー財団

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2010年)

堀田 修平	枚 方RC	8/ 6
倉内 貞敏	茨 木RC	8/20
金沢 英富	大阪城東RC	8/20
司馬 久義	大阪城東RC	8/20
山本 恵眞	新 大 阪RC	8/20
水上 雅博	東大阪東RC	8/31

ロータリー財団

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。(2010年)

佐々木良高	3回目	茨木西RC	8/ 6
田村 英明	1回目	茨木西RC	8/ 6
宮里 唯子	1回目	茨木西RC	8/ 6
北村 薫	1回目	大阪中之島RC	8/ 6
山下謙二郎	2回目	東大阪東RC	8/13
須崎 洋一	3回目	東大阪東RC	8/13
金子 泰輔	3回目	東大阪東RC	8/13
大森 慈祥	6回目	茨木RC	8/20
岡本 浩	3回目	大阪城東RC	8/20
岡本真一郎	1回目	大阪なにわRC	8/20

ロータリー財団 ベネファクター

次の方たちにベネファクターの称号が贈られました。(2010年)

高島 凱夫	大阪中之島RC	8/ 6
井土 賢一	大阪城東RC	8/20

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50 周年記念事業の一つとして 1970 年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2 万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の

出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページで PDF もご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

贈呈資料から

「広報 (Public Relations) とは…」

田岡 久雄 2010 45P [申込先:日本事務局 FAX(03)3903-3781]

「ロータリーマジック 違いをもたらそう」

江崎 柳節 2010 197P [申込先:江崎柳節 FAX(0568)77-0239]

「日本 RC 認証順位一覧」 前岡 志郎 2010 56P [申込先:ロータリー文庫]

「ロータリーの心と実践」 D.2660 2010 90P [申込先:D.2660 FAX(06)6264-2661]

「我等の生業」 行田さくら RC 2010 87P [申込先:行田さくら RC FAX(048)564-3020]

「マレーシア・ボルネオ島・サラワク州植林支援活動報告書」

上田東 RC 2010 28P [申込先:上田東 RC FAX(0268)21-3501]

「心学の祖 梅岩に学ぶ職業奉仕 真実かどうか? <DVD>」

亀岡 RC 2010 [申込先:亀岡 RC FAX(0771)25-2151]

「ロータリー情報マニュアル第3版」

D.2650 2010 786P [申込先:淵上勝夫 FAX(0779)87-2560]

「新作講談『日本のロータリー創始者・米山梅吉翁一代記』<DVD>」

宝井 馬琴(講談) さいたま新都心 RC 2010 [申込先:ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館 = 午前10時~午後5時 休館 = 土・日・祝祭日

「お知らせ」

月信7月号 15ページ

主要送金「4. ロータリー財団への寄付」

送金先の欄の説明に「税制上の優遇措置を希望する寄付」とありますが、本年度から教育目的の20万円以上の寄付であっても、税制上の優遇措置が受けられなくなりましたので、ご注意ください。

事務局移転 大阪天王寺RC 移転日 2010年10月14日(木)

移転先 〒543-0055

大阪市天王寺区悲田院町8-11

新和興産ビル302号室

TEL 06-6772-5816 FAX 06-6779-7956

※TEL・FAX番号は大阪南RCと共通になります。

ホームページアドレス変更

豊中RC <http://www.sun-inet.or.jp/~jtrc2660/>

茨木西RC <http://www.ibarakiwest.is-mine.net/>

敬 弔 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

倉内 隆 会員 (寝屋川RC)

2010年10月6日逝去(享年78歳)

親睦活動委員長、出席委員長

ポール・ハリス・フェロー

栞田 圭児 会員 (大阪北RC)

2010年10月9日逝去(享年78歳)

幹事、ロータリー情報委員長

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
米山功労者

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-Mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿（写真付きの場合は一緒に添えて）を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。
- 今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布いたします。また、ご希望の会員には有料（年間2,200円・1冊200円）配布とさせていただきますので、出来るだけ多くの方のお申し込みをお待ちしています。

月信編集委員会

- ・ガバナー 松本新太郎
- ・地区代表幹事 池尻 誠
- ・地区副代表幹事 吉本 憲司
- ・担当地区幹事 小山 悦治
- ・担当地区幹事 笠井 実
- ・担当地区幹事 奥谷 英一
- ・事務局長 今井 貢二

2010～2011年度 国際ロータリー第2660地区 【ガバナー事務所ご案内】

●事務局スタッフ

ガバナー	松本新太郎
地区代表幹事	池尻 誠
地区副代表幹事	吉本 憲司
事務局長	今井 貢二
事務局員	栗正 久美
	春名 志保
	大西 麻容

●休 日

土曜、日曜、祝日
 年末年始
 2010年12月29日(水)～
 2011年1月4日(火)

●所在地・電話・ファックス

〒541-0052
 大阪市中央区安土町1-5-11
 トヤマビル東館 6階
 TEL：06-6264-2660
 FAX：06-6264-2661

ガバナー事務所に会議室を併設いたしております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせ下さい。

●ホームページアドレス

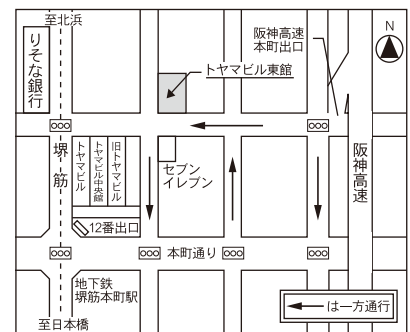
<http://www.ri2660.gr.jp/>

●メールアドレス

gov@ri2660.gr.jp

●勤務時間

9：30～17：00



※地下鉄堺筋線 堺筋本町駅 12番出口すぐ

国際ロータリー第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6F
 電話 06-6264-2660 Fax 06-6264-2661 E-mail:gov@ri2660.gr.jp

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

6 F Toyama Bldg, East 1-5-11 Azuchi-machi Chuo-ku OSAKA 541-0052 JAPAN
 Phone.+81-6-6264-2660 Fax.+81-6-6264-2661 E-mail:gov@ri2660.gr.jp

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2010-2011

12 vol.6



国際ロータリー第2660地区

2010～11年度ガバナー 松本 新太郎

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

CONTENTS

ガバナー メッセージ 家族月間 ガバナー 松本 新太郎	1	米山奨学委員会	6
ロータリー家族月間によせて 八尾ロータリークラブ 会長 中西 啓詞	2	ロータリー財団	7
秋のライラを終えて 青少年活動委員会 委員長 末田 良介	3	2010年9月度 会員数・出席報告	8
米山奨学生レクリエーション報告 米山奨学委員会 委員 小山 義之	4	文庫通信	9
2010~2011年度 地区大会 ご参加のお礼 地区大会 大会委員長 今川 憲治	5	お知らせ／敬弔	10



12月は家族月間です。皆様この一年間、日々奉仕に励んでこられたこととは思いますが、一年の締めくくりの月にあたり、社会生活の最小単位である家族に思いをはせることは、来るべき新年の方向性を考える上でも非常に有意義なことであると考えます。

まずはロータリー活動に存分に取り組んでいただく大前提として、皆様のご家庭が平穏かつ円満でなければならないことは、改めて申し上げるまでもありません。その上で、あなた自身にとって一番身近な奉仕の対象であるご家族——配偶者やご両親、ご子息、ご親族（お孫さんなど）——に対して、望まれている奉仕が実践できているか、再確認してみることも大切でしょう。さらにはあなたがロータリーで学び、身につけようと努力している奉仕の心を、最も近くにおられるご家族の皆さんにしっかりと伝えられているかを考えてみることも意味があると思います。

そしてまたロータリークラブでは、世界中のロータリアンとその家族のみならず、ローターアクターやインターア

クター、青少年交換学生や米山奨学生たちも含めて「ロータリー家族」としての心を開いた交流を奨励しています。こうした人たちと文字通り「家族同様」のお付き合いを「家族ぐるみで」続けていくことができれば、まさに皆さんの家族はどんどん広がり、より幅広い奉仕へとつながっていくことでしょう。

ロータリーでは「超我の奉仕」と申しますが、「我」すなわち自分自身のことを何もかもそっちのけで奉仕のためにすべてを犠牲にするのは非常に困難であり、長続きはしないと思います。それと同様に「我々」つまり家族も、奉仕の足元としてしっかり見つめ直したいものです。これまで「家族そっちのけで仕事に没頭してきた」という方もおられるかもしれませんが、仕事に没頭させてくれた家族に対しても、恩返しを忘れてはなりません。

寒さが厳しさを増すこの季節、家族のぬくもりやあなたかみをもう一度実感しつつ、新しい年も奉仕に取り組むことができる環境をしっかりと整えてこの一年を締めくくりたいものです。



ガバナー補佐の皆さんと



今年度、当八尾ロータリークラブは松本新太郎ガバナーをはじめ地区に多くの会員を輩出いたしております。メンバー 84名でございりますが、互いに親睦を、友情を深め絆が強いクラブだと自負しております。

当クラブがホストをつとめました地区大会も10月29日、30日無事に、かつ盛大に開催出来ました。これも地区大会実行委員会の開催に向けて筆舌に尽くせない努力とこれに応えていただきました第2660地区の全ロータリアンとご家族の皆様方のご支援、ご協力の賜と感謝いたしております。

プログラムの中でも家族の集いのマン・レイ展鑑賞、RI会長代理田中毅様ご夫妻をお迎えしての歓迎晩餐会、本会議での記念イベント東儀秀樹、古澤巖氏によるコンサートなど、ご家族の皆様にご参加いただき大変好評をいただきました。ありがとうございました。

また当クラブは創立50周年を迎えております。50周年記念事業も実行委員会を中心に企画、準備、活動をいたしておりますが、メインとなります記念式典、祝宴は来年の3月23日(水)リーガロイヤルホテルで家族の皆様共々と開催予定でございます。

当親睦委員会を中心に12月15日(水)帝国ホテルにて忘年家族会、来年の5月18日、19日親睦家族旅行を実施

いたします。

そのほか11月11日(木)50周年親睦家族ゴルフコンペを近隣3クラブ(大阪柏原、八尾東、八尾中央)の皆さんもご参加いただき開催いたしました。

家族の皆様を迎えての同伴例会、および移動例会も近々に開催すべく計画いたしております。

ロータリー家族はロータリアンの配偶者や子供たち、ロータリー財団プログラムの参加者や学友、世界中のロータリー社会が実施した何万というプログラムの一翼を担った人々など、私達の仕事にかかわったすべての人々や子供達が含まれるといわれております。

当クラブの一大イベントとして社会奉仕委員会を中心に12月4日に八尾市民の皆さんと一緒に、ロータリークラブの家族としてウォーキング大会、および大畑山野外センターにて桜の木の植樹を実施いたします。

私ども会員が一丸となってそれぞれの家族と共に活動すれば真のロータリーの喜び、達成感を味わえるのではないかと信じております。どの行事もご家族の皆様方のご支援、ご協力なしでは成功いたしません。是非ともご家族の皆様方のご理解、お力添えを心からお願い申し上げます。

2010-2011年秋の初級・上級ライラを大阪難波RCホストのもと、「かかわり学びの実践学」(学びの実化寄附講座)ー今日から創ろう輝く未来をーをテーマに関西大学との共催により開催しました。

1日目は関西大学千里山キャンパスでの開講式と基調講演。開講式では、岡部GEから開講の御挨拶を頂きました。基調講演では大阪難波RC会員の葉田様から「今日から創ろう輝く未来を」をテーマに、企業経営にかかわる「創業者の生の人生訓」を話して頂き、受講生の心に将来に対する心構えの一端が芽生えた事と思います。

その後、バス移動にて関西大学高槻キャンパス、隣接する摂津峡でのライラ・プログラムを実施しました。

2日目はグループごとの活動が始まり、まずはお互いを知るためにコミュニケーションをはかり、チームワークのレベルアップに協同作業を実施。徐々にグループが仲良くなり、心の壁を取り払って行動できるようになってきました。

3日目は、いよいよ今回のテーマ「今日から創ろう輝く未来を」についてのグループ発表。発表スタイルも模造紙無しなどの制限の中、受講生たちは今の自分たちの立ち位置を見つめ直し、将来の自分たちの夢や希望への思いをそれぞれしっかり考えて頂けたと確信しています。

閉講式では、松本Gから御挨拶を頂き、無事に2泊3日の全日程を終了する事が出来ました。

今後は、このライラ研修を通して学んだ事を実生活で活かし、受講生やこのプログラムに関わった一人一人の日常がさらに充実した日々になる事を切に願っております。

最後になりましたが、ホストを務めて頂きました大阪難波RC山田会長、北田実行委員長、クラブ会員の皆様、そして関西大学の先生方、上級ライラでお世話になった稗田先生、チームライラの皆さんの御尽力により今回の秋のライラが成功しました事、感謝申し上げます。ありがとうございました。



日 時：2010年10月17日(日)

場 所：宝塚大劇場

出席者：岡部泰鑑ガバナーエレクト

泉 博朗ガバナー補佐 (IM8組)

地区米山奨学委員会 磯田郁子委員長 武島秀吉副委員長

地区委員 吉田・和田・有竹・田中・榊原・西谷・小山各委員

2010年度の「米山奨学生レクリエーション」は、10月17日(日)に、恒例の宝塚大劇場で開催されました。当日は雨模様を心配されましたが、幸い秋晴れの好天に恵まれて、地区の各クラブでお世話する30人の米山奨学生とそのカウンセラー及びロータリアン並びにその家族、米山学友会員、地区の役員及び地区委員の合計約100名が参加して、賑やかに開催されました。

当日の宝塚歌劇場の演目は星組の公演で、

第1部 レビュー『宝塚 花の踊り絵巻 -秋の踊り-』

第2部 ミュージカル『愛と青春の旅立ち』

が11時開演で、35分の休憩を挟んで、14過ぎに終演、その後、宝塚大劇場内のエスプリホールで懇親会が開かれました。

宝塚歌劇は、日本独特の華やかな舞台であり、米山奨学生の皆さんも、一日大いに楽しんで頂き、大変好評でありました。

懇親会は、吉田悦治地区委員の司会で始まり、まず磯田郁子地区米山奨学委員長が開会の挨拶をされ、米山奨学制度の意義、奨学生に対する期待を熱く語られました。泉博朗ガバナー補佐の音頭で乾杯のあと、奨学生とカウンセラー、ロータリアン達が、ビュッフェ形式の遅い昼食をとりながら、和やかに語り合い、楽しい懇親会となりました。

奨学生とそのカウンセラー全員が、順次登壇して、短いスピーチをして、自己紹介、近況の報告、将来の目標、本日の観劇の感想等を述べられました。

続いて、米山奨学卒業生の集まりである、米山学友会(関西)の朴 日会長の挨拶があり、最後に岡部泰鑑地区ガバナーエレクトの講評を頂き、武島秀吉地区米山奨学副委員長の閉会の挨拶で締めくくられました。

懇親会の最後に、全員で記念写真を撮影して、名残惜しみつつ、17時過ぎに散会しました。



写真：「宝塚歌劇団」より



2010～2011年度 地区大会 ご参加のお礼

地区大会

大会委員長

今川 憲治

(八尾RC)

国際ロータリー第2660地区、松本ガバナー主幹の本年度地区大会は、RI会長代理として田中毅氏をお迎えし、全国から数多くのガバナー、ご来賓ロータリアンをお迎えし、つつがなく無事に終了することが出来ました。

常々大会を盛大に成功裡に導くもっとも大切なことは、会員の皆様の参加意識と存在感であると申して参りました。お集り下さいました皆様を始め、ご参加下さいました方々のお力添えがあつてのことと心より感謝しております。2日間に亘る地区大会にご協力賜わりありがとうございました。

大会第1日目(10月29日)は「学びながら楽しむ」を念頭に出来る限り費用をかけずに手作りのプログラムを作成致しました。分科会はもとより、RI会長代理をお迎えしての晩餐会は、アットホームなエンターテインメントの時間を450名の皆様と楽しむことができました。ロータリアンによる演奏とコーラス、楽しい会話と美味しいお料理、そしてなにより、ロータリアンであることの誇りと友情をお持ち帰り頂くことができたのではないのでしょうか。

2日目(10月30日)は本会議でのRI会長代理田中毅

氏の素晴らしいスピーチに続き、記念イベントとして「和と洋、西と東」～雅楽とヴァイオリン究極のハーモニー～東儀秀樹様と古澤巖様のコンサートの時間を楽しんで頂きました。

新たな試みとして、記念イベントにおきましては、より多くのロータリアン、そのご家族、そしてご友人の方々にもご参加頂きたくお声をかけさせて頂きました。ロータリアン以外の方にもロータリー活動に関する理解が深められたのではないかと考えております。

また、「友愛の広場」におきまして、ドリンクサービスとともにポリオ募金箱を設置致しました。大変多くの皆様からの善意の浄財を頂戴することが出来ました。この募金は、11月24日(水)ロータリー研究会の中で直接クリンギンスミスRI会長に手渡されましたのでご報告申し上げます。

最後に2日間、多くの地域、クラブからお集りのお仲間と交流を深め、新しい出会いがあったと心から信じております。RI会長代理を含め多くの会員の方々にご協力を賜りましたことに感謝しお礼申し上げます。本当にありがとうございました。



米山奨学委員会

地区米山奨学委員会より

2010年9月末	全国寄付金合計額	359,125,012円 (前年度比 4.00%増)	
”	第2660地区寄付金合計額	19,418,750円 (前年度比 6.13%減)	
2010年9月末	全国寄付合計トップ10		
1.	第2770地区 25,131,592円	6.	第2660地区 19,418,750円
2.	第2590地区 21,427,500円	7.	第2580地区 18,625,200円
3.	第2750地区 20,820,530円	8.	第2710地区 13,897,650円
4.	第2760地区 20,505,500円	9.	第2690地区 13,213,850円
5.	第2650地区 19,611,505円	10.	第2790地区 13,193,100円

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。
(2010年9月)

氏名	回数	クラブ名
広田 甫	2回目	東大阪東RC
東野 公一	3回目	東大阪西RC
鈴木 昭一	1回目	東大阪西RC
原田 稔	2回目	大阪南RC
福本 桂太	1回目	大阪南RC
川端 康弘	5回目	大阪南RC
木下 肇	3回目	大阪南RC
國分 紀一	6回目	大阪南RC
高津 吉雄	1回目	大阪南RC
小林 二郎	1回目	大阪南RC
小池 貞夫	1回目	大阪南RC
草島 一	2回目	大阪南RC
中島 成和	1回目	大阪南RC
田中 秀和	2回目	大阪南RC
塚本 邦彦	2回目	大阪南RC
横尾 国治	2回目	大阪南RC
藤原 輝之	1回目	大阪難波RC
伊藤 仁	1回目	大阪難波RC
神田 真晃	1回目	大阪難波RC
西野 文秀	1回目	大阪難波RC
徐 正菜	1回目	大阪難波RC
北本 浩之	1回目	大阪西北RC
近藤 雅臣	10回目	千里RC

米山功労クラブ

次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました。
(2010年9月)

クラブ名	回数
東大阪西	24回目
大阪南	78回目
大阪難波	49回目
大阪なにわ	21回目

ロータリー財団

ロータリー財団

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2010年)

朝岡 芳夫	大阪阿倍野 RC	9/ 3
村山 恭二	大阪淀川 RC	9/ 3
多田 宏	大阪梅田東 RC	9/10
成瀬 悟	大阪南 RC	9/17
谷 明	大阪南 RC	9/17
米倉 彦之	大阪南 RC	9/17
村井 達司	大阪難波 RC	9/24
尾上 峰一	大阪難波 RC	9/24
竹田 伸	大阪難波 RC	9/24
徳山 善雄	大阪リバーサイド RC	9/30
梨田 昌孝	大阪リバーサイド RC	9/30
横山 邦夫	東大阪西 RC	9/30

ロータリー財団 ベネファクター

次の方たちにベネファクターの称号が贈られました。(2010年)

渡邊 純一	大阪阿倍野 RC	9/ 3
森田 和明	大阪御堂筋 RC	9/ 3
堀田 修平	枚方 RC	9/10
芳賀 修	大阪梅田 RC	9/10
瀧川 博嗣	門真 RC	9/17
山田 誠一	大阪難波 RC	9/24
上西 利三	豊中-大阪国際空港 RC	9/24
倉内 貞敏	茨木 RC	9/30

ロータリー財団

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。(2010年)

西川 正一	1回目	大阪淀川 RC	9/ 3
井上 暎夫	6回目	千里 RC	9/10
原田 裕彦	1回目	大阪南 RC	9/17
樋口 學	3回目	大阪南 RC	9/17
久我 三郎	2回目	大阪南 RC	9/17
西川 晴夫	1回目	大阪南 RC	9/17
左藤 孜	2回目	大阪南 RC	9/17
小谷 公穂	3回目	大阪南 RC	9/17
上田 豊	2回目	大阪南 RC	9/17
小林 一成	2回目	東大阪東 RC	9/24
芳田 至弘	2回目	東大阪東 RC	9/24
北埜 登	5回目	東大阪東 RC	9/24
天本 雄二	1回目	大阪難波 RC	9/24
千田 忠司	1回目	大阪難波 RC	9/24
藤井 武治	3回目	大阪リバーサイド RC	9/30
三木 文雄	3回目	大阪リバーサイド RC	9/30
藪野 功勝	2回目	大阪リバーサイド RC	9/30
東野 公一	2回目	東大阪西 RC	9/30

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50 周年記念事業の一つとして 1970 年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2 万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の

出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページで PDF もご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

職業奉仕について

- 「ロータリーの本質は職業奉仕の実践にあり」 上野 操 2010 1P (D.2580 月信)
- 「職業奉仕のいろは」 深川 純一 2010 16P (職業奉仕のすすめ)
- 「東洋の実業倫理とロータリーの職業奉仕」 安平 和彦 2010 21P (職業奉仕のすすめ)
- 「近江商人について」 塚崎 純 他 2010 3P (職業奉仕のすすめ)
- 「石門心学とロータリー」 石田 二郎 他 2010 6P (D.2680地区大会記録誌)
- 「回首原点-ロータリーで元気になろう」 佐古 亮尊 2010 10P (D.2500地区大会報告書)
- 「今・改めてロータリーを見直す」 森田 均 2010 10P
- 「〔決議23-34〕はロータリアンの『金科玉条』なり」 古川 隆三 2010 1P (D.2650月信)
- 「ロータリー簡単図解その8〈解り易い職業奉仕〉」 鈴木 章夫 2010 1P (D.2520月信)

[上記申込先:ロータリー文庫(コピー/ PDF)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館 = 午前10時~午後5時 休館 = 土・日・祝祭日

「お知らせ」

「新補助金制度準備委員会」 2010-11年度から3年まで試行されるロータリー財団の新補助金制度が、
発足のお知らせ 2013-14年度から全世界で完全実施されます。
ロータリー財団の補助金の活用が活発である当地区では、新制度への円滑な移行をはかる為、2010年12月1日より『新補助金制度準備委員会』
を発足することとなりました。
各クラブの皆様のご理解とご協力を御願い申し上げます。

敬 弔 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

大東 敏男 会員 (大阪城南RC)
2010年11月6日逝去(享年84歳)

理事、国際奉仕委員長、SAA
米山功労者(マルチプル)
ポール・ハリス・フェロー

辻野 暁一 会員 (高槻東RC)
2010年11月10日逝去(享年65歳)

会計、SAA
社会奉仕委員長、クラブ奉仕委員長、
ロータリー財団委員長
米山功労者(マルチプル)
ポール・ハリス・フェロー
ベネファクター

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-Mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿（写真付きの場合は一緒に添えて）を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。
- 今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布いたします。また、ご希望の会員には有料（年間2,200円・1冊200円）配布とさせていただきますので、出来るだけ多くの方のお申し込みをお待ちしています。

月信編集委員会

- ・ガバナー 松本新太郎
- ・地区代表幹事 池尻 誠
- ・地区副代表幹事 吉本 憲司
- ・担当地区幹事 小山 悦治
- ・担当地区幹事 笠井 実
- ・担当地区幹事 奥谷 英一
- ・事務局長 今井 貢二

2010～2011年度 国際ロータリー第2660地区 【ガバナー事務所ご案内】

●事務局スタッフ

ガバナー	松本新太郎
地区代表幹事	池尻 誠
地区副代表幹事	吉本 憲司
事務局長	今井 貢二
事務局員	栗正 久美
	春名 志保
	大西 麻容

●休日

土曜、日曜、祝日
 年末年始
 2010年12月29日(水)～
 2011年1月4日(火)

●所在地・電話・ファックス

〒541-0052
 大阪市中央区安土町1-5-11
 トヤマビル東館 6階
 TEL：06-6264-2660
 FAX：06-6264-2661

ガバナー事務所に会議室を併設いたしております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせ下さい。

●ホームページアドレス

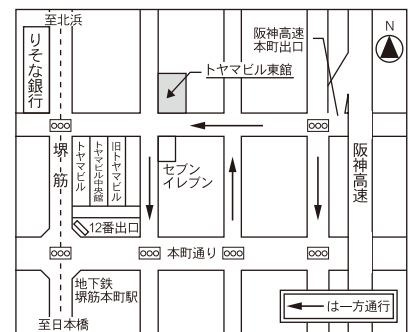
<http://www.ri2660.gr.jp/>

●メールアドレス

gov@ri2660.gr.jp

●勤務時間

9：30～17：00



※地下鉄堺筋線 堺筋本町駅 12番出口すぐ

国際ロータリー第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6F
 電話 06-6264-2660 Fax 06-6264-2661 E-mail:gov@ri2660.gr.jp

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

6 F Toyama Bldg, East 1-5-11 Azuchi-machi Chuo-ku OSAKA 541-0052 JAPAN
 Phone.+81-6-6264-2660 Fax.+81-6-6264-2661 E-mail:gov@ri2660.gr.jp

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2010-2011

1 vol.7



地域を育み、大陸をつなぐ

国際ロータリー第2660地区

2010～11年度ガバナー 松本 新太郎

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

CONTENTS

ガバナー メッセージ ロータリー理解推進月間 1 ガバナー 松本 新太郎	米山奨学委員会 8
ロータリー理解推進月間にあたって 2 パスト・ガバナー 大谷 透	ロータリー財団 9
ロータリー財団委員長会議報告 3 財団情報・増進委員会 委員長 百済 洋一	2010年11月度 会員数・出席報告 10
第39回 ロータリー研究会 (国際ロータリーゾーン1,2,3)報告 4-5 パスト・ガバナー 井上 暎夫	文庫通信 11
ロータリー財団地域セミナー報告 6 ロータリー財団委員会 委員長 福家 宏	お知らせ／敬弔 12
2010-11年度のための 地区協議会 会計報告 7 代表幹事 池尻 誠	



新年明けましておめでとうございます。ロータリアンの皆様も、ご家族お揃いで健やかなお正月をお迎えになったことと思います。

旧年中はロータリー活動に、そして地区の運営に絶大なご尽力とご協力をいただきましたことに、改めて感謝申し上げます。本年も心新たに、ロータリアンとしてますますご活躍いただきますことを期待しております。

さて新年にあたり、一年の目標を設定された方も多いことでしょう。ご自身のことやご家族のこと、あるいは事業のことなど。様々な内容があるかと思いますが、できればもう一つ「ロータリーのこと」を加えていただければ、うれしい限りです。

「〇〇委員会の事業に力を注ごう」とか「必ず一人勧誘して、入会してもらおう」、あるいは「仲間とより親睦を深めて、ロータリーライフをいっそう楽しもう」といったことでもいいかもしれません。これと決めたことを一年間実践していただければ、あなた自身だけでなく、クラブ全体がきっと大いに盛り上がるはずです。

「ロータリーでの目標なんて、一体全体何にしようか」と決めあぐねている方は、1月がロータリー理解推進月間であることを思い出してください。まずはご自身で、あるいはクラブの皆さんとともに「ロータリーに関する理解を、もう一步深めてみよう」という姿勢さえ意識することができれば、きっと進むべき方向性の糸口が見えてくるはずです。

そのためにもぜひ率先して、そしてまわりの方々も巻き

込みながら、ロータリーのことをもっと知ろうとなさってみてください。年の初めの月に、ロータリーへの理解を深めることができれば、この一年は間違いなく、ロータリアンのあなたにとって素晴らしいものとなることでしょう。

ところで近年、会員数の減少やそれに伴う活力の低下など、ロータリークラブが抱える様々な課題を指摘する声が高まっているのは、皆様もよくご承知のことと思います。ただ私は、例えば最大の課題の一つと言える会員数の減少についても、ロータリーへの理解を推進することが一定の効果を上げる対策になり得ると考えています。

既存会員の皆様お一人おひとりがロータリーに関する理解を少しずつ深め、ロータリークラブの素晴らしさを改めて認識していただくことができれば、そのことがきっと退会防止にも大いに役立つはずです。残念ながら退会される方の多くは、ロータリーの本当の良さを理解するに至らないからこそ去っていかれるのではないのでしょうか。

そしてまた理解推進は、会員増強にも大きな成果をもたらすものと信じています。仮に今、目の前に入会候補者がおられるとしたら、あなたは入会のメリットをいくつ挙げる事ができるでしょう。あるいはロータリーの魅力について、説得力のあるお話をしていただくことは可能でしょうか。新しい仲間を迎え、皆様のクラブライフをよりいっそう楽しくするためにも、あともう少し、ロータリークラブについて知ってみませんか。



新しい年を迎え、皆さま方の歩まれるロータリーライフに暖かい光が注がれますようにお祈りいたします。

一年の計は元旦にありと申しますが「よし、この一年はロータリーを学び、その真髄を理解するように努力してみよう」と一念発起するロータリアンが1人でも多い事を願って、1月がロータリー理解推進月間にきめられたのだと思います。

ここで、ロータリーの理解を推進するために一筆ということになりますと、「綱領」の解説から始めたくのですが、言葉で説明が出来たからといって、それでロータリーが身に付いたわけではありません。前年度は「ロータリーを身に付けよう」を掲げましたが、身に付くまでロータリーの理解を深めたいものです。

- ・ロータリーには「言行はこれに照らしてから」という判断基準があります。「四つのテスト」です。これを言葉としてはそらんじています。しかしすべてのロータリアンの行動基準が四つのテストに適っているわけではありません。言葉ではそらんじていても、なかなか身に付かないのです。
- ・ハーバート・テラー氏は1932年アメリカ大恐慌の時代に、倒産寸前であったシカゴのアルミ調理器具会社を再生させるために、「四つのテスト」を創案し、

これを従業員に徹底させることによって立派に会社を再生させました。後にロータリー創立50周年の年、RI会長となった彼の言葉です。

「四つのテストを書いてから約二年経った頃、四つのテストの内容がどうしてこのようになったのか、その必然性が自分でもはっきり分かる時がきた。旧約聖書のエレミア書にこう書かれている。『知恵ある人は、その知恵を誇ってはならない。力ある人は、その力を誇ってはならない。富める者は、その富を誇ってはならない。誇れる者は、これを誇りとせよ、即ち、さとくあつてわたしを知っていること。わたしが主であつて、慈しみと公平と正義を行っている者であることを、知ることがそれである』」

即ち、ハーバート・テラーの言わんとする事とは、我々の言行を四つのテストに適ったものとするための奥義とは、絶対者なる神を恐れ敬う謙虚な心を持つことだということです。子供にでも解る表現を用いれば、神様が見てらっしゃいますよ。仏様の前では嘘はつけませんよと云う事です。神仏の前で申し開きの出来る言行であるかどうかを絶えず反省する謙虚なところが必要なのです。我らの先人達も「四つのテスト」に信念と勇気を持って取り組み、ロータリーに対する理解を深め、ロータリーを身に付け、友情の花を咲かせつつ、ロータリーライフを楽しまれたのです。

日時：2010年10月23日(土) 13:30～16:30

場所：大阪YMCA会館 2Fホール

各クラブのロータリー財団委員長を対象とする本会議は、松本新太郎G、近藤雅臣RI理事、高島凱夫GN、池尻誠代表幹事、各組G補佐、G補佐E及び財団役員と各委員約100名の出席を得て開催されました。

松本新太郎G挨拶

ロータリー財団について、もう一度考えていただく機会にさせていただきです。財団がこれまでどういった活動をし、活用をして何ができるのか財団に関する様々なことに改めて思いを巡らせていただきたいです。

1. 福家宏ロータリー財団委員会委員長

ロータリー財団の成り立ち、財団プログラムの種類と内容、「ロータリー 2億ドルチャレンジ」については、2010年8月現在1億4,000万ドル以上の寄付金が寄せられている。そして、ロータリー財団の「未来の夢計画」が2013-2014財団の転換期を迎えます。財団プログラムや補助金の名称、委員会構成にも変化があります。

2. 五味千秋財団人道的補助金委員会委員長

主として下記3点について解説をされました。

- ①ロータリー財団の財源の推移・地区財団活動資金(DDF)配分の推移
- ②年次プログラム基金の配分
- ③マッチンググラントの仕組みと実施手順・地区補助金(DSG)の仕組みと実施手順

3. 吉崎広江研究グループ交換委員会委員長

2010-2011、2011-2012年度は、スリランカ(D3220)と2年度にわたる来日・派遣の交換を行います。

4. 梅崎道夫財団奨学金・学友委員会委員長

第2660地区2011-2012年度ロータリー財団国際親善奨学生候補生梶藍子さんの紹介がありました。

5. 百済洋一財団情報・増進委員会委員長

年次プログラム基金への寄付の重要性・ロータリーカードの財団貢献プログラムについて報告をしました。

6. IM組別 テーブルミーティング

- ①あなたのクラブはロータリー財団月間に何をしますか?
- ②あなたはクラブ財団委員長として寄付増進のためにどのように活動しますか?

をテーマに、IM組別にG補佐のリーダーのもと約1時間熱心な討論がされ、各G補佐から討論結果が発表されました。

近藤雅臣RI理事講評

ロータリー財団活動に熱心に取り組んでいただきありがとうございます。奉仕のために資金を集めているという意識が重要です。自分自身で奉仕活動を行うことができない場合でも、寄付という形で奉仕に参加できるという考え方もありますから、財団委員長の皆さんには、世界の奉仕活動の為に頑張ってくださいと思います。

高島凱夫GN閉会挨拶



第39回 ロータリー研究会 (国際ローターゾーン1,2,3) 報告

第39回 ロータリー研究会実行委員長

パスト・ガバナー 井上 暎夫
(千里RC)

開催日：2010年11月25日(木)～27日(土)

場 所：大阪国際会議場

ホスト：大阪北RC・東大阪東RC・千里RC

協 力：大阪ネクストRC

ロータリー研究会(以下研究会)の大阪開催は2002年以來8年ぶりのことでもあります。

今回の研究会は近藤雅臣RI理事を招集者として、レイ・クリンギンスミスRI会長ご夫妻、カール・ヴィルヘルム・ステンハマーTRF管理委員長ご夫妻、李 奎恒RI理事ご夫妻、エリオ・チェリニRI理事、黒田正宏RI理事ご夫妻、小沢一彦TRF管理委員、エドウィンH.フタ事務総長、田中作次RI会長ノミネーご夫妻のRI及びTRFの役員をお迎え致し、海外来賓14名、国内外登録者537名の参加を得て開催致しました。

研究会は元・現・次期RI役員及び招集者のゲストが参加者する情報提供や討議のための会合で一つ以上のゾーン毎に毎年開催されます。数年前より招集者のゲストとしてガバナー補佐にも案内され、今回は第2660地区のクラブ会長、地区委員長の希望者も特別にゲストに加えられました。当年度のRI会長、TRF管理委員長から直接話が聞ける貴重なチャンスであるとの要望に答え、実行委員会内での意見を近藤RI理事に理解頂いた結果であります。

2010年11月25日

RI会長ご夫妻、TRF管理委員長ご夫妻歓迎晩餐会

2010年11月26日 本会議第1日目

開会式、各種報告の後、今年度よりロータリーの4大奉仕に新世代が加えられたことを受け、金 美齢さんに「新世代を育てる」をテーマに講演をして頂きました。

その後、6つのセッションを行いました。それぞれのテーマ及び担当を頂いた方は以下の通りです。(敬称略)

第1セッション

「戦略計画—クラブの活性化とRCの役割」

RCは本年度より導入されたロータリーコーディネーターを指します。

モデレーター (M) 南園義一元RI理事

パネリスト (P) 桑原 茂 (P) 杉谷卓紀 (P) 坂本俊雄 3名の(P)はRC

第2セッション 「職業奉仕と高潔性」

(M) エリオ・チェリニRI理事 (RI職業奉仕委員長)

(P) 黒田正宏RI理事 (同副委員長) (P) 李奎恒RI理事 (同委員) (P) 渡辺好政元RI理事

フロアーの同委員の近藤RI理事がおられ、さながらRIの委員会が開催された感がする貴重なセッションとなりました。終了後休憩を挟んで、希望晩餐会を行いました。

2010年11月27日 本会議第2日目

第3セッション「会員増強」

コーディネーター 服部芳樹元RRIMC

「世界の会員数の概要日本の会員減少の現状と分析」
コメンテーター (C) 藤林豊明

「会員増強—財団学友クラブの立場から」(C) 里井久輝

「女性会員の増強について」(C) 石田 秀

「新クラブ設立まで」(C) 豊田章二

「Eクラブは会員増強のための手段か」(C) 足立功一

このセッションのみ、コメンテーターとなっているのは、発言者が自己の意見を自由に述べて頂くためのものです。

第4セッション「新世代奉仕」

(M) 今井鎮雄元RI理事

(P) 海沼美智子 (P) 三木 明 (P) 野口 清 (P) 齊藤直美

海沼前RIコーディネーターより国際大会直前に中止となった国際RYLAについてRIに対し意見が述べられました。

第5セッション「ポリオプラス」

「ポリオ撲滅への最後の挑戦」 宮崎茂和 ポリオ撲滅のための国際賞受賞者

第2650地区の今日までの素晴らしい活動報告がされました。

第6セッション「綱領の和訳」

(M) 鳥居 滋

(P) 松宮 剛 (P) 片山主水 (P) 牧尾晴喜

イントロダクション 横山守雄

日本で開催される公式会合で初めて取り上げられたテーマで、第40回の研究会に引き継がれ、今後日本のロータリーにとり大きな議論を呼ぶこととなります。

今回のセッションに石田(大阪西南RC)、牧尾、里井(大阪ネクストRC)の地区内3会員がPDGに混じりご活躍を頂きました。感謝を申し上げます。

この後、オープン・フォーラム、ニューオリンズ国際大会推進プログラムと続き研究会を終えました。

配偶者プログラム

「子宮頸がんとHPVワクチン・日本の今」

講師 産婦人科医 吉馴茂子(八尾中央RC会長)

「欧米でのHPVワクチンの取り組み」

講師 日本赤十字北海道看護大学準教授 シャロン・ハンリーさん

付随プログラム

2010年11月24日 大阪国際会議場

ゾーン1, 2, 3ロータリー財団地域セミナー

地区より選抜された平和フェロー寺西さんと特別奨学生西口さんの近況を報告いたしました。当地区小林国際奉仕・WCS委員長より緊急要請を受け、前日起きたカンボジアでの水まつり事故への募金を会場で呼

びかけましたところ、約30万円が集まり翌日の死体袋の発送に役立ちました。ロータリアンの即刻の善意に感激致しました。

2010年11月25日 リーガロイヤル・ホテル

メジャードナー午餐会

ガバナー協議会

ガバナー会

GETS

日本恒久基金委員会

財団法人ロータリー日本財団理事会

この他、配偶者エクスカージョンとして、たこ焼き懐石と繁昌亭。研究会終了後エクスカージョンとして京都建仁寺でロータリアンの夕べを行いました。

RI会長に横山PDG、TRF管理委員長に近藤眞道元RI委員(高槻西RC)、事務総長に川本典美大阪ネクストRC会長さんがそれぞれエイドの役目を担って頂きました。また、顧問の菅生PRID、古市實さん(大阪北RC)、副実行委員長吉川PDG、宮田PDG、そしてホストをお務めいただきました3クラブの実行委員会のメンバーさん、大阪ネクストRCの皆さん、当日お手伝いのガバナー事務所の皆様、有難うございました。

第40回も大阪にて開催されることとなりました。今回のご協力に感謝致すと共に、引き続きまして次回もよろしくお願い申し上げます。



日 時：2010年11月24日(水)

場 所：大阪国際会議場 10F

今年度ロータリー研究会は新しく就任された近藤雅臣RI理事が大阪を開催地として招集されましたので、この付随会合である今年度第2回ロータリー財団地域セミナーも大阪での開催となりました。田中作次RI会長ノミニ、近藤雅臣RI理事以下240名近いロータリアンが一堂に集い、午前10時から昼食をはさんで7時間のセミナーが実施されましたが、その内容は相当に意義深いものでありました。特に「Future Vision Plan 未来の夢計画」にはかなり力点がおかれていました。

第3ゾーンの橋本譲ロータリー財団地域コーディネーター (RRFC) の司会でセミナーは開始され、最初の30分間は挨拶、来賓紹介、表彰 (ロータリー財団活動に顕著な成果を上げた3地区が対象) などがあり、その後は1時間半を費やして「未来の夢計画」についての報告と解説が行われました。その「計画」は2013年7月から実施される「100年に1度のロータリー財団の大改革」であり、私たちはこれに備えるためすぐにも準備に取り掛からなくてはなりません。今回第2770地区作成の「未来の夢計画」ハンドブックが全員に配布されました。これは準備を進めて行く者にとって分かり易い解説書と言えます。私たちはこれを紐解きつつ、今年度からパイロット地区として新制度に取り組んでおられる第2650地区ロータリー財団委員長のお話を聞きました。準備段階からプロジェクト実施に至る行程は容易ではないことを改めて知らされました。例えば新しい制度の下で「地区補助金」のプロジェクトを実施するにあたっては、「計画年度」と「事業年度」という2年がかりの事業になるということです。一旦申請した事業は変更が困難なため、実施年度の前の年のうちに相当綿密に事業内容を煮詰めておかななくてはなりません。これまでのロータリーの「単年度制」に慣れている地区もクラブも、頭を切り替える必要があるのです。委員会構成も従来型では事業の遂行は難しくなります。新補助金制度についての十分な理解と真剣な議論がいよいよ必要となってきました。

午後はロータリー日本財団の現況 (公益法人化の実

現に近い)、ポリオ2億ドルのチャレンジ (寄付総額1億5000万ドル超に至っている)、ポリオ根絶への歩み、ロータリー財団の財政現況 (改善が進んでいる)、寄付増進、ロータリー・カード (初めてクラブ事務局口座が認可される)、などについて解説がありました。

休憩ののちロータリー平和フェローについての解説に続き当地区出身の平和フェロー、寺西悦子さんのプレゼンテーションが予定されていましたが、ネパール赴任直後で残念ながら都合がつかず予定の時間を利用して当地区PG井上暎夫財団学友コーディネーターが寺西悦子さんと財団学友の西口三千恵さんについてご報告されました。寺西悦子さんはネパールのカトマンズでIOM (国際移住機関) のリーダーとして深刻な問題となっている人身取引や労働移住問題に取り組み、被害に遭った子供を含む多くの人々の経済自立支援という困難なプロジェクトを実施しておられます。西口三千恵さんは英国で国際開発マネジメント修士課程を修了後アフリカのザンビアやマラウィにおいて農村開発、教育支援、救急システム構築事業やHIV/エイズ関連プロジェクトに参加され、2008年1月からはカンボジアにて活動し現在カンボジア王国の救急システム構築プロジェクトに従事しておられます。西口さんはカンボジアの僻地でグラフィック診療所建設を成功させましたが、様々の医療機器が不足していました。これに対して第2660地区の19のクラブが合同で2年がかりでマッチング・グラントも利用の上医療機器を提供し診療所は機能し始めました。寺西さんも西口さんも我が地区の誇るべき二人だと思います。

この後は50分間にわたって活発な質疑応答が行われ、17時に閉会となりました。私たちはこのセミナーから多くの情報を得ましたが、殊に「未来の夢計画」につきましては今後色々な機会を通じて地区内ロータリアンの皆様にお伝えしていかなければならないと考えています。



2010-11年度のための 地区協議会 会計報告

代表幹事

池尻

誠
(八尾RC)

日時：2010年4月24日(土) 13:00～17:00

場所：大阪国際会議場

ホストクラブ：八尾ロータリークラブ

■収入の部

会員数	負担額(①)	クラブ数(②)	収入額(①×②)
29名以下のクラブ	100,000	24	2,400,000
30名以上のクラブ	120,000	61	7,320,000
	合計	85	¥9,720,000

■支出の部

項目	内 訳	金 額	項目別小計	内 訳
会場費	会 場	2,402,610		本会議場・部門別会議場他
	音響・照明	851,180		本会議場音響・照明
	備品等	659,074		看板・パネルスタンド他
	お 茶	425,740		部門別用(ペットボトル)他
	小 計		4,338,604	
会合費	室料等	70,298		実行委員会
	小 計		70,298	
印刷費	プログラム	589,050		当日配布用
	その他資料	155,296		講演・部門別用 他
	小 計		744,346	
記録費	テープ起し	399,000		本会議、部門別議事録
	記録冊子	508,200		添付コンパクトディスクを含む
	小 計		907,200	
謝礼金	講演料等	117,200		講師・看護師他謝礼、食事券
	小 計		117,200	
人件費	給与等	298,387		専任事務局1名(09年8月～10年5月)
	小 計		298,387	
雑 費	その他の費用	3,255		振込手数料
		99,048		通信費
		2,950		交通費
		59,042		消耗品費
		54,590		損害保険料
	小 計		218,885	
	合計		¥ 6,694,920	

収入の部(①)	支出の部(②)	残 額(①-②)
¥9,720,000	¥6,694,920	¥3,025,080

2010-11年度のための地区協議会会計決算を平成22年11月10日に八尾ロータリークラブ事務局にて開催し、帳票類、領収書等を精査した上で上記のとおりである事を報告します。

平成22年11月16日 実行委員長 正野 憲
幹事 川田 隆
会計 松村 康司

地区米山奨学委員会より

2010年10月末	全国寄付金合計額	513,617,786円	(前年度比 6.01%増)
”	第2660地区寄付金合計額	26,998,195円	(前年度比 14.00%減)
2010年10月末	全国寄付合計トップ10		
1.	第2580地区	37,818,200円	
2.	第2650地区	36,615,005円	
3.	第2770地区	32,841,092円	
4.	第2750地区	31,863,030円	
5.	第2590地区	28,928,000円	
6.	第2760地区	27,564,000円	
7.	第2660地区	26,998,195円	
8.	第2690地区	18,604,400円	
9.	第2640地区	17,398,420円	
10.	第2710地区	17,347,255円	

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。(2010年10月)

氏名	回数	クラブ名	氏名	回数	クラブ名
川又 章蔵	2回目	東大阪東RC	打垣内尚雄	3回目	大阪御堂筋RC
吉城 鉄也	7回目	東大阪西RC	米田 猛	4回目	大阪西RC
橋本 陽二	4回目	茨木RC	三枝 輝行	4回目	大阪西RC
増本 猛	7回目	茨木東RC	佐伯 一	2回目	大阪西RC
篠賀 章	1回目	茨木東RC	清水 美溥	6回目	大阪西RC
張 虞安	3回目	交野RC	上田 茂久	2回目	大阪西RC
増田 俊	3回目	箕面中央RC	山内 康俊	2回目	大阪西RC
羽間 平安	10回目	大阪RC	藤井 武治	4回目	大阪リバーサイドRC
樋口 信治	2回目	大阪RC	石田由美子	2回目	大阪リバーサイドRC
伊藤 勲	2回目	大阪RC	中川 浩一	1回目	大阪リバーサイドRC
井村 達男	2回目	大阪RC	富 道雄	5回目	大阪リバーサイドRC
稲畑勝太郎	3回目	大阪RC	伊澤 武尚	3回目	大阪船場RC
野村 明雄	3回目	大阪RC	新田 昌男	3回目	大阪船場RC
笹倉 敏彦	2回目	大阪RC	斧原 秀夫	3回目	大阪船場RC
富江 弘吉	2回目	大阪RC	大嶋 捷正	2回目	大阪船場RC
新井 信彦	1回目	大阪東RC	齋藤 憲司	3回目	大阪船場RC
遠藤 彰三	1回目	大阪東RC	廣田 敦善	7回目	大阪城北RC
堀 隆	9回目	大阪東RC	上堀 博三	10回目	大阪城北RC
杉浦 嘉功	5回目	大阪東RC	山田 英男	10回目	大阪城北RC
三好 宏	6回目	大阪平野RC	弓削 要	4回目	大阪城北RC
友藤 昭弘	2回目	大阪平野RC	小島 康秀	2回目	大阪住之江RC
鍵田 秀明	1回目	大阪御堂筋RC	中島 好信	2回目	高槻RC
黒瀬 誠	2回目	大阪御堂筋RC	山口 誠	8回目	高槻RC
森 真二	3回目	大阪御堂筋RC	森本 茂	2回目	高槻西RC
高橋 勝彦	2回目	大阪御堂筋RC			

米山功労クラブ

次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました。(2010年10月)

クラブ名	回数
茨木東	18回目
大阪	95回目
大阪御堂筋	15回目
大阪西	53回目
大阪リバーサイド	12回目
大阪船場	17回目
千里	29回目

ロータリー財団

ポール・ハリス・フェロー

次の方にポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2010年)

菅田 晃	大阪城北RC	10/22
------	--------	-------

ロータリー財団

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。(2010年)

角本 浩一	1回目	大阪城北RC	10/29
熊倉 勝敏	1回目	大阪城北RC	10/29

ロータリー財団 ベネファクター

次の方にベネファクターの称号が贈られました。(2010年)

大岡 弘治	大阪城北RC	10/22
-------	--------	-------

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50 周年記念事業の一つとして 1970 年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2 万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の

出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページで PDF もご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会講演より

「喜びや感動が可能性を引き出す～遺伝子ONの生き方」 村上 和雄 2010 4P (D.2790)

「危機における決断～戦国武将に学ぶ」 津本 陽 2010 2P (D.2660)

「資本主義はなぜ自壊したのか『日本』再生への提言」 中谷 巖 2010 4P (D.2660)

「笑いの処方箋～笑いと長寿の科学」 昇 幹夫 2010 2P (D.2660)

「野球を通して人を育てる」 王 貞治 2010 4P (D.2650)

「あたり前の暮らしを求めて」 倉本 聡 2010 15P (D.2510)

「世界の構造転換と日本の進路-2010年への視座」 寺島 実郎 2010 2P (D.2580)

「この国の行方」 櫻井よしこ 2010 2P (D.2670)

「北海道の《食》の大いなる可能性、再発見!」 小泉 武夫 2010 14P (D.2500)

[上記申込先:ロータリー文庫(コピー/PDF)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館 = 午前10時～午後5時 休館 = 土・日・祝祭日

「お詫びと追記」

各クラブにお送りしました「2009-2010 国際ロータリー 第2660地区 地区委員会 活動報告書」の中で、28・29ページに記載しましたロータリーの友委員会の報告は、露口佳彦ロータリーの友地区委員が作成いたしました。作成者の氏名を表示していませんでしたので、お詫びして追記いたします。

月信12月号 7ページ ロータリー財団ベネファクターで間違いがありましたので、お詫びして訂正いたします。
(誤) 瀧川 博嗣 (正) 滝川 博嗣

「お知らせ」

クラブの合併 大阪阪南RCと大阪天王寺RCが合併しました。

合併後の名称 大阪天王寺ロータリークラブ
合併した日付 2011年1月1日
合併後の事務所 〒543-0055
大阪市天王寺区悲田院町8番11号
新和興産ビル302号室
電話 06-6772-5816
FAX 06-6779-7956
Eメール osaka_trc_1969@kfd.biglobe.ne.jp
例会場 大阪市阿倍野区松崎町1丁目2番8号
天王寺都ホテル5F
例会日 火曜日 12:30 ~ 13:30

ホームページアドレス変更 豊中千里RC <http://toyonakasenri-rc.main.jp/>

奄美地方豪雨災害義援金に対する御礼

昨年10月に鹿児島県奄美大島で豪雨災害が発生いたしました。被災者を救援するため第2730地区が義援金を募集いたしましたところ、当地区の各クラブから多額の寄付が寄せられました。当地区からの義援金の総額は2,583,291円(12月7日集計)となりました。

皆様のご理解とご協力に深く感謝申し上げます。

国際ロータリー第2660地区 ガバナー 松本 新太郎
社会奉仕委員会委員長 表 寛治

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-Mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿（写真付きの場合は一緒に添えて）を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。
- 今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布いたします。また、ご希望の会員には有料（年間2,200円・1冊200円）配布とさせていただきますので、出来るだけ多くの方のお申し込みをお待ちしています。

月信編集委員会

- ・ガバナー 松本新太郎
- ・地区代表幹事 池尻 誠
- ・地区副代表幹事 吉本 憲司
- ・担当地区幹事 小山 悦治
- ・担当地区幹事 笠井 実
- ・担当地区幹事 奥谷 英一
- ・事務局長 今井 貢二

2010～2011年度 国際ロータリー第2660地区 【ガバナー事務所ご案内】

●事務局スタッフ

ガバナー	松本新太郎
地区代表幹事	池尻 誠
地区副代表幹事	吉本 憲司
事務局長	今井 貢二
事務局員	栗正 久美
	春名 志保
	大西 麻容

●休 日

土曜、日曜、祝日
 年末年始
 2010年12月29日(水)～
 2011年1月4日(火)

●所在地・電話・ファックス

〒541-0052
 大阪市中央区安土町1-5-11
 トヤマビル東館 6階
 TEL：06-6264-2660
 FAX：06-6264-2661

ガバナー事務所に会議室を併設いたしております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせ下さい。

●ホームページアドレス

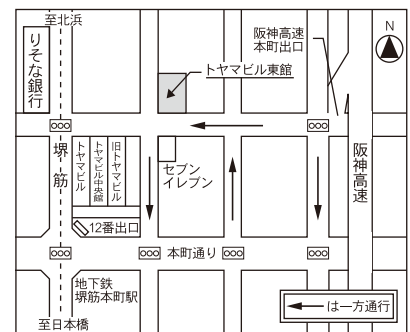
<http://www.ri2660.gr.jp/>

●メールアドレス

gov@ri2660.gr.jp

●勤務時間

9：30～17：00



※地下鉄堺筋線 堺筋本町駅 12番出口すぐ

国際ロータリー第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6F
 電話 06-6264-2660 Fax 06-6264-2661 E-mail:gov@ri2660.gr.jp

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

6 F Toyama Bldg, East 1-5-11 Azuchi-machi Chuo-ku OSAKA 541-0052 JAPAN
 Phone.+81-6-6264-2660 Fax.+81-6-6264-2661 E-mail.gov@ri2660.gr.jp

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2010-2011

2 vol.8



国際ロータリー第2660地区

2010～11年度ガバナー 松本 新太郎

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

CONTENTS

ガバナー メッセージ 世界理解月間によせて 1 ガバナー 松本 新太郎	第22回 ガバナー杯争奪野球大会開催 7 くずはRC野球同好会 事務局長 日野 守之
ガバナー・エレクト 研修セミナー (GETS) に参加して 2 ガバナー・エレクト 岡部 泰鑑	米山奨学委員会 8-9
財団国際親善奨学生 帰国報告会 3 財団奨学金・学友委員会 委員長 梅崎 道夫	ロータリー財団 10
スリランカGSEチーム受入れ準備 4 研究グループ交換委員会 委員長 吉崎 広江	2010年12月度 会員数・出席報告 11
RAC海外研修 5 ローターアクト委員会 委員長 山内 康俊	文庫通信 12
青少年交換委員会 クリスマスパーティー 6 青少年交換委員会 委員長 金本 恒二郎	お知らせ／敬弔 13



国際ロータリーは2月を「世界理解月間」に指定しています。ロータリーの創始者であるポール・ハリスが3人の友人と最初に会合を持った1905年2月23日が「世界理解と平和の日」となり、今日の月間へとつながっています。

国際的な理解を推進し、世界平和を実現するのは古今東西、人類共通の願いであるはずですが、現実には世界各地で相互理解の不足などに起因する争いごとが絶えないのが実情です。ただ、そうした残念な状況に対して「自分一人の力では何もできない」とあきらめてしまうのは早計で、誰かが何かを始めなければ、現存する課題は何も解決しないのも事実です。

幸い私たちロータリアンは、世界平和に貢献することができる様々なプロジェクトを毎年実施しています。世界社会奉仕や国際奉仕、国際親善奨学生や研究グループ交換(GSE)、米山奨学生や青少年交換など、国際理解や世界平和につながる数多くの選択肢を持っています。また海外の姉妹クラブとの友好を深めておられるクラブもあることと存じます。

一つひとつの活動は「世界平和の実現」という大きなテーマには直結しないかもしれませんが、しかしながら千里の道も一歩から、こうした地道な取り組みをコツコツと積み重ねていくことこそが、一番の近道でもあると思うのです。

皆様もロータリークラブが提供するこのような事業に参加いただくことで、世界理解に携わることができるという恵まれた環境にあることを、改めて認識いただければうれしく思います。ロータリークラブに在籍し、大きな夢に向かって少しでも役に立つ活動ができる立場に置かれているというのは、何とも幸福なことではありませんか。

もしもこれらの素晴らしい機会を活かすことができないとすれば、目の前にある人生の大きな喜びを見逃してしまうようで、何とももったいない気が致します。まずは行動に移すこと、すなわち活動に参加してみることで、あなたもその喜びを分かち合ってみませんか。

そうすればきっと、世界をもう少し、理解することができるはずで、そしてあなたの行いは必ずや、胸を張って家族や地域の方たちにも誇ることができるでしょう。皆様のクラブや地区が実施する事業が世界理解に対してどのような効果をもたらすのかを再確認していただくことができれば、たとえ今までそうした活動に関わった経験のない方であっても、自ずと参加意欲が湧き起こってくるものと信じます。

1月はロータリー理解推進月間として、ロータリーの活動についての理解を深めていただきました。そして2月は、世界について理解を深め、ロータリーの活動を世界平和へとつなげていく可能性について、もう一度考えてみていただければ幸いです。

ガバナー・エレクト 研修セミナー (GETS) に参加して

国際ロータリー 第2660地区

ガバナー・エレクト **岡部 泰鑑**
(大阪城南RC)



地区ガバナーになるためには、その前年度の1月に米国カリフォルニア州サンディエゴ市で、8日間に亘って開催される「国際協議会」への出席が義務づけられています。その協議会をより効果的にするために、前もってそれぞれの国で二度に亘るGETSが開かれる決まりになっています。我が国では34地区から選ばれたガバナー・エレクトの皆さんが、夫婦で招集されました。第1回目は9月8日と9日の2日間、東京のグランドプリンスホテル新高輪で、第2回目は11月25日に地元、大阪のリーガロイヤルホテルにて行われました。

第1回目の研修に先立って、国際ロータリー日本事務局より段ボール1箱(指導資料7冊)が送ってこれ、前もって予備知識を得ておくようにとの事だったのですが、私は研修セミナーにて、この資料をテキストにして研修されるものと思っておりました。研修が始まるや否や、ガバナーの責務・目標設定・会員増強・広報の必要性・ロータリー財団(特に未来の夢計画)・CLP・DLP等、ロータリー活動を全般的に、RIによって指名された研修リーダーが進行係を務め、パワーポイントを使って、講義と設問形式で行われ、34地区を小分けして各セッションごとに部屋を移動、会議開始、9時半より18時まで、息つく暇もないくらいの時間割の2日間。とりわけリーダー役を務められたパスト・ガバナーの諸先輩の情

熱溢れる御指導のもと、ガバナーになるために何が必要かを、徹底的に叩き込まれました。奥様方も、ガバナー夫人としての自覚(ロータリー精神)を理解すべく研修がありました。

第2回目の研修は、ロータリー財団地域セミナー・ロータリー研究会と並行して11月25日、約3時間開催され、サンディエゴでの国際協議会参加への諸注意と質問、国際協議会で「国際交流の夕べ」に披露すべき、奥様方の演目の打ち合わせ。ちなみに沖縄民謡「カチャーシー」です。

2回の国内における研修セミナーを終え、いよいよ本番のサンディエゴでの国際協議会目前です。悶々とした毎日、自分自身の浅学を思い知らされ、ロータリーへの無知さ、私ごときで第2660地区の皆様本当に本役に立てるのだろうか。1年間、皆様の活動の妨げになるのでは。色々な思いが脳裏をかすめます。

しかし、もう泣き言は言っておられません。第2660地区の為に、私の持っている力の全てを出して行くつもりです。どうぞ皆さん、浅学非才の私に、温かいご助力の程を伏してお願いいたします。

この月信が出る頃は、国際協議会での研修を終えていると思います。第2660地区の代表として、一生懸命勉強してまいります。



2010年12月4日(土)の夜、ガバナー事務所の近くにあるドルフィンズ堺筋本町店で「財団国際親善奨学生の帰国報告会と忘年会」をPSCの主催で開催致しました。忘年会には、PSC会員以外に、GSEアルムニ会の方々、米山学友会の方々、および関連委員会のロータリアンにも参加を呼びかけ、学友間の幅広い交流を図って頂く試みをしました。その結果当日の参加者は、実に50名にもおよぶ大忘年会となりました。また今回は、財団学友と米山学友との合同忘年会という主旨にご賛同頂いた、近藤RI理事も忘年会に駆けつけて下さいました。

当日は、PSC会長の野村雅夫さんの司会で、奨学生の帰国報告からスタートしました。最初に2009～10年度奨学生として、英国のヨーク大学に留学された崔正勳さんが、留学体験を通して感じたこと、得られたこと、現地でのロータリアンとの交流などを熱心にスピーチさ

れました。次に、当日海外出張で出席できなかったのですが、辻井萌子さん(2008～09年度 英国エセックス大学留学)から、帰国報告のメッセージを届けて頂きましたので、梅崎が辻井さんの帰国報告を代読しました。

その後、GSEアルムニ会からは、今年テキサスに派遣されたチームの方々がパワーポイントで、現地での体験を写真・動画・音楽を交えて楽しく紹介して下さいました。また、当日参加された米山学友の方々も、それぞれ各自のお仕事のこと、勉強のことなど自己紹介をして下さいました。当日は、終始なごやかな雰囲気での会が進行し、時には貸し切ったお店の中が談笑の渦と化し、隣の人の話もよく聞こえないぐらいに盛り上がりました。今後も、このような学友同士の交流を継続できれば、お互いの刺激にもなり、各会の活性化にもつながるのではないかと、大きな期待感を抱かせる一夜となりました。



スリランカGSEチーム受入れ準備

研究グループ交換委員会

委員長 吉崎 広江
(東大阪東RC)

第2660地区のロータリアンの皆様、いつもロータリー財団に何かとご協力頂きありがとうございます。

さて、いよいよスリランカGSEチームの受入れ準備が始まりました。各IM組からの実行委員長クラブ、副委員長クラブの皆様にご尽力頂き、着々と各週の受入れ内容やホストファミリーが決定しております。スリランカGSEチームの来日は3月26日(土)、離日は4月22日(金)の予定です。みなさまどうぞ暖かいホスピタリティでチームを歓迎いただきますよう、お願い申し上げます。

スリランカチーム メンバー一覧

	<p>団長 Deepal D.C. Abeysekera (ディーパル DC アベイセケラ) 50歳 男性 職業：銀行関連のマーケティングおよび公務 職業研修希望：銀行のマーケティング部門、旧跡 言語：英語</p>
	<p>Shamali L. Perera (シャマリ L ペレラ) 36歳 女性 職業：パーソナルケア商品関連企業のマーケティング管理、事業開発 希望訪問先：パーソナルケア業界のマーケティング担当者と会ったり、製造工場を見て品質管理を学びたい。また、パーソナルケア商品のイノベーション、戦略的プランニングなどを理解したい。 言語：シンハラ語 英語</p>
	<p>Rukshi K Liyanngge (ルクシ K リヤング) 32歳 女性 職業：広告会社の顧客サービスディレクター 希望訪問先：マーケティング、ブランド戦略、広告(電通を訪問したい) 言語：シンハラ語 英語 ★ほこりアレルギー、ベジタリアン(卵のみ)</p>
	<p>Ravinda Prabath Edirisinghe (ラヴィンダ P エディリシング) 37歳 男性 職業：マネジメント学の講師(大学) 希望訪問先：大学での新しい教授法を学びたい 言語：シンハラ語、英語</p>
	<p>Srikanth Selladurai (スリカンス セラデュライ) 36歳 男性 職業：マーケティングディレクター 希望訪問先：マーケティング会社、トヨタ・ソニー、任天堂などのトップ企業 日本式マネジメントスタイルや技術を理解したい。 言語：タミル語 シンハラ語 英語</p>

受入実行委員会を構成するロータリークラブ

IM1、2組	(委員長クラブ) 茨木西RC	(副委員長クラブ) 豊中-大阪国際空港RC
IM3、4組	(委員長クラブ) 大東RC	(副委員長クラブ) 東大阪みどりRC
IM5、6組	(委員長クラブ) 大阪東RC	(副委員長クラブ) 大阪東淀ちゃやまちRC
IM7、8組	(委員長クラブ) 大阪阿倍野RC	(副委員長クラブ) 大阪フレンドRC

本年度、私たち第2660地区RACメンバー35名とローターアクト地区委員4名と家族は、11月20日から11月23日まで、RI第3480地区(台湾)の台北を訪れました。

出発日、関空4階の国際線出発フロアの団体待合室にて、松本Gをお迎えし結団式を行いました。松本Gより、励ましと第2660地区のRACメンバーであることの誇りとそれに伴う責任についての話があり、一同、心一つにして大阪を後にしました。

台湾到着時、垂れ幕を持ったRI第3480地区の陳朝煌代表はじめRACメンバーに熱烈歓迎していただきました。その日は、第3480地区RAC主催のウェルカムパーティーに参加し、台湾・大阪の両RACメンバーが互いに、夫々工夫した歌や踊りを披露し合い、また共同でゲームをして、お互いの懇親を深めました。

2日目の午前中、台北RACのメンバーの案内で、路線バスに乗り台北市内を移動し、仏教寺院や地元の文化にふれました。午後は、両RACが台北市内をクリーンハイクし、その後共同で募金活動をしました。日本のRACメンバーは、台湾のRACメンバーの積極的な活動姿勢を目の当たりにして、多くのことを学びました。また、同じ目標に向かい力を合わせることで、言葉は通じなくても心が通じ合えたことと思います。

3日目は、台湾のために亡くなった人を祀る忠烈祠や中国の至宝が展示されている故宮博物館を見学しました。また別働隊として、私とローターアクト地区委員の一由さん、RAC猪辺代表は、戦前戦後、台湾人と結婚し台湾に住む日本人妻の介護施設である「玉蘭荘」に慰問に訪れました。施設長の今井さん、会長の段志憲さんの案内で、ここに暮らす日本人女性の苦勞と、台湾人との心の交流についてお話をお伺いしました。この日、ローターアクト達は国家とは、そして愛国心とは何かを学んだことでしょう。

4日目は早朝4時に起床し、桃園国際空港に向かいました。チェックアウトを済ませ、出国しようとしたとき、台北RACのメンバーが、できたての豆乳とアツアツの揚げパンを荷台に乗せて持ってきてくれました。彼らの気持ちの表れでした。

4日間の交流を通じ、互いに言葉では理解できない信頼関係が構築できたことは間違いありません。海外研修実施まで合計4回のRAC主催の研修をコツコツ実施し、台湾の歴史・文化や北京語の勉強をした結果が研修の成功に繋がったのでしょ

う。帰国後、解団式において目を輝かせながら思い出を語り合うRACメンバーを見て、海外研修がRACにとって有効な研修の一つであることを改めて実感しました。最後に、RACに対し様々な援助をいただいているRCのメンバーの皆様方に感謝の言葉を送ります。ありがとうございました。



青少年交換委員会 クリスマスパーティー

青少年交換委員会

委員長 **金本**

恒二郎

(大阪天王寺RC)

12月11日(土)、午後5時半から8時半まで、地区青少年交換委員会の主催する恒例のクリスマスパーティーがフェイスゲストハウス月花にて開催されました。今年は、隣接している第2640地区から、豊岡敬委員長及び茂野芳久副委員長を含む関係者各位(計13名うち来日学生4名)もご参加され、総勢70名を越える盛大で且つ賑やかなパーティーになりました。

パーティーの具体的内容については、派遣学生の先輩達で構成されるローテックスにより企画・準備・進行の全てが行われました。

最初に、次年度から次々年度に架けて派遣される予定の派遣候補生7名が、英語によるプレゼンテーションを行いました。各候補生とも初お披露目であるにも拘わらず、大勢の前で全く臆することなくしっかりと自らの夢や志を語ってくれました。頼もしい限りです。

次に、来日学生7名による出し物が演じられました。歌あり、楽器演奏あり、空手の単独演武あり、柔道の決め技披露(受け身役付き)あり、お菓子の家(鑑賞後みんなで分けて食べました)ありと、各来日学生ともこの日のために工夫を凝らし準備をしてきた様子が良く伝わり、会場から大きな拍手喝采を浴びていました。

続けて、ローテックスメンバーによる出し物があり、衣装を統一しての集団ダンスあり、歌・演奏ありと、こちらもよく準備と練習をしたことが窺われる立派な内容で、大いに会場を賑わしてくれました。

更に、皆が持ち寄ったプレゼントを交換しましたが、交換方法もよく工夫されていました。つまり、最初に近くの者同士がジャンケンをして負けた方が後に付き、その後は先頭の者同士がジャンケンをして、負けた方が次々と後に繋がっていき、最後には長い一本の行列が出来上がるというゲームを利用して、先頭の者から順番に好

きな(と言っても包装されているので良さそうな)プレゼントを1個もらっていくという方法で、とても盛り上がりました。

このように、今年のクリスマスパーティーは若い世代の参加者全員が主役となり、例年にも増して盛り沢山でしかも個々の企画内容が充実した、とても素晴らしいパーティーとなりました。殊に、綿密に企画と準備を行い、当日も進行を任せられるだけでなく、自らも出し物を演じてしまうというローテックス諸君の活躍振りには目を見張るものがありました。1年間単身で海外派遣された経験の成果がこういった形で具体的に実践されているのです。青少年交換プログラムの成功を強く確信できるひとときでした。

そして、充実感と余韻とが残る中、全員でクリスマスソングを合唱し、最後には会場の全員が輪になり「手に手つないで」の大合唱で締めくくられました。閉会后、参加者全員での記念撮影をしましたが、その後も名残と別れを惜しんであちこちで記念写真が撮られていました。

最後になりましたが、この紙面をお借りして、遠方より大勢でご参加され、パーティーの盛上げと成功にご協力を下さいました第2640地区の皆様に対し、心より御礼と感謝の気持ちを述べさせていただきます。本当に有り難うございました。



第22回

ガバナー杯争奪野球大会開催

くずはRC野球同好会

事務局長 日野 守之
(くずはRC)

10月24日(日)、第22回 2010～2011年度RI第2660地区ガバナー杯争奪軟式野球大会が、西宮市のビーコンパークスタジアムにて開幕致しました。当日は、早朝より開会式を執り行い、昨年度優勝の八尾東RCから優勝杯を返還の後、お忙しい中駆けつけていただきました高島GNの始球式で大会の熱戦の火ぶたが切られました。

大会の決まり事でもあります、大会に初参加のクラブが次年度の大会のホストクラブをするということですので、くずはRCが第22回の運営を任せられました。当初は、大会の運営を全く理解していない状態でのスタートを切りましたが、永年大会に参加をされている先輩RCの皆様のおかげで指導を頂いた結果、無事に大会の運営が出来ました。本当にありがとうございました。

ホストクラブとして、初の運営になる代表者会議を8月4日に開催し、大会要綱の確認・日程調整・組み合わせ抽選を行い対戦相手が決定致しました。参加クラブは、大阪うつぼRC・大阪大手前RC・大阪中之島RC・大阪平野RC・大阪住之江、大阪住吉、大阪阿倍野RC合同チーム・吹田RC・吹田西RC・寝屋川RC・八尾RC・くずはRCの10クラブで、5チームずつ2ブロックに分け総当たりのリーグ戦を行い、各ブロックの2位同士で3位決定戦、1位同士で決勝戦を行う試合形式

です。10月24日ビーコンパークスタジアム、10月31日・11月3日・14日・21日サントリー球場でリーグ戦を行い、11月28日清滝グラウンドで3位決定戦をAブロック2位のくずはRCとBブロック2位の八尾RCが対戦し、3位に八尾RCが決定致し、引き続き優勝決定戦をAブロック1位の吹田西RCとBブロック1位の大阪うつぼRCが対戦し、13対2で吹田西RCが見事に優勝いたしました。

大会は、全日程6日を要し天候も少し雨にみまわれたり致しましたが、無事に日程をこなし、そして何より大きな怪我もなく終了できましたのも、参加チームのご協力の賜と感謝申し上げます。そして、各球場関係者の皆様、審判団の皆様を含めご協力頂いた皆様に感謝いたします。

2011年3月中旬頃に表彰式を行い、最後に第23回のホストクラブの大阪住之江、大阪住吉、大阪阿倍野RC合同チームの皆様にはバトンをお渡しすれば、第22回の大会が無事に終了いたします。今後は、本年度賜りましたご厚情を忘れることなく、来年以降参加・協力をさせていただきます。

最後になりましたが、野球を通じて益々親睦の輪が広がることを願っております。ありがとうございました。



地区米山奨学委員会より

2010年11月末	全国寄付金合計額	636,878,109円 (前年度比 4.25%増)
”	第2660地区寄付金合計額	38,065,195円 (前年度比 5.20%減)
2010年11月末	全国寄付合計トップ10	
1. 第2650地区	43,796,925円	6. 第2760地区 35,280,650円
2. 第2580地区	40,403,200円	7. 第2590地区 33,939,500円
3. 第2750地区	38,609,780円	8. 第2640地区 23,476,420円
4. 第2660地区	38,065,195円	9. 第2790地区 22,759,100円
5. 第2770地区	36,498,592円	10. 第2780地区 22,029,000円

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。(2010年11月)

氏名	回数	クラブ名	氏名	回数	クラブ名
濱谷 和也	2回目	東大阪RC	川田 達男	2回目	大阪RC
飯田 利武	1回目	東大阪RC	竹中 統一	4回目	大阪RC
西村 光洋	3回目	東大阪RC	立野 純三	6回目	大阪RC
坂井 孝彦	4回目	東大阪RC	高木 正夫	2回目	大阪阪南RC
竹中 照次	7回目	東大阪RC	谷野 清孝	2回目	大阪阪南RC
高林 茂	3回目	東大阪RC	渡部 泰夫	5回目	大阪阪南RC
富岡 成夫	3回目	東大阪RC	三埜 好	4回目	大阪イブニングRC
吉村 光央	3回目	東大阪RC	佐伯 爲次	8回目	大阪城南RC
藤原 英夫	5回目	東大阪中央RC	橋口文四郎	3回目	大阪北RC
百済 洋一	5回目	東大阪中央RC	原 眞一	2回目	大阪北RC
細川 勝治	2回目	東大阪中央RC	平川 恵一	6回目	大阪北RC
岩崎 史郎	2回目	東大阪中央RC	一瓢 秀次	1回目	大阪北RC
近藤 力	13回目	東大阪中央RC	川崎 修	1回目	大阪北RC
宮田 照男	5回目	東大阪中央RC	小林 豊	2回目	大阪北RC
尾崎 弘昌	4回目	東大阪中央RC	河野眞一郎	2回目	大阪北RC
出原 正秀	5回目	東大阪中央RC	古武 敏彦	2回目	大阪北RC
坪倉 修吉	5回目	東大阪中央RC	松崎 浩一	1回目	大阪北RC
和田栗一良	4回目	東大阪中央RC	三浦 康生	2回目	大阪北RC
川田 悦史	1回目	茨木東RC	村上 満	3回目	大阪北RC
別處 了一	4回目	茨木西RC	西村 脩	3回目	大阪北RC
川尻 勝久	2回目	茨木西RC	大西 宏史	3回目	大阪北RC
角谷 真枝	4回目	茨木西RC	酒井 朋久	1回目	大阪北RC
小路 三郎	5回目	茨木西RC	澤崎 雄介	1回目	大阪北RC
須川 就三	3回目	茨木西RC	清水雄一郎	1回目	大阪北RC
駕田 毅	4回目	くずはRC	高月 璋介	3回目	大阪北RC
森 賢司	2回目	くずはRC	田淵 宏政	3回目	大阪北RC
江藤 光哉	1回目	大阪RC	田中 眞人	2回目	大阪北RC

氏名	回数	クラブ名
高橋 一雅	1回目	大阪北RC
豊田 崇克	1回目	大阪北RC
植田 昌克	1回目	大阪北RC
吉田 譲次	4回目	大阪北RC
日野 年澄	1回目	大阪心齋橋RC
藤澤 肇	2回目	大阪心齋橋RC
河合 正行	2回目	大阪心齋橋RC
松田 隆光	2回目	大阪心齋橋RC
大前利太郎	4回目	大阪心齋橋RC
植田 卓	5回目	大阪心齋橋RC
勝見 哲朗	5回目	大阪天満橋RC
川原 和彦	4回目	大阪天満橋RC
中島 康之	1回目	大阪天満橋RC
小澤 満	5回目	大阪天満橋RC
大矢 平治	4回目	大阪天満橋RC
高田 肇	3回目	大阪天満橋RC
後藤 洋治	22回目	大阪梅田東RC
柴山 泰範	1回目	大阪フレンドRC
樋上 幸夫	3回目	摂津RC
岩城 邦廣	3回目	摂津RC
門田孝三郎	6回目	摂津RC
佐藤 剛司	1回目	摂津RC
辻井 正房	3回目	摂津RC
妻野 光則	2回目	摂津RC

氏名	回数	クラブ名
山内 久生	5回目	摂津RC
吉岡二三男	3回目	摂津RC
井村 卓治	5回目	吹田RC
井上 亮二	1回目	吹田RC
川上 浩邦	9回目	吹田RC
宮脇 一彦	2回目	吹田RC
柴田 仁	6回目	吹田RC
田辺 嘉穂	7回目	吹田RC
米谷 正夫	4回目	吹田江坂RC
西本 健二	1回目	吹田江坂RC
大森 洋子	1回目	吹田江坂RC
八橋 志夫	4回目	吹田江坂RC
榎谷 忠治	7回目	吹田西RC
本田 智教	1回目	吹田西RC
家村 武志	6回目	吹田西RC
梶山 高志	5回目	吹田西RC
河邊 哲郎	5回目	吹田西RC
尾家 亮	5回目	吹田西RC
瀧川 紀征	7回目	吹田西RC
桑田夕ア子	3回目	八尾東RC
森下 慶治	4回目	八尾東RC
大熊 實	5回目	八尾東RC
吉川日出子	3回目	八尾東RC

米山功労クラブ

次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました。(2010年11月)

クラブ名	回数
東 大 阪	52回目
大 阪	96回目
大 阪 北	72回目
大阪心齋橋	29回目
大阪天満橋	49回目
大阪梅田東	15回目
大阪フレンド	2回目
摂 津	20回目

ロータリー財団

ロータリー財団 ポール・ハリス・フェロー

次の方にポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2010年)

中尾 巖	茨木東RC	11/12	砂川清太郎	大阪御堂筋RC	11/30
濱野 和子	大阪イブニングRC	11/12	川寄 修	大阪北RC	11/30
畠仲 聡	くずはRC	11/19	松崎 浩一	大阪北RC	11/30
山本 正夫	くずはRC	11/19	酒井 朋久	大阪北RC	11/30
山中 卓	くずはRC	11/19	薩摩 卯一	大阪北RC	11/30
有山 茂	大阪城東RC	11/19	清水雄一郎	大阪北RC	11/30
古川 信義	大阪城東RC	11/19	高橋 一雅	大阪北RC	11/30
東田 俊康	大阪船場RC	11/19	植田 昌克	大阪北RC	11/30
吉内 忠春	大阪フレンドRC	11/26	平井 正雄	四條躰RC	11/30
川面 智義	高槻RC	11/26	谷村 勝美	四條躰RC	11/30
門田 雅輝	大阪東RC	11/30	澤崎 雄介	大阪北RC	12/ 3

ロータリー財団 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。(2010年)

竹村ルミ子	1回目	茨木東RC	11/ 5	西井 忠義	1回目	高槻西RC	11/26
文箭 安雄	2回目	大阪RC	11/12	清水 浩一	1回目	東大阪RC	11/30
阿知波 毅	2回目	大阪住之江RC	11/12	福岡 康民	1回目	東大阪中央RC	11/30
田中 哲男	2回目	東大阪東RC	11/19	百済 洋一	2回目	東大阪中央RC	11/30
吾郷 泰廣	2回目	くずはRC	11/19	宮崎 康治	2回目	東大阪中央RC	11/30
磯田 勝信	1回目	くずはRC	11/19	辰巳 裕胤	1回目	東大阪東RC	11/30
北川 順清	1回目	くずはRC	11/19	立野 純三	6回目	大阪RC	11/30
長村 治	1回目	くずはRC	11/19	上野 昌也	2回目	大阪RC	11/30
中野 保博	1回目	くずはRC	11/19	岩橋 貞雄	3回目	大阪東RC	11/30
高島 叔孝	1回目	くずはRC	11/19	打垣内尚雄	2回目	大阪御堂筋RC	11/30
掛谷 建郎	1回目	茨木RC	11/19	箕手孝次郎	2回目	大阪御堂筋RC	11/30
土井 洋三	1回目	大阪RC	11/19	宮岸 隆	2回目	大阪御堂筋RC	11/30
松澤 佑次	1回目	大阪RC	11/19	宮武 明彦	2回目	大阪御堂筋RC	11/30
吉川 邦英	2回目	大阪RC	11/19	池田喜八郎	2回目	大阪北RC	11/30
伊藤 清一	2回目	大阪船場RC	11/19	加納 繁照	2回目	大阪北RC	11/30
片岡 清夫	2回目	大阪船場RC	11/19	河村 禧郎	2回目	大阪北RC	11/30
高階 貞男	2回目	大阪船場RC	11/19	米谷 伸行	1回目	大阪北RC	11/30
徳永 孝哉	3回目	大阪船場RC	11/19	鴻池 一季	2回目	大阪北RC	11/30
渡辺 忠之	3回目	大阪船場RC	11/19	松平 佳敬	2回目	大阪北RC	11/30
岡部 泰鑑	4回目	大阪城南RC	11/26	三宅 侃	1回目	大阪北RC	11/30
光信 昌明	4回目	大阪城南RC	11/26	村上 満	2回目	大阪北RC	11/30
長谷川博之	1回目	高槻西RC	11/26	中村 順一	1回目	大阪北RC	11/30
真石 成人	1回目	高槻西RC	11/26	阪本 勝義	2回目	大阪北RC	11/30
三好 誠	1回目	高槻西RC	11/26	吉田 讓次	3回目	大阪北RC	11/30
森本 茂	1回目	高槻西RC	11/26	松尾 寛	2回目	新大阪RC	11/30
長積 優	1回目	高槻西RC	11/26				

ロータリー財団 ベネファクター

次の方にベネファクターの称号が贈られました。(2010年)

山田 隆三	大阪RC	11/19	松井 素子	大阪リバーサイドRC	11/19
柿本 登	大阪リバーサイドRC	11/19	金崎 正明	守口イブニングRC	11/26

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50 周年記念事業の一つとして 1970 年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2 万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の

出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページで PDF もご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ガバナー月信より

「例会の充実はクラブ会員による卓話から」 上野 操 2010 1P (D.2580)

「ロータリーは、新世代を育む場」 辰野 克彦 2010 1P (D.2750)

「2010年から活動を開始するロータリー・コーディネーター」 村上 勘一 2010 1P (D.2540)

「職業奉仕はロータリーの根幹」 瀬下 龍夫 2010 1P (D.2550)

「『論語と算盤』と職業奉仕」 飯村 慎一 2010 1P (D.2550)

「職業奉仕月間にあたり」 土屋 亮平 2010 1P (D.2790)

「職業奉仕月間によせて」 関原 亨司 2010 1P (D.2800)

「出席義務を考えるーロータリー簡単図解その9」 鈴木 章夫 2010 1P (D.2520)

「国際インナーホイールへの入会の勧め」 鈴木 俊幸 2010 1P (D.2510)

「愈々次年度からGSEと青少年交換が始まる」 山崎 勝 2010 1P (D.2720)

[上記申込先:ロータリー文庫(コピー/ PDF)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館 = 午前10時~午後5時 休館 = 土・日・祝祭日

「お知らせ」

ホームページ開設

門真RC <http://kadoma-rc.com>

敬 弔 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

溝畑 富廣 会員 (吹田RC)
2010年11月16日逝去(享年64歳)

榎原 嘉之 会員 (豊中南RC)
2010年12月16日逝去(享年83歳)

青少年奉仕委員、社会奉仕委員長、
SAA委員長、出席委員長、
規定情報委員長、会員増強委員長

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-Mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿（写真付きの場合は一緒に添えて）を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。
- 今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布いたします。また、ご希望の会員には有料（年間2,200円・1冊200円）配布とさせていただきますので、出来るだけ多くの方のお申し込みをお待ちしています。

月信編集委員会

- ・ガバナー 松本新太郎
- ・地区代表幹事 池尻 誠
- ・地区副代表幹事 吉本 憲司
- ・担当地区幹事 小山 悦治
- ・担当地区幹事 笠井 実
- ・担当地区幹事 奥谷 英一
- ・事務局長 今井 貢二

2010～2011年度 国際ロータリー第2660地区 【ガバナー事務所ご案内】

●事務局スタッフ

ガバナー	松本新太郎
地区代表幹事	池尻 誠
地区副代表幹事	吉本 憲司
事務局長	今井 貢二
事務局員	栗正 久美
	春名 志保
	大西 麻容

●休 日

土曜、日曜、祝日
年末年始

●所在地・電話・ファックス

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館 6階
TEL：06-6264-2660
FAX：06-6264-2661

ガバナー事務所に会議室を併設いたしております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせ下さい。

●ホームページアドレス

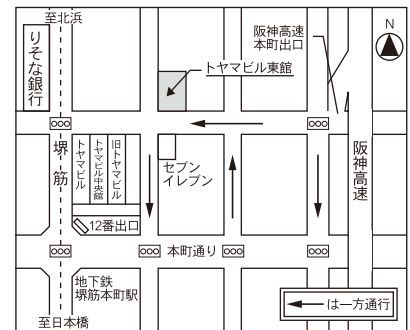
<http://www.ri2660.gr.jp/>

●メールアドレス

gov@ri2660.gr.jp

●勤務時間

9：30～17：00



※地下鉄堺筋線 堺筋本町駅 12番出口すぐ

国際ロータリー第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6F
電話 06-6264-2660 Fax 06-6264-2661 E-mail:gov@ri2660.gr.jp

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

6 F Toyama Bldg, East 1-5-11 Azuchi-machi Chuo-ku OSAKA 541-0052 JAPAN
Phone.+81-6-6264-2660 Fax.+81-6-6264-2661 E-mail:gov@ri2660.gr.jp

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2010-2011

3 vol.9



地域を育み、大陸をつなぐ

国際ロータリー第2660地区

2010～11年度ガバナー 松本 新太郎

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

CONTENTS

ガバナー メッセージ 識字率向上月間・ 世界ローターアクト週間 1 ガバナー 松本 新太郎	米山奨学委員会 7-8
世界ローターアクト週間にちなんで 2 ローターアクト委員会 委員長 山内 康俊	ロータリー財団 9-11
2011年 国際協議会参加報告 3 ガバナー・エレクト 岡部 泰鑑	2011年1月度 会員数・出席報告 12
2010~2011年度 IM第3組報告 4 IM実行委員会 委員長 亀井 信昭	文庫通信 13
大阪阪南RC・大阪天王寺RC合併報告 5 大阪天王寺RC 会長 南部 高志	お知らせ／敬弔 14
2011学年度 米山奨学生選考面接 6 米山奨学委員会 副委員長 武島 秀吉	



3月は識字率向上月間です。国際化が進展した現代社会においてはもはや、自国の発展のみを考えているだけでは不十分で、国境を越えた人類全体の進歩を視野に入れなければなりません。そのような意味においても、識字率は避けて通ることのできない問題です。

現在でも世界中で読み書きのできない人が信じられないほどたくさんいることはまぎれもない事実で、国際ロータリーでも長年にわたって識字率向上を重要課題として位置付け、世界各地での積極的な取り組みを推奨してきました。

人類にとって文字は非常に有効なツールであり、読み聞きで情報をインプットするとともに話し書くことでアウトプットして活発なコミュニケーションを実現しています。しかしそのうちの読み書きができないとすれば、重要な手段の半分しか活用できないこととなります。これが人の人生や生活にどれほどのハンデを与えるかは明白で、貧困や搾取などに苦しめられることにつながります。

こうした課題に私たちロータリアンが取り組むのは、誠に有意義なことであると考えます。読み書きを通して得られた知識や教養は、必ず子や孫へと受け継がれていくはずで、代々継承される大きな「財産」の構築を

私たちがお手伝いできるとすれば、これほど素晴らしいことはないと思います。

皆さんにはぜひこの機会に再度、識字率についてお考えいただき、その向上を通じて地域を育み、大陸をつなぐ一助にいただければ幸いです。

今月はまた、13日を含む週が「世界ローターアクト週間」に指定されています。これは世界中のRCとRACに国際規模の共通活動に参加してもらうことが目的で、当地区でも13日に「世界RACデー」を開催致します。

「新世代」が5番目の奉仕部門となった今、若い世代を育むRAはますます重要度を高めている活動の一つと言えるでしょう。会員数の減少や高齢化などの問題を抱えるわが国のRCにとってはまさに、未来をしっかりと見据えてもう一度その意義を再認識する必要があるはずです。RACを提唱されているクラブではさらなる活発化を、そしてまだ提唱されていないクラブはその可能性を、改めて真剣に議論してみられてはいかがでしょうか。

そしてまたRACの活性化を、いかにしてRCのそれにも融合させ結びつけていくかという課題についても、今一度よく考えてみる事が求められるでしょう。

「皆さんは、ローターアクトをご存じですか？」と質問した場合、恐らくロータリアンのうち半分以上の方は知らないと答えるのではないのでしょうか。一般の市民においては、言わずもがなです。何故、そのようになったのでしょうか。その原因は、時代の変化は勿論ですが、多くのロータリアンの無関心にあるのではないのでしょうか。まさに時代は、ローターアクトしかなかった時代から、様々な奉仕団体が巷にあふれるように変化してきました。これからもRACが存在し続けるためには、社会からの要請とRCにとって必要な団体でいつづけなければなりません。ただ単に、奉仕活動をする団体は山ほどあります。

これからも「RCにとってRACは必要なのか」。その答えは、RIの青少年事業への考え方の変化にあります。すなわち、今までロータリーの4大奉仕部門の考えに、インターアクト・青少年活動・青少年交換・ローターアクト委員会を、五つ目の奉仕部門に格上げし、新世代奉仕部門を新たに設けた点です。一般社会において、子供たちは社会の宝です。20年後の日本の社会は、間違いなく彼らの手に委ねられています。

RCも同様で、現在の若者たちが20年後、RCの一員になり、様々なRCで活躍しているはずです。

ここに、大阪ネクストRCというRCがあります。これは、RAC出身のメンバーだけで作られたRCです。今から20年前、我々の先人たちが未来のRCを考え育成

した若者たちが、一般社会で鍛えられ大きく成長し、RCに戻ってきたのです。皆さんのクラブにもたくさんのRAC出身のメンバーがおられるはずです。教育の荒廃が叫ばれる昨今、教育は国家の大計を図る上で、とても重要であることは周知のとおりです。RCにとっても、次世代を担う若者の育成は、なくてはならない重要な責務です。そのことをRIも考え、新世代部門を新設されたのだと思います。

先日、RACを持たない大阪フレンドRCの例会にて、大阪御堂筋RACの岩下君に卓話をさせていただきました。30歳前の若者が、多くのロータリアンの前で堂々とスピーチする姿を見て、大阪フレンドRCのメンバーは感激し、子弟や自社の従業員4人を、大阪御堂筋RACに推薦させていただきました。

またインターアクト年次大会にて、ローターアクト委員会の活動について猪辺地区代表がスピーチしたところ、4人の高校生が卒業後、RACに入会されることになりました。RACの会員増強は、必ず未来のRCの会員増強に繋がっていきます。そう考えるなら、RACのことに無関心でいられるはずがありません。私たち地区ローターアクト委員会は、皆様の要請があれば何時でも、卓話に寄せていただきます。

未来のRCを案ずる皆様が、今まで以上にご支援ご協力をいただくことを心より祈念しまして、世界ローターアクト週間にむけた挨拶にさせていただきます。



RACクリーンハイク

メインテーマは

『こころの中を見つめよう 博愛を広げるために』



“America’s Finest City”＝「アメリカで最もすばらしい町」がキャッチフレーズであるカリフォルニア州のサンディエゴの町の中心に聳え立つ、マンチェスター・グランドハイアットホテルに、世界各国から531名の同期のGEと共に、1月16日から22日までの1週間、会長エレクトのカリヤン・バネルジー氏の「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」のテーマに沿って、研修が始まりました。

1日目のスタートは本会議から、続いて日本の34地区のGEが2つに分かれ、RIトレーニングリーダーのもと、討論形式の研修。さすが日本各地より選ばれしGEは、大変勉強家が多く、遅れをとらないために必死でついていく自分がとてもかわいそうに思うほどでした。しかし、その中で多くのGEとの親交が芽生え、次第にうち解けて行くことが出来た事は、私にとって大きな力になったことは言うまでもありません。

この様なかたちの中での1週間、その中でも2日目の本会議では、隣にGSEを組むスリランカのGE、ゲハン・リ・シリバドダナ氏が居られ、GSEの話や国情の話

させていただき、とても暖かみのある方でした。大会会場には、常に1400人位の方々が居る中で、ゲハン氏と5度もバッタリ会うことに、すごい縁を感じました。

夕刻までの研修とは打って変わって、夜は会長招宴の晩餐会・舞踏会・国際祭りの夕べなど、国際的親睦を図る楽しい企画などがあり、貴重な体験をさせていただきました。

最後になりましたが、出発前にPGの皆様にも励まされ、週末の15日には我がクラブ(大阪城南RC)の中川PG、当時の光信代表幹事を始め多くの会員に空港まで見送りに来て下さり、帰国に際しましては、寒波押し寄せる夜にも関わらず、又空港まで迎えに来て下さった事、誠に嬉しく思いロータリースピリッツ(友情の輪)をしみじみ感じたことを、ここに添えて御礼申し上げます。



GSEスリランカ来日チーム 第3220地区のGE



2010～2011年度 IM第3組報告

IM実行委員会

委員長 亀井 信昭
(寝屋川RC)

テーマ：我がまち自慢

日時：2011年1月22日 午前9：30～

場所：寝屋川市民会館大ホール

参加登録：392名

出席者：250名

IM3組は古来より北河内7市のグループであり、長い歴史を共有し、助け合いながら生活してきました。「温故知新」、各クラブの位置するまちの誇れるものを再発見、再認識し、祖先の成り立ちを次世代の子に孫に残していく責任を持ちたいと考え、又、それが地域への愛着が深まるとの思いから、表題のテーマを設定いたしました。昨年の9月より松本G、西原G補佐のご指導のもと、私ども寝屋川RCがホストクラブとなり協議を重ねてまいりました。

開会式のあと、基調報告を寝屋川RCが担当し、香里園RCがサポートして下さいました。

「ねやがわの浄化と市民活動」「鉢かづき姫物語」

市民活動支援基金(ニコニコ基金)の成り立ちと仕組み

またブロック別では

枚方RC・くずはRC 「くずは物語」

交野RC 「七夕伝説のまち・おりひめの里・交野」

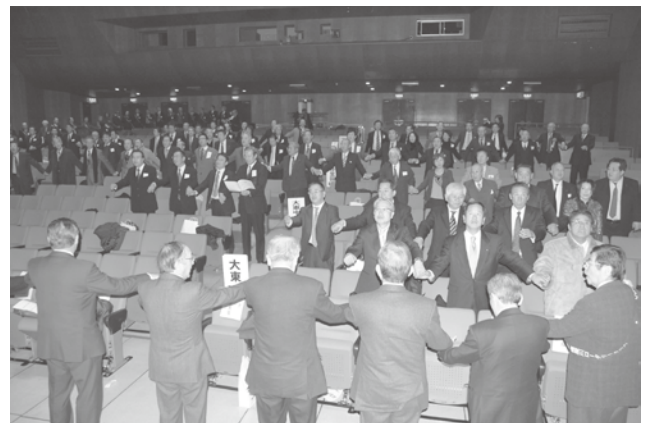
四條畷RC 「歴史から見た四條畷」

大東RC・大東中央RC 「我がまちの地車(だんじり)」

守口RC・守口イブニングRC・門真RC 「水郷わが町」

をテーマに、それぞれの素晴らしい誇れる特徴を発表していただき、今後の各クラブの奉仕活動に活かして行きたいと思えます。

閉会式では、第3組西原G補佐の所感をいただいたあと、映像による新入会員の紹介を行いました。そして、参加者全員で「手に手つないで」の大合唱で成功裡に終了しました。その後、アルコール飲料抜きの軽食を囲みながらお互いの懇親を深め、次年度四條畷RCでの再会を約束し、和やかなうちに散会しました。



大阪阪南RC・大阪天王寺RC 合併報告

大阪天王寺ロータリークラブ

会長 南部 高志

旧・大阪阪南RCと旧・大阪天王寺RCは、2010年12月に国際ロータリー理事会にて合併の承認を受け、2011年1月より名称を大阪天王寺ロータリークラブとして再出発いたしました。

多くのクラブが会員数の減少に悩む中、両クラブにおいても会員数の減少と高齢化が急速に進んでおり、会員拡大が出来なければ数年の内にクラブ運営が難しくなり、更なる会員減少につながるとの危機感がありました。

その状況の中で、旧・大阪天王寺RCが合併を検討されているとの話を聞き、旧・大阪阪南RCも急遽合併の検討に入りました。旧・大阪阪南RCは1969年に発足し、旧・大阪天王寺RCは、大阪阪南RCがスポンサークラブとして1988年に発足しました。このような経緯もあり、会員相互も親しくしており、クラブ名称や例会日の決定など、重要な項目においてお互いに譲り合いの精神で当初より合意できました。3月には、両クラブの理事会で合併が承認され、大きく進みだしました。その後も合併委員会を両クラブからの選出で立ち上げ、合併に向けてクラブ細則や理事役員の選出など多くの課題を処理してまいりました。

1月18日には合併記念例会を開催し、新・大阪天王寺RCのお披露目を行いました。当日RI第2660地区からは松本新太郎Gをはじめとして、岩田PG、横山PG、大谷PGにもご出席いただき、IM第8組からは泉博朗G補佐をはじめとして、各クラブの会長・幹事の皆様にご出席いただきました。その他、両クラブの姉妹クラブやインターアクトなど関係各位をゲストに迎え、会員ご家族の参加も得て盛大に例会および懇親会を行うことが出来ました。

最後に、今回合併をいたしました、目的はクラブの活動の充実であります。今後は、有意義な活動と魅力のある楽しいクラブ作りに注力し、全員参加を基本としたクラブ運営を行ってまいりたいと思います。さらに、地域の有力な職業人としての立場で積極的に活動して下さるような方に期待を持って入っていただけるよう、積極的な会員拡大に努めたいと思っています。



2011学年度 米山奨学生選考面接

米山奨学委員会

副委員長 **武島 秀吉**
(大阪御堂筋RC)

日時：平成23年1月15日(土) 10:00～16:00

場所：(独)日本学生支援機構大阪日本語教育センター

参加者：松本G、若林PG、高島GN、磯田委員長、武島副委員長、
村橋、米田、田中、西谷、吉田、有竹、和田、大西、小山、榊原各選考委員

先日、毎年我々地区米山委員会メンバーが最も緊張し、懸命に行う2011学年度米山奨学生選考面接が行われました。

正月気分も抜けぬうち、この日ばかりは気合を入れた選考委員は、優秀で、かつ今後もロータリーの奉仕の精神を共有してくれる奨学生を選びたいと勇んで集りました。

今回は中国をはじめ、韓国やベトナム、ミャンマー、イラン、シンガポール、マレーシア、台湾、インドネシアから来日している留学生で、総勢59名。松本G、若林PG、高島GNと地区委員が選考委員に委嘱され、4カ所に分かれて1人20分たっぷり面接を行いました。

殆どの選考委員は何度か面接経験が有るので、あらゆることを想定した質問が用意されていたようです。また、国同士の関係が面接に影響しないよう、人物本意で選考するという点を選考委員全員が確認しながら行いました。米山奨学制度で求める優秀とは「(1)学業」に対する熱意や優秀性はもちろんのこと、「(2)異文化理解(3)コミュニケーション能力」への意欲や能力に優れている点が含まれます。しかし、20分の面接時間では人物評価に誤りが無いとは言えないのでは、という思いもあり、選考委員メンバーは人物をしっかり見極めようと真剣な面接をいたしました。

夕方4時頃には全員終了し、気持ちの良い疲れに見舞われておりました。

今回も応募者は中国からの留学生が目立っておりましたが、現在の日本の留学生状況を見た時には致し方が無いように思われます。

晴れて奨学生として皆様のクラブにお世話になる時には、何卒よろしくお祈りいたします。



地区米山奨学委員会より

2010年12月末	全国寄付金合計額	813,690,738円 (前年度比 1.72%増)
”	第2660地区寄付金合計額	48,546,695円 (前年度比 4.63%減)
2010年12月末	全国寄付合計トップ10	
1.	第2650地区	61,266,377円
2.	第2750地区	48,833,280円
3.	第2660地区	48,546,695円
4.	第2590地区	47,204,100円
5.	第2580地区	44,299,755円
6.	第2760地区	41,454,108円
7.	第2770地区	39,421,592円
8.	第2820地区	31,511,500円
9.	第2780地区	30,695,500円
10.	第2640地区	28,430,420円

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。(2010年12月)

氏名	回数	クラブ名	氏名	回数	クラブ名
石渡 善一	2回目	東大阪みどりRC	今岡 真義	3回目	大阪本町RC
秋山 勤	2回目	茨木RC	富田 進	4回目	大阪本町RC
古川 智	4回目	池田くれはRC	隅谷 尚典	7回目	大阪柏原RC
藤原 史郎	1回目	池田くれはRC	竹内 寛	2回目	大阪柏原RC
松室 利幸	1回目	池田くれはRC	黒田 清	1回目	大阪南RC
溝口 正孝	7回目	池田くれはRC	力身 総一郎	1回目	大阪南RC
長嶋 貞孝	4回目	池田くれはRC	宝上 富之	2回目	大阪咲洲RC
津田 昌信	2回目	池田くれはRC	河部 悦子	2回目	大阪咲洲RC
片山 三郎	5回目	箕面RC	小林 和由	1回目	大阪咲洲RC
川端 崇且	4回目	箕面RC	牧野 伸顕	3回目	大阪咲洲RC
上島 一彦	1回目	箕面RC	成山 肇	3回目	大阪咲洲RC
佐伯 照道	1回目	大阪RC	西山 雅康	2回目	大阪咲洲RC
播磨 章一	7回目	大阪堂島RC	山本 誠	3回目	大阪咲洲RC
中島 武	4回目	大阪堂島RC	藪野 洋	2回目	大阪咲洲RC
横山 利夫	8回目	大阪堂島RC	古里 龍一	6回目	大阪西南RC
樋口 武英	2回目	大阪東RC	廣瀬 勘一郎	5回目	大阪西南RC
片山 勉	5回目	大阪東RC	池田 輝	7回目	大阪西南RC
北川 勝治	8回目	大阪東RC	木村 雅彦	3回目	大阪西南RC
小高 得央	2回目	大阪東RC	増田 康次	3回目	大阪西南RC
松本 裕典	1回目	大阪東RC	荻原 美津子	1回目	大阪西南RC
盛田 三五	3回目	大阪東RC	島野 秀行	5回目	大阪西南RC
辰野 久夫	1回目	大阪東RC	高谷 晋介	3回目	大阪西南RC
戸島 利夫	1回目	大阪東RC	上田 直樹	2回目	大阪西南RC
壺山 和憲	1回目	大阪東RC	八木 洋子	4回目	大阪西南RC
春田 貴代子	4回目	大阪東淀ちやまちRC	神田 勇人	1回目	大阪城北RC
大津 久直	4回目	大阪東淀ちやまちRC	古森 浩	4回目	大阪城北RC
吉原 保之	3回目	大阪平野RC	丸井 龍太郎	4回目	大阪城北RC

米山奨学委員会

石川 豊	1 回目	大阪そねざきRC	北村 公一	1 回目	豊中RC
中村 浩一	4 回目	大阪鶴見RC	上田 卓也	6 回目	豊中南RC
菅田 隆久	1 回目	大阪鶴見RC	吉田 日土光	6 回目	豊中南RC
田坂 新一	2 回目	大阪鶴見RC	畑中 裕昭	3 回目	八尾RC
浅野 博史	3 回目	大阪うつぼRC	石黒 嘉弘	2 回目	八尾RC
福本 桂三	7 回目	大阪うつぼRC	松本 新太郎	6 回目	八尾RC
池田 周弘	5 回目	大阪うつぼRC	三宅 博	3 回目	八尾RC
豆村 賢治	4 回目	大阪うつぼRC	中西 啓詞	6 回目	八尾RC
奥澤 邦彦	4 回目	大阪うつぼRC	中川 廣次	3 回目	八尾RC
斎藤 隆二	3 回目	大阪うつぼRC	野田 重夫	1 回目	八尾RC
河田 英子	2 回目	大阪ユニバーサルシティRC	奥谷 英一	1 回目	八尾RC
井上 暎夫	10 回目	千里RC	田中 義明	4 回目	八尾RC
萬年 成泰	2 回目	千里RC	戸田 孝	9 回目	八尾RC
上島 弘資	1 回目	千里RC	津田 伸一	1 回目	八尾RC
近藤 一弥	2 回目	千里メイプルRC	山本 義治	12 回目	八尾RC
黒川 彰夫	5 回目	千里メイプルRC	山口 智士	3 回目	八尾RC
高尾 修	6 回目	千里メイプルRC	吉川 鹿雄	9 回目	八尾RC
山本 雅之	1 回目	千里メイプルRC	福家 宏	5 回目	八尾中央RC
前内 宏文	3 回目	高槻RC	小倉 郁夫	5 回目	八尾中央RC
中村 進一	1 回目	高槻RC	柳 雄二	6 回目	八尾中央RC
西口 昌昭	1 回目	高槻東RC	吉村 清明	7 回目	八尾中央RC

米山功労クラブ

次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました。
(2010年12月)

クラブ名	回数
東大阪東	39回目
池田くれは	22回目
大阪東	76回目
大阪東淀ちややまち	45回目
大阪柏原	30回目
大阪咲洲	7回目
大阪西南	68回目
大阪城北	26回目
大阪そねざき	6回目
大阪梅田	33回目
大阪うつぼ	49回目
千里メイプル	8回目
豊中	25回目
八尾	52回目
八尾中央	25回目

ロータリー財団

ロータリー財団

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2010年)

阪本 一平	茨木東 RC	12/ 3	清水 喜芳	大阪ユニバーサルシティ RC	12/24
島田 重樹	吹田西 RC	12/ 3	高野 幸雄	大阪ユニバーサルシティ RC	12/24
井村 周平	大阪心齋橋 RC	12/10	龍岡 恵子	大阪ユニバーサルシティ RC	12/24
伊藤 彰敏	大阪心齋橋 RC	12/10	豊島 秀郎	大阪ユニバーサルシティ RC	12/24
佐藤 剛司	摂津 RC	12/10	吉田 正信	大阪ユニバーサルシティ RC	12/24
森 昌範	交野 RC	12/10	小林 厚	大阪うつぼ RC	12/24
中村 正敏	大阪堂島 RC	12/10	湯尾 恵子	大阪うつぼ RC	12/24
清金 慎治	吹田 RC	12/17	上島 一夫	千里 RC	12/24
吉竹 賢祐	吹田 RC	12/17	濱岡 千寿郎	八尾 RC	12/24
清水 正義	大東 RC	12/24	飯田 寛光	八尾 RC	12/24
前田 博子	大東中央 RC	12/24	田中 康正	八尾 RC	12/24
吉川 宏	東大阪東 RC	12/24	津田 伸一	八尾 RC	12/24
梶田 梓聞	東大阪東 RC	12/24	奥谷 英一	八尾 RC	12/24
川田 悦史	茨木東 RC	12/24	松尾 美由起	八尾中央 RC	12/24
野中 昭彦	大阪本町 RC	12/24	辰野 久夫	大阪東 RC	12/30
松田 琢志	大阪柏原 RC	12/24	益田 哲生	大阪北 RC	12/30
小原 進	大阪柏原 RC	12/24	中本 高志	大阪北 RC	12/30
秋山 千尋	大阪ユニバーサルシティ RC	12/24	高林 伸行	大阪北 RC	12/30
川上 大雄	大阪ユニバーサルシティ RC	12/24	名和 道紀	大阪大手前 RC	12/30
河田 英子	大阪ユニバーサルシティ RC	12/24	多田 秀観	大阪大手前 RC	12/30
菊 泰仁	大阪ユニバーサルシティ RC	12/24	一尾 晋示	大阪西南 RC	12/30
近藤 嘉一	大阪ユニバーサルシティ RC	12/24	中西 正純	大阪西南 RC	12/30
久保田 秀一	大阪ユニバーサルシティ RC	12/24	梅本 禎親	大阪西南 RC	12/30
森本 良嗣	大阪ユニバーサルシティ RC	12/24	倉本 進	高槻 RC	12/30
斧原 邦夫	大阪ユニバーサルシティ RC	12/24	野村 定昭	高槻東 RC	12/30
柴田 龍彦	大阪ユニバーサルシティ RC	12/24	上場 俊哉	高槻東 RC	12/30

ロータリー財団

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。(2010年)

北尾 哲	1 回目	茨木東 RC	12/ 3	佐伯 良一	2 回目	大阪心齋橋 RC	12/10
竹内 洪	1 回目	茨木東 RC	12/ 3	田中 等	1 回目	大阪心齋橋 RC	12/10
榎谷 忠治	3 回目	吹田西 RC	12/ 3	上野 好清	2 回目	大阪心齋橋 RC	12/10
村井 柁夫	1 回目	吹田西 RC	12/ 3	井本 一幸	1 回目	大阪西 RC	12/10
永田 昌範	1 回目	吹田西 RC	12/ 3	鴨谷 清三	1 回目	大阪西 RC	12/10
早川 謙一	3 回目	大阪心齋橋 RC	12/10	前島 淳	2 回目	大阪西 RC	12/10
岩佐 厚	1 回目	大阪心齋橋 RC	12/10	清水 美溥	3 回目	大阪西 RC	12/10
小嶋 秀夫	2 回目	大阪心齋橋 RC	12/10	飯室 正樹	1 回目	摂津 RC	12/10
大前 利太郎	2 回目	大阪心齋橋 RC	12/10	川西 靖裕	2 回目	摂津 RC	12/10

前田 暁信	2 回目	摂津 RC	12/10	高尾 修	6 回目	千里メイプル RC	12/24
吉岡 二三男	2 回目	摂津 RC	12/10	黒川 彰夫	3 回目	千里メイプル RC	12/24
青木 建雄	1 回目	吹田西 RC	12/10	栗本 武	4 回目	豊中南 RC	12/24
田中 慶一	1 回目	吹田西 RC	12/10	森田 治男	4 回目	豊中南 RC	12/24
霧山 勝弘	2 回目	池田くれは RC	12/10	二井 清治	1 回目	豊中南 RC	12/24
茅野 哲郎	1 回目	大阪堂島 RC	12/10	西野 修	1 回目	豊中南 RC	12/24
幸田 精一郎	3 回目	大阪堂島 RC	12/10	山中 久男	2 回目	豊中南 RC	12/24
中島 武	3 回目	大阪堂島 RC	12/10	國貞 眞司	2 回目	豊中南 RC	12/24
東 秀夫	2 回目	吹田江坂 RC	12/10	居相 英機	5 回目	八尾 RC	12/24
榎谷 信彰	2 回目	吹田江坂 RC	12/10	井川 孝三	2 回目	八尾 RC	12/24
芳賀 洋	2 回目	吹田江坂 RC	12/10	佐野 清	6 回目	八尾 RC	12/24
栢本 淑子	2 回目	吹田江坂 RC	12/10	田中 義明	2 回目	八尾 RC	12/24
北村 康栄	2 回目	吹田江坂 RC	12/10	横井 憲二	2 回目	八尾 RC	12/24
北山 陽一	2 回目	吹田江坂 RC	12/10	片岡 基博	2 回目	八尾中央 RC	12/24
水谷 善博	4 回目	吹田江坂 RC	12/10	林 明雄	4 回目	八尾中央 RC	12/24
渡辺 忠雄	2 回目	吹田江坂 RC	12/10	東口 晏巳	3 回目	八尾中央 RC	12/24
土田 修	1 回目	大阪 RC	12/17	古谷 勝紀	3 回目	東大阪 RC	12/30
竹中 統一	4 回目	大阪 RC	12/17	竹村 秀雄	3 回目	東大阪 RC	12/30
井村 卓治	2 回目	吹田 RC	12/17	藤原 英夫	3 回目	東大阪中央 RC	12/30
川上 浩邦	4 回目	吹田 RC	12/17	太田 重彦	2 回目	大阪東 RC	12/30
吉田 充	1 回目	吹田 RC	12/17	盛田 三五	2 回目	大阪東 RC	12/30
覚野 廣久	1 回目	大阪鶴見 RC	12/17	森田 豊成	2 回目	大阪東 RC	12/30
小山 義之	4 回目	大阪鶴見 RC	12/17	領木 誠一	1 回目	大阪東 RC	12/30
武市 智寿	3 回目	大阪鶴見 RC	12/17	堀 隆	3 回目	大阪東 RC	12/30
樋口 秀和	3 回目	大東 RC	12/24	田中 経久	2 回目	大阪東 RC	12/30
谷中 清孝	2 回目	大東 RC	12/24	小池 廣子	2 回目	大阪南西 RC	12/30
木田 眞敏	2 回目	大東 RC	12/24	木本 武雄	3 回目	大阪北 RC	12/30
清水 修	2 回目	大東 RC	12/24	小林 豊	1 回目	大阪北 RC	12/30
大西 寛治	2 回目	大東 RC	12/24	松岡 忠幸	1 回目	大阪北 RC	12/30
堀部 邦夫	1 回目	大東 RC	12/24	森 禎良	3 回目	大阪北 RC	12/30
大和田 雅江	1 回目	大東中央 RC	12/24	野瀬 幸	1 回目	大阪北 RC	12/30
石渡 善一	1 回目	東大阪みどり RC	12/24	高折 忠太	4 回目	大阪大手前 RC	12/30
浦川 光雄	2 回目	箕面中央 RC	12/24	橋本 友三	3 回目	大阪東南 RC	12/30
山本 光勇	5 回目	大阪柏原 RC	12/24	田中 研一	2 回目	大阪東南 RC	12/30
牧野 伸顕	1 回目	大阪咲洲 RC	12/24	長谷川 純二	3 回目	大阪西南 RC	12/30
成山 肇	1 回目	大阪咲洲 RC	12/24	村井 史郎	2 回目	大阪西南 RC	12/30
田中 浩	3 回目	大阪うつぼ RC	12/24	西村 敏治	2 回目	大阪西南 RC	12/30
植田 庸子	1 回目	大阪うつぼ RC	12/24	橋本 光司	1 回目	高槻東 RC	12/30
古山 柄博	1 回目	千里メイプル RC	12/24	北田 他実夫	2 回目	高槻東 RC	12/30
池田 進	3 回目	千里メイプル RC	12/24	松浦 寛法	4 回目	高槻東 RC	12/30
水本 徹	2 回目	千里メイプル RC	12/24	齊藤 昇男	2 回目	高槻東 RC	12/30
水野 薫	3 回目	千里メイプル RC	12/24	白藤 清一	4 回目	高槻東 RC	12/30
水島 洋	5 回目	千里メイプル RC	12/24	杉岡 宗雄	3 回目	高槻東 RC	12/30
中西 和也	3 回目	千里メイプル RC	12/24	高木 荘輔	3 回目	高槻東 RC	12/30

ロータリー財団 ベネファクター

次の方たちにベネファクターの称号が贈られました。(2010年)

林	克彦	池田くれはRC	12/10
南	樹一	大阪南西RC	12/10
藤澤	肇	大阪心斎橋RC	12/10
柳川	義行	吹田RC	12/17
加藤	敏明	大東RC	12/24
川西	津音夫	大東中央RC	12/24
石田	肇	東大阪東RC	12/24
河田	英子	大阪ユニバーサルシティRC	12/24
小寺	潤一	豊中RC	12/24
吉馴	茂子	八尾中央RC	12/24
上田	卓也	豊中南RC	12/24
二井	清治	豊中南RC	12/24
砂原	和彌	大阪東RC	12/30
中造	和夫	大阪東南RC	12/30
大川	展功	大阪西南RC	12/30
吉川	守	大阪西南RC	12/30
市田	忠夫	高槻東RC	12/30

2011年 1月度 会員数・出席報告

I M組	クラブ名	7月期初会員数	1月未会員数		入会者数累計	退会者数累計	増減	例会数	出席率	ホームクラブ出席率	I M組	クラブ名	7月期初会員数	1月未会員数		入会者数累計	退会者数累計	増減	例会数	出席率	ホームクラブ出席率
			全員	女性										全員	女性						
I M第1組	池田	39	40	3	2	1	1	3	70.92	67.27	I M第5組	大阪北梅田	47	50	4	3	0	3	4	75.00	62.76
	池田くれは	35	33	1	2	4	-2	4	80.18	74.73		大阪西	77	78	0	5	4	1	3	92.99	81.53
	箕面	31	30	1	0	1	-1	4	82.68	74.98		大阪大淀	47	53	0	9	3	6	3	87.42	80.13
	箕面中央	23	23	0	0	0	0	3	97.10	92.75		大阪リバーサイド	34	34	5	1	1	0	4	90.77	78.66
	豊中	47	44	2	2	5	-3	3	88.55	82.53		大阪西北	56	56	0	2	2	0	3	88.25	81.33
	豊中南	40	35	1	0	5	-5	4	73.65	65.91		大阪そねざき	49	46	29	0	3	-3	4	92.34	80.27
	豊中-大阪国際空港	20	21	0	1	0	1	4	64.77	59.31		大阪梅田	43	39	0	1	5	-4	3	75.20	71.62
	豊中千里	38	36	2	0	2	-2	3	83.12	73.23		大阪梅田東	36	37	0	1	0	1	4	76.34	62.83
	小計	273	262	10	7	18	-11		80.12	73.84		大阪ユニバーサルシティ	27	26	2	0	1	-1	4	85.15	80.20
													小計	676	690	47	41	27	14		86.09
I M第2組	茨木	24	24	3	1	1	0	4	94.60	81.31	I M第6組	大阪	251	261	0	19	9	10	4	72.48	54.95
	茨木東	42	41	4	1	2	-1	4	90.67	76.05		大阪東	117	118	0	3	2	1	4	94.88	76.61
	茨木西	27	29	6	2	0	2	4	94.83	72.41		大阪東淀ちゃやまち	33	34	3	1	0	1	4	87.63	77.12
	千里	43	42	0	0	1	-1	4	90.48	74.69		大阪城東	47	51	6	4	0	4	4	85.00	78.86
	千里メイプル	25	26	2	1	0	1	4	97.06	83.33		大阪中之島	27	27	1	3	3	0	4	90.41	84.71
	摂津	39	41	2	3	1	2	4	86.89	76.44		大阪大手前	39	40	3	1	0	1	4	87.08	76.34
	吹田	61	61	6	3	3	0	4	93.14	62.76		大阪城北	60	56	2	0	4	-4	3	81.06	80.31
	吹田江坂	42	41	3	0	1	-1	3	97.25	87.33		大阪天満橋	68	67	0	0	1	-1	4	89.48	82.64
	吹田西	48	50	1	2	0	2	3	100.00	91.53		大阪鶴見	36	36	0	1	1	0	3	79.54	70.56
	高槻	44	44	3	5	5	0	3	94.29	88.83		大阪淀川	33	34	2	2	1	1	4	91.79	82.59
	高槻東	39	39	0	0	0	0	3	97.07	93.47		新大阪	37	38	0	2	1	1	4	78.95	77.63
	高槻西	24	23	0	0	1	-1	4	95.00	85.00		小計	748	762	17	36	22	14		85.30	76.57
	小計	458	461	30	18	15	3		94.27	81.10											
I M第3組	大東	44	44	0	0	0	0	3	98.49	96.21	I M第7組	大阪フレンド	15	16	4	1	0	1	3	92.86	78.57
	大東中央	30	31	12	1	0	1	3	88.25	72.06		大阪本町	25	26	2	1	0	1	3	80.21	71.76
	枚方	42	44	0	3	1	2	3	94.17	89.17		大阪御堂筋	37	36	0	0	1	-1	4	85.29	77.21
	門真	26	31	3	5	0	5	4	88.71	81.45		大阪南	125	136	0	12	1	11	3	81.08	72.92
	交野	28	30	1	2	0	2	3	88.66	85.33		大阪難波	47	43	0	3	7	-4	4	89.44	78.49
	香里園	17	17	0	1	1	0	3	92.16	78.43		大阪なにわ	32	30	2	2	4	-2	4	79.79	72.24
	くずは	56	60	0	5	1	4	3	79.92	69.92		大阪南西	19	18	4	0	1	-1	3	94.00	86.47
	守口	39	46	3	7	0	7	4	80.50	70.68		大阪西南	89	87	13	3	5	-2	4	98.74	74.59
	守口イブニング	27	27	4	0	0	0	4	74.08	64.82		大阪船場	42	42	0	1	1	0	3	92.00	82.00
	寝屋川	39	40	5	3	2	1	4	95.63	80.00		大阪心斎橋	37	39	0	2	0	2	3	95.68	84.10
	四條畷	12	12	0	0	0	0	3	79.04	76.26		大阪うつば	34	36	4	2	0	2	3	92.04	84.70
	小計	360	382	28	27	5	22		87.24	78.58		小計	502	509	29	27	20	7		89.19	78.46
	I M第4組	東大阪	70	66	0	0	4	-4	3	83.74		73.69	I M第8組	大阪阿倍野	15	14	1	0	1	-1	3
東大阪中央		38	38	0	2	2	0	3	89.21	84.34	大阪平野	37		36	3	2	3	-1	3	93.41	83.02
東大阪東		67	65	6	0	2	-2	4	90.41	70.80	大阪イブニング	21		20	5	0	1	-1	4	81.25	57.50
東大阪みどり		26	27	1	1	0	1	3	86.42	67.79	大阪城南	54		57	0	4	1	3	4	97.14	90.49
東大阪西		37	37	0	0	0	0	4	93.94	64.74	大阪咲洲	19		19	1	1	1	0	3	85.96	66.66
大阪柏原		30	31	3	2	1	1	3	90.46	90.46	大阪住之江	22		22	0	0	0	0	3	95.45	71.32
大阪ネクスト		18	18	6	0	0	0	4	54.25	37.50	大阪住吉	28		28	3	1	1	0	3	89.89	75.93
八尾		84	81	0	0	3	-3	4	96.90	67.13	大阪天王寺	60		62	0	4	2	2	3	95.61	88.49
八尾中央		21	22	3	1	0	1	3	87.59	74.96	大阪東南	52		53	0	3	2	1	3	94.34	73.14
八尾東		26	25	3	1	2	-1	4	66.89	65.89	小計	308		311	13	15	12	3		90.93	74.70
小計		417	410	22	7	14	-7		83.98	69.73											
I M第5組	大阪中央	57	54	6	1	4	-3	4	90.75	77.48	合計	クラブ数	7月期初会員数	1月未会員数	女性会員	入会者数累計	退会者数累計	増減	平均出席率	平均出席率	
	大阪堂島	28	31	1	3	0	3	3	87.10	83.87		84	3742	3787	196	178	133	45	87.1	76.1	
	大阪北	175	186	0	15	4	11	3	91.76	71.97											

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50 周年記念事業の一つとして 1970 年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2 万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の

出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページで PDF もご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ガバナー月信より

「RI 会長代理挨拶・RI 現況報告」 ビチャイ・ラタクル 2010 7P (D.2660)

「“THE POWER OF ONE” のいわれ」 渡辺 好政 2010 3P (D.2500)

「クラブを活性化し、未来への夢を持とう! (RI 長期計画とクラブ活性化)」

南園 義一 2010 22P (D.2780)

「水・保健と飢餓・識字率向上の青森県版を作ろう」 黒田 正宏 2010 6P (D.2830)

「ロータリーの目指すもの」 藤川 享胤 2010 9P (D.2550)

「地区リーダーの皆様へ」 山本 茂生 2010 5P (D.2690)

「中国の教育現場でロータリーの精神を」 金 美林 2010 5P (D.2640)

「日韓によせるロータリーの^{ねが}希い」 崔 相龍 2010 5P (D.2780)

[上記申込先:ロータリー文庫(コピー/ PDF)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館 = 午前10時~午後5時 休館 = 土・日・祝祭日

「お詫びと訂正」 月信2月号 10ページ ベネファクターに間違いがありました。
お詫びして訂正いたします。

ベネファクター (誤) 柿本 登 → (正) 柿本 円

敬 弔 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

坂 東 宏 名誉会員 (吹田RC) 2010年12月24日逝去 (享年88歳)
1986-1987年度 ガバナー

柴 田 龍彦 会員 (大阪ユニバーサルシティRC) 2011年1月12日逝去 (享年52歳)
チャーターメンバー、会長、幹事、理事
国際奉仕委員長、職業奉仕委員長、クラブ奉仕委員長
ポール・ハリス・フェロー

西 本 博 会員 (高槻RC) 2011年1月19日逝去 (享年83歳)
会長、副会長、幹事
職業分類委員長、会員選考委員長、規定委員長、他
米山功労者 (マルチプル)
ポール・ハリス・フェロー

山 口 彰夫 会員 (くずはRC) 2011年2月4日逝去 (享年46歳)
世界社会奉仕委員長、米山奨学委員長、SAA
ポール・ハリス・フェロー

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-Mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿（写真付きの場合は一緒に添えて）を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。
- 今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布いたします。また、ご希望の会員には有料（年間2,200円・1冊200円）配布とさせていただきますので、出来るだけ多くの方のお申し込みをお待ちしています。

月信編集委員会

- ・ガバナー 松本新太郎
- ・地区代表幹事 池尻 誠
- ・地区副代表幹事 吉本 憲司
- ・担当地区幹事 小山 悦治
- ・担当地区幹事 笠井 実
- ・担当地区幹事 奥谷 英一
- ・事務局長 今井 貢二

2010～2011年度 国際ロータリー第2660地区 【ガバナー事務所ご案内】

●事務局スタッフ

ガバナー	松本新太郎
地区代表幹事	池尻 誠
地区副代表幹事	吉本 憲司
事務局長	今井 貢二
事務局員	栗正 久美
	春名 志保
	大西 麻容

●休 日

土曜、日曜、祝日
年末年始

●所在地・電話・ファックス

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館 6階
TEL：06-6264-2660
FAX：06-6264-2661

ガバナー事務所に会議室を併設いたしております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせ下さい。

●ホームページアドレス

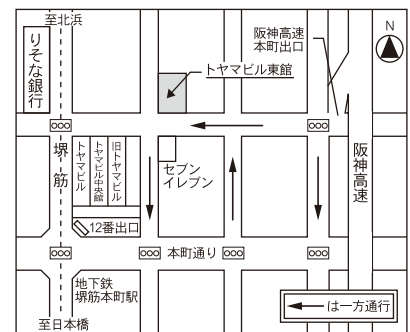
<http://www.ri2660.gr.jp/>

●メールアドレス

gov@ri2660.gr.jp

●勤務時間

9：30～17：00



※地下鉄堺筋線 堺筋本町駅 12番出口すぐ

国際ロータリー第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6F
電話 06-6264-2660 Fax 06-6264-2661 E-mail:gov@ri2660.gr.jp

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

6F Toyama Bldg, East 1-5-11 Azuchi-machi Chuo-ku OSAKA 541-0052 JAPAN
Phone. +81-6-6264-2660 Fax. +81-6-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2010-2011

4 vol.10



国際ロータリー第2660地区

2010～11年度ガバナー 松本 新太郎

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

CONTENTS

ガバナー メッセージ	ロータリー雑誌月間にあたって	1
	ガバナー 松本 新太郎	

「ROTEX活動」の新しい試み	8
青少年交換委員会 委員長 金本 恒二郎	

ロータリー雑誌月間にちなんで	2
ロータリーの友 代表委員 井川 孝三	

坂東 宏バスト・ガバナーを偲んで	9
------------------	---

2010～2011年度 IM第2組報告	3
IM実行委員会 副委員長 稲邑 清也	

米山奨学委員会・ロータリー財団	10
-----------------	----

2010～2011年度 IM第4組報告	4
東大阪東RC 会長 石田 肇 IM実行委員会 委員長 北川 忠嗣	

2011年2月度 会員数・出席報告	11
-------------------	----

第1回 米山スピーチコンテスト報告	5
米山奨学委員会 委員長 磯田 郁子	

文庫通信	12
------	----

2010～2011年度 第2660地区 DDFシェア会議報告	6-7
ロータリー財団委員会 委員長 福家 宏	

お知らせ	13
------	----

ロータリー雑誌月間にあたって

東北地方太平洋沖地震で被災された皆様に 心よりお見舞い申し上げます

このような時にロータリー活動をしている場合ではない、と思われる方がおられるかもしれませんが、このような時だからこそ、ロータリー活動に本気で取り組むべきなのではないでしょうか。

助けを必要としている方々がすぐそこにおられます。私たちが日ごろから学ぼうと努力している「奉仕の心」を、今こそ実践する時です。ロータリアンとして胸を張って、行動してまいりましょう。



4月はロータリー雑誌月間です。

ロータリークラブに入会する際には先輩諸兄から会員の権利や義務などについて、さまざまな説明を受けます。その中でロータリアンの義務の一つとして、雑誌を購読しなければならない、という項目があります。

どうもこの「読まなければならない」という頭ごなしの強制感に、拒否反応を示す方も少なくないような印象をかねがね抱いております。押し付けられては読む気が失せるのもある意味当然で、それ故に「読まれざるベストセラー」と揶揄されることもあるようです。

どうしてもこの義務意識が前面に出てしまうと、気分的にも重苦しいものがあります。そこでとりあえずは、この義務感をいったん脇において「ロータリーの友」を見つめ直してみたいかがでしょうか。

社会人が日々新聞に目を通すように、ロータリアンとして毎月雑誌に目を通す。そんな自然な習慣を身に付けたいものです。

新聞は多くの方が毎日読まれていると思いますが、とはいっても紙面の隅々まで読破する方は少ないでしょう。それと同様にロータリーの友も、すべての記事を読み切る必要は必ずしもないと思います。皆さんにとって必要な、関わりのある情報を吸収していただく。それで十分だと思います。

ご自身のクラブや地区のニュースはもちろん、交流のある近隣クラブの動きやRIの動向なども把握しておけば、ロータリー活動を進めていただくにあたって、大いに役立つはずです。あるいはRIの指定記事や講演記録など感銘深い、有意義な気づきを与えてくれる記事も活用

したいものです。

また今後の事業計画立案に苦慮されている方々にとっては、世界や国内各地のクラブで今、どのような活動が実施されているのかを知ることができる、重要なネタの宝庫でもあるはずで、あれこれ勉強して少し疲れたときには、川柳や趣味の記事などで、頭を休めるのもいいのではないのでしょうか。

雑誌にはそれぞれご自身のニーズに応じて、いろんな活用方法があると思います。息が詰まりそうな「義務感」からは解放され、自分の興味が向くことを一つでも吸収するつもりで気楽にお読みいただければロータリーの友が案外、身近な存在に感じられるかもしれません。

こうして雑誌とあなたの接点を発見していただいたら、今度はロータリーの友との親睦を一層深めてみてはいかがでしょう。それにはロータリーの友に参加していただくことです。例えば日頃ロータリーであなたがお感じになっていることを投書してみるのも一案。またクラブ広報の一環として、事業の記事を投稿することもぜひご検討ください。あるいは俳句や川柳など、あなたの作品を投稿されてもいいかもしれません。

雑誌には人それぞれ、いろんな楽しみ方があるはずです。雑誌月間にその楽しみ方をもう一度、考えてみませんか。そしてより有効な雑誌の活用方法を考えてみることもいいかもしれません。

あるいはさらに一歩進んで、広報を強化していくべきこれからのロータリーにおいての雑誌のあり方などについて思いを巡らせてみることも、意義深いのではないのでしょうか。



「THE ROTARIAN」は、イリノイ州エバンストンにある世界本部から出されており、ポール・ハリスが書いた「合理的ロータリー主義」を掲載するためにチェスリー・ペリーRI事務総長によって1911年1月に発行されたのが始まりです。

日本の地域雑誌「ロータリーの友」は、1953年1月号が創刊号です。1952年7月、国内1地区だった地区が2地区に分かれることになり、2つの地区で情報が共有できるように雑誌の発刊が提案され「友」が生まれました。そして、1980年7月号から「ロータリーの友」が公式地域雑誌として承認されたのです。RIの定める公式地域雑誌の認定条件の主な要件として、50%以上がロータリーの関連記事であること、RIの指定する記事の掲載や、RIに依存することなく財政的に強固な基盤をもって運営されなければならない。また記事による名誉棄損の訴えなどに備えるために、保険付保をしなければならないのです。このようなRIの定める公式地域雑誌としての認定条件を、今後クリアしていくには、「ロータリーの友事務所」が任意団体のままでは難しくなってくる

ということもあり、今年度から「一般社団法人ロータリーの友事務所」として法人化を果たしました。(2010年3月25日設立登記完了)

ロータリアンには三大義務があります。会費の納入、例会出席、そしてロータリー雑誌 (Rotary Magazine) の購読です。では、なぜロータリアンは、ロータリーの雑誌を読まなければいけないのでしょうか。幅広い奉仕をするために、自分の所属するクラブばかりでなく、自分のクラブのある地区ばかりでなく、そして、自分の国ばかりでなく、世界中のクラブの活動やロータリアンのことを知ることができるのです。ロータリーの雑誌を通して、幅広く情報を入手し、それを実際の活動に生かしてください。「ロータリーの友」は、より身近で、より親しまれる「友誌」を目指しております。ロータリーの友をリビングに置いて、ご家族の方に読んでいただければ、家族がロータリーを理解するきっかけに、会社に置けば従業員の方々がロータリーを知るきっかけになることと思います。もちろん、ロータリアン自身の活動のため、役立てていただけるのではないのでしょうか。

テーマ：コミュニティの崩壊と再生

ホスト：千里RC（会長神前俊彦、実行委員長西田泰晤）

日時：2011年2月5日 14:00～16:30

場所：ホテル阪急エキスポパーク

参加クラブ：茨木RC、茨木東RC、茨木西RC、千里RC、千里メイプルRC、摂津RC、吹田RC、吹田江坂RC、吹田西RC、高槻RC、高槻西RC、高槻東RC

登録者数：463名

出席者数：219名（来賓、RC家族を含む）

今回のIMは掲題のテーマで大阪大学総長鷲田清一氏（千里RC会員）から御講演を頂きました。

氏は家族、近親者、村、街などの相互の助け合いで成り立っていたコミュニティから、現代の機能別に分担されたプロフェッショナルからなるコミュニティへの変化について指摘され、我々がそれによって得られた利便性、高能率性、高機能性、プライバシーの確保に引換え、失ったものは何かを反省させられました。出産、育児、医療、教育、宗教、職業生活、冠婚葬祭に至るまで従来のコミュニティではみんなで支えあって生きてきたのが、全てが高度の経済と商業活動に組み込まれ、技術や専門性に依存する社会になりつつあるとの指摘をされました。

氏は高度な内容を判り易く話されました。御幼少の頃、赤と緑の模様のついた買物籠を持たされ近くの店まで買い物に行き、店のおっちゃんから「ボンは偉いな」と褒められてもちっとも嬉しくなく、皆がすみずみまで知り

あっている京都の下町から抜け出したい一心で勉強したとのくだりや、ガールフレンドとの電話を家族に立ち聞きされたくない一心で小遣い銭をはたいてウォークマンを買って失敗した話などです。昔は欲しくてたまらなかった携帯電話は今は当たり前になっています。氏も我々と同じように昔のコミュニティから脱し、利便性とプライバシー確保に到達したわけです。

この機能性尊重の現代のコミュニティでも「家庭崩壊」を防ぎ、「無縁社会」とならないよう、また「孤独死」などに至らないようにはどうすればよいのかを改めて考えさせられたと思います。更にロータリークラブの意義についても認識を促されました。我々は新しいコミュニティの再生に役立つ事を願って活動せずにはいられません。

閉会式では次年度のIMのホストクラブ会長の茨木東RCの中田有紀氏から挨拶があり、再会を期して散会しました。



2010~2011年度 IM第4組報告

東大阪東RC 会長 石田 肇
IM実行委員会 委員長 北川 忠嗣

テーマ：「人と環境最前線」～人と自然の共生を目指して～
ホスト：東大阪東RC（会長 石田 肇）
日時：2011年2月12日(土)
場所：シェラトン都ホテル大阪
参加クラブ：八尾RC、大阪柏原RC、八尾東RC、八尾中央RC、
東大阪RC、東大阪中央RC、東大阪西RC、
東大阪みどりRC、大阪ネクストRC、東大阪東RC
出席者数：290名（登録会員数417名）



今世紀の重要課題の一つが、環境問題です。特に地球環境問題は、貧困や紛争などと並んで、主要な国際政治問題、社会問題の一つと位置付けられています。2010年RI規定審議会の決議案においても、「環境問題に対する認識を高めることを検討するようRI理事会に要請する件」として採択され、ロータリーの価値とは、環境悪化の影響を最も受けやすい貧しい人々や恵まれない人々を援助することとしました。

今年度のレイ・クリンギンスミスRI会長は、「地域を育み、大陸をつなぐ」をRIテーマとし、その実行目標の中に「疾病予防と治療」「水と衛生設備」を入れています。最近のロータリーの方向は、「環境問題」に対する認識を高めるようになってきています。今回私たちは「人と環境最前線」～人と自然の共生を目指して～をテーマに基調講演とシンポジウムを企画しました。

【基調講演】

プロスキーヤーでクラーク記念国際高等学校校長の三浦雄一郎氏から「世界最高峰から見た地球環境の変化」のテーマで基調講演を頂きました。世界最高峰から地球を眺め、大気の様子、大地の動きや季節の移ろい、森林破壊、大気汚染等、地球上で起こっている多くの変化を目のあたりにして、地球の温暖化を肌で感じ、地上5000m以上の標高となると酸素が半分になり、人類は子供を作れない、このまま地球の温暖化、二酸化炭素の増加、地球の砂漠化で、やがて平地でもヒマラヤの高地同様に酸素が少なくなる可能性があると話されました。

【シンポジウム】

「人と環境それぞれの取り組み」

コーディネーター：溝畑正信氏（東大阪東RC会員）

シンポジスト：中園直樹氏
（神戸大学大学院教授 神戸北RC会員）
宮澤三雄氏
（近畿大学理工学部教授 東大阪東RC会員）
中東 弘氏（枚岡神社宮司）

中園直樹氏は、「途上国での水の確保と衛生設備」で、ロータリー活動を通じて関与した水、トイレのプロジェクトについて

実例を挙げ、写真にて紹介されました。カースト制度のため水を独自に工面しなければならないネパールでの例、タイの山岳地帯の少数民族の小学校への雨水タンクとろ過、ラオス小学校へのタイのロータリーとの共同支援等々を紹介されました。

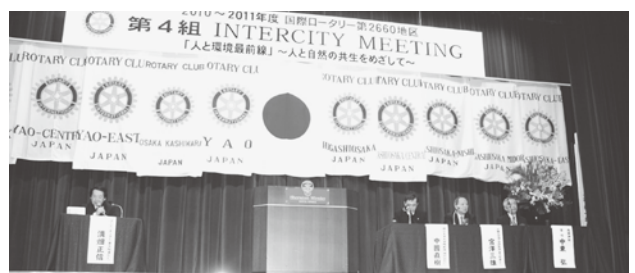
宮澤三雄氏は、「香りのカーセルフメディケーション時代への新展開」で「香り物質」を嗅覚的刺激としての効果だけでなく、機能的価値を科学の目で検証し香りの物質の可能性を探求することにより人々の生活環境を香りの力で向上させる時であると話されました。

中東弘氏は「神道と先人の知恵」で、生物は連鎖しており独自では生きられない、太陽や、大地や、虫や、微生物や、水等々のおかげを受けて生かされているのである。命の水の湧き出る山や社に神社を祀り、神聖な場所として確保してきたために、豊かな自然が残されたと話されました。

各シンポジストの有意義な発表、その後フロアからの活発な質疑応答がありました。

シンポジスト、出席の皆様との討議を通じ、自然を崇め守る古来からの伝統文化を持つ日本、変化にとんだ海岸線、多くの火山、豊かな雨、生物の多様性、国土の60%以上を覆う森林、これらの恵みを持つ日本は、環境保全と持続可能な暮らしづくりの分野で世界のリーダーとなっていくべきでしょう。環境保全という問題は、ロータリー活動において、大変重要なテーマになってくると思います。私たち一人一人が地球環境保護という問題に、ロータリーの叡智を傾け、住みよい地球環境に奉仕活動を実践していきたいと考えます。

終了後の第2部の懇親会では、多くの皆様方が参加され、にぎやかに、会場のあちらこちらで楽しい交流の華を咲かせていただきました。



第1回 米山奨学生 スピーチコンテスト報告

米山奨学委員会

委員長 磯田 郁子
(大阪東淀ちゃやまちRC)

日時：2011年2月19日(土) 14:00～16:00

場所：大阪国際交流センター

参加者：【審査員】松本G、近藤R I 理事、若林PG、岡部GE、高島GN、磯田委員長、武島副委員長、
 渚学友会役員(以上8名)
 村橋、米田、田中、西谷、吉田、有竹、中川、小山、榊原各委員
 参加者 100名

初めての試みである米山奨学生による日本語スピーチコンテストを2月19日に開催いたしました。これは米山奨学生が、日本ででの生活で感じたことや日本ででの学習の成果を発表することと、地区内ロータリアンに米山奨学生の意見や考えを伝える機会とすることを目的として企画いたしました。

今学年度41名の奨学生のうち14名が応募、うち当日は12名が出場いたしました。母国で日本語を学習してきた者、日本に来てからゼロから日本語を学んだ者など様々ですが、出場者は皆、素晴らしい日本語で自分の意見や主張を堂々と述べました。「アルバイト先で差別されていると感じて悲しかったが、自分の心を開くことでその差別はなくなる。」「日本と中国の関係が冷え込んでいる現在、こんな時こそお互いの国の文化を知り、マスコミやマスメディアの報道に振り回されることなく自分の考えで

中国人は日本人と日本人は中国人と接して欲しい。」など様々なスピーチがあり、考えさせられました。

また、このスピーチを聞いたロータリアンからは「もっと多くのロータリアンにこのスピーチを聞かせたい。」「米山奨学生の各スピーカーの心のこもったスピーチ内容もさることながら、一語一語の正しい言葉使いに感銘を受けた。」「若いスピーカーから夢をもらった。」などの感想をいただきました。

本業の研究や勉強で忙しい中、このスピーチコンテストに応募して下さった米山奨学生の皆様に心から感謝するとともに、当日ご出席下さったロータリアンにお礼を申し上げます。このスピーチコンテストがこれからの本地区での更なる米山奨学制度への理解と発展に繋がることを願っています。

- ◆最優秀賞 刘 璐(中国) 「心を開いて、勇気を出して、真の異文化理解へ」
大阪大学博士課程 世話クラブ：大阪御堂筋RC
- ◆優秀賞 ハニバロバ・レンカ・スザナ(チェコ) 「世界の人々の架け橋」
関西大学学部4年生 世話クラブ：大阪RC
- ◆優良賞 張 仲 凱(中国) 「人生の新たな出発」
大阪日本語教育センター進学過程 世話クラブ：大阪平野RC
- ◆特別賞 周 明(中国) 「日本留学で学んだこと」
大阪大学修士課程 世話クラブ：茨木RC
- ◆特別賞 バスネト マドゥ(ネパール) 「米山奨学生になって～幻の恋に会った～」
大阪産業大学修士課程 世話クラブ：大阪本町RC



日 時：2011年2月10日(木)

場 所：G事務所会議室

出席者：松本新太郎G、ロータリー財団部門顧問 横山守雄PG、岡部泰鑑GE、高島凱夫GN、小林澄子地区国際奉仕・WCS委員長、財団部門各委員長(福家宏地区ロータリー財団委員長、溝畑正信地区ロータリー財団副委員長、百済洋一地区財団情報・増進委員長、五味千秋財団人道的補助金委員長、梅崎道夫地区財団奨学金・学友委員長、吉崎広江地区研究グループ交換委員長)川上大雄次年度地区社会奉仕委員長、古澤照明次年度地区国際奉仕・WCS委員長、杉村雅之次年度地区財団情報・増進委員長、川田隆次年度財団人道的補助金委員長、岸上億則次年度地区研究グループ交換委員長、村橋義晃2012-2013年度地区代表幹事

シェア・システム Share System

ロータリー財団に寄付をしますと、その金額に応じて3年後に50%がDDF(地区財団活動資金)、50%がWF(国際財団活動資金)に配分され、地区/クラブはこれらの資金を様々なロータリー活動に利用することが出来ます。さらに通常はDDFとWFには恒久基金の利息の50%が加算されます。このようなシステムをシェア・システムと呼びます。

DDFシェア会議

2012-2013年度に配分される新規DDFは2009-2010年度の年次寄付の50%です。この金額はロータリー財団から毎年1月に通知されます。新規DDFに前年度(2011-2012年度)の繰越金を加えた合計金額が2012-2013年度に利用可能なDDFということになります。2012-2013年度にこのDDFを人道的分野、教育的分野、寄贈分野にどのように配分するかを決定するための会議を地区Gと地区財団委員会が主催します。これがDDFシェア会議です。この会議は例年GEが国際協議会にご出席されたあと、PETSまでに開催されます。G、GE、GNにご出席頂き、ご指導を頂くと共に次年度、次々年度の方針や展望についてお話を頂き、これに基づきDDFの配分について協議し、決定を致します。

次々年度のDDF配分額

2009-2010年度の年次寄付の50%は280,138.92ドル。(次々年度は恒久基金の利息の50%は付加されず)2011-2012年度の繰越金額は162,635.49ドル。両者の合計は442,774.41ドルで、これが2012-2013年度のDDF利用可能金額です。

協議に先立って 司会：福家地区ロータリー財団委員長

松本Gは丁度この日に第2660地区の85クラブ全ての公式訪問を終えられました。大変なお仕事を完了されましたということで、全員拍手で祝福。

松本G：全クラブ公式訪問無事終了は、皆様のおかげです。次年度に期待することは何かと言うお尋ねです

が、これは岡部GEにお任せを致します。

岡部GE：国際協議会についてご報告します。カルヤン・パネルジー RI会長エレクトは次年度のテーマを「こころの中を見つめよう、博愛を広げるために」とされました。テーマのロゴは3つのハートが大きく広がっていくというもので、博愛精神を表わしているということです。インドの方で、幾分宗教色が感じられるテーマです。そしてロータリアンにとって大切なこととして「家族」「継続」「変化」の3つを挙げられました。「家族」は奉仕の原点。母の子に対する愛情が良い家族を作り、良い家族が良き地域社会の礎になることを説かれました。「継続」も大切に、貧困な国地域に対し、新補助金制度の中で謳われている6つの重点項目に該当するような事業の継続性は重要と言われました。「変化」については、社会を変化させるというのではなく、先ず自分自身が変化していく自己啓発の必要性を説かれました。またロータリーの長期計画を遂行するために①クラブのサポート強化②人道的奉仕③公共イメージの向上の3つの要素を挙げられました。私もこれに則って1年間の活動を考えています。①については出席率向上の実現②については特にポリオの撲滅③についてはマスメディアの利用を実現に向けて動き始めており、今月大谷PGがインドにてポリオワクチンの接種活動を行われますが、TV大阪がこれを取材して7月18日に放映されることが決まっています。

次年度方針について話を進めます。次年度の寄付目標は年次寄付150ドル以上、ポリオ撲滅の寄付3000円以上と致します。クラブのサポート強化に関連しますが、各クラブにクラブ研修リーダーを設けて頂き、新しい会員への指導に努めて頂きます。地区大会では入会后3年未満のロータリアンを出席義務者とする研修会を開きます。新世代奉仕についても、計画を練ってロータリアンの認識を深めたいと思います。2013年7月からの「未来の夢計画」ですが、今年度を大切な準備期間と捉えて、次年度に備える所存です。

吉崎地区研究グループ交換委員長より

2012-13年度のGSEプログラム実施についてTRFの指示を待っていたところ、派遣費用をWFではなくDDFから5000ドル支出して実施して良いとの通知があり、当地区ではハンブルグとの交換を計画しています。

DDF配分協議

財団部門4委員会各委員長から、それぞれ今年度の実績を踏まえて、次々年度のDDF配分について意見が述べられました。また小林地区国際奉仕・WCS委員長、川上次年度地区社会奉仕委員長からも以下の通りのお考えが述べられました。

百済委員長：ロータリー・カードと2億ドルチャレンジ進捗の件につき報告

吉崎委員長：派遣費用5000ドルのほかに語学研修費2500ドルを要請したい

梅崎委員長：次年度派遣奨学生は3名と少なかったが、次々年度やはり7名の派遣を目指すので、7名分のDDF配分を要請したい

五味委員長：今年度地区補助金予算の50000ドルは申請件数が多く枯渇したので、次年度から55000ドル、次々年度56000ドルを要請したい

小林委員長：マッチング・グラントはより規模の大きなプロジェクトを実施して件数を少なくするのが今後の方

向だと思われ、規模拡大を考慮してマッチング・グラントのためのDDFは10万ドルを要請したい

川上次年度委員長：地区補助金プロジェクトの適格性についてクラブ／ロータリアンの理解が不十分。対策を検討されたい

横山顧問より

①岡部年度基本方針を評価

②2012-2013年度DDFシェアについては高島GNの方針を尊重すべき

③未来の夢計画を見据えてDDF配分を考慮すべき

④DDFが十分利用できていないまま、次年度への繰越額が多くなっている現実を考慮してDDFをもっと有効に利用して個々のロータリアンの負担が増えないようにするべきなどのコメントを頂きました。

DDF配分額決定

これまでの協議に基づき、2012-13年度のDDFの配分額が決定されました。結果は、下の表の通りです。

高島GNより

2012-13年度について漠然としたアイデアは持っているが、今後検討を重ねて色々なプランをそれぞれ明確にして行きたいと考えている。

上記の通り今年度DDFシェア会議では活発な意見交換がなされ、実りある会議となりました。

D-2660 DDFバランスシート

2011年2月10日シェア会議
ロータリー財団委員会
単位:US\$

	2010-11年度予算	2011-12年度予算	2012-13年度予算
前年度DDF繰越額	276,434.50	194,577.46	162,635.49
TRF新規DDF配分額	307,639.97	279,558.03	280,138.92
DDF利用可能総額	584,074.47	474,135.49	442,774.41

配分・分野	2010-11年度予算		2011-12年度予算		2012-13年度予算							
	使用見込み		使用見込み		使用見込み							
〈人道的分野〉												
地区補助金	50,000	50,000	50,000	55,000	56,000	56,000						
WCS MG	65,000	65,000	65,000	65,000	100,000	100,000						
〈教育的分野〉												
	奨学生@25,000		奨学生@26,000		奨学生@27,000							
国際親善奨学生	8名	200,000	6名	150,497.01	8名	208,000	3名	78,000	7名	189,000	7名	189,000
〈プログラム強化〉												
GSE語学研修	2,500	0	2,500	2,500	2,500	2,500						
GSE派遣					5,000	5,000						
〈寄贈分野〉												
ロータリー平和フェロー	25,000	25,000	0	25,000	25,000	25,000						
ポリオ・プラス	86,000	86,000	86,000	86,000	40,000	40,000						
追加GSE寄贈(他地区への寄贈) 2010-2011年度 スリランカ D3220へ	0	13,000										
分野別・配分総額	428,500	389,497.01	411,500	311,500	417,500	417,500						
次年度への繰越予定額	155,574.47	194,577.46	62,635.49	162,635.49	25,274.41	25,274.41						

ROTEX (ローテックス) は国際ロータリーの青少年交換プログラムで海外で生活し、帰国した学生達の集まりです。活動として、大阪に滞在している来日学生や、自分達の後輩達をサポートして、一年間にわたる交換プログラムのイベントを企画、運営をしたり、また自分達の体験を活かしたアドバイスを後輩達に行っています。

その彼らが、新しい活動に挑戦しました。大阪市が主催する「2011国際親善女子車椅子バスケットボール大阪大会」の後夜祭を主管、企画運営をしたのです。これは大阪市が2003年より行っている車椅子バスケットボール大会で、今年は今年の7月に開催された世界選手権大会優勝チームのアメリカ合衆国、3位のカナダ、4位のオーストラリア、そして7位の日本と世界最強の女子チームを招いて開催されました。大会は単なるスポーツ競技会ではなく、各国の選手が大阪市内の学校を訪問する「学校交流会」や選手と市民などが交流する「車椅子バスケットボール体験教室」を合わせて行うなど、市民が参加できる大会と位置づけられています。

乾杯で始まった後夜祭は食事と歓談の時間をとり、車椅子で移動する選手のサポートをしました。バイキングであっても高い位置にある料理などは取る事が出来な

いからです。また、3日間に渡った試合をビデオ録画し、当日の後夜祭では編集したダイジェストを流しました。大阪で活躍するバスケットボールパーformer「SOME CITY」と連絡をとり、イベントの目玉としてご出演頂きました。最後はビンゴゲームで楽しく盛り上がり、会は成功裏に終了しました。

会の冒頭から全てを英語で進行した実力は、我々参加した委員会スタッフも驚かされるものでした。また、イベントに望む彼らの積極性は、ロータリーが行う青少年交換プログラムの成果の現れだと自負します。大阪市の方々からもお褒めのお言葉を頂き、来年以降も是非、大会運営に参画してほしいとご依頼を頂戴しました。現在、来年度は来日学生の参加も考えられないか検討をしています。

この企画を進めるにあたり、まず大阪体育大学の講師でこの大会を主催担当されている高橋明先生のご講演をROTEXの例会としてお招きし、またこの5月には関西合同プログラムとして「車椅子バスケット体験教室」を予定しています。見るだけではなく、支える、そして体験する。色々な形での参加意識を持つ彼らに感心すると共に、これからも期待していきたいと思います。



2010年12月24日、多くのロータリアンに慕われ尊敬されました坂東宏パスト・ガバナーが88年の生涯を終えられました。

昭和19年に京都大学法学部を卒業され、昭和31年4月大阪弁護士会に登録、生涯を法曹界、社会の為に尽くされ、ロータリーに多大の貢献を続けてこられた坂東さんの温容を回想し、真に痛恨の極みであります。昭和34年、吹田ロータリークラブに入会、同47年にクラブ会長を務められ、多くの地区委員を歴任されました。昭和59年11月5日に新大阪ホテルで開催された地区ガバナー指名委員会において、時のガバナー指名委員長・世戸一男PGから「1986～87年度のガバナー・ノミニ候補として、吹田RCのシニア・アクティブ会員 坂東 宏君を指名する件」の提案があり、ガバナー、パスト・ガバナー全員の賛成を頂き、決定した日のことを懐かしく思い出します。

私が1986～87年度、87～88年度 国際協議会の日本語グループのディスカッションリーダーを務めることになった初年度に、同じ地区から選ばれた1年目のGNが坂東 宏さんでした。テネシー州ナッシュビルのオプリランド・ホテルで開催された国際協議会の研修で、朝から夕方まで続く厳しい部門別協議会の討論を共にした6日間、休日には坂東さんと一緒に食べ歩いた日本料理の美味しさは、忘れ得ない思い出です。

あの温容、頭脳明晰にして、優しくユーモアあるお人柄は、永く永くロータリアンの心に生き続けることでありましょう。

ガバナーを終えられた後も、PGとして永く各部門の指導者として活躍され、多くのロータリアンに慕われながら、共に学び、共に楽しんだ往時を偲び、坂東PGのご冥福を心よりお祈りいたし、追悼の言葉といたします。

合 掌



坂東 宏 名誉会員

- ・生年月日 大正11年6月26日
- ・学 歴 昭和19年9月 京都帝国大学法学部卒業
- ・職 歴 昭和25年4月 大阪家裁・地裁裁判官
昭和28年4月 神戸地裁裁判官
昭和31年4月 大阪弁護士会登録
昭和43年4月 近畿大学法学部講師
- ・ロータリー歴 1959年 7月 吹田ロータリークラブ入会
(1960年4月 認証状伝達式挙行)
1961～1962年度 幹 事
1972～1973年度 会 長
1986～1987年度 国際ロータリー第2660地区ガバナー
2005年9月～
2010年12月 吹田ロータリークラブ名誉会員

米山奨学委員会・ロータリー財団

地区米山奨学委員会より

2011年1月末	全国寄付金合計額	983,512,101円 (前年度比 0.01%増)
”	第2660地区寄付金合計額	57,353,945円 (前年度比 4.01%減)
2011年1月末	全国寄付合計トップ10	
1. 第2650地区	72,810,127円	6. 第2580地区 49,430,505円
2. 第2660地区	57,353,945円	7. 第2770地区 45,154,592円
3. 第2750地区	56,848,280円	8. 第2780地区 36,099,000円
4. 第2590地区	52,670,100円	9. 第2820地区 34,572,000円
5. 第2760地区	51,448,608円	10. 第2640地区 34,173,420円

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。
(2011年1月)

氏名	回数	クラブ名
橋本 正幸	1回目	大東RC
大矢 克巳	1回目	大東RC
戸川 通夫	1回目	茨木RC
安達 昌弘	2回目	大阪中之島RC
前田 隆司	4回目	大阪中之島RC
西田 末彦	1回目	大阪中之島RC
森 治	1回目	大阪梅田RC

米山功労クラブ

次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました。
(2011年1月)

クラブ名	回数
大東RC	33回目

ロータリー財団

ポール・ハリス・フェロー

1月は該当者なし

ロータリー財団

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。
(2011年)

福家 宏	3回目	八尾中央RC	12/24
簡 仁一	4回目	茨木RC	1/14
木本 保平	2回目	茨木RC	1/14
江崎 勝久	2回目	大阪RC	1/28
早栗 義文	1回目	大阪なにわRC	1/28

ロータリー財団

ベネファクター

次の方にベネファクターの称号が贈られました。
(2011年)

富岡 成夫	東大阪RC	1/28
-------	-------	------

※大阪住吉RCより50周年を記念して、
米山奨学会に20万円、ロータリー財団に50万円の寄付がありました。

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50 周年記念事業の一つとして 1970 年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2 万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の

出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページで PDF もご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会記念講演より

「洒落たいなかの食風景」 小泉武夫 2010 10p (D.2830)

「フラガール誕生からスバリゾートへの道のり」 斎藤一彦 2010 9p (D.2550)

「試練が人を磨く」 桑田真澄 2010 11p (D.2520)

「スポーツの世界、勝負の掟」 山本 浩 2010 2p (D.2690)

「人と自然との共生」 C. W. ニコル 2010 4p (D.2690)

「未踏の地球内部を掘る—地球深部探査船「ちきゅう」の挑戦」
平 朝彦 2010 4p (D.2640)

「足元の宝物で地域再生を」 月尾嘉男 2010 10p (D.2640)

[上記申込先：ロータリー文庫(コピー /PDF)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館 = 午前10時~午後5時 休館 = 土・日・祝祭日

「お知らせ」

茨木西RC 例会場変更

変更日：2011年3月10日より

新会場：ホテル阪急エキスポパーク 3階「緑樹」

〒565-0826 大阪府吹田市千里万博公園1-5

TEL (06) 6878-5151 FAX (06) 6878-3456

例会日：毎週水曜日 18:30 (変更なし)

敬 弔 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

國分 紀一 会員 (大阪南RC) 2011年 2月19日逝去(享年72歳)

会長、幹事、
青少年奉仕理事、社会奉仕理事、地区財務委員長

米山功労者(マルチプル)、
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
ベネファクター

鈴木 忠夫 会員 (大阪北梅田RC) 2011年 2月23日逝去(享年78歳)

会長、理事、会計、SAA、春のライラ実行委員長、
意義ある活動委員会会長

米山功労者(マルチプル)
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
ベネファクター

荒木 彰一 会員 (大阪東南RC) 2011年 3月 6日逝去(享年76歳)

会長、幹事、会員増強委員長

米山功労者(マルチプル)、
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
ベネファクター

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-Mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿（写真付きの場合は一緒に添えて）を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。
- 今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布いたします。また、ご希望の会員には有料（年間2,200円・1冊200円）配布とさせていただきますので、出来るだけ多くの方のお申し込みをお待ちしています。

月信編集委員会

- ・ガバナー 松本新太郎
- ・地区代表幹事 池尻 誠
- ・地区副代表幹事 吉本 憲司
- ・担当地区幹事 小山 悦治
- ・担当地区幹事 笠井 実
- ・担当地区幹事 奥谷 英一
- ・事務局長 今井 貢二

2010～2011年度 国際ロータリー第2660地区 【ガバナー事務所ご案内】

●事務局スタッフ

ガバナー	松本新太郎
地区代表幹事	池尻 誠
地区副代表幹事	吉本 憲司
事務局長	今井 貢二
事務局員	栗正 久美
	春名 志保
	大西 麻容

●休 日

土曜、日曜、祝日
夏期
2011年 8月12日(金)～
2011年 8月17日(水)
年末年始
2011年12月29日(木)～
2012年 1月 4日(水)

●所在地・電話・ファックス

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館 6階
TEL：06-6264-2660
FAX：06-6264-2661

ガバナー事務所に会議室を併設いたしております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせ下さい。

●ホームページアドレス

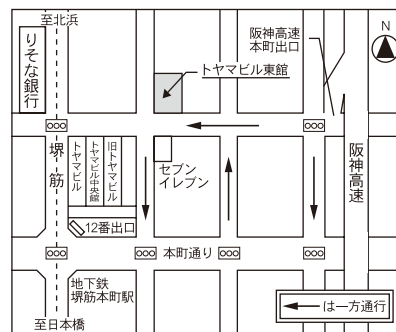
<http://www.ri2660.gr.jp/>

●メールアドレス

gov@ri2660.gr.jp

●勤務時間

9：30～17：00



※地下鉄堺筋線 堺筋本町駅 12番出口すぐ

国際ロータリー第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6F
電話 06-6264-2660 Fax 06-6264-2661 E-mail:gov@ri2660.gr.jp

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

6F Toyama Bldg, East 1-5-11 Azuchi-machi Chuo-ku OSAKA 541-0052 JAPAN
Phone.+81-6-6264-2660 Fax.+81-6-6264-2661 E-mail:gov@ri2660.gr.jp

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2010-2011

5 vol.11



国際ロータリー第2660地区

2010～11年度ガバナー 松本 新太郎

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

CONTENTS

ガバナー
メッセージ 手に手つないで 大きな力に 1
ガバナー 松本 新太郎

行動力に感服 (RAC活動報告) 7
大阪御堂筋RC 会長 森田 和明
大阪御堂筋RAC 岩津 賢典

2010～2011年度 IM第5組報告 2
大阪そねざきRC 会長 伊崎 順五
IM実行委員会 委員長 岩本 洋子

米山奨学委員会・ロータリー財団 8

2010～2011年度 IM第6組報告 3
大阪鶴見RC 会長 林 成志
IM実行委員会 委員長 佐藤 俊一

2011年3月度 会員数・出席報告 9

クラブ社会奉仕委員長会議報告 4
社会奉仕委員会 委員長 表 寛治

文庫通信 10

米山奨学生終了者歓送会 5
米山奨学委員会 委員 榊原 春枝

お知らせ 11-12

岩手県宮古での医療活動の報告 6
2008～2009年度 国際親善奨学生 倉内 菜穂子

敬弔 13



3月の東日本大震災は多くの方の尊い命を奪い、財産や日常を瞬く間に押し流してしまいました。原発事故に伴う電力不足は広範囲にわたる不自由な生活を強制し、放射能汚染による恐怖は全世界を震撼させました。

目を覆いたくなるような惨状にかつて経験したことのない大きな衝撃を受ける一方、避難所で暮らす方々の姿は、人と人が互いに助け合い生きていくことの大切さを、被災地から遠く離れた私たちにもおしえてくれました。

当地区でも震災の発生直後から「何とか力になりたい」「ぜひ支援したいので地区の方針を打ち出してほしい」と数多くの皆様からのお声をいただきました。ロータリアンの意識の高さと、その気持ちを実行に移す行動力に改めて感動した次第です。

私たちの地区では震災発生と同時に対応の検討を開始、まずは義援金を地区内各クラブから集めさせていただき、全国の地区ガバナーにより構成されるガバナー会でとりまとめた上で、被災地の各地区へとお届けさせていただくことと致しました。すでに数多くの皆様の善意をお寄せいただいていることに、心から感謝申し上げます。

ところでこれまでの一連の動きの中で感じましたのは、皆が協力して大きな力を発揮しようとする際には、足並みを揃えて行動することがいかに重要であるか、ということです。それぞれに様々な思いもあろうかと存じますが、地区内約3800人の思いを一つにして力強い支援を現地に届けるためには、言いたいことも多少我慢して何よりも全員の力を結集することに意識を向けなければなりません。

各クラブ、各会員のご意見も多種多様であるのは当然

ですが、地区として行動する際には統率のとれた動きを実現するための協調も必要です。さもないとバラバラなアクションではせっかくのパワーも霧散してしまい、十分な効果が得られないおそれもあります。

そしてまた現地のニーズを真剣に考え、それに対して自分たちに何ができるのかを熟慮することも重要です。「現地へボランティアに行きたい」「救援物資を送りたい」という、ロータリアンとしていてもたってもいられない心情はよくわかります。ただ、せっかくの奉仕の精神が自己中心的なものになってしまわないよう、自戒しなければなりません。私たちが行動を起こそうとするとき、それが結果的に「相手から感謝されたい」「自分たちが満足したい」という自己の欲求を満たすためだけのものに終わってしまうリスクも内包していることを自覚すべきです。そのような罫に陥ってしまいかねない行動は、冷静に客観的に判断した上で厳に慎まなければなりません。仮に深く考える前に軽率な動きをとれば、今回のような非常時にはかえって混乱を助長するだけではないでしょうか。

動揺や不安が収束し、社会そして人々の心が少し落ち着きを取り戻せば、やがて復興に向けた動きが本格化するでしょう。まちの復興が具体的な形として見え始めれば、それが一筋の光となって人々の心に注ぎ、心の復興への希望の明かりとなるはずです。

まさにゼロからと言っていいと思いますが、地域をもう一度育てていくには数年、いや数十年かかるかもしれません。第2660地区の私たちも手に手つないで力と心を合わせ、3800人の足並みを揃えた息の長い支援を行っていきたいものです。皆様の深いご理解とご協調を、よろしく願い申し上げます。

2010～2011年度 IM第5組報告

大阪そねざきRC 会長 伊崎 順五
IM実行委員会 委員長 岩本 洋子

テーマ：「私たちの知らない水問題」～地球・世界・日本～

ホスト：大阪そねざきRC

日時：2011年2月26日(土) 11:00～

場所：ヒルトン大阪

参加クラブ：松本新太郎G・菅生浩三PG・神崎茂PG・横山守雄PG・西原房三G補佐(第3組)・
山田崇雄G補佐(第5組)・泉博朗G補佐(第8組)・森康次G補佐E(第5組)・池尻誠地区代表幹事・
IM第5組各RCメンバー・オブザーバー

出席者数：180名

「私たちの知らない水問題」全ての生物の命につながる大切な水、危機に直面する「水」をテーマにIMを開催させていただきました。私達日本人は、ややもすれば水はタダだと切実な関心がなく、かつ、危機意識に欠けているのではないかと思います。

世界、特に中東アラブ諸国での争いは水戦争といっても過言ではありませんし、貧困国での女性や子供達が、1日何時間もかけて飲み水等を汲みに行っています。そのことにより学校に行けなくて識字率の低下となっていたり、汚水による疫病がたえないのです。

また、日本の食料自給率は40%弱であり、食糧や石油等あらゆる生産に必要なきわめて貴重な水は、水の乏しい海外の水を使っているのです。

水についての個人、企業人そしてロータリアンの立場から真剣に考え、自ら実践する手がかりを1つでも多く見つけて頂くことを期待して開催しました。

プログラム1部では「危機に直面する“水”すべての生物にとって不可欠な水が危ない、水の危機は地球の危機でもある」と題して、映像によるプレゼンテーションを

行いました。

プログラム2部は大阪大学・大学院工学研究科教授宇山浩氏に基調講演をしていただきました。

出席者の皆様にコーヒーとサンドイッチの軽食をしていただいた後、プログラム3部は、「私たちの知らない水問題」についてのパネルディスカッションをしていただきました。

パネリストは宇山浩氏(基調講演に同じ)・更家悠介氏(サラヤ株式会社代表取締役社長)・藤原充弘氏(フジワラ産業株式会社代表取締役社長)とコーディネーターは萩尾みどり氏(女優)を迎えて行いました。

ロータリー財団の未来の夢計画にもある「水と衛生設備」にも繋がる水について参加者全員が認識を深め閉会しました。

なお、水に因んで本会議場前では大阪市水道局の水「ほんまや」を展示・配付するとともに、開会前・昼食時・閉会後にお茶席を設け、青少年交換学生を含めてお手前をさせていただきました。



2010~2011年度 IM第6組報告

大阪鶴見RC 会長 林 成志
IM実行委員会 委員長 佐藤 俊一

テ ー マ：夢ある日本の未来とロータリー
ホ ス ト：大阪鶴見RC
日 時：2011年3月5日 15:00~18:45
場 所：太閤園
登 録 者 数：774名
出 席 者 数：162名

本年度から「新世代奉仕」が、第5の奉仕部門として設置され、この奉仕プログラムの目的が若者の育成支援であることから、第1部においては、この若者の育成支援に焦点を当てて「新世代を担う若者をどう育てるか」のテーマで、招待パネリスト、ロータリアンを交えて、この問題を考えるパネルディスカッションを実施しました。

最初にコーディネーターの佐藤俊一より、政府の「子ども・若者育成支援推進本部」の作製した「子ども・若者ビジョン」を資料として紹介し、若者育成支援の総論的な考え方を共通の認識として把握してもらった。そして各クラブの行っている青少年活動のいくつかをとりあげたが、今回は主として20代より30代の若者を対象に話を進めることで各パネリストより意見を求めた。

パネリストの一人、谷本親伯大阪大学名誉教授より、今の学生の問題点として、国際学会において話の内容はよいのだが、外国語を含めてのコミュニケーション能力の不足を指摘されました。それには海外での体験と教養が必要とのこと。また今の大学教育のあり方についても辛口のコメントがありました。

次のパネリストの伴義孝関西大学名誉教授・府レクリエーション協会会長より「親指は何のためにあるのか」の問いがあり、親指の役割がものをつかむことから携帯を動かすという身体の経験を通り越して頭の中の動きのみになってしまっているのが現代の若者を象徴しているとの問題提起がありました。身体での経験がなく頭で考えすぎる傾向が友達づきあいのできない大学生を生んでいるとの指摘がありました。レクリエーション協会では「歩く」ということを再認識し、人とかかわり文化の回復を考えているとのこと（歩育）。また関西大学はロータリーとの繋がりをもち、過去ライラを通じての連携講座、関西大学ローターアクトの設立など、これからもロータリーと大学との連携プログラムを進めるための提案がありました。

3人目のパネリストは大阪RC会員でもある立野純三氏より自分の体験を通じての若者育成の見解をのべられました。大阪青年会議所に入会し、自己の国際感覚に目覚めたこと、その後、理事長時代にセイブザチルドレンジャパンを設立し現在も名誉理事長として活動していることの話がありました。企業のオーナーとしての立場からは企業の成長のためにはグローバル化は避けられず、若い企業人に対しては単に英語が話せ



るだけでなく日本人としてのアイデンティティをもち、日本の文化を説明できる人材を求めているとのことでした。

最近の若者は内向き傾向にあるのではないかと質問に対し、日本を離れることで就職活動に支障を生じる状況、あるいは大学側のカリキュラムの問題、受け入れ企業での問題もあり、また男性より女性のほうが国際交流に積極的であるとの現実もありました。

最後に佐藤パネリストより新世代プログラムの画像による紹介があり、プログラム自体は立派ではあるが今後とも検討すべき課題があるとの認識で終了しました。

第2部として原丈人氏の講演がありました。

講演内容はアメリカを中心とする現在の資本主義は株主至上主義であり、株主の利益を優先するあまり金融資本主義の欠陥を露呈しました。早くからこの欠陥と危機を予見し、会社の事業を通じて、会社の関係者・地域社会・地球全体に貢献することが価値として認められるとする公益資本主義を提唱し、日本こそがこの新しい資本主義の担い手となり得ると述べられました。この考えはロータリーの職業理念と相通じるものとおもわれます。

また、民間の活力を利用して、教育・医療・栄養不良の分野で発展途上国を援助し、貧困を解決する、画期的な仕組みを開発・実践されつつあります。それと共に、日本の若者たちに、これらの援助体験を通じてグローバルな視点と多様な価値観を身につけさせる人材育成プログラムを提案し、世界に貢献する日本人づくりのプロジェクトを呼びかけておられます。



日 時：2011年2月19日(土) 9:00～11:30

場 所：薬業年金会館

参加クラブ：松本G、岡部GE、矢野研修委員、五味財団法人道的補助金委員会委員長、
地区社会奉仕委員会委員、クラブ社会奉仕委員長
正岡クリニック院長 正岡哲(池田くれはRC)
NPO法人阪神自殺防止対策支援センター代表理事 大山智之(大阪堂島RC)
合計80名

今年度第2回クラブ社会奉仕委員長会議が2月19日、薬業年金会館で80名参加のもと開催されました。

冒頭、松本G、矢野研修委員より毎年各地で社会奉仕活動に取り組んでいることにお礼のお言葉がありました。

表地区社会奉仕委員長より活動報告を行いました。

- 昨年度に引き続き2009-2010年度クラブ社会奉仕活動事例集を発行しました。
- 環境保全活動 6/29、12/15、2/8
「豊かな環境づくり大阪府民会議」に出席。
- 薬物乱用防止活動 11/26
大阪府庁大阪府公館で下記のクラブが大阪府知事感謝状を贈呈されました。
大東RC、大東中央RC、池田RC、大阪城東RC、千里メイプルRC、堺北RC
- 献血活動 12/1
府立労働センターで下記のクラブが日本赤十字センターより表彰されました。

東大阪東RC(金色有功賞)、吹田西RC(金色枠)、東大阪西RC(銀色枠)

- 11/4 奄美地方豪雨災害義援金募集のお願いをしました。(月信1月号に報告とお礼を掲載)

第一部

五味地区財団法人道的補助金委員会委員長より「地区補助金」について及び地区補助金審査会の「次年度に向けた検討課題」の報告をいただきました。

第二部

国内の自殺者が13年連続で3万人を超えている現状について政府も自殺総合対策会議を開き、自治体などと連携して啓発活動を展開されています。

正岡クリニック・正岡院長 「無くそう自殺」

NPO法人阪神自殺防止対策支援センター

大山代表理事 「生きててええねん」

両先生に卓話をいただきました。

最後に岡部GEより本日の委員長会議の講評と謝意があり、川上社会奉仕委員会副委員長の閉会の挨拶で終了しました。



米山奨学生終了者歡送会

米山奨学委員会

委員 榊原 春枝
(大阪柏原RC)

日 時：2011年2月27日(日)
場 所：ハイアットリージェンシー大阪
参 加 者：松本G、岡部GE、近藤PG、磯田委員長、
米山各委員、大学指導教官、学友会、
各クラブ会長幹事、カウンセラー
計94名

2011年2月27日(日)、ハイアットリージェンシー大阪において2010-2011年度「米山奨学委員会 米山奨学生歡送会」が開催されました。

はじめに松本Gが「一人ひとりの夢が将来たくさん花開くことを楽しみにしています。そしてたくさんの人たちに“ありがとう”と言ってもらえる人になってください」とお祝いの言葉を述べられました。

次に近藤PGがカウンセラーへのお礼の言葉とともに、新しい生活に向かって巣立っていく留学生への励ましの言葉を贈られました。母国だけではなく、世界のどこへ行っても架け橋になってほしい。どこの国へ行っても最高の奉仕活動をしてほしい、という言葉が印象に残りました。会場で知り合ったベトナムの留学生は、これからすぐアメリカへ行く予定だと話していました。

母国に帰らず日本で就職する人、また違う国へと旅立つ人。いろいろだと思いますが、磯田郁子委員長が言われたように、これからもロータリーとの「縁」を大切に、米山奨学生だったことを人生の誇り、自信にして人生を歩いてほしいと、米山奨学委員一同願っています。

和やかな歓談食事が続く中で、今年度奨学生を終了する留学生の皆様松本Gより修了証書と記念品が手渡され、また去る2月19日(土)に大阪国際交流センターで行われた「第一回米山奨学生スピーチコンテスト」で最優秀賞に輝いた中国からの留学生、刘璐(リュウロ)さん

(大阪御堂筋RC)のスピーチも行われました。刘璐さんは6年前に来日し、日本の言葉はわかるようになったが、それだけでは理解できない異文化理解の難しさをスピーチしてくれました。「違いばかりに目を向けていては真の異文化理解はできない。心を開いて異なる文化にぶつかってみましょう」という言葉が、流暢な日本語とともに素晴らしかったです。

今年の終了式でも、カウンセラーをしていただいたロータリアンと奨学生の交流、ロータリーへの感謝の気持ちがたくさん述べられました。米山奨学生であったことを忘れず、今後もロータリーとの縁が末永く続くことを願っています。

最後に、今年度奨学生をお世話いただきましたカウンセラーをはじめ、世話クラブの皆様深く感謝申し上げます。



多くの方々からの激励のお言葉ありがとうございます。皆さんの後押しに非常に感謝しています。昨日岩手県から沖縄へ戻りました。拠点となっていた宮古は幸いにも役場の人・保健師等は津波からぎりぎりのところで逃げる事ができたようで行政が残っていたのでそのような地域の情報のみですがご了承ください。

今回は岩手県が医療支援を求めたのに対し沖縄県が1カ月間チームを5日交代で送り続けることを決めました。その第一陣(医師2名、看護師2名、事務2名)の一人として私は参加しました。3月22日に沖縄から東京へ飛び、予め物資を積みフェリーで送っていた救急車2台を東京から岩手県へひたすら運転しました。東北自動車道は緊急車両専用となっており、全国から支援に向かう警察・自衛隊・土木業者等が集まり異様な雰囲気でした。

24日ようやく宮古入りし、2日前の情報とは全く異なり、ライフラインはなんとかほぼ復旧していました。私たちは三つの避難所を担当し、住民の健康相談・内服薬の処方等を行っていきました。岩手県で沖縄ナンバーの救急車が走っているのを見ては人々は目が点になり、そこから話が膨らむのがとても楽しかったです。

震災から約2週間経ってからの活動でしたので慢性期に移行しており、寝たきり患者や医療行為の必要な住民は全員病院や施設への移動の準備がされていました。「私は大丈夫です」とおっしゃる住民が多いが、しかしよくよく話を聞くと内服薬が切れている方が非常に多かったです。車を持っている住民が多いもののガソリンスタンドは100台待ち、かつお金の心配をされている方もいたのでしょうか。皆声をあげずに不安を抱えている状況でした。

盛岡のホテルに移動する人を募集していたものの手を挙げる住民はわずか。いくら不便であっても自分たちで町を復興させたいという強い気持ちがあるようで、私はついつい納得してしまいました。昼間は家の片づけや仕事をしに皆外出するため、避難所は閑散としていました。地元の中学生のボランティアは大活躍しており、予想していた「悲壮感」は全くなく、私はむしろ地元の人々の結びつきと再び立ち上がろうとする強い気

持ちに安堵を感じながら岩手を去ることができました。町のどこに行っても「ご自由にどうぞ」と寄付された洋服や生活物品が置かれており、被災していない住民からの助けの手も色々な所で感じられました。

同時に「支援」や「援助」という概念についても深く考えさせられました。報道されていた食糧不足のピークは過ぎており、避難所も落ち着いており、沖縄チームも現地に入ってから地元の人たちの再生する力に圧倒されるばかりでした。ライフラインの素早い復旧も日本ならではの、幸いにも行政が残っていた宮古では災害後の復興の骨組みは既に出来上がっていました。他都道府県から乗り込んであれこれ言うのではなく、各自治体の「お手伝い」をしながら見守るのが今後私たちがすべきことではないかと思いました。これはもちろん宮古に限ったことであり、行政が残っていない他地域に関しては自衛隊・国境なき医師団・赤十字が担当しており、その地域の情報が全く入ってこなかったのが非常に残念でした。縦のつながりがしっかりしていた分、横のつながりがまだまだ欠けていました。また、一番最初に支援を要請した福島県にはなかなか積極的に行く団体がおらず、物資を運搬するのさえためらっていて心苦しい限りです。

これからどんどん通信手段が改善されることで復旧の格差もなくなることが期待されています。直接的な援助をしたい、何かしたいと悶々とする人はたくさんおられると思いますが、現場の混乱やガソリン不足を考えると今は見守って募金活動に励んでもよいのではと感じました。「沖縄でもこの津波のニュースは流れているのかね?」と尋ねる避難者もあり、私はひたすら日本中・世界中の人々が東北の人たちを気にかけていることを伝えてまわりました。直接このような活動に加わるのがスゴイともなんとも思いません。継続して被災者を応援する気持ちをこれから何年間も持ち続け、毎日節電等を通して何かを犠牲にし続けることが一番復興につながると思います。

私のこれからの人生にとってかけがえのない5日間となりました。ひとまず沖縄での看護の仕事に戻り、今後どうするか考えていきたいです。ここまでこれたのは皆さんのおかげです。ありがとうございます。 <2011年3月27日報告>



3月17日、大阪御堂筋RCの例会にローターアクト週間に先立ち大阪御堂筋RAC会長の西村真理さんに卓話をお願いしていました。例会場についた西村会長は大阪御堂筋RACで3月20日～21日の連休に「被災地への支援物資を届けたい」という申し出を受けました。ついでには提唱クラブである大阪御堂筋RCに資金援助をお願いしたいという旨でした。大阪御堂筋RACではも

うそこまでのことを考えているのかという驚きといち早い行動力に感服し、ロータリークラブとして出来るだけの支援をRACにしてあげようということになりました。ただし、現地に行くことに関してロータリークラブとして賛否両論ありましたが最終的にRACの強い意志を尊重して認めることになりました。以下はRACが実際に行った行動を報告して貰ったものです。

■活動報告書

大阪御堂筋RAC 岩津 賢典

- 3/15 自分達に何か出来ないかを考え情報収集を始める。茨城県の被災状況の報道が少なく救援物資の不足をツイッターで知る。
- 3/16 茨城県社会福祉協議会と連絡を取り、今すぐにも来てもらいたいとの要請を受け、要望に従った物資を手配。
- 3/17 RACのメンバーが物資を持って来てくれる(乾電池・生理用品等)。また、他のメンバーはホームセンター等を廻って物資を集めてくれる。
- 3/18 3トントラックのレンタカーを借りトラックで物資を集めに走る。
- 3/19 中央道で現地へ向かう。
- 3/20 茨城県立スポーツセンターと北茨城市役所で物資を降ろし、現地を出発。
- 3/21 帰阪

感想としては、想像以上に悲惨な状況で街でも特に沿岸部が壊滅的な被害です。メディア等では仙台や福島など東北地方が重点的に報道されていますが茨城県も酷い状態です。この状態を伝えていく事も私達に課せられた使命ではないかと思えます。避難所の方々が一日も早く自宅に戻り普段の生活を取り戻せるように微力ながら私達も出来る事から少しずつしていきたいと思えます。

また茨城に行くことと約束して参りました。状況が刻一刻と変わる中、次回はどうのようなボランティアが一番有難いのかわかりませんが、どんなボランティアであろうと可能な限りは協力させてもらう気持ちでいます。



救援物資リスト

水	約1500本	パン	約550食
トイレトペーパー	約850本	オムツ(大人用)	約250個
オムツ(子供用)	約500個	粉ミルク	約15缶
ブルーシート	約20個	ガソリン(軽油)	約200L
乾電池	約50本		

米山奨学委員会・ロータリー財団

地区米山奨学委員会より

2011年2月末	全国寄付金合計額	1,053,806,206円 (前年度比 0.98%減)
〃	第2660地区寄付金合計額	60,213,945円 (前年度比 4.96%減)
2011年2月末	全国寄付合計トップ10	
1. 第2650地区	76,771,502円	6. 第2580地区 55,568,355円
2. 第2750地区	60,639,480円	7. 第2770地区 47,555,592円
3. 第2660地区	60,213,945円	8. 第2780地区 38,746,000円
4. 第2590地区	55,813,100円	9. 第2820地区 36,622,000円
5. 第2760地区	55,671,608円	10. 第2640地区 35,877,420円

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。
(2011年2月)

氏名	回数	クラブ名
岩本 静江	2回目	大東中央RC
片岡 大	4回目	東大阪RC
樽本 文男	6回目	東大阪RC
南雲 龍夫	2回目	大阪RC
藤岡 靖夫	2回目	大阪西北RC
近藤 治郎	4回目	大阪西北RC
三宅 有	1回目	大阪西北RC
吉田 育弘	5回目	大阪西北RC
和泉 俊治	3回目	大阪天王寺RC
片淵 正一	1回目	大阪天王寺RC
高橋 博文	1回目	大阪天王寺RC
三宅 一嘉	5回目	大阪東南RC

米山功労クラブ

次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました。
(2011年2月)

氏名	クラブ名
東大阪RC	53回目
大阪天王寺RC	49回目

ロータリー財団 ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2011年)

樽井 郁夫	豊中千里RC	2/ 4
松本 浩明	八尾東RC	2/11
品川 芳洋	八尾東RC	2/11
上田 郁生	八尾東RC	2/11
柳 啓二	八尾東RC	2/11
上島 一彦	箕面RC	2/25

ロータリー財団

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。(2011年)

島 顕侑	4回目	東大阪東RC	2/22
池本 繁喜	4回目	八尾東RC	2/22
木村 久一	4回目	八尾東RC	2/22
桑田タア子	2回目	八尾東RC	2/22
森下 慶治	3回目	八尾東RC	2/22
長澤 徳治	3回目	八尾東RC	2/22
大橋 秀造	2回目	八尾東RC	2/22
奥田 長二	3回目	八尾東RC	2/22
大熊 實	3回目	八尾東RC	2/22
筒井 重之	3回目	八尾東RC	2/22
吉川日出子	2回目	八尾東RC	2/22
樋口 光弘	1回目	大東中央RC	3/ 2
橋本 泰明	1回目	守口RC	3/ 9
深田 清一	2回目	守口RC	3/ 9
藤江 正謹	3回目	大阪イブニングRC	3/ 9
渡邊 純一	2回目	大阪阿倍野RC	3/ 9
藤井 進次	4回目	大阪西北RC	3/16
西村 暲	4回目	大阪西北RC	3/16
瀬田川昭俊	3回目	大阪西北RC	3/16
高林 辰行	4回目	大阪西北RC	3/16

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の

出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近の資料より

- 「ロータリーへの道(三訂版)」 ポール・ハリス著 柴田實訳 2011 372p
[申込先：成田RC FAX(0476)33-8786]
- 「ロータリーの日常の知識(A Talking Knowledge of Rotary)」 三木 明訳 2010 83p
[申込先：三木 明 FAX(079)223-2477]
- 「決議23-34について」 山崎 勝 2010 32p (D.2720 ガバナー月信総集編)
[申込先：ロータリー文庫(コピー/PDF)]
- 「職業奉仕の目ざす所」 勝野露観 2010 12p (D.2640 職業奉仕その心と今日的役割)
[申込先：ロータリー文庫(コピー/PDF)]
- 「ロータリアンの職業宣言について考えること—『職業奉仕の現在的意義』」
北岡 満 2010 4p (D.2640 職業奉仕その心と今日的役割)
[申込先：ロータリー文庫(コピー/PDF)]
- 「『四つのテスト』の解釈について」
辻林俊彦 2010 2p (D.2640 職業奉仕その心と今日的役割)
[申込先：ロータリー文庫(コピー/PDF)]
- 「ロータリー入門書2010~2011年度版」 前原勝樹・重田政信 2010 197p
[申込先：北斗事業出版 TEL(03)5207-6681]
- 「ロータリークラブ 簡単図解」 鈴木章夫 2011 12p (D.2520)
[申込先：ロータリー文庫]
- 「カンボジア・ベトナム海外研修」 柏木希予 2010 1p (D.2650 インターアクト海外研修報告)
[申込先：ロータリー文庫(コピー/PDF)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館 = 午前10時~午後5時 休館 = 土・日・祝祭日

ニュージーランド地震義援金に対する御礼

ニュージーランド地震の被災者を救援するため義援金を募集いたしましたところ、各クラブから多くの義援金が寄せられました。義援金の総額は、2,924,988円となりました。

皆様の義援金は、ニュージーランドおよび太平洋諸島のロータリークラブからなる Rotary New Zealand Community Service に送金して、地震の被災者の支援に活用されます。

皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。

国際ロータリー 第2660地区 ガバナー 松本 新太郎
社会奉仕委員会 委員長 表 寛治

「お知らせ」

茨木RC 例会場変更

変更日：2011年4月6日(水)より

新会場：とり条別館 割烹片桐2F

〒567-0882 茨木市元町6-3

TEL (072) 626-2722

八尾RC 事務局移転

移転日：2011年5月2日(月)より

新住所：〒581-0116 八尾市清水町1-6-6

八尾商工会議所 208号室 (TEL・FAXは変更なし)

八尾中央RC 事務局移転

移転日：2011年5月2日(月)より

新住所：〒581-0116 八尾市清水町1-6-6

八尾商工会議所 207号室

新Eメール：yaocentrc@pearl.ocn.ne.jp

(TEL・FAXは変更なし)

東日本大震災義援金に対する御礼

東日本大震災で被害に遭われた方々を救援するため、地区内のロータリアンの皆様に義援金をお願いいたしましたところ、4月11日の第1回締切りで総額が57,331,594円となりました。地区内の各クラブからだけでなく、台湾、韓国、タイ、ドイツの方々からも義援金が寄せられました。皆様からの義援金は4月12日にガバナー会に送金いたしました。義援金は被災地区のガバナーに配分され、被災者救援に活用されます。

皆様のご理解とご協力に深く感謝いたします。

なお、第1回の締切り後も義援金の受付をいたしますので、引続きご支援をお願い申し上げます。

国際ロータリー 第2660地区 ガバナー 松本 新太郎
社会奉仕委員会 委員長 表 寛治

■ガバナー会からの報告 (2011年4月11日付)

1. 4月11日までに集まった義援金の総額は491,621,786円です。
2. 義援金のうち、見舞金として当該ガバナー宛に下記の金額を送金しました。(4月4・5日)
 - ・ 第2520地区(岩手・宮城)に 5,000万円
 - ・ 第2530地区(福島)に 3,000万円
 - ・ 第2820地区(茨城)に 1,000万円
 - ・ 第2550地区(栃木)に 500万円
 - ・ 第2790地区(千葉)に 500万円

敬 弔 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

渡辺 宏道 会員 (豊中RC) 2011年 1月14日逝去(享年83歳)

会長、副会長、幹事、理事
クラブ奉仕委員長、社会奉仕委員長、国際奉仕委員長、青少年奉仕委員長
米山功労者(マルチプル)、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

藤井 禧進 会員 (大阪西南RC) 2011年 3月15日逝去(享年85歳)

会長、国際奉仕担当理事
会員増強委員長、職業分類委員長、プログラム委員長、会報委員長
世界社会奉仕委員長、ロータリー財団委員長、米山奨学委員長
米山功労者(マルチプル)、ベネファクター、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

和中 裕 会員 (大阪北RC) 2011年 3月22日逝去(享年63歳)

理事、青少年活動委員長、米山奨学委員長、S. A. A.
ロータリー情報委員長、ロータリー財団委員長
米山功労者(マルチプル)、ベネファクター、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

勝見 哲朗 会員 (大阪天満橋RC) 2011年 3月31日逝去(享年75歳)

出席委員長、会報委員長
米山功労者(マルチプル)、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

清水 英文 会員 (大阪リバーサイドRC) 2011年 4月 2日逝去(享年71歳)

会長、幹事、理事、
会員増強委員長、広報委員長、規定情報委員長
米山功労者、ベネファクター、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

中川 章三 会員 (大阪城南RC) 2011年 4月 8日逝去(享年90歳)

1996～1997年度ガバナー、チャーターメンバー
会長、理事、国際奉仕委員長、広報委員長、クラブ奉仕委員長
R財団・米山委員長、会員選考委員長、IGFフォーラム委員長
米山功労者(マルチプル)、ポール・ハリス・フェロー、ベネファクター

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-Mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿（写真付きの場合は一緒に添えて）を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。
- 今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布いたします。また、ご希望の会員には有料（年間2,200円・1冊200円）配布とさせていただきますので、出来るだけ多くの方のお申し込みをお待ちしています。

月信編集委員会

- ・ガバナー 松本新太郎
- ・地区代表幹事 池尻 誠
- ・地区副代表幹事 吉本 憲司
- ・担当地区幹事 小山 悦治
- ・担当地区幹事 笠井 実
- ・担当地区幹事 奥谷 英一
- ・事務局長 今井 貢二

2010～2011年度 国際ロータリー第2660地区 【ガバナー事務所ご案内】

●事務局スタッフ

ガバナー	松本新太郎
地区代表幹事	池尻 誠
地区副代表幹事	吉本 憲司
事務局長	今井 貢二
事務局員	栗正 久美
	春名 志保
	大西 麻容

●休 日

土曜、日曜、祝日
夏期
2011年 8月12日(金)～
2011年 8月17日(水)
年末年始
2011年12月29日(木)～
2012年 1月 4日(水)

●所在地・電話・ファックス

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館 6階
TEL：06-6264-2660
FAX：06-6264-2661

ガバナー事務所に会議室を併設いたしております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせ下さい。

●ホームページアドレス

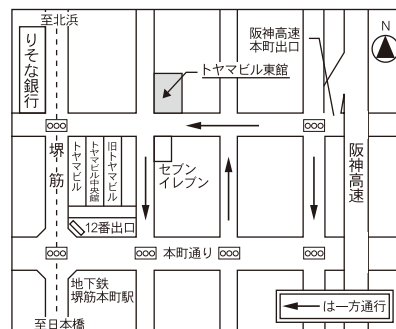
<http://www.ri2660.gr.jp/>

●メールアドレス

gov@ri2660.gr.jp

●勤務時間

9：30～17：00



※地下鉄堺筋線 堺筋本町駅 12番出口すぐ

国際ロータリー第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6F
電話 06-6264-2660 Fax 06-6264-2661 E-mail:gov@ri2660.gr.jp

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

6F Toyama Bldg. East 1-5-11 Azuchi-machi Chuo-ku OSAKA 541-0052 JAPAN
Phone.+81-6-6264-2660 Fax.+81-6-6264-2661 E-mail:gov@ri2660.gr.jp

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2010-2011

6 vol.12



地域を育み、大陸をつなぐ

国際ロータリー第2660地区

2010～11年度ガバナー 松本 新太郎

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

CONTENTS

ガバナー メッセージ 親睦活動月間にちなんで	1
ガバナー 松本 新太郎	

石巻災害ボランティア	7
大阪御堂筋ローターアクトクラブ 岩津 賢典	

2011-2012年度のための PETS&地区チーム研修セミナー	2
次期地区代表幹事 境 高彦	

中川章三パスト・ガバナーを偲んで	8
大阪城南RC 光信 昌明	

2010～2011年度 IM第7組報告	3
大阪西南RC 会長 吉川 守 IM実行委員会 委員長 小田 真弘	

米山奨学委員会・ロータリー財団	9
-----------------	---

2010～2011年度 IM第1組報告	4
豊中～大阪国際空港RC 会長 上西 利三 IM実行委員会 委員長 田中 竹二	

2011年4月度 会員数・出席報告	10
-------------------	----

ローターアクト 「ええで、VIVA大阪 若者による日本文化シンポジウム」	5
ローターアクト委員会 委員長 山内 康俊	

文庫通信	11
------	----

2010～2011年度 米山奨学生オリエンテーション報告	6
米山奨学委員会 委員 米田 猛	

お知らせ／敬弔	12
---------	----



6月は親睦活動月間です。

「ロータリークラブについてもう一度考えてみませんか」と皆様に呼びかけてまいりましたが、今年度もいよいよ最後の月となりました。

この一年間のロータリーライフは、皆様にとってどのようなものだったでしょうか。事業や奉仕、親睦に大きな成果のある一年であったことを願います。そしてまた私の声に耳を傾けロータリークラブについてもう一度お考えいただくことができたならば、これほどうれしいことはありません。

ロータリークラブについて改めて考えていただく中では、周囲の方々ともいろいろと議論を交わされたかもしれません。ロータリーについて熱く語り合い、相互理解をいっそう深めていただく機会になったのであれば幸いです。むしろ意見が衝突し気まずい雰囲気になってしまったような方がおられないことを願います。大いに議論し合った後は主張の違いから相手を敬遠するのではなく、むしろロータリーを愛する心を互いに認め合うことでさらなる親睦へとつなげていただきたいと思います。

親睦に関して申しますと皆様はこの一年間、より多くの方と親交を深めていただくことができたでしょうか。そしてこれまで仲の良かった方々とも、いっそうの親睦を図ることができたでしょうか。年度の終わりにあたり、もう一度振り返ってみてください。そして次年度へ向け新たな親睦へとつなげていっていただければ、皆様のロータリーライフがますます有意義で充実したものとなることでしょう。

私もこの1年間、ガバナーとして数多くの方に出会い、親睦を深めさせていただくことができました。このことは私の人生の大きな宝物であると感じています。次年度以降は、この一年で手に入れた親睦の輪を途絶えさせることなく、大切に育んでいきたいと考えております。

いろいろあったかもしれませんが今年度の終わりにあたって再度親睦を確認し、みんな笑顔で締めくりたいものです。そしてその笑顔をそのままに、次年度も新しい顔ぶれ、新しい組織でロータリー活動に取り組んでいただければうれしい限りです。

2011-2012年度のための PETS&地区チーム研修セミナー

次期地区代表幹事

境

高彦

(大阪城南RC)

2011-2012年度のための会長エレクト研修セミナー(PETS)と地区チーム研修セミナーを3月19日(土)に大阪国際会議場で開催致しました。

従来は別日程で開催されていた2つのセミナーですが、前年度・前々年度に続いて3度目の同日開催に致しました。

午前中の全体会議では、岡部泰鑑GEが新年度のRIテーマ「こころの中を見つめよう 博愛をひろげるために」とともに地区の方針「見直しをすすめ 新たな第一歩を」を発表されました。

その後、米山委員会、ロータリー財団委員会、国際奉仕・WCS委員会、広報委員会より報告があり、予算についての説明がありました。

昼食の後、午後からはPETS・地区チームの2つの会場に分かれ、PETSでは井上暎夫PGが「会長の役割と責務」についての講演、岡部GEの「クラブ研修リーダーの必要性について」の講演と続き、その後IM別のディスカッションが行われました。

地区チームは神崎茂PGが「委員会の役割と責務」について講演の後、委員会別バズセッションが行われ、その後、岡部GEの「クラブ研修リーダーの必要性について」の講演がありました。

2011-2012年度に向けた最初のセミナーで、RIテーマや地区方針が発表されたとあって、会長エレクト始め地区チームの皆さんの意気込みに満ちた真剣な眼差しがひしひしと感じられました。



2010~2011年度 IM第7組報告

大阪西南RC 会長 吉川 守
IM実行委員会 委員長 小田 眞弘

テ ー マ：『愛あふれる世の中づくりのお手ぐいはロータリアンの基本姿勢です。』
— 気かけよう近隣・社会、そして新世代へ！

ホ ス ト：大阪西南RC

日 時：2011年4月2日(土) 10:30~14:00

場 所：大阪国際会議場 12階

参加クラブ：大阪フレンドRC、大阪本町RC、大阪御堂筋RC、大阪南RC、大阪難波RC、大阪なにわRC、
大阪南西RC、大阪船場RC、大阪心斎橋RC、大阪うつぼRC、大阪西南RC

出 席 者：岡部泰鑑GE、田中壽秋AG(第7組)、岩田宙造PG、大谷透PG 計181名

3月11日に発生した東日本大震災の直後の開催となり、開催するか否かを心配しましたが、松本新太郎Gをはじめ関係者でご協議を頂き、その結果、予定通り開催することとなりました。被災地の状況に鑑み、できるだけ簡素で、かつIM本来の目的を達する様なIMにすることを参加11クラブにもご理解を得、ご協力を頂き、又、もし残金が出れば、被災地にロータリー財団を通じて義援金をお届けすることと致しました。

さて、IM第7組は「愛あふれる世の中づくりのお手ぐいはロータリアンの基本姿勢です 気かけよう近隣・社会 そして新世代へ!」をテーマとしました。今年より5つ目の奉仕活動として加わった新世代奉仕をベースに定めました。

IMは定刻にGの点鐘で始まりましたが、残念ながら松本新太郎Gは健康上の理由で欠席され、ご出席の岡部泰鑑GEが急遽松本Gに代わって主宰を務めて頂きました。紙上をかりて改めてお礼を申し上げます。

引継いでの講演は、日本を代表するラグビー選手の一人であり、現在も若者の指導にあたっておられる大八木淳史氏を講師に招き、「今、子供たちは危ない—地球ネットワークにおける青少年育成の構築—」の演題で講演を頂きました。期待通り、豊富な指導経験をもとに、熱く語って頂きました。

昼食後テーブルディスカッションに移り、テーマは、

- ①健全な次世代青少年をいかに育むか
いじめ、育児放棄に我々はいかに対処すべきか。
- ②安心できる地域社会づくり

東日本大震災に我々ロータリアンは何をすべきか。阪神大震災、今回の東日本大震災の経験則を踏まえ、我々は準備をいかに行なっておかないと危険であるか。

の2点として参加者全員でディスカッションを行いました。特に東日本大震災直後ということもあり、その対応と被災地への援助などで、熱心に意見を交換して頂きました。

そのあと閉会式に移り、田中壽秋AGにより所感と次いで次年度ホストクラブの紹介を頂きました。次年度は大阪難波RCが担当し、会長の山田誠一氏より挨拶があり、岡部GEの閉会の挨拶、続いて、岡部GEによる点鐘で無事、予定通りIMを終了することが出来ました。

最後になりましたが、当日ご出席頂いた岡部GEをはじめPGの皆様、そして準備段階よりお世話になりました田中AG、地区の皆様、そして11クラブの幹事の皆様のご指導、ご協力に心よりお礼を申し上げますと共に当日ご参加の皆様にも厚くお礼を申し上げ報告といたします。



数日前の天気予報では、当日(4月16日)は曇天で一
時雨との事で、ご出席頂きます皆様にご迷惑をおかけす
ると心配していましたが、その心配は全く無く、胸を撫で
下ろした次第でした。

当日、主宰者の松本新太郎G様が、急遽ご体調を崩
されましたので、GE岡部泰鑑様にお出まし頂き、RI第
2660地区第1組のインターシティー・ミーティングを開
催させて頂きました。この書面で失礼とは存じますが、
松本G様の一日も早いご快癒を念じています。

当日は基調講演のみとさせて頂きましたが冒頭に、去
る3月11日の東日本大震災で死者・行方不明者27,000
人を超す未曾有の被害者に黙祷を捧げ、併せて一日も
早く被災地の復旧、復興を念じました。

また、福島第一原子力発電所事故の一刻も早い収束
と事後処理を円滑に進めて頂きたく、全員心を一つに致
しました。

そして、いよいよ本日のメインであります基調講演へと
移りました。我が国は少子高齢化が急速に進み、健康
で健やかに老いることの願いが叶わないのが現状です。
そして、老人の死後処理もせず、年金を詐取する荒んだ
世の中、そして老人介護等、心を痛める切実な問題に直
面しています。

当日は、そんな中で、介護にスポットを当て、何かのヒ
ントを与えて戴きたく、実体験に立って『支える側が支え
られる時』サブタイトルとして「認知症の母が教えてくれ
たこと」と言う事で、認知症の母親に寄り添いながら、命
や認知症を題材に多くの作品を作り続けられ、また講演
活動を行っておられます、児童文学作家「藤川幸之助先

生」をお迎えして、講演をたっぷり2時間、休憩タイムを
とらずに語って頂きました。先生は多くの詩集を出版さ
れておられ、NBC長崎放送が制作した「マザー・詩人
藤川幸之助が綴った母との瞬間」が民間放送連盟賞最
優秀賞を受賞され、文化庁芸術祭参加作品となる等、
ご活躍されただけあって、感銘しながら参加者一同、胸
を熱くして拝聴いたしました。

認知症の人を受け入れるという行為、人生を理解す
るという事、痛みを自分の事として感じる事から始まっ
て、母への葛藤、戸惑いに蓋をせず、吐き出す事、そして
何より相手の変わるのを待つのではなく、自分から変え
ていかねばという事など、喋ることもない、いや出来ない
母に愛を込めて接し、愛を込めて行動することで、愛の
支えがどんなものなのかと、時には目頭が熱くなるような
詩の朗読を拝聴し、出席者一同、大いに感じるところが
あったのではないのでしょうか。

最後に、人を支えるということは、人に支えられること
を結びとして、講演を終えられました。

参加者の皆様は、2時間余の間、殆ど中途退席なく、
熱心に拝聴されておられた姿に、実り多いIMだったと
自負しております。有難うございました。

本当に皆様のご協力に感謝感激し、お礼を申し上げます。

最後になりましたが、岡部GE様、高島GN様、池尻
代表幹事様、そして第1組の会長様、会員の皆様のご協
力、ご指導によりIMを終えることが出来、改めてお礼申
し上げ、IMの報告と致します。



東日本大震災の犠牲者に哀悼の意と、被災者の方々に心よりお見舞い申し上げます。

この企画は三つの目的からスタートしました。一つ目は「若者が日本のこと、大阪のことをあまりにも知らなさ過ぎる」ことへの反省。グローバル化が進む中、外国人を相手にコミュニケーションをとったり、ビジネスする機会がますます増えていきます。その時に最も必要なものは何でしょうか？ 勿論、外国語を学ぶことは重要ですが、それ以上に重要なのは自分の国・地域についての誇りと知識です。何故なら世界では自分の国・地域のことを知らない人間は信用されないし、自らの国や地域に誇りを持たない者は絶対に尊敬されることなどありません。だからこそ若者たちは日本・大阪の良さを学ぶべきなのです。

二つ目は「一流の人、一流のモノに触れよう」。現代社会には、真贋の見分けのつきにくいことがたくさんあります。そんな混沌とした時代を生き抜くためには、ブレない確かな目を持たなければなりません。一流の人、モノに触れることで、自然に自分の中に正しい判断のモノサシができてくるのです。

三つ目は「RACのことをもっと一般市民の方々に知ってもらいたい」。そのためにはRACがどのような活動をしているのかを、一般市民の方々に共に汗を流し感じてもらうことです。

そういった観点から、一日目は昔遊びと大阪料理を体験し、昔の大阪の遊び・大阪の食文化の素晴らしさを実感してもらいました。ウェルカムパーティーでは「いけばな」を観、ポップな感覚での手作りファッションショーを体験、日本のおもてなしの心と日本の服装文化の素晴らしさを実感していただきました。

二日目は、大阪文化といえば、上方落語。その中でも囃し手をはじめとした裏方の活動をクローズアップしながら落語（英語字幕付き）を堪能し、言葉文化の素晴らしさを実感。午後からは、世界を代表する建築界の巨匠である安藤忠雄氏から、多くの一般市民の方々と、日本建築文化の素晴らしさ、若者への熱いメッセージを聞きました。

最後に大阪の街を参加者全員でクリーンハイクすることで、多くの一般市民の方々にRACの活動を知ってもらい、大阪人としての誇りを取り戻してもらいました。

このシンポジウムを通して、より多くの若者が日本・大阪のことをよりよく知り、好きになることで、自らの国や地域への誇りを持つようになり、また大阪の生んだ天才建築家から一流の素晴らしさと、大阪の未来への情熱を肌で感じ、多くの一般市民にRACのことを知ってもらえたことだと確信します。

寝る間も惜しんで取り組んでこられたたくさんの方々のローターアクト

一達、そしてそれを陰で支えて頂いた多くのロータリアンに心より感謝し、このシンポジウムで学んだ若者の思いと元気が被災地に届き、被災された人達が癒され、一日も早く復興されることを祈念します。

プロジェクト実行委員長 **伊勢森 慶子**
(パストRA代表)
(大阪梅田ローターアクトクラブ)

桜が少しずつ花を咲かせる頃、中之島の中央公会堂で国際ロータリー第2660地区ローターアクト奉仕プロジェクト『ええで、VIVA 大阪!!～若者による日本文化シンポジウム～』を開催しました。コンセプトとして、私達が活動の拠点としている『大阪』の魅力、そして『日本文化』の魅力を伝え広めていく、同時に一般市民の方々に私たちの活動を知って頂く、この二点を目的としました。

初日は2つのグループを作り、日本料理や大阪ならではの食文化を学び、実際に料理体験をするチームと、剣玉や百人一首、紙飛行機などの昔遊びを体験するチームとに分かれ、笑顔あふれる体験をして頂きました。夜のウェルカムパーティーでは、日本文化の象徴である生け花パフォーマンスで幕開け。吉本興業の銀シャリにお越し頂き、大阪のお笑いをライブで披露して頂いた後は、私達ローターアクトで作り上げた、着物や武道、サブカルチャーのファッションショーをお楽しみ頂き、盛大なパーティーとなりました。

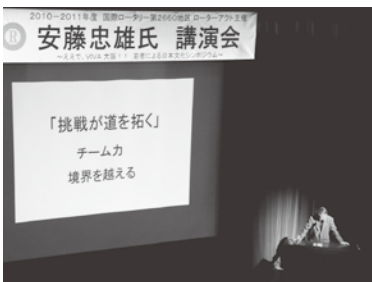
二日目は午前中に大阪の文化を代表する上方落語を、日本で英語落語の先駆者である桂小春團治様をお迎えし、英語の字幕付きでご覧頂きました。午後には今回の目玉プロジェクトとして、大阪が世界に誇る建築家・安藤忠雄様にお越し頂き「大阪の魅力を若者に伝える」をテーマに、一般市民の方々も招いての講演会を催しました。

ロータリアン、ローターアクト、OBOG、他地区のローターアクト、そして一般の方々、総勢800人をお招きしての講演会は、参加者の皆様に大変お喜び頂き、何よりも安藤様に「若者が多く楽しかった」と言ってもらえる事が出来、感極まる講演会となりました。

最後は、一般の方々も交えたクリーンハイク。軽トラック2台分のゴミを集め、参加者の皆様にローターアクトの魅力と活動を存分にPR出来たのではないかと思います。

今回このような大きなプロジェクトを無事に開催出来たのは、支えて頂いた地区ローターアクト委員会のロータリアンの皆様のお陰です。この誌をお借りして感謝申し上げます。

今後も私達ローターアクトはロータリーの精神を大切に、日々精進していく所存です。何卒よろしくお願い致します。



日 時：2011年4月11日(月) 16:30～19:30

会 場：ヴィアール大阪

参加者：米山奨学生、クラブカウンセラー、米山委員長、地区委員、米山学友会

今年度の米山奨学生として選考試験に合格した学生を対象に、最初の行事であるオリエンテーションが開催されました。まず始めに、東日本大震災の被災者への黙祷が捧げられ、有竹正巳地区米山奨学委員の司会で、岡部泰鑑がバナーエレクトの開会の挨拶を頂きました。

続いて、米山奨学制度について、磯田郁子地区米山奨学委員長より詳しく説明がありました。米山奨学事業はロータリーの誇るべき国際奉仕活動であり、その事業の要は“カウンセラー”です。奨学生の巣立った後も、カウンセラーには学友との絆を大切に続けていただきたい。学友からの便りや、社会人としてどんな人生を歩んでいるかなど、彼らの生活・活躍の様子をクラブ例会で報告してくださいと話されました。

次に、各テーブルにおいて、31名の奨学生と世話クラブのカウンセラー、米山委員長がお互いに自己紹介をし、カウンセラー・奨学生ハンドブックをもとに田中真人次年度米山奨学委員会副委員長より、奨学生の心得と制度の主旨説明、奨学生の役割、年間スケジュール等、奨学制度の詳細を分かりやすくパワーポイントを用いて説明が行われました。そして質疑応答の後、奨学生から「確約書」の提出があり、正式に「米山奨学生」となった

奨学生の喜びが緊張の中にも感じられました。

これで、第一部のオリエンテーションが終わり、会場を隣室に移して、岡部泰鑑がバナーエレクトの乾杯のもと、奨学生、世話クラブカウンセラー、米山委員長、地区米山奨学委員を交えての懇親会が和やかな雰囲気が始まりました。ユーモアたっぷりの有竹正巳委員の司会で、奨学生全員が「2分間スピーチ」で自己紹介。ロータリー奨学生に選ばれた喜び、ロータリー奨学制度への感謝、期待に応えたいという意気込み、将来の夢と希望を上手な日本語で話されました。日本語の途切れた合間は、かえって新鮮に感じられ、出席者の好感を呼んだようです。そこからは緊張もほぐれ、お互いに会話が弾んでいました。

林小微関西米山学友会前会長より、米山学友会活動は、学友(元米山奨学生)と奨学生の皆様がロータリアンとの交流を深め、ロータリーの国際交流・親善および平和の創造と維持に貢献することを目的としますと話され、締め括りには武島秀吉次年度地区米山奨学委員長から「米山奨学生に選ばれた誇りを持って、ロータリークラブと良い交流を心がけることです」との閉会の挨拶があり、オリエンテーションは無事終了しました。



石巻災害ボランティア

大阪御堂筋RAC3名・大阪中央RAC1名・吹田RAC1名・関大RAC4名・大阪御堂筋、吹田OG2名・チームライラ1名・RACメンバーの知人4名の合計16名で4月30日夜より石巻市に災害ボランティアに行きました。

5月1日昼、現地石巻入りし、ボランティアセンターが設置されている石巻専修大学のキャンパスへ向かうまでの道中、道路から見える景色の恐ろしい事と言ったら言葉では言い表せない感じです。そこら中に上下逆さまになった車が折り重なるように積み上がっていたり、津波ですべてが流され何も無い街並み。3月に茨城に行きましたがその状況を遙かに超えた惨事に目を背けたくなる思いでした。

ボランティアセンターの方の指示に従い集合場所に行き我々の作業内容が告げられました。その内容はドブ掃除です。

津波で流されたヘドロや瓦礫がドブに詰まって流れないので雨が降ると大変な事になるそうです。それを掃除し、少しでも流れやすくするのが我々に与えられた任務でした。

ドブの上の蓋を開けるとそれはもう耐えきれないぐらいの悪臭がします。ヘドロに下水が混じり真っ黒でドロドロした物が一面を覆っているのです。それをスコップですくって土嚢袋に詰めていくのです。このヘドロは水分も含んでいるのでかなりの重量があります。それを一輪車に乗せ1カ所に集めておくのです。そうすると夕方トラックが回収に来ます。

このような作業を3日間させて頂きました。

街の人達からは「ありがとう」「ご苦労様」と声を掛けて頂き、子供達は全員が「こんにちは」と挨拶をしてくるのです。ボランティアに行っているのになんかこっちが元気付けられているような感覚にもなります。

ボランティアセンターの方と非常に仲良くなり色々な話を聞いてきました。まず印象的だったのはマスコミの事でした。ゴールデンウィーク中はボランティアが殺到して断っている状態ですという報道があったと思います。他の所は知りませんが石巻で言うとゴールデンウィーク中のボランティアの人数はボランティアセンターが立ち上がって以来最少人数だそうです。予定人数の半分も来なかったのです。これに報道機関は責任が取れるのかと激怒しておりました。確かに断っていたボランティアセンターもあったでしょう。予想以上に人が来てしまった所もあったでしょう。ただ、そうでない所もあるのです。報道機関はもっと正確な情報を流して欲しいと思います。

現地に行ってみてまだまだ人手が足りないし、まだまだ時間がかかる事ははっきりとわかりました。本当に先の長いボランティアと支援が必要だと感じます。

最後になってしまいましたが、今回一緒に行った仲間は最高のチームでした。弱音を吐かず与えられた仕事をこなし、また、もっと効率のいいアイデアを出し非常に優れたチームだと思います。このメンバーでボランティアに行けた事を誇りに思います。



2011年4月8日、多くのロータリアンに尊敬された中川章三PGが90歳の生涯を終えられました。

1969年大阪西南、阪南、西北、城南の4クラブ合同チャーターナイトで祝福されて、Rtになった中川さんと私でした。同じ医師としてRで活躍することになりました。

数年が経過し、西北RCの武尾氏、西南RCの廣瀬氏、阪南RCの中野氏と同級生クラブから、Gが選出される結果となりました。順序からして、城南RCからGを出さないわけにはゆかない状況になって来ました。当クラブの大山会長が、Gの就任を引き受けても良いという事になり、小生に代表幹事の役を求められた。これでクラブとしての面目が立ったと全員で喜んだのも束の間で、大山会長が病で急逝されてしまった。クラブは混乱に陥り、誰が後任になるのか全く候補者の無い状態となったのでした。

全員が逃げ腰で、代表幹事としては、途方に暮れた毎日でした。順序で一人一人に当たっていった時、中川さんの番が廻ってきた時、色々と話をする内、彼の犠牲的精神が一言やってもよいとの答を出してくれたのではないかとと思っています。好んでやりたくはないが、何かやむにやまれぬ気持ちが起こりクラブの現状を考え引き受けられたのではなかったかと思っています。正に犠牲的精神の発露だと感じています。

Gの仕事は、自分の事だけでは済まされない特別な環境で、家庭を犠牲にせねばならない事も多々ある事は、十分認識してかからなければならない。こんな事を思うと中川さんの行動は正にserve above self と云うことではないかと、今更ながら頭の下る思いです。

早速G研修で渡米され、みっちりと修練され帰国後は、不慣れなため色々苦労された事を思い出します。当時は今と違ってGが代わる度に事務員も代わり、酷い時には全員が未経験者の事もあり、事務局は一代毎に代わり、Gが雇用せねばならなかった。事務長の仕事はGと代表幹事がすることになり、仕事に忙殺されるのである。中川Gは慣れないのに、事務的な文書に一枚一枚目を通し、直接指示され事務員のエラー、Rtからの苦情等一手に引き受けられた。寡黙で勤勉なGでありました。

PGになられてからは、家内に迷惑をかけた分を取り返すのだと、女房孝行をされて居られたのを拝見し、彼の優しい反面を見せられた思いがします。体調も良かったのに、風邪がもとで肺炎を併発され急逝され、本当に残念でなりません。永いロータリーライフ、御苦労様でした。どうぞ安らかに眠りください。

合 掌



中川 章三 会員

- ・生年月日 大正11年6月16日
- ・学 歴 1945年 3月 大阪高等医学専門学校卒業
12月 大阪高等医学専門学校および
大阪医科大学小児科教室助手
- ・職 歴 1960年 12月 医学博士学位記授与(大阪市立医科大学)
- 1952年 5月 南大阪病院小児科長
- 1959年 7月 大阪市立城北市民病院 小児科医長
- 1964年 4月 大阪市立城北市民病院 小児科科長
- 1976年 4月 大阪市立十三市民病院 小児科科長
- 1982年 4月 大阪市立十三市民病院 第2診療部長
- 1983年 6月 大阪市定年退職
7月 協和会加納・北大阪病院小児科部長
- 1985年 10月 関西女子短大 講師
- 1994年 12月 協和会病院、関西女子短大 退職
- ・賞 1964年 大阪市医学会 市長賞
表彰「砒素中毒についての研究」
- ・ロータリー歴 1969年 5月30日 大阪城南RC チャーターメンバー
1971～1973年度 理事(国際奉仕委員長)
1976～1977年度 幹 事
1981～1982年度 会 長
1987～1988年度 理事(社会奉仕委員長)
1987～1988年度 IGFフォーラム委員長
1996～1997年度 国際ロータリー第2660地区ガバナー

米山奨学委員会・ロータリー財団

地区米山奨学委員会より

2011年3月末	全国寄付金合計額	1,102,837,740円 (前年度比 2.12%減)
〃	第2660地区寄付金合計額	63,495,445円 (前年度比 3.20%減)
2011年3月末	全国寄付合計トップ10	
1. 第2650地区	79,426,233 円	6. 第2590地区 57,231,600 円
2. 第2750地区	64,168,053 円	7. 第2770地区 48,555,592 円
3. 第2660地区	63,495,445 円	8. 第2780地区 40,562,500 円
4. 第2760地区	59,593,608 円	9. 第2820地区 38,243,000 円
5. 第2580地区	59,458,855 円	10. 第2640地区 37,808,920 円

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。
(2011年3月)

氏名	回数	クラブ名
畑田 豊	5回目	大阪城南RC
野中 一彦	8回目	大阪城南RC
佐々木正治郎	4回目	大阪城南RC
中山 浩志	2回目	大阪城南RC
新谷 裕之	3回目	大阪城南RC
柳瀬 寛之	2回目	大阪城南RC
安村 史郎	1回目	大阪城南RC
朝田 俊孝	4回目	大阪東南RC
木村 行雄	4回目	大阪東南RC
北村 佳久	1回目	大阪東南RC
三野 文男	5回目	大阪東南RC
中造 和夫	3回目	大阪東南RC
野崎 暎一	5回目	大阪東南RC
小田 泰清	2回目	大阪東南RC
陳 思乾	11回目	大阪淀川RC
山本 恵真	1回目	新大阪RC

米山功労クラブ

次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました。
(2011年3月)

氏名	クラブ名
大阪東南RC	26回目

ロータリー財団 ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2011年)

富山 博光	八尾中央RC	3/ 4
山本 与志弥	八尾中央RC	3/ 4
相原 克偉	大阪梅田RC	3/11
池田 佳弘	大阪梅田RC	3/11
神寶 敏夫	大阪梅田RC	3/11
金延 宏明	大阪梅田RC	3/11
村上 稔	大阪梅田RC	3/11
山本 雅昭	大阪梅田RC	3/11
辻本 憲三	大阪RC	3/18

ロータリー財団 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。(2011年)

篠原 耕一	1回目	大阪梅田RC	3/11
園 侯一	1回目	大阪梅田RC	3/11
内海 閑一郎	2回目	大阪梅田RC	3/11
清水 英文	2回目	大阪リバーサイドRC	3/11
新子 茂生	3回目	大阪なにわRC	3/31

ロータリー財団 ベネファクター

次の方にベネファクターの称号が贈られました。
(2011年)

山本 雅昭	大阪北RC	3/31
-------	-------	------

2011年4月度 会員数・出席報告

I-M組	クラブ名	7月期初会員数	4月未会員数		入会者数累計	退会者数累計	増減	例会数	出席率	ホームクラブ出席率	I-M組	クラブ名	7月期初会員数	4月未会員数		入会者数累計	退会者数累計	増減	例会数	出席率	ホームクラブ出席率
			全員	女性										全員	女性						
I-M第1組	池田	39	39	3	2	2	0	4	68.95	62.88	I-M第5組	大阪北梅田	47	50	4	3	0	3	4	78.00	66.00
	池田くれは	35	33	1	2	4	-2	4	88.83	85.38		大阪西	77	75	0	5	7	-2	4	87.66	80.85
	箕面	31	28	1	0	3	-3	4	79.38	74.21		大阪大淀	47	54	0	10	3	7	4	84.95	74.76
	箕面中央	23	23	0	0	0	0	4	86.36	75.72		大阪リバーサイド	34	36	5	4	2	2	4	88.97	75.49
	豊中	47	44	3	3	6	-3	3	91.97	83.90		大阪西北	56	55	0	2	3	-1	4	89.46	76.25
	豊中南	40	35	1	0	5	-5	3	84.30	75.74		大阪そねざき	49	46	29	0	3	-3	4	84.78	84.78
	豊中-大阪国際空港	20	21	0	1	0	1	4	72.86	63.10		大阪梅田	43	38	0	1	6	-5	4	82.26	79.32
	豊中千里	38	36	2	1	3	-2	4	88.57	82.00		大阪梅田東	36	36	0	1	1	0	3	79.62	58.33
	小計	273	259	11	9	23	-14		82.65	75.37		大阪ユニバーサルシティ	27	27	2	1	1	0	4	85.58	75.96
	茨木	24	25	4	2	1	1	4	94.55	90.48		小計	676	690	47	51	37	14		85.66	74.86
茨木東	42	41	4	1	2	-1	4	89.72	72.54	大阪	251	262	0	28	17	11	4	77.40	60.72		
茨木西	27	29	6	2	0	2	4	91.38	80.18	大阪東	117	120	0	6	3	3	3	94.22	80.18		
千里	43	43	0	1	1	0	4	92.44	79.90	大阪東淀ちゃやまち	33	34	3	1	0	1	4	84.45	76.24		
千里メイプル	25	26	2	1	0	1	4	90.20	79.41	大阪城東	47	50	6	4	1	3	4	77.69	73.06		
摂津	39	41	2	3	1	2	4	89.57	79.76	大阪中之島	27	27	1	3	3	0	4	96.29	78.70		
吹田	61	61	6	3	3	0	4	95.71	90.15	大阪大手前	39	40	3	1	0	1	4	85.29	69.04		
吹田江坂	42	40	3	0	2	-2	4	95.91	82.25	大阪城北	60	58	2	2	4	-2	4	77.65	76.04		
吹田西	48	50	1	2	0	2	4	100.00	92.47	大阪天満橋	68	66	0	0	2	-2	4	87.10	82.23		
高槻	44	48	3	9	5	4	4	91.89	86.05	大阪鶴見	36	36	0	1	1	0	4	79.10	74.58		
高槻東	39	39	0	0	0	0	4	94.38	94.38	大阪淀川	33	34	2	2	1	1	4	91.17	79.02		
高槻西	24	23	0	0	1	-1	4	96.25	91.25	新大阪	37	37	0	2	2	0	4	80.41	71.62		
小計	458	466	31	24	16	8		93.50	84.90	小計	748	764	17	50	34	16		84.62	74.68		
大東	44	44	0	0	0	0	3	99.24	96.97	大阪フレンド	15	16	4	1	0	1	4	92.86	73.90		
大東中央	30	31	12	1	0	1	4	77.69	72.16	大阪本町	25	27	2	2	0	2	4	81.52	62.15		
枚方	42	44	0	5	3	2	4	94.90	86.05	大阪御堂筋	37	36	0	0	1	-1	3	86.27	76.47		
門真	26	32	4	6	0	6	4	90.63	79.69	大阪南	125	137	0	14	2	12	4	81.71	74.56		
交野	28	33	1	5	0	5	4	95.80	88.54	大阪難波	47	44	0	4	7	-3	3	92.60	74.24		
香里園	17	17	0	1	1	0	4	82.35	76.47	大阪なにわ	32	30	2	2	4	-2	4	80.54	73.73		
くずは	56	58	0	5	3	2	3	69.97	61.23	大阪南西	19	18	4	0	1	-1	4	83.77	74.14		
守口	39	47	3	9	1	8	4	86.62	75.00	大阪西南	89	88	13	5	6	-1	4	98.78	76.42		
守口イブニング	27	26	4	0	1	-1	4	80.77	73.08	大阪船場	42	41	0	1	2	-1	4	96.00	83.00		
寝屋川	39	40	5	3	2	1	4	87.50	81.88	大阪心斎橋	37	39	0	2	0	2	4	96.02	86.49		
四條畷	12	12	0	0	0	0	3	78.79	69.70	大阪うつば	34	36	4	2	0	2	4	91.55	86.13		
小計	360	384	29	35	11	24		85.84	78.25	小計	502	512	29	33	23	10		89.24	76.48		
東大阪	70	67	0	2	5	-3	4	85.28	77.53	大阪阿倍野	15	14	1	0	1	-1	4	83.82	64.25		
東大阪中央	38	39	0	3	2	1	4	91.43	87.83	大阪平野	37	37	3	3	3	0	3	95.44	84.47		
東大阪東	67	65	6	0	2	-2	4	87.83	71.82	大阪イブニング	21	19	5	0	2	-2	4	78.95	69.74		
東大阪みどり	26	27	1	1	0	1	3	87.65	69.14	大阪城南	54	56	0	4	2	2	4	100.00	94.25		
東大阪西	37	37	0	0	0	0	4	94.30	69.70	大阪咲洲	19	19	1	1	1	0	3	91.23	63.15		
大阪柏原	30	31	3	2	1	1	4	88.80	88.80	大阪住之江	22	21	0	0	1	-1	4	95.45	79.38		
大阪ネクスト	18	18	6	0	0	0	4	51.50	33.00	大阪住吉	28	28	3	1	1	0	4	88.57	70.96		
八尾	84	80	0	0	4	-4	4	98.49	70.93	大阪天王寺	60	62	0	4	2	2	4	95.10	87.04		
八尾中央	21	22	3	1	0	1	3	88.89	79.37	大阪東南	52	52	0	3	3	0	4	94.23	71.15		
八尾東	26	24	3	1	3	-2	4	63.14	62.05	小計	308	308	13	16	16	0		91.42	76.04		
小計	417	410	22	10	17	-7		83.73	71.02												
I-M第5組	大阪中央	57	54	6	2	5	-3	4	93.12	79.55	合計	クラブ数	7月期初会員数	月末会員数	女性会員数	入会者数累計	退会者数累計	増減	平均出席率	平均出席率	
大阪堂島	28	31	1	3	0	3	4	89.52	78.23	84		3742	3793	199	228	177	51	87.1	76.4		
大阪北	175	188	0	19	6	13	4	83.96	68.77												

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50 周年記念事業の一つとして 1970 年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2 万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の

出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページで PDF もご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ガバナー月信を中心に新着の資料から

「ロータリーから、あなたへ。(2000年国際協議会講演より)」

リチャード・キング 2011 2p (D.2500月信)

「魅力的なロータリークラブ」北 清治 2010 4p (D.2530地区協議会記録)

「ロータリーの源流」田中 毅 2011 21p (D.2640月信)

「ベンジャミン・フランク・コリンズのスピーチ原稿について」成川守彦 2011 4p (D.2640月信)

「ロータリーの基本精神——寛容と奉仕の心」上野 操 2011 1p (D.2580月信)

「出会いの不思議と面白さ」渡辺好政 2011 2p (D.2500月信)

「『ノーブレス・オブリージュ(高貴なる者の義務)』について」

織田吉郎 2011 1p (D.2790月信)

「青少年はロータリーの継承者」若林洋一 2011 9p (D.2710地区大会特集号)

「CLP導入しました」天神正人 2011 2p (D.2500月信)

[申込先：ロータリー文庫(コピー/PDF)]

震災に関して

「その時ロータリーは… 阪神・淡路大震災第2680地区の記録」1995 107p (D.2680)

[申込先：ロータリー文庫(コピー)]

「震度7それでもわが大地を愛す(新潟県中越大震災復興支援活動の記録)」

2005 48p (D.2560) [申込先：ロータリー文庫(コピー/PDF)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館 = 午前10時~午後5時 休館 = 土・日・祝祭日

東日本大震災の義援金(第2回送金)

5月10日に義援金の第2回送金分10,669,292円をガバナー会に送金いたしました。

布団セット寄贈プロジェクト

第2520地区ガバナーから支援要請がありました布団セット寄贈プロジェクトは、皆様の温かいご支援のおかげで1,487,200円(104セット)の募金が集まりました。4月14日に84セットを岩手県久慈市、5月20日に20セットを宮城県気仙沼地域に送りました。

ご支援ご協力に心より感謝申し上げます。

国際ロータリー 第2660地区 ガバナー 松本 新太郎
社会奉仕委員会 委員長 表 寛治

「お詫びと訂正」 月信5月号 11ページに間違いがありました。お詫びして訂正いたします。

八尾RC 新住所

(誤) 〒581-0116 八尾市清水町1-6-6 八尾商工会議所 208号室

(正) 〒581-0006 八尾市清水町1-1-6 八尾商工会議所 208号室

八尾中央RC 新住所

(誤) 〒581-0116 八尾市清水町1-6-6 八尾商工会議所 207号室

(正) 〒581-0006 八尾市清水町1-1-6 八尾商工会議所 207号室

「お知らせ」 豊中千里RC メールアドレス変更

新メールアドレス：info@toyonakasenri-rc.main.jp

敬 弔 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

鎌倉 利行 会員 (大阪中央RC) 2011年 4月24日逝去(享年81歳)

会長、副会長、理事

米山功労者、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー、ベネファクター

谷岡 正夫 会員 (大阪城東RC) 2011年 4月25日逝去(享年67歳)

会長

会員選考委員長、職業分類委員長、出席委員長

米山功労者、ポール・ハリス・フェロー、ベネファクター

榎谷 忠治 会員 (吹田西RC) 2011年 5月 7日逝去(享年77歳)

会長、幹事、理事

社会奉仕委員長、SAA、会員増強委員長、交通問題特別委員長

米山功労者(マルチプル)、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

野崎 弘毅 会員 (大阪西南RC) 2011年 5月11日逝去(享年72歳)

社会奉仕担当理事

出席委員長、会報委員長、青少年委員長、世界社会奉仕委員長

米山功労者(マルチプル)、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-Mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿（写真付きの場合は一緒に添えて）を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。
- 今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布いたします。また、ご希望の会員には有料（年間2,200円・1冊200円）配布とさせていただきますので、出来るだけ多くの方のお申し込みをお待ちしています。

月信編集委員会

- ・ガバナー 松本新太郎
- ・地区代表幹事 池尻 誠
- ・地区副代表幹事 吉本 憲司
- ・担当地区幹事 小山 悦治
- ・担当地区幹事 笠井 実
- ・担当地区幹事 奥谷 英一
- ・事務局長 今井 貢二

2010～2011年度 国際ロータリー第2660地区 【ガバナー事務所ご案内】

●事務局スタッフ

ガバナー	松本新太郎
地区代表幹事	池尻 誠
地区副代表幹事	吉本 憲司
事務局長	今井 貢二
事務局員	栗正 久美
	春名 志保
	大西 麻容

●休 日

土曜、日曜、祝日
夏期
2011年 8月12日(金)～
2011年 8月17日(水)
年末年始
2011年12月29日(木)～
2012年 1月 4日(水)

●所在地・電話・ファックス

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館 6階
TEL：06-6264-2660
FAX：06-6264-2661

ガバナー事務所に会議室を併設いたしております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせ下さい。

●ホームページアドレス

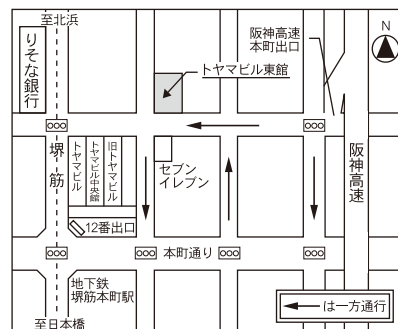
<http://www.ri2660.gr.jp/>

●メールアドレス

gov@ri2660.gr.jp

●勤務時間

9：30～17：00



※地下鉄堺筋線 堺筋本町駅 12番出口すぐ

国際ロータリー第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6F
電話 06-6264-2660 Fax 06-6264-2661 E-mail:gov@ri2660.gr.jp

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

6 F Toyama Bldg, East 1-5-11 Azuchi-machi Chuo-ku OSAKA 541-0052 JAPAN
Phone.+81-6-6264-2660 Fax.+81-6-6264-2661 E-mail.gov@ri2660.gr.jp